同社は事業資金五十萬圓を大阪市の藤本ビルブローカー銀行の仲介で、横濱のセールフレザー商會から左の條件で借入れることに決定した

▽利率　年六分五厘▽期限　三ケ年とし滿一ケ年を經過した後六ケ月の豫告を以て何時にても返濟

二十九日（月）

◇東京灣埋立工費決定

東京市會は東京灣埋立工事（第一號地から第五號地に至る十八萬九千四百六十一坪の海面）を總工費二百四十六萬八千二百十二圓を以て四十四年度から四十八年度に亘る四ケ年半で完成する案を可決した

【六　月】

一　日（水）

◇日露犯人引渡條約調印

同條約は本日外務省に於て外務大臣小村壽太郎と露國大使マレウイッチとの間に調印を終つた。右條約は露國は革命黨員が長崎等に逃亡し來り、日本は朝鮮の排日陰謀者が露領黑龍江地方を以て策源地とするため相互に政治犯人の引渡をなす必要から規定されたものである

◇日本銀行の都鳥併合と出張所異動

同行は營業局外に獨立してゐた外事部を營業局に併合し、同局内に一課を設け、京都、函館、廣島、鰐島、金澤の五出張所を支店に改め本日から實施し、外事部長深井英伍は秘書役專任となつた

◇日本銀行理事の更迭

同行總裁松尾臣善は辭任し、副總裁高橋是清が同總裁に任命された

◇正金銀行正副頭取の更迭

同行頭取高橋是清は辭任し、三島彌太郎が同行頭取に任命された。同時に缺員中の副頭取には井上準之助が任命された

◇八幡電軌會社の創立委員長召喚

京都府八幡町の同會社創立委員長小林八郎兵衛は徵收した株式證拠金全部を橫領費消した嫌疑により京都府警察本部に召喚された

二　日（金）

◇名古屋電氣鐵道會社の社債募集

同社は事業擴張費として百五十萬圓の社債發行を左の條件で紅葉屋銀行と契約成立した

▽發行價格額面百圓に付百圓▽利率年五分五厘▽償還二年据置後三年間毎年五十萬圓宛償還▽拂込期明治四十四年七月一日限り▽割戻一圓

◇千代田瓦斯會社の外資借入

同社は第二期擴張工事費二百萬圓を左の條件でサミュール商會から借入契約成立した

▽金額二百萬圓、内百萬圓は三ケ年々賦拂殘額百萬圓は三ケ年据置後三ケ年間に償還▽利率年六分五厘

五　日（月）

◇九州電氣軌道の一部開通

同社（資本金三百萬圓）の門司から大藏に至る區間の路線工事竣工し、本日からその營業を開始した

六　日（火）

◇桂川電力の京東市内供給許可

同社は東京市内に於て電燈及び電力供給事業を營む件を逓信省から許可された

◇鐘淵紡花機培會社設立中止

創立委員和田豐治、日比谷平左衛門、佐久間貞太郎、柿沼谷藏は資本金百萬圓を以て同社の設立を計畫したが、本日委員會を開き、經濟界不況の理由を以て設立を中止することに決定した

七　日（水）

◇大藏省證券二千萬圓發行

一般會計の分として大藏省證券二千萬圓を日步一錢一厘（一厘利上げ）償還期日八月二十五日の條件で發行した

十　日（土）

◇朝鮮の森林法公布

朝鮮總督府は植林政策として森林に關する制令を左の如く公布した

一、朝鮮の國土は森林濫伐のため頗る荒廢し居れるを以て先づ第一に國土保安林の制を確立勵行すること、外五項

十一日（日）

◇仁川築港の起工式

同築港起工式は寺内朝鮮總督以下臨席し仁川大神宮で擧行された

十二日（月）

◇日本銀行監理官水町襲從六歸朝

二ケ年間日銀代理店監督のためロンドンに滯在した氏は、同行副總裁就任の内命を受け本日歸朝した

十三日（火）

◇大日本製糖會社の社債整理

同社は東京日本橋倶樂部に株主總會を開き、缺損金による社債の整理過拂し元利合計金五百萬一千九百五十八圓七錢を支拂ひ整理した旨の報告を承認した

◇小池合資會社の銀行部設立

同合資會社は三十二萬八千圓を以て商榮銀行（拂込資本金四十萬圓）を買收し小池銀行の前提として社内に銀行部を設立、割引、貸附、信託等の營業を營むことに決定し、營業所を東京日本橋區兜町に移轉した

十四日（水）

◇正隆銀行の增資

安田銀行の買收した支那營口の正隆銀行（資本金三十萬圓日支合辦）は增資して銀百萬圓の株式會社に組織を變更、增資七十萬圓中、半額は安田銀行、半額は公募することに臨時總會で決定、本店を大連に、支店を營口、奉天、長春に置くことに内定、重役は左の如く決定した

頭取安田善三郎、常務取締役原田虎太郎

◇歐洲海員の同盟罷業

英國諸港及び大陸の海港に於ける海員は船主に對し賃銀値上、服務條件の改善を要求し同盟罷業を宣言、ホワイト・スター、ユニオン・キャッスル、ローヤル・メール・スチームパケットの汽船會社所屬汽船の荷役戴炭人夫も罷業に參加、カナデアン・パシフイック、ホワイト・スター、ラムポート・ホルトの三汽船會社は一ケ月十シルリングの增給を承諾の旨回答した

十五日（木）

◇朝鮮會社登錄稅規定公布

朝鮮總督府は制令第九號を以て朝鮮會社登錄稅の規定を公布した

第一條　會社が登記を受けたるときは左の區別に從ひ登錄稅を納付すべし（一）合名會社、合資會社設立出資の價額萬分の十（二）合名會社合資會社出資增加の價額萬分の十（三）株式會社、株式合資會社設立出資の價格萬分の十二、以下略

十六日（金）

◇日露新通商航海條約の調印

露國との新通商航海條約はクリスチャ市で本日調印を終つた、同條約は彼我の貿易が輸出六七千圓、輸入五六千圓に止まるので關稅協定率には特殊の規定を爲さず、相互に最惠國待遇の交換のみを行つた

十七日（土）

◇臺灣製糖、神戸精糖工場を買收

臺灣製糖會社は東京銀行集會所に臨時株主

總會を開き、神戸精糖會社所有神戸市東尻池村所在工場を九十五萬圓で買收する件を可決した

十九日（月）

◇横濱市の電車市債公債募集決定

同市は電車市營に關する公債總額一千三十六萬六千圓を左の條件で公募することに市會で可決した

▽利子年五分　▽額面百圓に付九十六圓以上　▽償還期限四十九ヶ年

二十日（火）

◇北海道炭礦汽船の缺損劃策不調

同社は營業缺損金九萬圓、空知炭坑の火災（山火事延燒）損害十三萬圓の缺損を生じ、外債六百萬圓の利子社員賞與金等に充つるため合計約三十萬圓の資金を要し三井銀行に借入の交渉をしたが拒絶され、社長室田義文は重役會を招集し辭意を表明した

二十一日（水）

◇日墨新通商航海條約調印

墨西とのの同條約は本日ベルンに於て最惠國待遇交換を約した暫定新條約の調印を終つた

◇鈔紙聯合會總會堀總會議の決議

同聯合會は委員會を開き操業短縮を繼續し十月以後も六ヶ月間二割七分五厘の休業を實施することに決定した

◇東京米穀取引所の借賃增賃可決

同取引所は臨時總會を開き資本金百五十萬圓を倍加し三百萬圓と爲す件を可決、二十八日認可された

二十三日（金）

◇日墨工業商事條約調印

外務大臣小村壽太郎と墨國大使マレウイッチとの間に本日外務省に於て左の三條約が調印された

一、日露各本國に於ける工業所有權及著作權相互保護に關する條約

一、支那に於ける工業所有權及著作權相互保護に關する條約

一、日露商事會社互認に關する條約

◇臺灣銀行、支那銀行に融資

粵漢鐵道（漢口、廣東間）の株主は政府の鐵道國有に反對し大清銀行、交通銀行（半官半民）官錢銀局（官立）發行の紙幣は信用し得ないと取付を行つたゝめ手許金が缺乏し、廣東總督張鳴岐は臺灣銀行及び三井物産會社に救濟資金二百萬圓、日本政府に五百萬圓の借款を申込んだので臺灣銀行は官錢銀局に對し紙幣と引換に二十萬弗を融通し、張總督との間に百萬圓（年利六分、三年の期限、初年二十萬圓、次年度から毎年四十萬圓）の融資を廣東財政公所收入の質稅及び硝石硫黃專賣稅を擔保とする條件で契約成立、三井物産は百萬圓融資について代表山本条太郎と同總督との間に交渉を重ねたが不調に終つた

◇富士身延鐵道の敷設認可

資本金四百萬圓、發起人小野金六、中野武營、佐竹作太郎、根津嘉一郎、平田口元學、山中陽之助等より出願せる靜岡縣大宮町から身延を經て甲府に至る四十九哩の輕便鐵道敷設は認可された

二十四日（土）

◇日獨新通商航海條約調印

獨逸との同條約は本日ベルリンで調印を終つた、同條約中關稅協定は相互對等の協約によつて稅率の低減を約し、獨逸は染料、諸藥品、パルプ等約十種、日本は羽二重、漆器、眞田等約十種、相互協定品も輸出入額を同一とする協定を締結したものである

◇大藏省證券二千萬圓借替發行

大藏省證券二千萬圓は全部借替發行することに決定、利率は日歩一錢一厘、償還期日は

七月二十七日

◇堺銀行閉鎖

大阪府堺市の同行　明治二十五年十二月創立、資本金四十萬圓）は十四日に本店九萬圓富田林支店二萬圓、福田支店四萬圓の取付を受け整理中のところ本日臨時株主總會を開き解散と決定した

二十六日（月）

◇日銀副總裁任命

日本銀行副總裁は、高橋副總裁の總裁昇任後缺員中のところ本日同行監理官水野裘宎が拔擢任命された

◇輸出羽二重檢査補助金交付

農商務省は輸出羽二重檢査員設置の補助金を左の如く交付した（單位圓）

▽富山縣一、五〇〇▽山形縣七、七〇〇▽新潟縣一、八〇〇▽石川縣七、五〇〇▽宮城縣一、〇〇〇▽福井縣一〇、五〇〇

二十七日（火）

◇千葉鐵道縣債募集認可

千葉縣木更津から久留里に至る輕便鐵道、大原から太田原に至る人車軌道經營費三十九萬五千圓の同縣債は左の條件で認可された

一、利率　年五分　一、期限　十五ヶ年、内二ヶ年据置

二十八日（水）

◇十五銀行、丁酉銀行を買收

十五銀行は丁酉銀行（拂込資本金百萬圓、頭取山本直成）を一株の時價十八圓五十錢を一株二十圓の割合で四萬株を八十萬圓で買收することゝなつた

三十日（金）

◇日露の商事會社互認條約公布

本月二十三日工業所有權保護條約と共に調印された日露商事會社互認條約は樞密院の諮詢を經て本日官報を以て左の如く公布、商標條約に先立つて公布されたのは批准交換の手續を要しないからである

一、商業工業又は會社業に關する株式會社並に其の他の會社及び組合にして兩國中一方の國に住所を有し且つ其の國法に從ひ有効に設立せられたるものは他の一方の國に於て其の國の法令を遵守する條件を以て法律上存在するものと承認せらるべく殊に原告又は被告として裁判所に出頭するの權利を有す

二、何れの場合に於ても前項の會社及組合は他の一方の國に於て同種の外國會社に對し現に許與し又は將來許與せらるべき權利と同一の權利を享有すべし

三、前項の規定は兩國中一方の國に於て設立せられたる前記の會社及び組合が他の一方の國に於て其の商業又は工業に從事することを認許せらるべきや否やと何等の關係を有せず其の認許は之に關し右他の一方の國に於て行はるゝ法令に從ふべきものとす

四、前數項の規定は會社及組合にして本協約の調印前に設立せられたるものと其の以後に設立せらるゝものとを問はず均しく適用するものとす

本協約は調印の日より實施し執れか一方が廢棄の通告を爲したる日より一年後に至り効力を失ふ

【七　月】

七日（金）

◇海獺保護條約成立

日英露米の四ヶ國は五月からワシントンに於いて北緯三十度以北のベーリング海上の海獺保護問題に關し協議を開いたが、條約成立

して本日調印を終つた

◇船舶輸入稅法實施

船舶輸入稅法は本日より施行された

◇東京市の電車市營反對市民大會

萬朝報主催の電車市營反對市民大會は東京神田錦輝館に於て開會、來會者は場外に溢る黑岩周六を座長に推し左の決議をなす

▽決議　東京市當局が急遽に電車の買收を計畫し市民をして可否の運動を惑すべき猶豫を得ざらしめたるは狡猾橫暴の甚だしきものなり依て吾等市民は尾崎市長及び之に贊成せんとする市會議員を以て信任すべからざるものと認め玆に之を議決して其反省を促す

なほ高橋秀臣、斯波貞吉、安住佐太郎、吉瀨才一郎、鯛母木桂吉、佐藤忍、太田昇三郎笠原文太郎、近藤定喜、伊藤龜雄等の市有の不利を痛論せる反對演說があつた

八　日（土）

◇東京市の電車市營問題と市會

電車市營案を附議すべき東京市會は本日開會、議員の質問に對し尾崎市長は四十一年末に第一回の市營計畫を立てた時からの沿革の大體を述べ次の如き報告をなした

四十二年の計劃には市は五千八百萬圓を主張せしに政府は如何なる見解によるものか會社が市の提議に應ぜざるを見て直に交渉を謝絕と看做す旨を通告し來り會社と互讓の結果に依る六千百五十萬圓を以ては許可し難しと解明せり故に吾々は一時同計劃を中止するの止むなきに至りたるが測らずも六月二十七日に內務大臣の招きに應じて出頭したるに逓信大臣も同席の上政府に於ては電車市營に關する調査終了したれば今日市に於て市營の計劃あれば相當なる條件の範圍に於て許可するも可なりとてその條件たる覺書を渡されたるがその內容は四十二年に交付せるものとは多少相違あり市債の發行は許さゞる代りに現金交付の爲めに外債募集を許しありとて覺書の內容と會社と協商を遂げた經過を說明した、本案の可決は市會開會前から豫想されてゐたが贊成者側は一擧に可決する必要を認めず委員附記とした

◇第二回電車市營反對市民大會

萬朝報主催の電車市營反對市民大會は本日午後三時から東京日比谷公園音樂堂前廣場に於て開催、會衆一萬人、黑岩周六司會の下に反對決議をなして散會したが、散會後も群集は退散せず、約三千人の一團は市廳會に押し掛け不穩の形勢を示したが、警戒嚴重のため解散した

九　日（日）

◇東京市會、東鐵買收案を可決

本日開會の東京市會は東京鐵道買收假契約價額六千四百十五萬圓から二十五萬圓を減じた額にて買收することを可決した、贊成者四十三名、反對者七名、缺席者七名

◇和田商店の整理成る

破綻した東京の羅紗商和田商店の整理は大阪の債權者中整理案に不同意を唱へて破產申請を提起した者もあつたが、小山半兵衛が關西羅紗商同盟會長として仲裁した結果本日に至り不贊成者全部整理案に調印した、同商店は整理案に基き、合資會社組織後二ケ年間に各債權者に對し二割五分の配當を爲すことに決した

十　日（月）

◇日糖重役の控訴判決

大日本製糖會社前重役磯村音介、秋山一裕兩名の背任事件は本日宮城控訴院にて兩名共前裁判を取消し詐欺取財私文書僞造は無罪、

單に贈賄罪にて懲役二ケ月に處し五年間刑の執行を猶豫する旨の判決があつた

十二日（水）

◇日瑞新通商航海條約批准

日本瑞典通商航海條約は本日サーリン瑞典代理公使と小村外相との間に批准交換され、これと共に特別相互關稅條約、これに關する說明が發表された

◇松井モスリン會社の更生

破綻した松井モスリン會社の引繼委員杉村惣太郎、前田卯之助、アイザック、シラム、ラスペ、ドッドウエルは本日會社引繼方法に就き協議の結果ラスペ、ドッドウエル、前田卯之助の三名を取締役にシラム、川村秀俊兩名を監査役に選任して會社の經營を一任することに決し前記五名の新重役決定と共に舊重役は辭表を提出した

十三日（木）

◇日英同盟協約改訂

日英兩國政府は日英同盟協約改訂の必要を認め左の如く協約改訂を行ひ本日ロンドンにて調印し我外務省は十五日條文を發表したが新協約の骨子は左の如くである

（イ）東亞及印度の地域に於ける全局の平和を確保すること

（ロ）淸帝國の獨立及領土保全並に淸國に於ける列國の商工業に對する機會均等主義を確實にし以て淸國に於ける列國の共通利益を維持すること

（ハ）東亞及印度の地域に於ける兩締盟國の領土權を保持し並該地域に於ける兩締盟國の特殊利益を防護すること

十五日（土）

◇獨、佛、諸その他との新條約公布

本日官報號外を以て、日諾通商航海條約、日諾特別相互關稅條約、日獨通商航海條約、日獨特別相互關稅條約及び日獨新條約談判中の合意（關稅に關する說明）領事館の職權に關する日獨間暫定取極及び通商に關する日本對瑞西、和蘭、丁抹、白耳義、伊太利の各暫定取極が公布された、尙本年七月十七日以後各國との條約關係は左の通りである

▽新條約に依るもの　英吉利、北米合衆國、獨逸、瑞典、諾威

▽暫定取極に依るもの　伊太利、瑞西（本年秋迄）和蘭、丁抹、白耳義及び英領加奈陀

▽舊條約に依るもの　佛蘭西、墨何國（以上二國の舊條約期限は八月三日迄）秘露ブラジル、ギリシア、コンゴー、アルゼンチン、メキシコ、チリー、ロシア、コロンビア、支那、シヤム、英領印度

▽無條約關係　ポルトガル

◇神戸電氣鐵道會社の電燈營業認可

獨占事業打破を理由として十數會社の出願を見た神戸市の電燈認可の運動は神戸電氣鐵道會社の兼營出願が許可され、神戸地下電燈株式會社外七件は却下された

十七日（月）

◇大藏省證券二千萬圓發行

二十四日（月）

◇東京鐵道會社の解散總會

同社は東京商業會議所に於て解散總會を開會、出席者は委任狀とも四千七百十九名その株數九十五萬九千四百八十二株、千家社長は東京市との電車賣買契約に關し大要左の如く述べた

當會社と東京市との間に買收に關する交渉は是迄屢々起り遂に果さゞりしが今回は市長より交渉を開始し本月一日以來屢々會見を重ね交渉を進めたるが最初東京市の主張せる所は四十二年五月三十日現在を六千百

五十萬圓と評價し之を基礎とし其以後の建設費は實費とし會社所有の現金は其儘會社へ交附し市公債換算價格は九十五圓として買收せんと云ふにありしが屢々交渉の結果公債の換算價格は九十五圓を九十八圓に引上げ四十二年五月三十日以後の建設費に對しては五十萬圓の割增金を交附せしむることに決し五日假契約を締結せり其後市會は割增金を二十五萬圓に削減し其旨を以て市長より懇談ありたれば已むを得ず讓歩せり云々

夫で大多數を以て明治四十四年七月三十一日限り會社の解散を行ひ假契約の價格を以て東京市に買却することを決議し、監査役は重任すること、清算人として羽光藤松、川田鷹、磯部保夫、渡邊六藏、松本剛吉の五名を選任した

二十五日（火）

◇下野紡績會社、三重紡績會社に合併

三重紡績會社と合併の假契約を結んだ下野紡績會社（資本金百五十萬圓社長柿沼谷藏）は右合併案を附議するため、本日東京市日本橋倶樂部に臨時株主總會を開き左の如く決定した

一、合併に依り當會社は三重紡績株式會社の一株額面五十圓全額拂込濟みのもの一萬三千個を取得し本年七月一日現在に於ける株主の持分に按分して之が交附をなすこと

一、前項合併は總會の決議を求め置き合併の實施は本年十一月一日となすこと

一、合併決議の上は直ちに營業一切の經營を三重紡績株式會社に委託すること

二十六日（水）

◇九州電氣鐵道會社創立

門司市にて創立總會を開き次の如く重役を選定、資本金二十五萬圓、電線及鉛管の製造及び販賣を營む

▽取締役　藤波重雄、日笠新平、赤尾元一　▽監査役　武田丈助

妹尾萬次郎、田村正

池田與一郎、大垣壽郎

二十七日（木）

◇大國電鐵券三千萬圓發行

二十八日（金）

◇南海鐵道會社の借入成立

同社は電車併用資金のため藤本銀行の仲介にて明治生命保險會社から百萬圓借入の契約を結んだ、年利率六分、二ヶ年据置後二ヶ年償還

三十日（日）

◇廣軌調査特別委員總會

鐵道院にて開會、第一、第二、第三各分科會の報告案を全部是認し、改築費二億二千五百六十五萬一千圓を二億二千七百八十九萬七千圓に改むる外原案の東京下關間改築工事を明治四十五年度以降繼續事業とする計畫を財政經濟上の見地から穩當であると決議し、ついで（一）東京下關間廣軌改築期限を繰上げ次で他の本線に及ぼす件（二）本州線以外の鐵道に對しても廣軌改築の調査を爲す件（三）鐵道材料の需要に應ずる爲め內地工業の發展を計る件（四）產業發展の目的の爲め鐵道を活用し並に重要輸出品に對する運賃其他を按配し輸出を奬勵するの政策を確立する件（以上第二分科會提案）（五）港灣に對し關係官廳の間に圓滿なる連絡を得る目的を以て行政の統一整理を行ふ件（六）港灣修築計畫と廣軌改築と歩調を一にし水陸連絡の完成を期する件（以上第三分科會提案）を全部是認し同時に特別委員總會の建議案として會長に報告することに決した

三十一日（月）

◇東京市の電車市營認可

內務省は東京市の東京鐵道株式會社買收に關する許可申請に對し本日許可の指令を與へ同時に電車營業特許書を交附した

【八　月】

一　日（火）

◇東京市の電車市營開始

東京市の電車は東鐵會社との買收契約及び當局の認可により前月三十一日夜十二時以後からの電車は市の經營に移る筈だが、實際は一日午前五時の運轉時刻から市營となつた。而して本日午前十時尾崎東京市長は松木電氣局長、田川助役以下の吏員及び丸山、中島、溝淵、安藤、肥塚の五市參事會員と共に丸ノ內有樂町の電氣局（元の東鐵會社）に至り重役室に於て千家社長以下の重役と會見し引繼の手續きを完了した

◇渡邊倉庫會社の營業開始

渡邊治右衛門一家にて資本金五十萬の同社を創立、前月二十五日創立總會を開き取締役に渡邊治右衛門（社長）渡邊六藏、小野田政夫郎が就任し、本日から一般倉庫業委託販賣金融等の業務を開始した、同社は從來渡邊の投資してゐた東京保稅倉庫株式會社を買收して出來たものである

二　日（木）

◇英國に大同盟罷業起る

ロンドンの埠頭人足二萬人は本日大會を開き一般同盟罷業を決議して罷業を企てた、彼等の要求は一時間十八片の勞銀及び時間外の勞働に對しては一時間一志の手當であつた、ニューポート、ペリー等の荷揚人足も彼等に呼應し日を經るに從ひその他の勞働者にも波及した。六日にはロンドン荷車人夫同業組合幹事は組合員に對し同盟罷業を命じ二萬五千人がこれに參加、メドウエイ河に沿ふた諸港も右同盟罷業の影響を受けリヴアプール、マンチエスター及びランカシヤー、ヨークシヤー地方の鐵道從業員一萬二千名は一週五十四時間の勞働と二志の增給を求めて罷業を起した、九日にはロンドンに於ける埠頭人足、舒人夫、荷馬車人足、小使及び人足等數十萬人が罷業に參加し埠頭及び市場の仕事は停止したゝめ日常生活品は昂騰した、十一日には舒人夫の勞働時間は二時間を減じて十時間としその上二割五分增給をなす條件で妥協成立しその他の勞働者も右に倣つて解決したが、ロンドンに於ける勞働者側の有利な解決は全國各地の勞働者を刺戟し、十三日リヴアプール市に於ては十萬人の鐵道從業員が示威運動に參加し警官隊と衝突して警官一名死亡し、警官二十名、勞働者八十名負傷するなど英國同盟罷業史上未聞の狀態に陷つた。グラスゴー市に於ては市街鐵道從業員の罷業のため運轉休止となつたが、十四日には車輪五十臺暴徒のため破壞され總計百五十臺損傷を受けた、暴動騷擾のためリヴアプール市には步兵一旅團、騎兵二ヶ聯隊出動して一齊射擊及銃劍突擊を行ひ、負傷者二百五十名被逮捕者九十名を出した。本英國の鐵道從業員は十七日午前七時を期し英國全土に亘る鐵道從業員の同盟罷業を宣告した、理由は雇主等は法の精神より見るも條文の解釋上より見るも千九百七年の勞働爭議調停の取極を破つたといふにあつた、罷業參加者は二十萬人に上りロンドンその他の都市は軍隊出動しリヴアプール市は殆んど內亂狀態に陷つたが、從業員の實狀を調査すべき特別委員會の設定を條件として二十日罷業は終つた

四　日（金）

◇佛墨兩國との通商條約終了と暫定條約

小村外相は前年八月六日帝國政府から各締盟國に對して發した條約廢棄の通告により、明治二十九年八月四日調印の日佛通商航海條約、明治三十年十月五日調印の日墨洪通商航海條約及び明治三十一年十二月二十五日調印の日佛追加條約及附屬稅目は何れも三日を以て終了の旨本日告示した

なほ本日から新通商航海條約の實施に至るまで通商、關稅及び航海に關し日墨兩國相互に最惠國待遇を保障する暫定取極は三日墨國ウイン市に於て首相ニーレンタールと秋月駐墨日本大使との間に公文を交換した

五　日（土）

◇明治製糖、橫濱精糖を合併

明治製糖會社は株主總會を開き左の條件にて橫濱精糖會社（資本金二百五十萬圓）の合併案を可決した

一、橫濱精糖會社は其資產に屬する現在の土地、建物、機械器具、備品、增設工事、名古屋精糖株式會社勸定及商標一切を財產出資とし當會社は之に對し全額拂込濟の株式三萬二千株を與へ事實上合併契約を承認

二、右可決の上は當會社の定款を改正し、資本金五百萬圓（十三萬株）を增加して一千萬圓（二十萬株）とし、增加株數より財產出資の株數を差引き殘額六萬六千株は明治四十四年十月三十一日現在の株主に對し百株に付十八株の割合を以て引受を爲す權利を賦與する事

七　日（月）

◇農商調査終了

同調査會は鐵道院に於て開會、桂會長後藤副會長以下委員三十三名出席、同調査會の決議案及建議案（七月三十日の項參照）を可決同調査會の任務はこれにて終つたが、殘務整理を終つた後も直ちに解散することなく次期議會まで存續することに決した

十　日（木）

◇東京米穀商品取引所の立會停止

農商務大臣は本日東京米穀商品取引所に對し米の定期取引中八月、九月兩限の賣買を停止する旨命令した、理由は同取引所に於ける相場は投機師の思惑により日々奔騰を重ね立會毎に新高値を示し、公正な價格の取引と需給の均衡が攪亂されたゝめである

十四日（月）

◇六米穀取引所の賣買停止命令

農商務省は本日早朝電報を以て、大阪、兵庫、名古屋、桑名、高岡、金澤の六米穀取引所に對し取引所法第二十七條に依り當限及中限卽ち八、九兩月限米の賣買停止を命じた、理由は六取引所に於ける相場は東京取引所の停止後比較的平穩の狀態を呈してゐたがなほその價格は平調を失し、各地方から東京への廻米を阻止する虞あるのみならず、東京の正米相場にも影響するところ少からずといふにあつた。六取引所の外下關、新潟兩取引所は自發的に立會を停止した

◇輸出組織會社創立

同社　資本金二百萬圓、拂込五十萬圓）は創立總會を開き左の重役を選任した

▽取締役　桂二郎（社長）藤澤清藏（常務）小塚貞藏（常務）松浦幸次郎、林崇壽、岩崎武一郎、三宅國太郎、林崇壽、岩崎武一郎　▽監査役　木村泰治、藤田謙一、羅金水

十八日（金）

◇中備輕便鐵道の認可

才賀藤吉外二十人の發起による中備輕便鐵道株式會社（資本金三十五萬圓）は敷設を認可された茶尾屋町總社町間十哩十三鎖の軌道

三呎六吋の蒸氣鐵道である

二十一日（月）

◇一畑・雲備兩輕便鐵道の認可

兩鐵道とも本日認可、一畑は島根縣今市から小境に至る延長十三哩五鎖、資本金四十萬圓、發起人才賀藤吉外十四名。雲備は備後國山から高屋及び川南を經て府中に至る延長二十哩十六鎖、資本金四十五萬圓、發起人河相保四郎外百四十四名、兩輕鐵とも二呎六吋の蒸氣鐵道である

◇別府巡遊輕便鐵道認可

岡田治術武、瓶又五郎、荒濱測亮等の發起による別府附近の名所を循環する同鐵道は設立を認可された、その延長十三哩、資本金五十萬圓

◇東京、千代田兩瓦斯會社の合併

兩社合併假契約に就て本日夫々重役會を開きその同意を經たので午後五時東京築地精養軒にて仲介者千家尊福、佐竹作太郎、岡崎邦輔立會の上高松、安樂兩社長は右假契約書に調印し立會人も連署を終つた。假契約書の大要は左の如し

一、千代田瓦斯株式會社を解散しその株式は現拂込のまゝ東京瓦斯株式會社の新株とすること

二、千代田瓦斯株式會社の重役職員に對する解散手當金額を東京瓦斯株式會社の同意を得て之を決定し、その金額は千代田瓦斯株式會社引繼前の財產から支出すること

三、東京瓦斯會社は千代田瓦斯會社の從業員一切を現俸のまゝ引繼任用すること

四、東京瓦斯は重役現在員の外に取締四名監査役一名を增員し右增員に對しては千代田瓦斯現在重役中より立會人に於て候補を指名すること

五、東京市に對し兩社合併承認を求むる事

二十二日（火）

◇大日本軌道運會社と兩宮鐵工所の合併

大日本軌道株式會社と兩宮鐵工所との合併は八月一日假契約を調印し兩社とも本日株主總會を開き合併案全部を可決した

二十三日（水）

◇東京、千代田兩瓦斯の合同互劃決議

東京市の經濟記者同志會は築地精養軒に集合し左の決議をなした

一、千代田瓦斯會社は兼に獨占打破を標榜したるにも拘らず其宣言を無視し東京瓦斯會社と合併を企てたり之れ市民を欺瞞したる背德の行爲と認む

二、東京、千代田兩瓦斯會社が更に獨占の弊害を醸成すべき不當の特權獲得運動に着手したるは公益を蹂躙するものと認む

二十四日（木）

◇南滿洲鐵道會社、拓殖局に移管

本日の官報を以て發布せられた鐵道院官制中改正の第一條に依り從來鐵道院の管轄にあつた南滿洲鐵道會社は鐵道院の手を離れて拓殖局の所管に移つた。右の理由は同會社は鐵道としての事業は既に殆んど終了し、以後は拓殖事業の經營に力を盡すべき時期となつたからである

二十五日（金）

◇桂内閣突如總辭職す

條約改正、新日英同盟の締結及び國債借替濟生會の創設等を遂行せる桂内閣は政友會との情意投合により其の支持を受けてゐたが、財政上の行詰りのため、本日突如總辭職を決行し、後繼内閣首班に政友會總裁西園寺公望侯を奏薦した

◇大藏省證券二千三百四十萬圓發行

◇近衛師團組織長男爵に謹叙

日本郵船會社々長近藤廉平は、多年の勳功により男爵に列せられた

二十六日（土）

◇日佛新通商條約の公布

枢密院の諮詢を經た日佛新通商條約及び暫定取極並に佛領印度支那に關する宣言を公布さる

◇仙北鐵道線路の認可

鐵道院は仙北軌便鐵道株式會社發起人荒井泰治外四十八名に敷設免狀を下附、小牛田から石巻に至る十八哩及び登米から柴館に至る二十一哩二十鎖の蒸氣鐵道で資本金百萬圓

二十八日（月）

◇西園寺公望に組閣の大命臨下

伊香保に逗留中の西園寺侯は御召により歸京、本日參内し、組閣の大命を拜した

◇日露瓦斯會社の借錢增資

同社は臨時總會を開き資本金三百萬圓を六百萬圓に增加することを決議した

二十九日（火）

◇東都電氣、大阪電燈從業員保安所を買收

京都電氣株式會社が大阪電燈會社佐世保支店の電燈事業及びこれに關する資産負債の合計三十六萬二千二百五圓十四錢五厘並に地上權給水權等を五十七萬圓にて買收の件は本日兩社の各臨時總會にて可決された

三十日（水）

◇第二次西園寺内閣成立

第二次西園寺内閣成立し本日親任式が行はれた。此の内閣の成立に當り元老の奏薦によらず前首相によつて後繼の奏薦が行はれたことは新例である

總理大臣西園寺公望、外務大臣内田康哉、内務大臣原敬、大藏大臣山本達雄、陸軍大臣石本新六、海軍大臣（留任）齋藤實、司法大臣長谷場純孝、文部大臣松田正久、農商務大臣牧野伸顯、逓信大臣林董

◇日本鐵道會社の最終株金總會

日鐵が國有となつたゝめ清算手續に移つたのは明治三十九年十一月で爾來四年十ヶ月に亘り事務完了したので本日東京神田美土代町青年會館に於て最後の臨時株主總會を開會、四十二年四月二十三日の株主總會にて決定した清算費五十五萬一千餘圓はその後訴訟費用の低廉と清算事務の進捗の結果七萬餘圓の剩餘金を生じたので現在の土地家屋一切の附屬品及び御下賜品、書籍品等全部を岩倉鐵道學校に寄附することを可決した、清算費三十一萬九千七百三十八圓十四錢五厘

【九月】

一日（金）

◇國民黨の西園寺新内閣に對する宣言

國民黨代議士會は本部に開會、犬養毅外二十餘名出席、西園寺新内閣に對する左の宣言を可決した

桂内閣國政變理の任に堪へずして擧げてその職を退き今や西園寺内閣新に成りその後を承く、この時に當り帝國の現狀如何を顧れば前内閣が當政の大本を誤りたるため外交は歳々に萎縮して國家利權の伸長を阻害し東洋平和の保障を危殆にし内治亦宜しきを失し歳出は年々膨脹して收支は均衡を保たず隨て國庫は益々貧乏を告ぐ、且つ前内閣は口に國債の整理を稱へたるもその實意愈增加を掩はず國民は重稅に苦しみ財界は沈衰を極む、加之外債政策は却て正貨の流失を招致し吾幣制の根本を脅迫して已まず、一方には曰く軍備、曰く鐵道、曰く港灣等巨額の國費を要するの諸問題亦續出累見し來るものあり、國政の艱難未だこの際より甚しき非ず、而してこれ等の政政を

助長したるは政友會又與りてその責を免るる能はず西園寺侯はこの打壞の後を承く宜しく前内閣の政政を掃蕩し國民と俱に更始一新して立憲の本旨に副ふべし、今や侯の内閣は爲すべきの地に立てり又爲すべかざるの狀にあり、その爲すと爲さゞるとは唯斷と不斷とにあるのみ、吾立憲國民黨は忌らず恕にせず國民と俱に嚴然としてこれを監督すべし、乃ち此に新内閣に對し吾黨見地の在るところを明にし以て天下に宣す

◇特地整理調査補助金決定

農商務省は土地改良奬勵規則に依り明治四十四年度における補助金を左の如く決定した（單位圓）

▽長野縣耕地整理　五、一八三、土地改良八三三　▽奈良縣耕地二、六四八、土地一六六　▽青森縣耕地三、九三五、土地三三三　▽合計一三、〇九八

◇東京瓦斯賣渡問題と渡邊男の意見書

東京瓦斯株式會社の株主仲萬次郎、臼井泰嵐、川喜多久太夫は同會社の資産に大缺陷ありとの檄を一般株主に配付したゝめ大株主渡澤榮一男、渡邊治右衛門、渡邊大治郎の名を以て「土地工場等一目瞭然たる財産が嚴存し埋設鐵管等にも別に異狀なく、營業も平常の如く續けてゐる故程富なる見地から切實の研究を遂げられたい」との意味の意見書を全株主に配付した

◇東都の不正株式仲買人大檢擧

京都地方裁判所檢事局は取引所以外に於て株券の賣買及び受渡しを爲した不正株式仲買人四十餘名を檢擧した

二日（土）

◇博覽會協會設立

外國博覽會の出品事務と美術品輸出工藝工業品の奬勵、紹介、試賣を援助し内外商業の調査を目的として博覽會協會を設立することに本日の發起人會で決定し、設員を左の如く選定した

▽理事（會長）大浦兼武、（副會長）平山成信、（專務）大塚琢造、中野武營、大谷嘉兵衛、星野錫、村井吉兵衛、杉原榮三郎

▽監事大倉喜八郎、淺野總一郎

◇京奉線の奉天引込線の日支協定調印

京奉線を瀋陽驛から延長し滿鐵奉天驛から北方一哩の地點に於て滿鐵の線路下を通過し小西邊門の西北一哩の地點に京奉線の奉天停車場を設置する日支兩國の協定案は本日調印を終つた

◇海獸水産組合の失業救濟請願

ラッコ、オットセイ獵獲水産組合は海獸保護條令による失業者救濟のため農商務省當局に對し左の請願書を提出した

列國々交の情誼により我政府は長期に亘り北太平洋のラッコ、オットセイ獵を禁止せんとす、之れ實に當業者に取りては非常の損害なり

現にこの事業は我が政府の勸誘するところに依り明治三十年以降我々の苦心慘憺たる經營に基き漸くにして現時の域に到達することを得、今後益々斯業の擴張を謀らんとするに際し、今や俄かにこれを禁止せらるることあらんか國交の關係は已むを得ずと雖もこの職業を犧牲に供せらるゝ當事者の窮困を如何せんや政府は宜しくこれ等失職の民に對し適當なる處置によりその損失補償金を給與せらるべきものなりと信ず、故に我々はその事情を政府に訴へてその補償給與を求むると共に左の要綱を擧げて當局の參考に供さんと欲す（要綱略）

四日（月）

◇山本勳爵總理就職

日本勧業銀行総裁山本達雄は西園寺内閣の大蔵大臣に就任され総裁の職を免ぜられた

五　日（火）

◇警視庁印刷職工賃銀値上要求

東京京橋區銀座四の一教文館（米國メソヂスト傳道會社直營）印刷部の男女職工百二十名は生活必需品騰貴の理由により賃銀引上を要求し支配人スペンサーに拒絶され本日同盟罷業を決行し、九日同支配人と職工總代會見の結果、最低五分、最高一割の増額を爲す條件で解決した

六　日（水）

◇下瀬火薬の發明者下瀬雅允死去

午後九時死去、享年五十三、安政六年十二月薩摩鳥藩に生れ明治十七年工科大學を首席で卒業、同二十年海軍技手、同二十六年下瀬火薬を發明して勲五等、同三十三年工學博士、海軍造兵廠製造主幹、海軍下瀬火薬製造所長等を歴任、日露戦役の功に依り勲三等に叙せられた

八　日（金）

◇増田銀行の組織変更

大阪市東區今橋町の合名會社増田銀行（資本金五十萬圓）は組織を變更し株式會社増田ビルブローカー銀行（資本金同額）と爲すことに決定、重役は左の如く選定

▽社長増田信一▽取締役増田政治、浅達庄助

◇神奈川縣の船夫同盟罷業

神奈川縣三浦郡鷹取山の石炭運搬船三十四隻の船夫は、先に同山の石工夫三百餘名が物價騰貴を理由とし賃銀値上を要求し三割の増給を得たのに倣ひ、一割増額を要求したが容れられぬため横濱回航を機として同盟罷業を決行した

九　日（土）

◇支那四川省成都に暴動

同省内の鐵道國有反對を唱へて暴動勃發し暴民は軍隊と衝突した。同鐵道問題に對しては支那内閣は二派に別れ、盧宜懐は強力高壓手段を執ることを主張し、那桐、徐世昌は穏和策を主張して紛糾。十二日七千名の暴徒は銃器を手にし總督衙門を襲撃し、官軍のため撃退された、暴徒の襲撃を阻止するため官憲は成都の城門を閉鎖した

十一日（月）

◇富源銀行の党員逮捕引

神奈川縣小田原町在吉浦村吉浦銀行（資本金十萬圓）の元重役、現出納係飛田啓藏は行金八萬圓を費消した嫌疑で横濱地方裁判所に拘引された

十二日（火）

◇三井銀行和歌山支店閉鎖

同行和歌山支店は閉鎖し營業一切を浪速銀行に讓渡することに本日協議成立し浪速は十月一日から營業を開始。三井銀行は地方進出を企て七月一日から同支店を開設したが、和歌山支店の廃止は同時に必要なき地方の整理を行つた結果による

十三日（水）

◇清國學制共和國政府承認

日本政府は荒川駐清公使を通じ同國の新共和國政府を承認する旨の通諜を發した、英、獨、墨、伊も同時に承認した

十四日（木）

◇金龍輕便鐵道會社設立許可

同鐵道株式會社（資本金五十萬圓）の發起人宮野直道外十名に對し鐵道院は設立を認可した、金澤から鶴光に至る延長十二哩六十鎖、軌道は三呎六吋

◇三井物産鎮南浦支店廃止

新築中の同物産會社横濱支店（山下町）は

筋コンクリート四階建の社屋本日落成し、十八日から營業を開始した

◇露國首相暗殺される

露國首相ストリピン伯は本日見漢バゴロフのためピストルを以て狙撃され十八日死亡、犯人は露化ユダヤ人で有名な社會黨員グリゴリの孫に當り革命黨員でありながら政府の機密探偵部に出入しその行動を同志から疑はれたゝめ身の潔白を立證する手段として首相暗殺を決行したことを自白した

十六日（土）

◇日露逃亡犯罪人引渡條約公布

同條約は六月一日日露兩國全權委員の調印を終り批准を經て官報を以て公布された、十五條から成り附屬宣言書を附加し、日露双方逃亡犯罪人の引渡を規定し、犯罪人引渡の請求は外交機關を經てこれを爲すことを制定

◇日本郵船カルカッタ航路開始

日本郵船會社は、自由航路として横濱カルカッタ航路を開始、第一船第二仁川丸は本日就航、英印汽船會社と競爭狀態に入つた

十八日（月）

◇鴨川電鐵會社敷設許可

京都第二疏水鴨川堤防に敷設する電鐵敷設許可問題は府市の衝突と大森知事の反對等のため紛糾してゐたが敷設地區の一部を改め京阪電鐵と聯絡を執ることゝし鴨川電鐵會社に對し六條から三條北の區間敷設の件を認可

◇東京瓦斯株式會社合併

東京瓦斯株式會社（資本金三千五百萬圓）は臨時株主總會を開き、千代田瓦斯株式會社（資本金一千萬圓）を合併し、資本金一千萬圓を増資し四千五百萬圓とし、千代田瓦斯は解散することに決定した

◇東京市河港課の紛糾調査罷業

東京市河港課深川平久町埋立出張所主任川島深藏所屬の船夫百八十餘名は待遇に不平を抱き同盟罷業を決行、船頭小林多藏外六名の交渉委員は水上署長と會見し、左の要求を陳情した

一、配下の船頭に對し待遇を良くすること

一、一坪に對して、二錢以上の値上をすること

一、船頭が三日以上休みたる時は解雇するとの從業規定を取消すこと

◇綿糸に食塩暴騰物騒

食糧缺乏のため、オーストリヤハンガリーの首都ウインに暴騰物發し、社會黨員五萬人の大示威運動は全市に波及し群集は官衙商店料理店等を破壞し救濟促進の示威をした、鎮壓のため軍隊出動し突撃と一齊射撃を敢行した結果、死者數名、負傷者百五十名、逮捕者二百名に達したが、鎮壓せぬため軍隊は宮殿と公共建築物の護衛に當つた

十九日（火）

◇露墨亜の勞働者總組合同盟罷業

ヴアレンシアの勞働者總組合は十七日夜同盟罷業の決議を爲し、本日革命的性質を帯びた同盟罷業を行ひ、暴擧を惹起し、政府は戒嚴令を布告した。罷業擴大の原因は勞作組合が全國的に罷業の申合を爲し無政府主義者が煽きかけたものによる。二十一日に至り政府の鎮壓奏功しヴアレンシア、ビルバオ、バルセロナ市等において秩序は恢復するに至つた

◇殖産銀行取締役の拘引

八王子の同銀行取締役朝倉角次郎は、文書偽造行使詐欺取財の嫌疑で八王子區裁判所に拘引された

二十日（水）

◇日本護謨株式會社創立

同社（資本金五十萬圓、四分の一拂込）は、東京京橋區南鞘町の創立事務所で創立總會を

開き左の役員を選任した
▽社長門野長之進▽取締役(專務)足立莊、麻生義一郎、倉知誠夫、岩崎一▽監査役北川勝弼、武智直道、綾井忠彥

二十二日（金）

◇日本勞働授産會社の創立
東京市本所區花町に百二十坪總二階の家屋を新築し、無宿無職者を收容し、勞力の供給斡旋を目的として資本金二萬圓の日本勞働授産株式會社を設立、本日から開業したが、直ちに百八十名の勞働者を收容するに至つた。役員は左の如し
社長鮫島政五郎▽專務取締役森德九郎▽常務取締役平松伊三郎、森田安喜▽取締役新美政吉▽監査役野光次郎、茂口串五郎

◇横濱の生絲運搬人夫同盟罷業
横濱市の生糸、屑物運搬人夫約四百名は物價騰貴により生活難を理由として雇主に賃銀の値上を要求、雇主は之を各問屋に請求したが拒絕され人夫に通達したゝめ同盟罷業に入つたが、二十七日横濱商業會議所副會頭增田增藏の調停で生糸羽二重は一梱に付二厘、屑物は三厘、日給は二錢を增給し、十月十五日から請負業者がこれを支給することに決定して解決した

二十三日（土）

◇會社組織變更に關する大藏省令改正
大藏省令第二十四號第三條（明治三十三年發令）會社組織の變更に關し、左の一條を加へ、同第四條を第四條の二と改正する旨本日の官報を以て公布した
第四條　合名會社が其組織を變更して合資會社と爲したるときは貸借對照表及び定款を添へ大藏大臣に届出づべし（但し本令は商法改正法施行す）

◇九州水力電氣會社、博多電氣軌道を合併
九州水力電氣會社（資本金八百萬圓）は臨時株主總會を開き博多電氣軌道會社（資本金二十五萬圓）を合併する件を可決した

二十五日（月）

◇大藏省證券二千萬圓發行
◇綾井毛スリン紡績會社解散
同社（資本金六十萬圓）は欵支債はず明治四十四年度上半期（三月より八月まで）決算において七萬餘圓の缺損を計上し業績不振を極めたので臨時株主總會を開き任意解散と決定、但し當分作業を續けその間適當な繼承者があれば同社を引繼ぐ件を承認した

二十六日（火）

◇日本銀行利子引上
日本銀行は金融情勢に鑑み二厘方の利上を爲すことに決定、本日左の如く公表した
一、商業手形割引歩合、國債を抵當にする貸付利子、及び國債を保證とする手形割引歩合日歩一錢五厘
一、國債以外のものを抵當とする貸付利子及び國債以外のものを保證とする手形割引歩合日歩一錢六厘以上
一、當座貸越及ひコルレスポンデンス貸越利子日歩一錢七厘
一、但し明治四十四年九月二十七日より實施のこと

二十八日（木）

◇安田商事會社の創立
安田善次郎個人經營の安田製釘所の事業を繼承し、資本金五十萬圓を以て安田商事株式會社が創立された

二十九日（金）

◇伊土紛爭勃發
伊太利政府は土耳古政府に對し最後通牒を發し、土耳古國のトリポリを占領する旨を明示した

三十日（土）

◇大連輸出組合大豆稅增徵反對陳情
大連重要物產輸出商組合は大連貿易の衰退を來し、殊滿洲の經濟的發達を阻害するとの理由で大豆稅增徵反對を決議し、これが廢止を奉天總領事館に陳情した

【十　月】

二　日（月）

◇國十五年度河川改修費割當決定
內務省の四十五年度各河川改修費割當は左の如く決定した（單位千圓）

利根川	五三〇	遠賀川	五〇〇
九頭龍川	一三〇	信濃川	一、七〇〇
高梁川	六〇〇	吉野川	五五〇
淀川	五二〇	淺良濱川	一、八八〇
荒川	一、五五〇	北上川	五〇〇
木曾川	三〇	淀川維持費	一一

◇日米間小麥・麥粉運賃改正
米國は日本に對する小麥、麥粉運賃を左の通り定め、四十五年一月一日より實施することに決定した
米國—日本間　二弗五十仙　米國—上海間　三弗五十仙　米國—香港間　三弗　米國—マニラ間　四弗

◇輸出羽二重檢査所設置認可
農商務省は新潟、福井、石川、宮城、福島の五縣に對し輸出羽二重檢査所の設置を認可した

◇石油販賣商同盟會を組織
日本、賀田兩石油會社の市內特約店有力者十名は無益な安賣りを避けるため同盟會を結成し、卸小賣値段を協定して之に違反したものは除名又は謝罪せしむることを申合せた

◇企圖の手形交換所指定
商法第五百三十四條の二の規定に依り本日左の手形交換所が指定された
東京交換所、京都手形交換所、大阪手形交換所、橫濱交換所、神戸交換所、名古屋交換所、廣島手形交換所

◇橫濱正金銀行割子引上
橫濱正金銀行は貸出利子二厘方引上げ、當座貸越日歩を一錢七厘乃至一錢八厘五毛に、手形割引歩合を一錢七厘乃至一錢八厘に改め卽日實施した

◇三井、安田、第三銀行の利上
三井、安田、第三各銀行は當座貸越利子を二厘方引上げ最低一錢七厘、最高一錢九厘とした

◇臺灣糖業聯合會の運送契約
臺灣糖業聯合會は明治四十五年度砂糖運送契約に關する件及び原料糖賣約値段に關する二項目について協議した結果、東洋製糖以外の各社は總て三井物產に委託すること、東洋製糖には三井物產から直接交涉することとなつた

◇伊土戰爭と帝國の嚴正中立宣言
林外相は本日參內奏請の上、左の宣言書を發表した
朕ハ此次伊太利國ト土耳古國トノ間ニ不幸ニシテ釁端ヲ啓クニ方リ帝國ト此兩國トノ間ニ現存スル平和ノ關係ヲ維持セムコトヲ欲シ玆ニ局外中立ヲ宣言ス帝國々民並ニ帝國ノ管轄內ニ在ル者ハ戰局ノ終リニ至ルマデ嚴正ニ立ト相容レザル一切ノ行動ヲ避ケムコトヲ期セヨ

四　日（水）

◇朝鮮の貨幣整理に補助金交付
朝鮮に於ては貨幣整理の結果補助貨が缺乏したので、これを整調するため總督府は同地の各金融組合、地方金融機關に對し四十二萬九千圓の補助金を交付した

◇支那廣九鐵道全通
支那廣九鐵道、廣東九龍間は本日全通した

六　日（金）

◇鳥羽上海間郵船開始
日本郵船は函館、上海間の直航輸送を開始した

◇朝鮮郵船會社設立に大阪商船が反對
大阪商船會社は朝鮮郵船會社設立の曉は同地の沿岸航路は同社に獨占される恐れがあるので、南鮮方面では早くも競爭を始めると共に大阪商船と關係ある荷主には新會社株式に加入せざる樣勸告する等反對運動を起した

八　日（日）

◇特殊輕便鐵道、多古鹿間開通
千葉縣成田、多古間輕便鐵道（延長十五哩工費十九萬餘圓）本日は開通した、同鐵道は千葉鐵道除の實習用のもので本邦唯一の特殊鐵道である

九　日（月）

◇米國向硫黃鑛出稅撤廢要望
日本賀島協會は外務、農商務兩省に對し米國へ輸出する硫黃の輸出稅撤廢を建議した

◇日支共同の鹽業所煤鐵公司設立
大倉組は本淡湖煤鐵公司を擴張して製鐵所を經營する計劃で支那政府と交渉の結果、資本金二百萬圓を四百萬圓に增資して日支等分に出資し、社名を煤鐵公司と改めることに決定した

十　日（火）

◇鳥島農工銀行時地整理組合に對し强制執行
鳥島農工銀行は耕地整理資金を伴付けた耕地整理組合中、償還を怠る六十五組合に對して强制執行することに決定した

◇支那武昌に大騷亂勃發
湖北省武昌の革命黨員三百余名は本日總督府を襲ひ、各所に放火市內混亂に陷り、同所駐在歩兵もこれに合流し漢廣第八師團長張彪は十一日革命黨の重圍を逃れ漢口に避難した。原因は總督瑞澂が革命黨員を斬殺したのを憤り瑞澂を殺害せんとしたもので、城內は反軍のため占領され、武昌在住日本人は全部漢口に引き揚げた、これが導火線となり各地に革命的蜂起が起つた

◇日支國境の競鹽決定
朝鮮京義、滿洲安奉兩線直通後の國境稅鹽に關しては支那側安東縣稅鹽で檢査することとなり十一月よりこれを實施に決定した

十二日（木）

◇岩手輕便鐵道會社創立
岩手輕便鐵道會社（資本金百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽社長勝貞▽取締役中野恭藏（專務）清岡等、小野敬藏、瀨川彌右衛門、椎津東四郎神野伊太郎、萩野鶴人、佐々木勇吉▽監査役平井六右衛門、及川菊次郎、高橋金次郎

◇漢口の支那政府紙幣發行取付
武昌の反徒が新紙幣を發行したるため支那紙幣は價値を失ひ、此の影響を受けて漢口の政府銀行は取付けに遭つた

十三日（金）

◇大藏省證券二千萬圓發行

◇尾崎市長、瓦斯會社合併案不承認
東京瓦斯、千代田瓦斯兩社から提出した合併承認契約案は第一案、第二案とも尾崎東京市長に拒絕された、その理由は市民の利益增進上責任を以て市參事會に諮問することは不可能であるといふにある、なほ合併承認契約案の要點は左の如し
一、特許年限は四十年とすること
二、特許年限中は市自ら瓦斯事業を經營せず新會社には同一の權利を與へざること
三、市は何時にても鐵道國有法の計算を以

て會社を買收し得ること
四、報償金率は純益金の百分の五として、なほ一割以上の配當をなしたる時は、その剩餘金の四分の一を市に納附すること且つ報償金の最低は十萬圓を下らざることゝす
五、料金は一圓七十一錢とす但し明治四十六年七月一日より實行のこと但し製造費の增加によつて更に協定の上料金を變更し得ること

◇革命軍北京討伐全權に任命
北京政府は袁世凱を湖廣總督に任じ、革命軍討伐の全權を委ねた、官軍總指揮官陸軍大臣廕昌、艦隊總指揮官陸軍大臣載灃も袁と合議するため任命された

◇革命軍黎元洪を總司令に推す
革命軍は黎元洪を總司令官に推し歩兵四ケ聯隊の中約半數の砲、騎、工及び輜官全部と共に加はり大砲七十門、小銃一萬五千挺榴散彈五六萬を携して進擊、銀貨百五十萬兩をその手に軟め紙幣を發行した

◇革命軍湖北、湖南兩省の政權を要求す
革命軍は北京政府に湖北、湖南兩省の政權引渡しを要求した

十四日（土）

◇支那革命黨獨立宣言書發表
革命軍は首領黎元洪の名に依つて獨立宣言書を發表した、大要左の如し
多年滿人のため雌伏を余儀なくされたが四川の占領に依つて吾等は立國の確信を得たこれから滿人討伐にあたるが良民や外人には一切危害を加へない諸外國と清朝との間で締結した既存條件は勿論目下進行中のもの又外人間の規約借款等は尊重履行する

十五日（日）

◇革命騷亂のため北京財界大恐慌
革命軍の流說と相俟つて北京財界は極度の恐慌を來し、市民は支那紙幣を使用せず、銀行に押寄せ銀行は支拂を停止した

十六日（月）

◇上海の支那銀行取付
中支援鄂のため人心動搖し、上海の各支那銀行は俄かに取付に遭ひ、銀行手形は通用せず、外國銀行も多少の取付があつた

十七日（火）

◇北京政府・銀行團臨時救濟金支出
北京政府度支部は市民救濟のため百萬兩を支出、內二十萬兩を眞成銀行に、八十萬兩を一般銀行と錢莊の救濟に宛てた

十八日（水）

◇日本亞鉛鑛業株式會社創立
藤田傳三郎は鹽見政夫の經營に係る兵庫縣尼ケ崎の亞鉛精錬所を買收して資本金百萬圓（內四分の一拂込）の日本亞鉛鑛業株式會社と改め、創立總會を開いて、左の役員を決定した
▽取締役桂與一（會長）鹽見政夫（專務）橋本千之助、木村陽二▽監査役渡邊藤吉

◇支那兩軍漢口に於て衝突
官軍と革命軍とは漢口に於て初めて戰鬪を交へた

十九日（木）

◇三國粉會社の生產制限協定
日本製粉の境愛吉、日清製粉の正田貞一郎東亞製粉の諸井四郎の三名は會合の結果無益な競爭を避け、一致して斯業の發展を圖ること、十二月一日以後六ケ月間各社共製造を半減することを協定した

◇都銀行臨時休業
東京日本橋區小網町の都銀行は本日から十一月八日まで臨時休業を發表、同行は明治三十三年八月の創立（資本金百萬圓、拂込二十

五萬九千圓）安田を銀行として來たもので休業の原因は取引先の瓦斯工業會社が破産なしに預金五千圓を引き出したためで預金總額約六萬圓である

二十日（金）

◇明治製革會社の創立

明治製革株式會社は、資本金百萬圓を以て創立された

二十一日（土）

◇千住、別府間輕便鐵道認可

鐵道院は千住より川口に至る延長六哩四十鎖の千住縣便電氣鐵道（資本金五十萬圓）及び加古川から別府迄延長三哩廿六鎖の別府輕便鐵道敷設を認可した

◇朝鮮三南線の一部開通

朝鮮三南線大田、進山間の鐵道開通す

二十五日（水）

◇大藏省證券二千萬圓發行

◇山陰東線開通

鳴知山、和田山間並に城崎と香住間の山陰東線は本日より開通した

二十八日（土）

◇臺灣銀行海軍總監に任命

北京政府は黃世凱を欽差征討大臣に任じ事實上陸海軍の總指揮權を與へた

三十日（月）

◇猪苗代水力電氣會社創立

猪苗代水力電氣株式會社（資本金貳千百萬圓）は本日創立總會を開き、左の役員を選定した

▽取締役會長石貫（社長）白石直治（專務）豐川良平、近藤廉平、莊清次郎、松方正作、原六郎、若尾民造、濱口吉右衛門▽監査役朝田又七、町田忠治、各務幸一郎

◇臺灣銀行總裁の命降る

支那朝廷は資政院及び軍隊の上奏を容れて黃世凱に內閣組織を命じた

【十一月】

一日（水）

◇北海道移民取扱開始

北海道廳は左の一府九縣の北海道移住民の移住便宜を圖るため鳴島市榮町に道廳移民事務取扱所を新設し事務を開始した

鳴島、群馬、茨城、栃木、埼玉、新潟、長野、山梨、東京

◇大藏省內外貨幣比較表決定

大藏省は十二月一日から同三十一日まで稅關に於て外國貨幣の換算に適用する內外貨幣の比較表を左の如く決定した

外國貨幣

	日本金貨
上海一兩	一圓・一八五
清國兩 天津一兩	一・二四〇
漢口一兩	一・二一四
墨西哥銀一ドル	・九一五
英吉利弗銀一ドル	・八九四
香港弗銀一ドル	・八九四
遮羅貨一チカル	・七四六

◇日本電燈株式會社創立

同社（資本金一千二百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した。事業は桂川電力株式會社から電力を購入し、東京市內に電燈並に電力供給、電氣諸機械の販賣等である

▽取締役中澤彦吉（社長）▽常務取締役安藤榮吉、鳴島甲子二、小倉鎭之助▽取締役安田善三郎、小野金六、川原茂輔、樺內幸雄▽監査役雨宮亘、淺野總一郎、長井利右衛門

◇軍閥物證と支那內閣更迭

支那革命軍は漢口に於て官軍と戰鬪を交へ安慶にも反亂物發したゝめ皇族內閣は總辭職を決行し、本日黃世凱內閣組織され、左の如く任命された

總理大臣黃世凱、副總院總裁度祖王、副總院顧問大臣那桐、徐世昌、榮慶、軍諮大臣榮任陸軍大臣廕昌

三日（金）

◇久喜騷行の取付

埼玉縣南埼玉郡久喜町の同行（明治三十一年創立、資本金十萬圓）は頭取横本善兵衛、專務取締役宮內倉助が辭任したので取付を受けた

◇支那革命軍上海を占領

支那の革命軍は上海南機器局の護衛兵が革命軍に投じたので支那街、吳淞砲臺を手中に收め、上海附近の軍隊も全部革命軍に參加し上海を占領した

◇米國鑛業視察團長鑛業會員ハント以下八十名の一行は、三週間の日程を以て日本の鑛業狀況その他を視察する目的で本日橫濱入港のマンチュリヤ號で來朝した

四日（土）

◇紡績聯合會操業短縮增率問題に關し大阪ホテルに委員會を開會、各社の骨業狀態が異り、支那時局の進展も豫測を許さぬため增率問題を否決し、二割七分五厘の短縮を續行することに決定、左の決議をした

一、今回の事件に對しては各社の都合に依り短縮を行ふことの外本會の決議を以て現行以上に短縮を慎さゞること

二、輸出絲絲同盟會の希望に依り停滯せる絲絲に對する資金の融通を政府及び特殊銀行に申請すること

◇星製藥株式會社の創立

明治四十年星一が資本金四百圓で設立した星製藥所は、本日資本金五十萬圓の株式組織に變更、星製藥株式會社と改稱した

◇漢口市軍隊火の被害

支那革命軍の砲火のため漢口市の支那街は約三分の一全燒し、日清汽船會社所有の財產も全部燒失した

六日（月）

◇正金銀行漢口支店取引中止

支那動亂のため僅かに取引を繼續してゐた同支店は、革命軍の漢口占領により一切の取引を中止した

◇露支國境に關する露國の提議

露國政府は支那政府に對し露支國境問題に關連し、滿洲里は露領であるとの主張を提議した

七日（火）

◇參宮線複線一部開通

鐵道院の參宮線松坂、德和間（一哩八分）の第二線工事竣工し、本日から複線の運轉を開始した

◇東東市區會議員瓦斯合併反對陳情

東京瓦斯會社と千代田瓦斯會社との合併成立後は瓦斯事業は獨占的となり料金の値上を招き東京市民の不利益を來すとの理由から合併反對を唱へ、市內十三區の市區會議員によつて組織された合併反對派の委員は本日東京市役所に尾崎市長を訪問し代表中島行孝から市民と會社とが利害共通の主張を根本とする條件なれば東京市との報償契約の締結を承認するが、市民の利益を無視する條件の下に締結されることは絕對に反對であると陳情した

◇支那山西巡撫吳祿貞暗殺

支那山西巡撫吳祿貞は山西軍の要求を容れ革命軍に意を通じたゝめ滿洲軍の怒りを買ひ暗殺された、宜撫大臣張紹宣も吳と同樣漢人のため滿洲人の部下の反感を買ひ宜撫大臣を辭任した

十一日（土）

◇築地活版所職工暴動の檢擧

東京京橋の築地活版所職工同本熊吉、金子留吉外五名は、進判狀をつくり增給運動を決行し同社全部の職工を加盟させるため各職工の歸途を襲し本日亀井橋際に集合協議中を築地署の警官隊のため解散を命ぜられ、首謀者同本熊吉外六名は治安警察法違反として檢擧された

十二日（月）

◇武漢の革命軍中央政府樹立

支那武漢革命軍の軍政府は中央政府を樹立し、黎元洪を大統領に公舉した旨本日各國領事に通牒した

十五日（水）

◇瓦斯會社合併問題と尾崎市長の聲明

東京瓦斯と千代田瓦斯の合併問題に關し賛否の兩論が市民間に唱へられたので、尾崎東京市長は意見書を公表し、合併は左の理由で市民に有利であると辯明した

第一、損益均分法により會社の利益配當案を九分とする

第二、料金を低下する

第三、特許年限を短縮する

第四、中間買收の權利を獲得する

第五、公納金の增加

◇日本陶器會社創立

同社は資本金二十五萬圓を以て京都市に創立、日本陶磁器繪具製造所の營業權を一萬五千圓で讓受け陶磁器の製造販賣をする、重役は左の如く選任した

取締役社長渡邊朔▽常務取締役金岩虎吉、野坂晉吉▽取締役星野錫、奥村安太郎▽監査役奥榮三郎、伊藤幹一

◇朝鮮の農民小作料低減運動

京城府東大門外往十里の村民數百名は國有地小作料の低減を主張し、小作料の分合について說明した京城府稅務署員を毆打不穩の擧に出でたゝめ警官隊出張首謀者數名を逮捕したが村民は總代二十名を選び府廳に押寄せ小作料の低減を陳情し逮捕者の釋放を歎願した

◇支那軍令部中央銀行設立

支那革命軍は軍政府の手で總資本金メキシコ銀五百萬弗の中華銀行を南京に設立し、一株十弗として公募に着手した

◇支那各地の革命運動

支那各地に革命の動亂勃發し絲絮取引の減退と職工中革命軍の募集に應じて參加する者多く、全國二十九の紡織會社（錘數七十六萬三千四百八十四錘）中全運轉を爲すもの皆無となり二十九社中過半數は全然休業を爲すに至つた

十六日（木）

◇東洋汽船會社總會決議無効事件の判決

東京市日本橋區鯛殼町二丁目宮內省用達業小久保榮次郎は東洋汽船會社に對し、船價償却を怠り損失を船價に計上し、損失の補塡を爲さず利益配當を爲したのは不當であると、株主總會決議無効確認の兩來訴訟を提起したが、本日東京地方裁判所に於て株主に訴權を許した法文はないとの理由で「原告（小久保）の訴訟はこれを却下す」との判決を言渡し、東洋汽船會社の勝訴となつた

十八日（土）

◇大藏省證券の利上

二十日償還期に相當する大藏省證券二千三百四十萬圓（日歩一錢二厘五毛の分）の內三百四十萬圓を償還し、殘り二千萬圓は一般會計の分に一千百萬圓、鐵道會計の分に九百萬圓を割當て利率は一厘五毛を引上げ日歩一錢四厘（現行の最高率に比し一厘上げ）とし明治四十五年二月十日の期限で借替發行すると

とに決定した

◇臺灣製糖會社、恰記製糖を合併

臺灣製糖會社（資本金二千四百萬圓）は臨時株主總會を開き、臺灣の恰記製糖會社（資本金百五十萬圓）を合併し、資本金を二千五百五十萬圓（株式五十一萬株）に增資する件を可決した

二十日（月）

◇大藏省證券二千萬圓發行

二十三日（木）

◇支那動亂と各國增兵決議

支那動亂のため北京に於ける外交團は本日各國駐屯兵の增加を決議したので、日本は北支駐屯軍五百名を千二百餘名に增兵し、增加派遣隊は第三師團から編成し二十八日名古屋出發と決定した

二十四日（金）

◇東邦火災保險會社創立

同保險會社（資本金百萬圓、株式二萬株、拂込四分の一）は創立總會を開き役員を左の如く選任した

▽取締役社長若宮正音▽取締役馬越恭平、田健治郎▽監査役宅徳平、日下義雄、栗津清亮

◇大日本共同運送會社の設立

横濱市の同社は社業改革のため資本金五十萬圓を二十萬圓に減資し、減資の方法は五十萬圓の內未拂込七萬圓、營業權利買收費九萬圓、所有船價十萬圓を全部切捨て、現在の四十三圓拂込一萬株を全額拂込濟四千株とすることに臨時株主總會で決定した

二十六日（日）

◇日本上下水道會社創立

東京下水道會社（平賀賢次郎個人經營）は資本金百萬圓の株式會社に組織變更と同時に日本上下水道會社として創立、全國公私の上下水道工事を請負ふことに決定した

◇國幹の葬儀軍隊警官隊

大阪、神戸在留の支那商人六百餘名は神戸市中山手通の中華會館に參集し、革命黨の樹立する新政府を承認することに決定した

◇侯爵小村壽太郎死去

本日午前四時三十分葉山別莊で死去、享年五十七、侯は飫肥藩に生れ明治八年アメリカに留學、同二十六年清國公使館書記官、同二十七年外務省政務局長、同三十四年外務大臣同三十八年米國ポーツマスの日露講和條約に全權大使として功勞あり伯爵となり、同四十年再び外務大臣となり、日韓合併の功勞によつて侯爵を授けられた

二十七日（月）

◇瓦斯合併反對者、尾崎市長を毆打

東京、千代田兩瓦斯會社の合併に反對した實行委員火曜會員村山定憲外二十餘名は東京市長室に尾崎行雄を訪問し、村山は行政上の手心を以て獨占の弊害を認め得るかと迫窮し市長の左顴上部に鐵拳を加へて負傷させ、委員一同は日比谷署と警視廳から急派された警官隊の出動前にいづれも引揚げた

◇湖北省漢陽の軍隊警官隊

支那湖北、湖南の革命軍は漢陽に於て官軍の攻擊を受けて敗退、總指揮官黃興は身を以て逃れ、漢陽は官軍の手に歸した、官軍の指揮には第一軍司令官馮國璋が出動、兩軍の死傷二千名

◇不動產銀行の創立

大日本勸業株式會社は本日臨時總會を開き資本金一千萬圓を五百萬圓に半減し、不動產銀行と改稱して創立することに決定し左の役員を選任した

▽頭取加藤增雄▽常務取締役德光好文、野烟曉▽取締役山城鉦一、田川柳助▽常任理

事請願群之助△監査役栗塚省吾

二十八日（火）

◇東京市參事會瓦斯關係眞價認可決

東京市參事會は東京、千代田兩瓦斯會社の合併に對する市との報償契約案を附議し原案中第七條の「市の造營物に供給する瓦斯料金は一般者に對する料金よりも更に二割減たるべきこと」と修正し、墨書中に「第十二條の瓦斯は拂込をも含むこと」の條項を加へ原案を可決した、主なる條項左の如し

第三條　市は一般の市稅を除く外第一條（市は埋管その他の裝置を爲すことを承諾す）の使用に關し何等の料金若くは市稅を賦課徵收せず

第四條　市は本契約期間内は自ら瓦斯事業を經營せず又新たに生ずる瓦斯供給營業者に對して第一條の承諾を與へず但し會社が鋼占權を濫用し不法に市の公益を害したる場合はこの限りにあらず

第五條　會社の供給する瓦斯料金は一千立方呎に付當分金一圓八十錢とし明治四十六年七月一日以降は金一圓七十一錢とす

第八條　會社は毎期決算に於ける總益金より總損金を差引きたる殘額の百分の六に相當する金額を市に納付するものとす

◇大倉商事株式會社の創立

合名會社大倉組の事業中から商事部々門を分離して大倉商事株式會社（資本金一千萬圓）を創立した

二十九日（水）

◇官營の沖繩製糖工場拂下

農商務省は民間の糖業が發達の機運に向ひ官營の必要が無くなつたので、糖業改良事務局附屬沖繩製糖工場（沖繩縣中郡）を隨意契約を以て沖繩製糖株式會社に拂下げ、工場附屬農場を沖繩、鹿兒島兩縣に無償交附する旨官報の勅令を以て公布した

三十日（木）

◇東京株式取引所理事長決定

東京株式取引所理事長は缺員中のところ男爵郷誠之助が就任に決定した

【十二月】

一日（金）

◇瓦斯會社合併契約案市會を通過

東京、千代田兩瓦斯會社合併契約案は本日の東京市會に附議可決された

◇瓦斯會社合併反對市民大會

東京、千代田兩瓦斯會社合併反對各區聯合市區會議員その他有志の發起による東京市民大會は神田錦輝館に開催、村松恒一郎、笠原文太郎、藤原惟郭、稻茂登三郎、高木益太郎山口憲等の演說があり、左の決議をした

東京市當局は千代田東京兩瓦斯會社合併に關し所謂實業家の假面を被り私腹を肥さんとする徒輩の强要する所となり或は權勢の爲め或は利慾の爲めに同體の市會議員と相連結し本日の市會に於て獨占權の難斷を認定するの提案を可決せんとす之れ市の公益を蔑り市民を侮辱し更に市の自治權を蹂躪する橫暴の擧措なりと謂はざるを得ず吾人東京市民は極力之に反對し左の方法に依り議案の通過を阻止するに努めんとす

一、實行委員若干名を擧げる事

二、市民は各自選出市會議員中市長の提案に贊成する者に對し協力して之が反省を促し之に應ぜざる時は辭職勸告を爲す事

二一日（土）

◇石川合資が明治貿易と改稱增資

石川合資會社（資本金十萬圓）は明治貿易合資會社と改稱し資本金を倍加して二十萬圓となし松原重榮が無限責任の代表社員となつた

◇支那革命軍南京を占領

革命軍は本日遂に南京を占領した

五日（火）

◇全國鐵道網の設立狀況

輕便鐵道法實施以來同鐵道の設立は全國に亘り一種の流行となり本年十二月五日迄の出願會社百九十一、資本總額一億六千四百四萬三千二十五圓、延長三千四十一哩二十碩の巨額に達したが、その内許可濟となつたものは會社百十九、資本總額八千六百五十九萬六千百二十五圓、延長千八百十五哩二十一碩である。なほ軌道幅員は二呎、二呎六吋、三呎六吋、四呎六吋、四呎八吋半等の數種に分れてゐる

六日（水）

◇臺灣糖業聯合會の紛擾解決

同聯合會は農に内地直接消費糖移入額を百三十五萬俵と限定した際東洋製糖、新高製糖の兩會社は異議を申立て一時聯合會解散說を生じたが、本日の會議にて本年の產糖總額を二百十五萬俵と見積りその内原料糖百五十萬俵は既に一旦限定したので變更しないことゝし殘額三十萬俵は義務輸出をなすこと、その方法は三十萬俵が直接消費糖百三十五萬俵の九分の二に相當するを以て各社とも假に九俵の直接消費糖を供給するとせば之に伴うて二俵の輸出をなす義務を負ふものとした、即ち各社生產高の多少に拘らず直接消費糖供給率九割に對し輸出率二割と定めたが、若し產額三百十萬俵の豫定以上に達した時はその餘分は各社の自由處分に任かせた

◇支那攝政の退任

革命軍の南京占領と共に清延皇太后は唐紹怡の建策を容れ、本日攝政王醇親王の辭職を許し、徐世昌と世續とに皇帝の輔弼を命じた醇親王は先帝光緒皇帝の弟、現帝の父君

九日（土）

◇支那兩軍休戰條約を締結

英國漢口領事の保證の下に漢口に於て黎元洪と馮國璋との間に休戰條約が締結された、條項左の如し

一、休戰期間は十二月七日午前八時より同二十四日午前八時に至る十五日間とす、此期間内に於ては電報不通なる四川、陝西、山西を除くの外兩軍共に一切の軍事行動を取らざること

二、唐紹怡は總理大臣を代表し、黎元洪は革命軍を代表す

三、第一條より除外せられたる三省に於ては官革共に軍器又は兵器を增補せざること、又土匪は革命軍中に含まず、掠奪虐殺暴亂の討伐は此の休戰條約より何等の影響を受くることなし

十一日（水）

◇大藏當豐券二千萬圓發行

十三日（水）

◇東京紡績會社長・田村利七死去

胃病にて本日死去、享年六十四。明治五年三井銀行に入り十八年同行の改革に際して横濱支店長の職を辭し、二十年大津、長谷川等と共に東京紡績會社を創立し、爾來同社の社長として盡力し、當初資本金二十五萬圓の小會社だつたが、四百八十萬圓の大會社に發展させた

十六日（土）

◇三井鑛山株式會社創立

三井合名會社鑛山部は合名會社から獨立して資本金二千萬圓の三井鑛山株式會社を組織し、鑛山業及コークス製造の業務を營むこととなり、本日創立總會を開き、取締役に三井三郎助（社長）山田直矢（常務）岡本貫一（常務）三井元之助、關琢磨、飯田義一、監査役

に三井譜右衛門、波多野承五郎を選任した

十八日（月）

◇支那革命軍の媾和條件

休戦以來官革兩軍の間に和平交渉中のところ、本日革命軍側黎元洪から唐紹怡に對し左の和平條件を交付した

一、現朝廷を廢止すること

二、皇帝及び皇室には相當の尊榮を與へること

三、共和政體を以て各省の統一を圖ること

四、滿洲人に相當の保護を與へること

十九日（火）

◇日清紡績罷業團兩田正次郎死去

關從卓にて死去、享年六十一。日清紡績發起人の一人にして會社創立後は取締役として同社のために力を盡し、佐久間專務の死後專務代理となり日比谷社長を助けた、本業が木綿問屋で綿糸紡績に願る精通してゐた

二十日（水）

◇日墨新通商居住條約發表

本年六月二十一日瑞西ベルンに於て彼我全權委員間に調印せられた新條約は、本日東京に於て我外務大臣と瑞西公使サクスとの間に批准書の交換を終り二十一日實施された

◇大隈首相第二千萬圓發行

◇支那革命に對する列國の態度

日、英、米、佛、獨、露が上海の政府軍及び革命軍の媾和委員に對し共同通牒を交附した内容は左の如し

在北京日本（各國それ〴〵の名を記す）公使館は本國政府の訓令を受け平和恢復條件談判委員に對し左の如き非公式照會を爲すものなり

日本政府は清國に於ける現下の爭鬪の繼續するは實に清國のみならず利益安寧をして多大の危險に瀕せしむるものなりと思惟す日本政府に是れまで通り絶對中立の態度を堅持すると同時に成る可く遠かに現下の爭鬪を終熄せしむ可き妥協を成立せしむるの必要を兩媾和委員に指摘するを以て其職務なりと信ず蓋し右の見解は兩者の希望と合致するを信ずればなり

二十一日（木）

◇日本石材株式會社創立

同社（資本金五十萬圓四分の一拂込）は本日創立總會を開き左の役員を選任した

▽社長横山一平▽專務取締役松本勝太郎▽取締役入江豐之助、西垣正吉、鶴島宣三、

港地久造、森岡清▽監査役中村利亮、宇野哲夫

二十二日（金）

◇第二十八議會召集詔書公布

二十五日（月）

◇帝國政府滿口方面へ出兵

支那動亂以後日、英、米、獨、佛、露の各國政府は居留民保護のため海軍兵を以て陸戰隊を組織し漢口方面の警戒に當つたが、更に事態の發展と共に列國は陸兵を兩方面に派遣したので、帝國政府も陸軍を出兵せしめることに決し、二十二日勅裁を經た上陸相は直ちに出動命令を發した、出動兵は歩兵第三十七聯隊長尾野實信大佐指揮の下に第十八師團歩兵第四十八聯隊（久留米）より歩兵二箇中隊、歩兵第五十五聯隊（佐賀）より機關銃隊一隊を編成し、同部隊は本日宮戸地出發、漢口方面に向つた

二十七日（水）

◇日本勧業銀行總裁任命

同行總裁は山本達雄が藏相就任のため空位となつてゐたが副總裁志村源太郎が昇任した

二十八日（木）

◇支那國民會議開催に決す

貴族院内閣々員一同は、二十七日以來會合の結果、國民會議に依り、國民の輿論を解決するの外に方法なきを認め、本日御前會議に於いて、國民會議を開くこと、これに依つて國體を決し君主立憲を主義とせざること、内閣は直ちに選擧法を制定し、國民會議の開設をなすこと、唐紹怡は伍廷芳と協議の上速かに停戦をなし、敵對行爲なきことを圖ることを決した

◇日清火災海上保險會社創立

日清火災海上保險會社は創立總會を開き設立を確定した

◇露國南京政府大總統に當選

南京に於て十七省代表者は假大統領を選擧するため集合したが、孫逸仙は、一省一票の投票により十六票の得票を得て大統領に選出せられた。尚ほ黄興はこの決戦投票において僅かに一票を得たのみで敗れた

二十九日（金）

◇支那兩軍の媾和會議開催

北京政府及び革命軍側双方の代表者は十九日以來上海に於て媾和會議を開いたが、本日までの同會議の成果は左の如し

一、現在兩全權代表は情勢を解決し、以て大局を安んずるを圖り特に條款を締訂すること左の如し

一、國民會議を開き國體問題を解決し多數に從ひ決を採り決定の後兩方等しく須く從ふ可し

三、國民議會未だ國體を解決せざる以前には既に借訂を經たる洋款（外國公債）を取出すを得ず、又再び新に洋款を借るを得ず

四、十二月三十一日（洋曆）午前八時より計算して五日以内に山西、陝西、湖北、安徽、江蘇等にある所の清兵を現駐地百里以内に一律退出し只巡警を止め地方を保衛す可し。民軍は進み佔するを得ず以て衝突を免れしむ。五日の内兵を止むるの條款を商妥するの後を待ちて締する新條款に案じ照らし辯理す可し。山東、河南等の所、民軍既に占領を經たる後清軍來り攻むるを得ず、民軍亦進んで他所を取るを得ず

二十一日（日）

◇東京市電從業員罷業

東京市電氣局車掌及び運轉手等が期待した元東京鐵道會社解散手當金は二十八日から三十日に亘り電氣局の手を經て夫々分配された處、その配當額は豫想されてゐたよりも遙かに少額だつたので不平の聲高まり大晦日に至り遂に同盟罷業を起した、罷業の本據は三田車庫で同日早朝同車庫のスキッチが切斷され三田系全部の大停電となつたので從業員は興の聲を擧げて詰所に集合し事態漸く險惡となり青山、新宿の各出張所もまた電車の運轉を中止し元旦午前の内運轉したものは僅かに數臺に過ぎなかつた、井上運轉課長及田川東京市助役の調停の結果舊東鐵重役安東、井上、河田の三名及び精算委員長利光鶴松の受けた配當金計十九萬六千圓を從業員に提供分配することゝして一月五日全く落着した

◇朝映美二財界を引退す

三井家の元老として財界に重きをなせる同氏は、後進に途を讓るため一切の公職を辭し財界を引退した

◇企業銀行、物價騰貴、正貨流出す

本年の企業は、昂進頗る純潔にして、物價の騰貴著しく、金融は漸く引締りを呈した。貿易は前年來逆調に轉じて、正貨の流出が著しかつた

明治四十四年統計

日本銀行兌換券發行高

	兌換券發行高 千圓	正貨準備 千圓	保證準備 千圓	制限外 千圓
一月	三三二、〇三一	二二七、三三九	一三四、六三三	三四、六三三
二月	三三二、六二三	二二七、八二〇	二二四、三三三	—
三月	三三三、四六三	二二六、四三三	二二六、〇一〇	九、〇一〇
四月	三三三、二三六	二二六、九三三	一〇六、三〇〇	—
五月	三三二、八三一	二二七、一三一	二二四、九九八	—
六月	三三八、一三六	二二七、三三四	一二〇、六〇六	一〇、六〇九
七月	三三三、四〇一	二二六、三二一	九、三六一	
八月	三三二、三三一	二二三、四〇八	一三七、六三三	一四、六三三
九月	三三一、〇三二	二二三、三三八	一三六、四八三	一八、四八三
十月	三六、六六六	二二二、二四九	一三〇、二八四	三〇、二八四
十一月	三三、九八八	二二七、一三一	一四二、六三六	二三、六三六
十二月	四三三、三三九	二二九、一三三	二〇四、二三四	八四、二三四

東京組合銀行金利表

手形貸付金

	最高 錢	最低 錢	平均 錢	最高 錢	最低 錢	平均 錢
	手形貸付金			割引		
一月	三·三〇	一·四五	一·八一	二·六〇	一·〇〇	一·三三
前年同月	三·三〇	一·八〇	二·〇四	三·〇〇	一·八六	一·六六
二月	三·三〇	一·〇〇	一·八〇	二·六〇	一·〇〇	一·三三
前年同月	三·三〇	一·二五	二·〇四	三·〇〇	一·〇〇	一·六五
三月	三·三〇	一·〇五	一·九一	二·六〇	一·〇〇	一·三三
前年同月	三·三〇	一·二〇	二·〇四	三·〇〇	一·八〇	一·四四
四月	三·三〇	〇·九五	一·九一	二·六〇	一·〇〇	一·三三
前年同月	三·三〇	〇·八五	二·〇一	三·〇〇	一·一〇	一·六四
五月	三·三〇	〇·八〇	一·九一	二·六〇	一·〇〇	一·三三
前年同月	三·三〇	一·二〇	二·〇三	三·三〇	一·一〇	一·六四
六月	三·三〇	〇·八〇	一·九〇	二·六〇	一·〇〇	一·三三
前年同月	三·三〇	〇·八〇	一·九九	三·〇〇	一·〇〇	一·六一
七月	三·三〇	一·一〇	一·九〇	二·六〇	一·一〇	一·三六
前年同月	三·三〇	一·二五	一·九一	二·六〇	一·〇〇	一·三五
八月	三·三〇	一·二五	一·九一	二·六〇	一·〇〇	一·六〇
前年同月	三·三〇	一·二五	一·九八	二·六〇	一·〇〇	一·三二
九月	三·三〇	一·二五	一·九四	二·六〇	一·一〇	一·六五
前年同月	三·三〇	一·〇五	一·九一	二·六〇	一·九九	一·四九
十月	三·三〇	一·二五	一·九五	三·一〇	一·一〇	一·七一
前年同月	三·三〇	一·〇五	一·九五	二·六〇	一·九五	一·三〇
十一月	三·三〇	一·三〇	二·〇〇	三·一〇	一·九八	
前年同月	三·三〇	一·〇〇	一·九四	二·六〇	〇·九五	一·三一
十二月	三·三〇	一·三〇	二·〇〇	三·一〇	一·九八	
前年同月	三·三〇	一·〇五	二·〇三	三·一〇	一·八八	
十二月	三·三〇	一·三五	二·〇四	三·一〇	一·八八	
前年同月	三·三〇	一·〇五	二·六〇	一·〇〇	一·四四	

東京交換所手形交換高

	枚	圓
一月	二六二、六三三	二三二、三三三、九四八
二月	二六七、八〇四	二三二、八三一、三六三

三月	三〇、八九二	三二三、九六〇、三六三	
四月	三〇〇、八〇〇	三〇〇、〇一九、一一八	
五月	三三二、八〇四	三三二、四四九、三三一	
六月	三三、三三〇	三三、三三八、一三八	
七月	三二八、三一〇	三三〇、六三三、三三一	
八月	二八八、三四一	二〇三、三六六、六三一	
九月	三〇四、六三三	二〇四、八二〇	
十月	三二七、六〇四	二八九、六四八、四四四	
十一月	三三二、六〇〇	三〇六、三六四、三三三	
十二月	三、八一九、〇一六	三、六〇八、六三九、三三二	

外國爲替相場

一月	上旬	最高	最低	最高
	中旬	最低	最高	最低
	下旬			
倫敦宛	二、〇七/一六 志片	—	—	—
紐育宛	四九/三/8 弗	—	—	—
上海宛	八一/4 兩	八〇/8	八三/2	八〇/8
二月				
倫敦宛	二、〇七/一六 志片	—	—	—
紐育宛	四九/2 弗	—	—	—
上海宛	八一/4 兩	八〇/8	八三/2	八〇/8
三月				
倫敦宛	二、〇七/一六 志片	—	—	—
紐育宛	四九/2 弗	—	—	—
上海宛	八一/4 兩	八〇/8	八三/2	八〇/8
四月				
倫敦宛	二、〇七/一六 志片	—	—	—
紐育宛	四九/2 弗	—	—	—
上海宛	八一/4 兩	八〇/8	八三/2	八〇/8
五月				
倫敦宛	二、〇七/一六 志片	—	—	—
紐育宛	四九/2 弗	—	—	—
上海宛	八一/4 兩	八〇/8	八三/2	八〇/8
六月				
倫敦宛	二、〇七/一六 志片	—	—	—
紐育宛	四九/2 弗	—	—	—
上海宛	八一/4 兩	八〇/8	八三/2	八〇/8
七月				
倫敦宛	二、〇七/一六 志片	—	—	—
紐育宛	四九/2 弗	—	—	—
上海宛	八一/4 兩	八〇/8	八三/2	八〇/8
八月				
倫敦宛	二、〇七/一六 志片	—	—	—
紐育宛	四九/2 弗	—	—	—
上海宛	八一/4 兩	八〇/8	八三/2	八〇/8
九月				
倫敦宛	二、〇七/一六 志片	—	—	—
紐育宛	四九/2 弗	—	—	—
上海宛	八一/4 兩	八〇/8	八三/2	八〇/8
十月				
倫敦宛	二、〇七/一六 志片	—	—	—
紐育宛	四九/2 弗	—	—	—

上海宛	八〇7/8	八〇3/4	八〇7/8	八〇1/4	八〇1/8
十一月					
倫敦宛	二〇1/2	二〇7/16	—	—	—
紐育宛	四九1/2	—	—	—	—
上海宛	八二1/2	八二1/2	八二1/2	八二3/4	八二1/2
十二月					
倫敦宛	二〇1/2	—	—	—	—
紐育宛	四九1/2	—	—	—	—
上海宛	八二	八二1/8	八二	八二5/8	八二

銀塊相場

	倫敦 最高	倫敦 最低	紐育 最高	紐育 最低
	片仙	片仙	仙	仙
一月	二五1/4	二四7/16	五五	五二7/8
二月	二四1/4	二三11/16	五三	五一3/8
三月	二四7/16	二四1/4	五三1/8	五二5/8
四月	二四15/16	二四1/4	五四1/8	五二5/8
五月	二四9/16	二四1/2	五三1/2	五三1/8
六月	二四1/2	二四5/16	五三1/4	五二7/8
七月	二四7/16	二三15/16	五三	五一7/8
八月	二四3/8	二四	五二3/8	五二
九月	二四1/2	二四1/8	五二3/4	五二1/4
十月	二五3/16	二四1/16	五四5/8	五二1/8
十一月	二六1/8	二五	五六1/2	五四1/4
十二月	二五9/16	二五1/16	五五5/8	五四1/4

外國貿易月表

一月 輸出	三一、〇三八、九八六	圓
輸入	四五、五〇四、七二八	
輸入超過	一四、四六五、七四八	
二月 輸出	五四七、八九五	
輸入	一、六六六、〇七八	
輸入超過	一、一一八、一八三	
三月 輸出	三五、三六六、四七二	
輸入	五二、九二六、一七一	
輸入超過	一七、五五九、六九九	
四月 輸出	三四、二一三、七三九	
輸入	四四、八三六、四五三	
輸入超過	一〇、六二二、七一二	
五月 輸出	三七、八七七、五〇四	
輸入	五七、一七四、五八九	
輸入超過	一九、二九七、〇八五	
六月 輸出	三三、七八〇、〇三四	
輸入	六二、二二九、八七八	
輸入超過	二八、四四九、八三九	
七月 輸出	三八、七五七、二七二	
輸入	五九、七五八、二二三	
輸入超過	二一、〇〇〇、九五一	
八月 輸出	四二、八三〇、四六五	
輸入	三〇、〇二九、九〇七	
輸出超過	一二、八〇〇、五五八	
九月 輸出	四二、〇三三、五〇三	
輸入	二四、四六一、七〇七	
輸出超過	一七、五七一、七九六	
十月 輸出	四二、二一二、一七二	
輸入	二二、六六九、一八九	
輸出超過	一九、五四二、九八三	

十一月 輸出	三七、〇七六、五九七	
輸入	二八、九八三、六四五	
輸出超過	八、〇九二、九五二	
十二月 輸出	三九、六二四、八二〇	
輸入	三八、五二三、一四三	
輸入超過	一、一〇一、六七七	
一月以降累計額		
輸出	四四七、四三三、八八八	
輸入	五一三、八〇五、七〇五	
輸入超過	六、六三七一、六一七	

東京株式取引所定期相場

		最高	最低	平均
一月	拂込	圓	圓	圓
	配當率	分	四	四
日本郵船	一〇〇	九七・五〇	九四・三〇	九六・五一
炭礦汽船	—	二九・八〇	二六・〇〇	二六・五〇
東京電燈	二〇	八六・一〇	八〇・三〇	八四・六二
宇治川電氣	二〇	三二・〇	三二・〇〇	三二・二四
鐘淵紡績	二〇	一〇六・〇〇	一〇四・〇〇	一〇五・三〇
同 新	二五	二一・〇	二一・〇〇	二一・〇〇
富士製紙	二〇	六一・三〇	五六・三〇	六〇・五九
大日本麥酒	二〇	八〇・三〇	七〇・〇〇	七〇・〇〇
臺灣製糖	二〇	八二・六五	七九・〇五	七九・九四
人造肥料	二〇	八〇・〇	七五・三五	七八・六六
日本石油	二〇	一六・〇	一四・〇〇	一五・六一
東京株式	二〇	一五・〇	一二・〇〇	一三・四一
同 新	二五	一五・四	一二・一五	一二・九四
二月				
日本郵船	二〇	一〇・〇	一〇四・〇〇	一〇四・一〇
炭礦汽船	二〇	—	二六・六〇	二六・六〇
東京電燈	二〇	二一・〇	八二・〇〇	八一・八八
宇治川電氣	二〇	三二・〇	三二・〇〇	三二・〇〇
鐘淵紡績	二〇	一〇六・〇〇	一〇四・〇〇	一〇四・九六
同 新	二五	二一・〇	二一・〇〇	二一・〇〇
富士製紙	二〇	六六・〇	六〇・〇〇	六〇・八八
大日本麥酒	二〇	八〇・〇	七〇・〇〇	七一・八八
臺灣製糖	二〇	八二・六五	七九・〇五	七九・九四
人造肥料	二〇	八〇・〇	七五・三五	七八・六六
日本石油	二〇	一六・〇	一四・〇〇	一五・六一
東京株式	二〇	一五・〇	一二・〇〇	一三・四一
同 新	二五	一五・四	一二・一五	一二・九四
三月				
日本郵船	二〇	一〇・〇	一〇四・〇〇	一〇四・一〇
炭礦汽船	二〇	—	二六・六〇	二六・六〇
東京電燈	二〇	二一・〇	八二・〇〇	八一・八八
宇治川電氣	二〇	三二・〇	三二・〇〇	三二・〇〇
鐘淵紡績	二〇	一〇六・〇〇	一〇四・〇〇	一〇四・九六
同 新	二五	二一・〇	二一・〇〇	二一・〇〇
富士製紙	二〇	六六・〇	六〇・〇〇	六〇・八八
大日本麥酒	二〇	八〇・〇	七〇・〇〇	七一・八八
臺灣製糖	二〇	八二・六五	七九・〇五	七九・九四
人造肥料	二〇	八〇・〇	七五・三五	七八・六六
日本石油	二〇	一六・〇	一四・〇〇	一五・六一
東京株式	二〇	一五・〇	一二・〇〇	一三・四一
同 新	二五	一五・四	一二・一五	一二・九四
四月				
日本郵船	二〇	一〇・〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・一九
炭礦汽船	二〇	—	二六・六〇	二六・一一
東京電燈	二〇	二一・〇	七六・〇〇	七七・一七
宇治川電氣	二〇	三二・〇	二九・〇〇	三〇・五九
鐘淵紡績	二〇	一〇六・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・五四
同 新	二五	二一・〇	一九・〇〇	一九・四八
富士製紙	二〇	六〇・〇	五八・〇〇	五九・七五
大日本麥酒	二〇	七一・〇	六八・〇〇	六九・八八
臺灣製糖	二〇	八二・六五	七九・〇五	七九・九四
人造肥料	二〇	八〇・〇	七五・三五	七八・六六
日本石油	二〇	一六・〇	一四・〇〇	一五・六一
東京株式	二〇	一五・〇	一二・〇〇	一三・四一
同 新	二五	一五・四	一二・一五	一二・九四
四月				
日本郵船	二〇	一〇・〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・一九
炭礦汽船	二〇	—	二六・六〇	二六・一一
東京電燈	二〇	二一・〇	七六・〇〇	七七・一七
宇治川電氣	二〇	三二・〇	二九・〇〇	三〇・五九
鐘淵紡績	二〇	一〇六・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・五四
同 新	二五	二一・〇	一九・〇〇	一九・四八
富士製紙	二〇	六〇・〇	五八・〇〇	五九・七五
大日本麥酒	二〇	七一・〇	六八・〇〇	六九・八八
臺灣製糖	二〇	八二・六五	七九・〇五	七九・九四
人造肥料	二〇	八〇・〇	七五・三五	七八・六六
日本石油	二〇	一六・〇	一四・〇〇	一五・六一
東京株式	二〇	一五・〇	一二・〇〇	一三・四一
同 新	二五	一五・四	一二・一五	一二・九四

同　新　二五	一四・四	一二・〇五	一〇五・二一
五　月			
日本郵船　三五	一〇・〇	九六・八〇	九一・三五
炭礦汽船　三五	—	二七・二五	二〇・九〇
東京電燈　三五	一二・〇	九四・九五	九四・三〇
宇治川電氣　三五	五・〇	四二・〇〇	五六・三〇
鐘淵紡績　三五	一二・〇	一〇〇・〇〇	九四・三五
同　新　二五	一二・〇	九〇・〇〇	五五・三五
富士製紙　三五	六・〇	五四・五〇	五五・一七
大日本麦酒三五	一二・〇	九四・三〇	五〇・〇〇
臺灣製糖　三五	一二・〇	八五・〇〇	五四・八二
人造肥料　三五	九・〇	五八・〇〇	八二・九六
日本石油　三五	一二・〇	九〇・二〇	五五・八九
東京株式　三五	一四・四	一四〇・二〇	一四五・三五
同　新　二五	一四・四	一〇七・九〇	八九・九六
六　月			
日本郵船　三五	一〇・〇	九五・八〇	九四・八一
炭礦汽船　三五	—	二六・九五	二一・八〇
東京電燈　三五	一一・〇	九四・一五	九五・九四
宇治川電氣　三五	五・〇	四〇・五〇	五五・八二
鐘淵紡績　三五	一二・〇	九九・九五	一〇一・四四
同　新　二五	一四・四	一〇七・九〇	八九・九五

富士製紙　三五	六・〇	五五・五〇	五二・九〇
大日本麦酒三五	一二・〇	八〇・〇〇	九九・九六
臺灣製糖　三五	—	—	—
人造肥料　三五	九・〇	五四・〇〇	五一・一二
日本石油　三五	一二・〇	九〇・五〇	九六・八五
東京株式　三五	一二・〇	一四〇・五〇	一二四・九九
同　新　二五	一二・〇	九二・一五	八四・八八
七　月			
日本郵船　三五	一〇・〇	一〇一・〇〇	九九・八〇
炭礦汽船　三五	—	二五・二五	二〇・三五
東京電燈　三五	一一・〇	九四・二五	九四・四四
宇治川電氣　三五	五・〇	四二・〇〇	五六・三五
鐘淵紡績　三五	一二・〇	一〇〇・〇〇	九四・五六
同　新　二五	一二・〇	九〇・〇〇	五五・一七
富士製紙　三五	六・〇	五四・五〇	五五・一二
大日本麦酒三五	一二・〇	八〇・〇〇	九九・五六
臺灣製糖　三五	一二・〇	九〇・二〇	五〇・〇〇
人造肥料　三五	九・〇	五八・〇〇	八二・九六
日本石油　三五	一二・〇	九〇・二〇	五五・八九
東京株式　三五	一四・四	一四〇・二〇	一四五・三五
同　新　二五	一四・四	一〇七・九〇	八九・九六
八　月			
日本郵船　三五	一〇・〇	一〇一・〇〇	九九・四九
炭礦汽船　三五	—	二六・〇五	二〇・三〇
東京電燈　三五	一一・〇	九四・〇〇	九〇・四〇
宇治川電氣　三五	五・〇	四二・〇〇	五六・三五
鐘淵紡績　三五	一二・〇	一〇〇・〇〇	九四・四一
同　新　二五	一二・〇	九〇・〇〇	五五・一七
富士製紙　三五	六・〇	五四・五〇	五五・一二
大日本麦酒三五	一二・〇	八〇・〇〇	九九・六六
臺灣製糖　三五	一二・〇	九〇・二〇	五〇・〇〇
人造肥料　三五	九・〇	五八・〇〇	八二・九六
日本石油　三五	一二・〇	九〇・二〇	五五・八九
東京株式　三五	一四・四	一四〇・二〇	一四五・三五
同　新　二五	一四・四	一〇七・九〇	八九・九六

日本郵船　三五	一〇・〇	一〇一・〇〇	九九・四九
炭礦汽船　三五	—	二六・〇五	二〇・三〇
東京電燈　三五	一一・〇	九四・〇〇	九〇・四〇
宇治川電氣　三五	五・〇	四二・〇〇	五六・三五
鐘淵紡績　三五	一二・〇	一〇〇・〇〇	九四・四一
同　新　二五	一二・〇	九〇・〇〇	五五・一七
富士製紙　三五	六・〇	五四・五〇	五五・一二
大日本麦酒三五	一二・〇	八〇・〇〇	九九・六六
臺灣製糖　三五	一二・〇	九〇・二〇	五〇・〇〇
人造肥料　三五	九・〇	五八・〇〇	八二・九六
日本石油　三五	一二・〇	九〇・二〇	五五・八九
東京株式　三五	一四・四	一四〇・二〇	一四五・三五
同　新　二五	一四・四	一〇七・九〇	八九・九六
九　月			
日本郵船　三五	一〇・〇	一〇一・〇〇	九九・四九
炭礦汽船　三五	—	二六・〇五	二〇・三〇
東京電燈　三五	一一・〇	九四・〇〇	九〇・四〇
宇治川電氣　三五	五・〇	四二・〇〇	五六・三五
鐘淵紡績　三五	一二・〇	一〇〇・〇〇	九四・四一
同　新　二五	一二・〇	九〇・〇〇	五五・一七
富士製紙　三五	六・〇	五四・五〇	五五・一二
大日本麦酒三五	一二・〇	八〇・〇〇	九九・六六
臺灣製糖　三五	一二・〇	九〇・二〇	五〇・〇〇

人造肥料　三五	一〇・〇	五六・八〇	五五・八二
日本石油　三五	一二・〇	九四・五〇	九四・四一
東京株式　三五	一二・〇	一四九・九〇	一六一・〇〇
同　新　二五	一二・〇	一二四・一〇	一二四・四一
十　月			
日本郵船　三五	一〇・〇	一一・四〇	一〇四・四六
炭礦汽船　三五	—	二〇・〇五	二一・八〇
東京電燈　三五	一一・〇	九二・三五	六六・四〇
宇治川電氣　三五	五・〇	五八・四〇	五五・六五
鐘淵紡績　三五	一二・〇	一一〇・五〇	九四・一〇
同　新　二五	一二・〇	九五・一〇	九〇・九五
富士製紙　三五	六・〇	四〇・〇〇	五五・一〇
大日本麦酒三五	一二・〇	八〇・〇五	五五・四〇
臺灣製糖　三五	一二・〇	八一・八五	八〇・二五
人造肥料　三五	一〇・〇	五六・五〇	五二・四〇
日本石油　三五	一二・〇	九〇・八〇	六八・〇五
東京株式　三五	一二・〇	一五二・六〇	一五六・九五
同　新　二五	一二・〇	一二九・四〇	一二〇・〇六
十一月			
日本郵船　三五	一〇・〇	一〇五・〇〇	一〇五・九四
炭礦汽船　三五	—	二五・二五	二六・一六
東京電燈　三五	一一・〇	九六・八〇	六六・八五
宇治川電氣　三五	五・〇	四二・〇〇	五六・三五
鐘淵紡績　三五	一二・〇	一〇〇・〇〇	九四・四一
同　新　二五	一二・〇	九〇・〇〇	五五・一七
富士製紙　三五	六・〇	五四・五〇	五五・一二
大日本麦酒三五	一二・〇	八〇・〇〇	九九・六六
臺灣製糖　三五	一二・〇	九〇・二〇	五〇・〇〇
人造肥料　三五	九・〇	五八・〇〇	八二・九六
日本石油　三五	一二・〇	九〇・二〇	五五・八九
東京株式　三五	一四・四	一四〇・二〇	一四五・三五
同　新　二五	一四・四	一〇七・九〇	八九・九六
十二月			
日本郵船　三五	一〇・〇	一〇五・〇〇	一〇五・九四
炭礦汽船　三五	—	二六・一〇	二四・九五
東京電燈　三五	一一・〇	九四・〇〇	九四・九八
宇治川電氣　三五	五・〇	四二・〇〇	五六・三五
鐘淵紡績　三五	一二・〇	一〇〇・〇〇	九四・四一
同　新　二五	一二・〇	九〇・〇〇	五五・一七
富士製紙　三五	六・〇	五四・五〇	五五・一二
大日本麦酒三五	一二・〇	八〇・〇〇	九九・六六
臺灣製糖　三五	一二・〇	九〇・二〇	五〇・〇〇
人造肥料　三五	九・〇	五八・〇〇	八二・九六
日本石油　三五	一二・〇	九〇・二〇	五五・八九
東京株式　三五	一四・四	一四〇・二〇	一四五・三五
同　新　二五	一四・四	一〇七・九〇	八九・九六

東京米穀取引所定期相場

一　月	一月限	二月限	三月限
最　高	一四・四八〇	一四・五六〇	一四・六四〇
最　低	一四・四〇〇	一四・四〇〇	一四・四〇〇
平　均	一四・四一五	一四・五八一	一四・五九八
二　月	二月限	三月限	四月限
最　高	一四・六〇〇	一四・八〇〇	一四・七九〇
最　低	一四・三〇〇	一四・三〇〇	一四・四一〇
平　均	一四・四五五	一四・四五五	一四・四九九
三　月	三月限	四月限	五月限
最　高	一四・六一〇	一四・七八〇	一四・八六〇
最　低	一四・四〇〇	一四・四〇〇	一四・四八〇
平　均	一四・五四四	一四・六四一	一四・六五三
四　月	四月限	五月限	六月限
最　高	一四・四〇〇	一四・四九〇	一四・五四〇
最　低	一四・四四〇	一四・四四〇	一四・四四〇
平　均	一四・九九四	一四・一〇五	一四・三三四

五月	五月限	六月限	七月限	六月	六月限	七月限	八月限	七月	七月限	八月限	九月限	八月	八月限	九月限	十月限	九月	九月限	十月限	十一月限	十月	十月限	十一月限	十二月限
最高	一七・四四〇	一七・八〇〇	一七・八四〇	最高	一八・三三〇	一八・四〇〇	一八・九四〇	最高	二〇・一〇〇	一八・九四〇	一八・四三〇	最高	二〇・一四〇	一八・四〇〇	一八・九四〇	最高	—	一八・〇四〇	一八・四三〇	最高	一八・一〇〇	一八・四三〇	一八・〇四〇
最低	一六・九三〇	一七・一四〇	一七・一六〇	最低	一七・四三〇	一七・三一〇	一八・六六〇	最低	一八・一一〇	一八・六六〇	一八・四一九	最低	一八・六六〇	一八・一四〇	一八・四三〇	最低	—	一七・九三〇	一六・九三〇	最低	一七・〇四〇	一六・九三〇	一六・九四〇
平均	一七・三三〇	一七・三四〇	一七・三四〇	平均	一七・九八六	一七・九九二	一八・四四八	平均	一八・九三八	一八・四四八	一八・四四八	平均	一八・六三〇	一八・六一二	一八・四四八	平均	—	一八・四七八	一八・四七八	平均	一八・四七〇	一八・四七〇	一八・四九八

十月	十月限	十一月限	十二月限	十一月	十一月限	十二月限	十二月	十二月限	一月限	一月	二月限	二月	三月	四月	五月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
最高	一七・一〇〇	一七・八四〇	一七・八四〇	最高	一七・八四〇	一七・四一〇	一七・四一〇	最高	一七・一〇〇	一七・四一〇	一七・四一〇	最高	一七・九四〇	一七・九四〇	最高	—	一二一、二九	一二一、六四	一二四、一三	一二七、三二	一二六、七一	一二五、六六	一二六、四三
最低	一七・〇四〇	一七・三四〇	一七・七四〇	最低	一七・四四〇	一七・四四〇	一七・四四〇	最低	一七・〇四〇	一七・四四〇	一七・四四〇	最低	一七・九四〇	一七・九四〇	最低	—	一一八、九六	一一八、一五	一一九、六〇	一二〇、八〇	一二一、二三	一二二、二九	一二一、八二
平均	一七・二〇六	一七・四八五	一七・五八五	平均	一七・四四九	一七・四四九	一七・四四九	平均	一七・四四九	一七・四四九	一七・四四九	平均	一七・四四九	一七・四四九	平均	—	一一九、一一八						

東京卸賣物價指數

（明治三十三年十月―一〇〇）

	總平均指數	前年同月
一月	一二二、五七	一一六、九七
二月	一二二、八八	一一八、一六
三月	一二二、八九	一一九、一六
四月	一二二、五八	一一九、一八

明治四十五年 大正元年（紀元二五七二年 西暦一九一二年）

【一　月】

一　日（月）

◇株式會社安田銀行營業開始

合名會社安田銀行（資本金五百萬圓）は組織變更の目的を以て別に明治四十四年九月資本金百萬圓の株式會社安田銀行を設立し、同年十月一日の同行株主總會に於て決定した兩行合併による資本金一千萬圓の株式會社安田銀行設立の件は、同年十二月大藏省より認可があつた。よつて合名會社安田銀行の資本金五百萬圓、同積立金四百萬圓、これに前記百萬圓を加へた合計一千萬圓の株式會社安田銀行は本日から營業を開始した

◇孫文の大總統就任と宣言

支那革命政府の臨時大總統に推された孫文は本日南京に入城し、施政方針に關する宣言を發表したが午後十一時大總統就任式を擧行し左の宣言を行つた

滿洲專制政府を傾覆し中華民國を鞏固にし民生の幸福を計り、以て國に忠に衆のために服務す、專制政府既に倒れ、國內變亂なく民國世界に獨立し、列國公認するに至りたる際には文（孫逸仙）正に臨時大總統の職を解く可し、謹んでこれを以て國民に誓ふ

二　日（火）

◇支那瀋側軍の反旗

瀋州の第二十鎭（混成第四十旅團、兵數約三千）は馮國璋、段祺瑞が君主立憲に傾いて來たのに憤激し反旗を翻した

◇南京軍命政府組織さる

孫逸仙は黃興と共に諮議局に赴き左の如く大臣を任命、政府を組織した

陸軍部長黃興、海軍部長黃鍾瑛、內務部長程德全、外務部長王寵惠、司法部長伍廷芳、教育部長蔡元培、財政部長陳錦濤、交通部長湯壽潛、實業部長張謇

四　日（木）

◇關門手形交換所業務開始

下關、門司兩市の主要銀行によつて、門司市西本町二十三銀行內に設立された關門手形交換所は本日より事務を開始した

◇支那北軍の共和政體反對通告

北軍の段祺瑞、段芝貨、張勳等は革命軍の伍廷芳に對し、少數黨の意見を以て共和政體を採用する時、吾人は死を以て抵抗すると通告した

◇西南蒙古獨立を宣言す

西蒙古及び南蒙古は獨立を宣言した

五　日（金）

◇支那共和政府檄文を公表

大總統孫逸仙の名を以て、共和政府組織の經緯と、今後の方針を中外に宣明する檄文が公表された

八　日（月）

◇東京市電營業關係の車掌運轉手召喚

東京市電の同盟罷業事件に就き新宿車庫から岩佐常吉外十四名、三田車庫から二十名、東京地方裁判所へ召喚された

◇支那南北兩軍の總和條件

北京政府代表唐紹怡と革命黨代表伍廷芳との間に交涉を進めつゝあつた媾和條件は、左の如く一致を見るに至り、伍より袁世凱に打電した

一、皇帝は友邦の土地に於て外國主權の全威嚴を以て取扱はるべし

二、皇帝の居所は熱河か熙和宮

三、皇帝は國民議會にて決定せらるゝ十分の手當を受くべし
四、凡そ皇宗の廟と社寺は滿人の手に之を敬むべし
五、生命財産及び富は之を保護し且つ之を保持せしむべし
六、滿人、回教徒、蒙古人、西藏人は支那市民として取扱ひ、私有財産は之を保護すべし
七、八旗は相當の生活の出來るまで從前通り引續き年金を與ふべし
八、商業の自由及び住居の自由に對してこれまで加へられたる制限は之を撤去すること
九、皇族は、その稱號及び財産を保有すべし

九日（火）

◇大阪窯業會社、關東瓦會社を買收
大阪窯業株式會社は、東京府下八王子の關東燒瓦株式會社を金二萬圓で買收の契約を結んだ

◇調査委員會政府全体制多採用
南京の革命政府は、日本の制度に則り會貨本位を採用し、內國歲入を擔保として一億兩の公債發行を決定した

◇外蒙古獨立と露國の對北京政府要求
外蒙古の獨立宣言と同時に露國は北京政府に對し左の如き要求を發した
一、支那政府は如何なる場合に於ても外蒙古一帶に兵を入れざること
二、外蒙古一帶に於ける支那移民を禁止すること
三、該地方に於ける鐵道敷設權を與ふべきこと
四、外蒙古一帶の內政に對して支那政府は一切干渉せず、その獨立を認むること
五、支那政府と該地方獨立國との國際關係事項一切は露國の同意なくしては決定することを得ざること
六、該獨立國は露國の保護國たること

◇正金銀行頭取戸次氏吉死去
心臟痲痺で死去、享年五十六。福岡縣の生れ、明治十四年創立と同時に同行に入り副支配人を經て取締役に就任した人

十日（水）

◇東京六大銀行預金利子引上げ
十五、三菱、三井、第百、第一、正金の各銀行代表者は銀行倶樂部に會合、預金利子引上げに就て協議、左の通り決定し一月十六日より實行。定期年一分、當座各日歩二厘の利上げであるが、安田、第三の兩行も同率の引上げをした
定期預金六ヶ月以上年五分、當座預金日歩七厘、小口當座預金日歩一錢

◇紡績聯合會委員會の緊縮協議
紡績聯合會は大阪ホテルに委員會を開催、三月末限り現行操業短縮及び休日奬勵を全廢し、四月一日以後六ヶ月間、毎月四晝夜の休業實施を決議、關係紡績會社全部の贊成を得た

◇東京市電從業員に記念金
東京市電從業員同盟罷業の際、元東京鐵道株式會社の重役より提供された十九萬六千圓は本日全從業員に對し、各自の勤續年限により割當て配當された

十二日（金）

◇大阪各銀行の預金利上げ
大阪手形交換所委員會に於て加盟銀行の預金利子引上げを左の如く決定、一月二十日から實行
定期預金年五分、當座預金四分六厘、小口當座預金日歩一錢

十五日（月）

◇片山潛市會議員辭職で拘引さる
東京市電同盟罷業に際し、從業員を敎唆した罪に依り、片山潛、辯護士山崎今朝彌は拘引された

十六日（火）

◇大阪市の大火・損害一千萬圓
午前零時大阪市難波新地貸座敷遊樂館より發火、難波、千日前、日本橋筋に延燒し十八ケ町五千三百三十餘戸を燒失、午前十一時鎭火。損害約一千萬圓。右火災に關し、各火災保險會社の契約高は左の如し
▽明治火災二萬三千圓▽東京火災十萬圓▽日本火災十二萬圓▽共同火災八萬圓▽橫濱火災二萬七千圓▽大阪火災五萬圓▽浪速火災九萬圓▽神戸火災二十七萬圓▽日淸火災七萬圓

◇三井物産、上海の震成公司を經營
上海の又新公司から、その管理する紡績會社震成公司の經營を三井物産に委託してきたので、同社はこれを受託した

十七日（水）

◇鬼怒川水電工事に反對運動起る
鬼怒川水力電氣株式會社が鬼怒川上流に工事中の發電工事に對し、下流沿岸町村有志は反對運動を起しつゝあつたが、本日茨城縣結城郡宗道町に有志大會を開いて反對氣勢を擧げ、栃木側もこれに合流した

二十日（土）

◇大興電器券二千萬圓發行

二十二日（月）

◇近江銀行の佛額增資決定
同行は臨時株主總會を開催、資本金二百萬圓を四百萬圓に倍額增資する件を可決した。

◇名古屋銀行、笠松銀行を合併
名古屋銀行は株主總會に於て岐阜の笠松銀行（資本金五十萬圓）を三十萬圓に減資の上、合併する件を可決した

◇滿鐵鐵工債券三十萬圓發行
同行はその整理貸付金に充當するため、三十萬圓の債券を發行することに決定した。條件は年利六分、二ヶ年据置二十ヶ年償還

二十四日（水）

◇茨城新聞記者團鬼怒電工事に反對
茨城新聞記者倶樂部は、茨城、栃木兩縣の大問題となつた鬼怒川水力電氣工事に就き、水戸市水揚亭に集合、反對決議をなし、各社より一名宛の調査委員を出し、同工事の調査をすることに決定した

◇駐日支那公使辭職
日本駐劄公使汪大燮以下館員一同は北京政府に對し、辭表を提出してゐたが、本日賞世凱より辭職開屆の電報が來たので館員一同は直ちに歸國することゝなつた

二十五日（木）

◇大興電器券二千萬圓發行

二十七日（土）

◇加島銀行四萬圓に增資決定
同行は資本金三十萬圓を百萬圓に增資することを株主總會に於て可決した

二十九日（月）

◇尾三農工銀行の債額增資決定
同行は臨時株主總會を開き、資本金二百萬圓を四百萬圓に增資する件を可決した

◇支那臨時政府承認の決議
中華民國政府承認同志會は東京築地精養軒に於て開會、來會者は各派代議士、辯護士、新聞記者等百餘名、箕浦勝人座長となり、三宅雄二郎提出の左記決議案を可決した
吾人は我政府をして列國に先立ち速かに支那共和新政府を承認せしめんことを期す
實行委員花井卓藏、日向輝武、卜部喜太郎、

細野大郎、山田珠一、須崎芳三郎、平松市蔵、黒岩周六、樋口秀雄、川島仟司

◇漢口の支那紙幣兌換中止

漢口に於ける支那紙幣の兌換は革命のため中止となつた。外國人の手持支那紙幣は約七百萬兩である

【二　月】

一　日（木）

◇支那江蘇鐵路公司債款成立

大倉組と同鐵路公司との間に、左の條件で借款成立した

總額三百萬圓、利率年八分、期限年限五ケ年、償還期限據置後五ケ年間、擔保滬杭鐵道（上海嘉橋間）の一部

右に關し、同月二十一日に至り、大倉組は百萬圓を出資、殘餘の二百萬圓は正金、臺灣、第一、安田の各銀行より五十萬圓宛出資を求めることゝなり、右四行と大倉組との間に契約成立した。利率償還期限等は、大倉組が江蘇鐵路公司と契約した時と同一である

三　日（土）

◇鬼怒川電工事に茨城栃木兩縣民の反對

鬼怒川水力電氣會社の發電工事反對の茨城栃木兩縣民聯合大會を結城町に開催、內務大臣に陳情書を提出する決議をなした

五　日（月）

◇神戸海上火災・火保協會に加入

同社は火災保險同盟會側に屬し低率を以て火災保險協會側に對抗してゐたが、本日同盟會を脫退し條件付で協會側に加入した。その結果協會側は東京火災、明治火災、日本火災、共同火災、横濱火災、神戸火災の六社となり、同盟側は浪速火災、大阪火災、東亞火災、關海火災の四社となつた

六　日（火）

◇大藏府農工債券七十五萬圓發行

同行は、第二回農工債券七十五萬圓を發行と決定、條件は利率年六分、發行價格九十七圓、三ケ年据置後十二ケ年償還

◇東京電燈會社の職制變更

同社は從來の營業、經理、技術の三部を總務、營業、技術の三部に變更、總務部長に常務望月右內、營業部長に常務神戸舉一、技術部長に中原岩三郎がそれ〴〵就任した

七　日（水）

◇日本銀行利子引上

同行は、公定利子歩合を各々一厘方引上げに決定、左の通り改正し本日より實施した

商業手形割引歩合日歩一錢六厘、國債を抵當とする貸付歩合日歩一錢六厘以上、國債以外を抵當とする貸付利子日歩一錢七厘以上、當座貸越日歩一錢八厘

◇神奈川縣農工債券五十萬圓發行

同行は第七回農工債券五十萬圓を發行と決定、條件は利率六分、發行價格額面百圓以上、明治四十七年十二月まで据置、以後十七ケ年償還

◇東京府農工債券五十萬圓發行

同行は、農工債券五十萬圓を發行と決定した。條件は利率年六分、發行價格九十七圓、三ケ年据置後十二ケ年償還

◇凸版印刷會社で支那革命軍紙幣印刷

同社は、支那革命軍幾關たる湖南銀行代表者との間に紙幣一千萬枚、額面金額總額三千萬圓の印刷引受契約が成立、直ちに印刷を開始した

八　日（木）

◇鬼怒電工事反對の代表委員上京

鬼怒川電氣工事の農村田畑に及ぼす惡影響を深慮し、右工事中止の請願書を貴衆兩院に

提出、內務、逓信兩省に陳情するため、栃木、茨城兩縣の代表委員二十數名上京した

九　日（金）

◇衆議院に逓信費請願書提出

阪神電鐵會社專務今西林三郎、南海鐵道會社々長大塚惟明、京濱電氣會社々長田邊貞吉、箕面有馬電氣鐵道會社々長岩下清周等は、制度整理局制定の趣旨に省み、通行稅の廢止を至急實施されたしとの請願書を衆議院に提出した

十　日（土）

◇大藏省證券二千萬圓發行

◇北京政府が東三省に防穀令を發布

北京政府は食糧缺乏のため、米、麥、大麥粟、高粱等の雜穀類の輸出禁止令を東三省に發布した

十一日（月）

◇大藏市々債二百五十萬圓成立

同市は北濱銀行との間に、市債二百五十萬圓の發行を契約、條件は利率年五分、手取九十二圓、七ケ年据置後十九ケ年償還

◇漢冶萍鐵鑛廠・三井物產との借款成立

支那前郵電部尙書盛宣懷の經營に係る漢冶萍鐵鑛廠の借款に關し、三井側代表山本条太郎、鐵鑛廠側の李經芳、李惟格及び高木陸郎との間に、左の條件で交渉成立し、調印を終つた

▽會社の資本を日貨三千萬圓とし、日支兩國人の共同經營事業とすること、日支兩國人の持株數は同數とし、同一の權利であること、會社が先に日本より借入れた一千萬圓の外、更に日本より五百萬圓を日本側の資本とする。合計一千五百萬圓を日本側の資本とする。右五百萬圓の借入金に對し、中華民國政府は、明治四十六年一月に償還すること、利子は年八分

◇支那の宣統皇帝退位

支那官革兩軍の妥協成立の結果、宣統皇帝（御名溥儀）は御退位を發表

十四日（水）

◇着色茶禁止公布さる

官報を以て着色茶製造販賣禁止令を公布

十五日（木）

◇大藏省證券二千萬圓發行

◇臺灣國支那大總統に當選

袁世凱は、南京參議院に於て大總統に選擧された。臨時大總統孫文は袁が南京に到着すれば直ちに大總統の職を辭すとの聲明書を發表した

十六日（金）

◇高橋日銀總裁邊賣貴價說を否定す

日銀總裁高橋是清は東京銀行集會所に於ける貴衆兩院議員並に東京銀行家との聯合懇親會席上で、通貨數量說を謬論とし、通貨の膨脹は物價騰貴の結果であつて原因ではないと論じ、世論を卷き起した

◇臺灣火災保險會社開業

同社（資本金三百萬圓）は十三日付を以て主務省より營業認可を受け、重役を左の如く決定、本日より業務を開始した

取締役社長島德藏、取締役尼崎伊三郎、阿部彦太郎、志方勢七、太田貞雄、監査役濱崎健吉、小林林之助、相談役高崎親章、片岡直溫

十七日（土）

◇元町貯蓄銀行の取付

横濱市元町の株式會社元町貯蓄銀行は、同行前支配人中山和吉の約束手形僞造が發覺し、これがため十六、十七の兩日で約五萬圓餘の取付に遭つたが、頭取中山伴右衞門が前記不正約手による缺損金二萬三千圓餘を直ちに私財を以て提供し、且つ同行の親銀行たる

第七十四銀行及び三井銀行横濱支店が援助に乘り出したので、支拂停止は免れ、十八日には平常通りの營業狀態に復した

十八日（日）

◇横濱電線會社焼失す

同社工場より出火、本社工場共焼失した。損害合計十九萬四千二百餘圓。東京火災外三內國保險會社及び十三外國火災保險會社との間に四十萬圓の保險契約があつた

二十日（火）

◇東亞瓦斯會社新重役決定

同社は臨時株主總會に於て、新重役五名の選擧を行ひ、左の如く決定した

▽取締役利光鶴松、磯邊保夫、岡烈、林謙吉郎▽監査役木村省吾

二十一日（水）

◇鬼怒川電氣會社の創立

栃木茨城兩縣代表より提出した鬼怒川水電工事の中止請願は、貴族院請願委員總會で審議の結果、事實に相違の點ありとして不採擇となつた

◇一宮電氣會社の創立

愛知縣中島郡一宮町の同社（資本金三十萬圓、原動力はガス、百五十キロ）は創立總會に於て左の役員を決定した

△社長土川鯛七郎、取締役佐分慎一郎、豊島半七、監査役森敏、豊島正七

二十二日（木）

◇東京市外債募集

東京鐵道會社買收費及び、市電事業資金に充當するため發行された東京市外債は、ニューヨークは二月二十一日、パリ、ロンドンは同月二十二日、左の條件で賣出された。募集總額は九百十七萬五千ポンド

▽英國、總額三百十七萬五千ポンド、發行價格九十八、利率五分、受託銀行日本興業銀行、▽佛國　總額一億八十八萬フラン、發行價格九十六四分の三、利率五分、受託銀行日本興業銀行▽米國二百萬ポンド、發行價格九十七四分の三、利率五分

◇興動生命保險會社の創立

同社（資本金五十萬圓）は創立總會を開き、左の如く役員を決定した

▽取締役吉村鐵之助、荒木貞彦、石原熊雄、小林昌次郎、綿方鉦次郎、田島義方▽監査役青木庄藏、前田武四郎、東郷昌武、河野壽男

◇東島組社長鹿島岩藏死去

土木請負業鹿島組社長、鹿島岩藏は食道癌にて死去、享年六十四、王子製紙、天龍運輸、東京印刷、茨城採炭等の各社取締役を兼ねてゐた

二十三日（金）

◇住友銀行の組織變更と十万借增資

同行は臨時總會に於て、現在の資本金百萬圓の個人經營を株式に改組し、資本金一千五百萬圓に增資する件を可決、重役を左の如く決定した

▽社長住友吉左衛門▽常務取締役中田錦吉▽取締役鈴木左馬也、湯川寛吉▽監査役伊庭貞剛、久保不二雄

◇大阪市對宇治電の電力供給契約成立

大阪市と宇治川電氣會社との間に電力供給契約が成立した

二十五日（日）

◇大分水電會社、臼杵電氣會社を買收

大分水力電氣會社は臨時株主總會を開き、臼杵電氣株式會社を十二萬二千五百圓で買收し、且つ事業擴張の資金として社債五十萬圓を募集する件を可決した

二十六日（月）

◇大藏省證券二千萬圓發行

◇國際瓦斯會社の創立

同社（資本金六十萬圓）は創立總會を開き、左の役員を選任した

▽取締役會長奥田正香▽專務取締役岡本榮▽取締役渡邊嘉一、半田口元學、上遠野富之助、前島丈之助、武和三郎▽總支配人谷口守雄▽監査役小曾根貞松、木村省吾、杉山利介

◇三十國銀行借額增資決定

大阪の同行は臨時株主總會を開き、業務擴張のため、現在の資本金五百萬圓を一千萬圓に增資する件を可決した。增資株十萬株の內、五萬株は現在株主に割當、五萬株は公募と決した

二十八日（水）

◇南日本製糖會社の創立

同社（資本金五百萬圓）は創立總會を開催、左の重役を決定した。

▽社長村松甚藏▽取締役堤德藏、前川太兵衛、吉村鐵之助、高津松夫郎▽監査役伊藤市平、新波厚▽支配人西村治水

二十九日（木）

◇北京に動亂勃發す

本日午後五時頃北京に於て第二、第三鎮の兵が暴動を起して各所に放火、發砲、掠奪を行ひ、翌三月一日汽車で豊臺方面へ引上げたが、動亂は全市に波及して一日夜には第一鎮、旅團、禁衛軍の兵が掠奪を開始、五日漸く沈靜を見た。豊臺方面へ引上げた兵は二日夜天津に現はれ、天津巡防隊の一部と合して天津市街に放火、掠奪を擅まゝにし、日本商店の被害甚大であつた。北京動亂の表面的の原因は兵士の待遇上の不平からであるが、實世論が南下忌避のために打つた芝居であるとの說が專ら流布された。眞僞は兎に角、南京參議院は眞が南下を中止して北京で大總統に就くことを承認した

◇英國炭坑夫の大同盟罷業

英國炭坑夫同盟會は炭坑主に對し最低賃銀額制定を要求して拒絕され、全國坑夫百萬は本日から同盟罷業に入つた。アスクイス內閣は最低賃銀案を下院に提出、三月廿七日第三讀會を通過、坑夫大會は四月六日罷業終結を宣言、同事件の解決を見た。罷業中英國汽船鐵道諸工事等甚大な影響を受け失業者百萬に達した。また紡織數約二十萬噸、北部では炭價三倍に騰貴した。又わが九州炭は英炭代用として印度支那から需要されたゝめ、三十錢乃至五十錢方騰貴した

【三　月】

一日（金）

◇山陰線東郡、今市間の全通

山陰西線濱坂、香住間十一哩八鎖は余部鐵橋竣工を以て開通した。これで明治三十三年起工、總工費二千九百十萬圓の京都、今市間山陰線貫線の全通を見た譯で、本日から京都、今市間及び大阪、今市間に直通列車を運轉、同時に筧、下關間を大阪商船航路に依つて連絡運輸を開始した

◇鐵道電氣會社の操業開始

同社は資本金五十萬圓、拂込十二萬五千圓を以て神奈川町に設立され、マニラロープの製造を目的とする。代表取締役は石塚彦輔、大西正雄である

二日（土）

◇朝鮮郵船會社の創立

同社（資本金三百萬圓所有船二十五隻）は創立總會を開き左の役員を選任した。同社は日本郵船系の人物により設立、四月一日新命令航路を受命、業務を開始した

▽取締役原田金之助（社長）吉田秀太郎（專

務）堀力太郎、大濱忠助、深尾藤太郎▽監査役藤生晉波、松崎文六

四　日（月）

◇鹿島代水電、工事に着手

鹿島代水電第一發電所（五萬五千七百馬力）及附屬水路工事に着手

◇北支駐屯軍千二百名增派

居留民保護のため我國は滿洲から千二百名の軍隊を北支暴動地へ增派した

五　日（火）

◇大藏省證券二千萬圓の借替發行

本日償還期日の大藏省證券を全部借替、新に二千萬圓を發行、償還期日四月十五日、日步一錢四厘

◇全國トロール業者警告さる

大漁業であるトロール業が禁漁區域を犯して小漁民の利益を侵害する事件が頻發し、各地漁民間に激昂の餘り不穩形勢があるので、本日全國トロール業者を招集し、水產局長から各業者の自制を望む旨の警告をなした

◇電導電軌の一部開通

阪堺電軌の堺市、市の町、少林寺橋間が開通

◇大阪株式取引所仲買委員の總辭職

手數料引下要求を拒絕されて、大株取引所仲買委員は總辭職をした

六　日（水）

◇國民費の稅制整理案

同盟代議士會に於て左の稅制整理案を決定した

所得稅、營業稅、鹽專賣、織物稅、通行稅、石油消費稅の六稅の改廢を行ひ約三千萬圓の歲入減を圖り他方海軍充實費等の必要なる經費に對し約三千萬圓の歲出增を圖り、以上合計六千萬圓の財源を擬募天引に俟つ事とし、尙別に減稅的意味に於て田畑の地價修正を行ふ事とし、之等を四十六年度より實施する豫定を以て相當成案を作ること

◇鶴島水力電氣の社債五十萬圓發立

同社債五十萬圓は年利七分の條件で明治生命、明治火災兩社との間に成立した

七　日（木）

◇日本窒素肥料會社の資本增額

同社は臨時總會に於て資本金二百萬圓を四百萬圓に倍額增資し舊株一株に新株一株を割當ての件を可決した

九　日（金）

◇日露協會の成立と役員

日露協會組織に對する御裁可があつた。同會は總裁に閑院宮殿下を奉戴し、會頭寺內正毅、副會頭後藤新平である

◇九州炭礦汽船會社の入江炭礦買收

九州炭礦汽船會社は鬪礦區の入江炭礦（五十八萬坪）を十七萬圓で買收した

◇東京現物團の公募株初引受

東京現物團の小池合資、鶴鳥商會、紅葉屋銀行は舊備輕便鐵道の募集株式（一株五十圓五萬二千株）中一般賣出八千株の下引受をした。東京現物團最初の株下引受である

◇廣島電氣鐵道會社の創立

資本金四十萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役森山守次（社長）有田勝太郎（專務）酒井泰、大城戶太郎、鵜野忠一、▽監査役小倉信近、大井卜新、小山永藏

十　日（日）

◇貴族院中華民國臨時大總統に就任

貴族院は本日午後三時北京外務部公署に於て中華民國臨時大總統就任宣誓式を擧行した。その後の經過は次の通り

▽十一日南京に於て中華民國臨時約法公布

▽十三日唐紹怡中華民國臨時政府總理大臣に就任　▽卅日孫文大總統解任と同時に閣員任命公布、財務部熊希齡、內務部趙秉鈞、外務部陸徵祥、陸軍部段祺瑞、海軍部劉冠雄、教育部蔡元培、司法部王寵惠、農林部宋教仁、工商部陳其美、參謀總長黃興、交通部唐紹怡兼任

十一日（月）

◇南滿洲鐵道會社定款の改正

同社は臨時株主總會に於て左の如く定款の改正を行つた

▽拂込金額毎回二十圓以下とあるのを削る

▽決算を毎年六月一回に改正

十二日（火）

◇四分利公債引受銀行團解散

十三日（水）

◇ジャパン・ツーリスト・ビューロー創立

近藤廉平、淺野總一郎、國澤新兵衛、平井晴二郎等發起に係る同會は創立總會を鐵道院に開き、會長平井晴二郎（鐵道院副總裁）以下の役員を選定した

◇鬱密顧問官男爵鶴二郎死去

舊鹿兒島藩士で駐露公使、外務大臣、支那公使に歷任して樞密顧問官となる。駐露公使在任中大津事件、日清戰爭、遼東還附問題があり、清國公使在任中は北清事變が勃發、これ等に善處した。享年六十六

十四日（木）

◇白耳義の對支借款の成立

支那ベルギー間に五百萬磅の借款中第一回前渡金百萬磅契約の調印が行はれた。條件は年利五分、手取九十七、一ヶ年償還、京張鐵道擔保、南京參議院の承認を得ること

十五日（金）

◇四十五年度總豫算の公布

本日官報を以て左の如く公布された

	圓
歲入總計	五七二、八九一、八六六
經常部	五〇二、五五五、八〇五
臨時部	七〇、二三六、〇六一
歲出總計	五七二、八九一、八六六
經常部	四一一、九六五、八六四
臨時部	一六〇、九二六、〇〇二

◇鐵道國券三千萬圓の發行

前年三月改正の鐵道會計法規定に依る最初の短期證券發行である。條件は償還期四十六年三月十四日、割引日步一錢五厘

◇大藏整理公債二百萬圓の賣出

北濱銀行引受の大阪整理公債二百萬圓の一般賣出開始、條件は年利五分、發行價格九十二圓五十錢、七ヶ年据置後十九ヶ年償還

◇大藏省證券一千萬圓の借替發行

十五日償還期の大藏省證券四千萬圓中、三千萬圓を償還し、一千萬圓を借替發行した。條件は償還期日四十五年四月廿五日、割引日步一錢四厘

◇歸興農工債券五十五萬圓發行

條件は年六分五厘、四十六年六月卅日起據價後五ヶ年以內償還、場合に依つては臨時償還又は買入消却

◇大藏農工銀行の借換增資

臨時總會に於て資本金百萬圓を二百萬圓に增資することに決定、增資新株五萬株中二萬五千株は現在株主に割當て、殘餘は竹原、野村、黑川、高木の大阪現物團引受のもとに六圓五十錢以上のプレミアム付で公募

◇馬張電軌會社百萬圓に增資

同社臨時總會に於て資本金三十六萬圓を百萬圓に增資を決定した

◇日本、大藏、歸興三銀氷會社の合併

日本製氷株式會社は大阪、靜岡兩製氷會社を合併、資本金を百三十萬圓に增加した

◇伊東水力電氣會社支社村有となる

神奈川縣土肥村湯ヶ原伊東水電支社は二萬四千圓で土肥村々有財産として買收された。電燈會社村有はこれが最初である

十六日（土）

◇神戸市々債三十萬圓募立

神戸市々債三十一萬五千圓を同市株式仲買人藤井忠兵衛が一手引受けで契約成立、條件は年利五分、手取九十五圓、三ヶ年以內償還。これは同市が湊川遊園地建設費借入金を銀行へ返却のためである

十七日（日）

◇石川島造船所社長橫濱精一死去

新潟縣に生れ、官界から實業界に轉じ、平野富次郎人經營の石川島造船所を株式組織に變更して經營、今日の大をなした人。名古屋瓦斯、神戸海上、廣島水力、後藤毛織の重役に就任、享年六十一

十八日（月）

◇對支國債借款團に日本の參加

英、米、獨、佛の四國對支借款に日本も加入の旨閣議へ通告し、日本に於ける代表として橫濱正金銀行を指定した

二十一日（木）

◇日露兩國の鐵道汽船會議開催さる

廿一日から五日間日露の鐵道、汽船會社の重役に會合し、日本生糸及茶の浦塩經由歐洲輸出の條件及手續に關して協議した

◇淵崎の大火と東京製鋼の損害

東京淵崎辨天町一ノ五中村樓から出火し、平井町一千戸、東平井町百四十九戸を燒失、損害總額百五十萬圓、火災保險契約高は十六萬三千六百圓。そのうち東京製鋼會社の損害は建物卅萬圓、機械九十萬圓で、火災保險契約額は五萬圓であつた

二十二日（金）

◇滿洲事件支合辭の假調約否決

上海に於て同社の株主總會が開かれ、資本金二千萬圓を三千萬圓に增資し、日支合辭とするといふ一月二十九日調印の假契約を否決した

二十三日（土）

◇選擧法改正案の不成立

同法案は從來の大選擧區制を小選擧區制に改正する原案と、各地選擧區の議員數を改正する別表とから成り、政友會內閣が議會に提出したもので、貴議院で可決、貴族院に回附されたが、本日否決不成立となる

二十四日（日）

◇勸業債券五百萬圓の發行

日本勸業銀行は左の如く勸業債券五百萬圓を本日發行した。種類は百圓、五百圓、千圓、五千圓、年利五分五厘、發行價格九十七、三ヶ年据置後二十七ヶ年內に償還

◇朝鮮鐵道群山支線の開通

朝鮮鐵道群山支線大田、群山間六十九哩は本日開通した

二十五日（月）

◇第十五年度支那事件費の追加豫算公布

本日官報を以て左の如く公布された

▽支那事件費　二、六一一、五八九円

貨幣整理資金繰入　一、〇〇〇、〇〇〇

國債整理基金借入　一、六一一、五八九

◇東京橫濱火災保險會社の開業

東京京橋木挽町に本社を置き本日より營業開始。同社の資本金は百萬圓、社長樺山資英、專務取締役小林貞吉、平岡北臨

◇ベルギー借款に國債發行說

英、米、獨、佛四ヶ國公使は、貴世凱を訪問し、四國借款團と唐紹怡との間に交換した借款優先權約束に反して支那がベルギー借款を行つた事について抗議した

二十六日（火）

◇觀音瓦斯局の十萬圓借入

橫濱市瓦斯局は、擴張費金として三井銀行橫濱支店から十萬圓を借入れた

二十八日（木）

◇東京鐵道買收金株主に交付

舊東京鐵道會社が東京市から受取つた被買收代金及利子總額六千六百餘萬圓は、本日から四月五日迄三井銀行を經由して現金で株主に分配拂渡された。株主數五千七百九十九名、一株配當金舊株七十六圓五十錢、新株卅八圓廿五錢の割、配當殘餘財産十九萬六千圓は重役への再慰勞金、其殘餘は清算費に充當

◇本更津線一部開通

木更津線蘇我姉ヶ崎間九哩三分は本日開通

◇朝鮮總督府滑澤鐵路命令

朝鮮總督府は新設の朝鮮郵船會社に對し左の命令航路を受命せしめた

▽東沿岸航路（門司羅津間九線）▽西沿岸航路（木浦鎭南浦間八線）▽南沿岸航路（釜山木浦間十線）

◇第百銀行頭取高田小次郎死去

本日死去、鳥取藩士、第百銀行の創立者、享年六十六

二十九日（金）

◇呉工廠に同盟罷業起る

呉工廠職工は殘業繼續要求と、監督に對する反感及工廠職工共濟金處分問題で惡化し第一工場職工千二百名中千百名が同盟罷業をなし、四月二日には砲工、水雷、製鋼の三部合計一萬二千餘名の當出總員中五千三百名の休業を見、造兵部は殆んど休止狀態に至つた。軍法會議は憲兵と協力し、山口、廣島、松山からも憲兵の增援を得て取調べ、呉警察も廣島からの來援によつて首謀者を檢擧して、嚴重に彈壓したゝめ、六日には缺勤者九百餘名に減じ、漸次鎭靜に歸した

◇男爵岡田惟三郎死去

本日死去、本邦實業界の重鎭、享年七十二、長州萩の酒造家の四男に生れ、幕末高杉晉作に從つて國事に奔走したが、明治二年大阪に出て實業界に投じ、井上馨、益田孝等と先收社を興して長州米一手販賣、陸海軍用達、土木請負を經營、九年解散して別に藤田組を作り事業を繼承し、西南役には中野悟一と協力、官軍側の用達を勤めて巨財を得た。十二年贋札事件で入獄したが冤罪で釋放され、その後藤田組を合名會社に改め、爾來その社長として農業、林業、鑛業經營に專心活躍、巨富を積んだ。主な事業としては秋田小坂鑛山、島根大森鑛山、臺灣瑞芳金山、岡山兒島灣等の開發があり、關係會社は十餘に上る。多年實業界に盡した功により、四十四年男爵を授けられた

三十日（土）

◇臨時事件公債二千萬圓借換

◇三重紡績津分工場の罷業

同社津分工場職工二千餘名は米價騰貴に際して賃銀値上を要求して同盟罷業を起した

◇日本不動產銀行の改稱

同社臨時總會に於て日本產業銀行と改名し、營業種目中「不動產抵當及諸貸付」とあるのを單に「諸貸付」と變更し、更に「有價證券賣買」の一項を追加する事を議決した

◇東武鐵道會社、他鐵道會社を買收

兩社臨時總會に於て佐野鐵道の五十圓拂込三千株（資本金十五萬圓全額拂込）に對し、東武鐵道の五十圓株千八百株及社員慰勞金八千圓を以て買收の件を可決した。合併後の同社資本金は五百三十九萬圓である

◇福井・鯖江両商業銀行の合併
福井市の福井銀行（資本金二十二萬五千圓）と越前商業銀行（資本金十萬圓）の合併を兩社臨時總會で可決した

◇臺灣總督府命令航路、大阪商船受命
臺灣總督府命令航路、淡水香港間及び打狗大連間航路は大阪商船會社が受命した

【四　月】

一　日（月）

◇朝鮮關稅の改正
朝鮮關稅を改正し小麥、大豆、小豆、胡麻、生牛、牛皮、石炭、鐵鑛に對しては從價五分の輸移出稅を存置し、その他は輸出稅を廢止した

◇高雄縣廳の開業
本日中央本線萬世橋驛が開業し、同線昌平橋驛が廢止された

◇眞岡軍便線一部開通
茨城縣下館、眞岡間十哩三分は本日開通

◇大阪港島間海底電話開通

◇服部電鐘の一部開通
濱寺大濱水族館前線は本日開通した

◇盛岡電氣會社三十萬圓に增資
同社は資本金二十萬圓を三十萬圓に增資の件を株主總會で可決した

二　日（火）

◇對支白耳義借款に英露加入
對支白耳義借款は四國銀行團反對の結果、英露が加入し、三國で一千萬磅を貸付けることに契約成立した

◇陸軍大臣石本新六死去
陸軍中將男爵石本新六は陸軍大臣官邸で本日死去、享年五十六。安政元年舊姫路藩に生れ、陸士砲工科第一期を首席で卒業し、西南役に從軍、佛、伊兩國に留學して築城要塞職術を研究、歸朝後工兵科長、築城本部長を經て、明五年以來陸軍次官を勤めること十年、四十四年八月陸軍大臣に親任現職にあつた

四　日（木）

◇富山線一部開通
富山縣伏木烏尾間三哩七三鎖は本日開通

五　日（金）

◇東京市水道擴張案市會を通過
同案の內容は、多摩川沿岸羽村から同川の水を村山貯水池に導き、これから武藏野村境淨水場に至り、その一半は和田堀淨水池に、他の一半は淀橋淨水場に送つて濾過し、市內に供給する、又缺水の場合は埼玉縣栗川の水を村山貯水池に導き補給し得る、總工費は二百七十二萬圓

◇東都電燈會社、東都電氣會社を買收
京都電燈會社は臨時總會に於て京都電氣會社買收を可決した、主要條件は次の通り
▽京都電氣株一萬三千三百五十株を一株三十七圓五十錢で當社に所有▽京都電氣を百八十二萬圓で讓受く

◇日石のロータリー式鑽井機使用
日本石油會社では米國から輸入のロータリー式鑽井機械二臺を越後伊毛の新油田掘鑿に使用を初めた。從來の綱掘式が三ヶ月を要する所を十日間で掘鑿し得る

◇上廣島作陸軍大臣に親任
陸軍中將男爵上原勇作は、故石本新六の後任として陸軍大臣に親任された。長閥全盛の陸軍に薩州出身の上原が初めて陸相として入つた

六　日（土）

◇保險業法中改正法律の公布
本日の官報で公布されたが、改正の要點は次の通り
一、會社合併手續の簡易　二、監督機關の設置　三、會社財產の安定化　四、保險契約の不備缺點の補正　五、商法及訴訟事件手續法改正に伴ふ改正

◇勸業銀行法中改正法律の公布
同法は前年改正の商法規定に例外を設けて二十圓以下の小額勸業債券發行を賣出方法に依ることが出來る樣にし發行手續を簡便にして農業資金の潤澤化を計るのが眼目である。
尙同時に農工銀行法中改正法律、北海道拓殖銀行法中改正法律が公布されたが、兩法共に勸業銀行法の趣旨と同一である

◇擔保付社債信託法中改正法律の公布
同法は擔保附社債に附し得る物上擔保の中に輕便鐵道抵當を加へたものである

◇大藏省證券二千萬圓の借替發行
同證券發行條件は日步一錢四厘、仕拂期日四十五年六月廿五日で即日賣切れた

◇英國炭坑失業同盟罷業の終熄
本年二月二十九日總同盟罷業物發以來、紛糾を重ねつゝあつたが、最低賃銀法制定の結果、本日の投票大會で投票により四百二十五對四百四十票で復業に決定した

七　日（日）

◇三井鑛山會長・三井三郎助死去
三井高福の嫡男で詩を高登といひ、三井銀行から三井鑛山に轉じ、主に鑛業部門に努力、明治三十九年支那視察、四十年には益田孝とともに歐米を視察した。寬厚純潔の人として知られる

◇南東參議院北京へ移さる

八　日（月）

◇東京市同高燈計劃の却下
同計劃は左記理由で主務省より却下され、認可濟の一萬キロワットの範圍內で市營電燈の設計を變更訂正の上新規申請をせしめることゝなつた。
監督官廳は昨年日本電燈會社創立の際市內電燈需要額を調査し、尙東電、日電、東鐵電燈部の三社鼎立の餘地を認め、日本電燈に對し一萬一千キロワットの電燈事業を認可せり、然るに其後市民の電燈需要は增加せりとも見えざるに一萬七千キロワットを要する百萬燈計劃を許可するは日本電燈會社許可の意義を沒却すると共に、一面に於ては道路使用等の特權を有する東京市は民業の壓迫を來すべし

◇元北海道參議・社長・堀基死去
享年六十九。鹿兒島藩の出身で江川太郎左衛門、勝海舟について砲術、及び航海術を學び、戊辰の役に戰功あり、維新後北海道廳大主典となり、准陸軍大佐に任命され、更に屯田兵理事官となる。其後實業界に轉じ、北海道炭礦鐵道會社を創立してその社長となり、北海道開發に功勞があつた

九　日（火）

◇横濱市外債百二十萬圓成立
横濱瓦斯公債百二十萬圓は手取九十二半、年利五分の條件でセールフレーザー商會が引受けた

◇日本製布會社西陣工場を賣却
同社は減資整理の結果、同社西陣工場を五萬圓で京都の島津製作所に賣却した

十　日（水）

◇衆議院議員總選擧期日公布
衆議院議員總選擧を五月十五日擧行する旨の詔書發布さる

十一日（金）

◇大日本實業協會創立
男爵平野長祥、安立綱之、安藤三喜之助の發起による同協會は東京築地精養軒にて發會式を擧行。同協會の目的は經濟の振興及び產業の援護をなし併せて資本と事業との結合を

機けんとするものであつて、機關誌を發行し、講演會等を開く計劃である、當日は松波、佐野兩博士の講演があり、來會者二百五十名に及んだ

十四日（日）

◇**亘航タイタニツク號の沈沒**

英國ホワイトスター汽船會社タイタニツク號（四萬六千三百二十八噸）はサウンプトンから紐育に向け處女航海の途中、ニューフアウンドランド沖で氷山に衝突して沈沒、三千三百五十八名の乘客中千四百十八名の溺死者を出した

十五日（月）

◇**鐵道證券二千五百萬圓の發行**

條件は日歩一錢五厘、仕拂期日四十六年四月十四日

◇**東都市第二疎水の通水**

工費四百三十萬圓の京都市第二疎水は竣工し本日から通水した

◇**帝國火災保險會社の創立**

資本金二百萬圓にて設立された同社は、本日創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役　根津嘉一郎（社長）稻毛登三郎（專務）若尾民造、小寺謙吉、杉原榮三郎、長尾鉦太郎、神田鄰治　▽監査役　牧野元次郎、岡崎久治郎、鳥村助七、澁谷正吉、小泉策太郎

十六日（火）

◇**山本識摺の銀行設立落塲表明**

藏相山本達雄は本日大阪に開催せられた關西銀行大會に於て、人口十萬以上の都市には資本金百萬圓以下の銀行設立不認可の方針及び不確實な銀行を整理し小區域内の銀行の競爭を排除するため銀行合併の必要を强調した

◇**關西銀行大會關係建議を議決**

關西銀行大會を本日大阪銀行集會所で開催、三十四銀行頭取小山健三司會のもとに左の要旨の決議案を可決した

國庫の歲出入及稅制上に整理を加ふべき時機に際すと雖、國債償還方針は內外財政經濟情勢に鑑み依然繼續せらるべき要あり

◇**富士紡、綿紡機二萬四千錘を增設**

富士瓦斯紡績會社は小山工場に絹糸紡績一萬錘、保土ケ谷工場に同三千九百二十錘を增設することに決定した

十七日（水）

◇**鹿島鐵道工債券五十萬圓發行**

同債券發行の條件は次の通り

年利六分五厘、發行價格額面以上、四十八年六月迄据置以後十五ケ年內に償還

◇**東京府農工銀行の借額增資**

臨時總會に於て資本金百萬圓を二百萬圓に增資決定、增資新株は一株五圓のプレミアム付で現在株主に割當

二十日（土）

◇**虎皮膃肭獸の獵獲禁止**

本日の官報にて膃肭獸の獵獲禁止に關する法律が公布された、主要條項は次の通りである。なほ當業者に對しては百十二萬圓を限度とする交付金が下付されることになつた

第一條　白令海、勘察加海、オコツク海及日本海を包含する北緯三十度以北の北太平洋に於ては膃肭獸の獲獲を爲すことを得ず帝國の海岸より二海里を超ゆる前項の海面に於ては獲虎の獲獲を爲すことを得ず

第二條　膃肭獸の陸上獵獲及帝國の海岸より三海里を超えざる範圍內に於ける獵虎の獲獲は政府に屬す

第三條　獵虎膃肭獸又は其の獸皮は之を帝國內に輸入又は移致することを得ず、但し命令を以て定むるものは此の限に在らず

第八條　本法は命令の定むる所に依りアイヌ人に之を適用せざることを得

◇**富山農工銀行の借額增資**

同行は臨時總會に於て資本金四十萬圓を八十萬圓に增資することを決定した

二十一日（日）

◇**興銀總會添田壽一滯佛**

日本興業銀行總裁添田壽一は日佛銀行設立準備のため巴里に向け出發した

二十二日（月）

◇**東京府農工債券五十萬圓發行**

同債券發行の條件は左の通り

年利六分、發行價格九十八圓以上、四十八年十二月迄据置、以後二十ケ年內に償還

二十三日（火）

◇**笠岡電燈會社、有馬電氣を買收**

同社は總會に於て有馬電氣會社を十一萬圓で買收の件を可決した

◇**日本郵船會社火夫の罷業**

横濱碇泊の郵船會社の汽船及び社外船の火夫は、增給を要求して罷業を起し、常陸丸の火夫十八名は下船して出帆不能となり、その後八幡丸、シヤトル丸、壽岐丸の火夫も下船したが、廿六日に至り落着した

二十四日（水）

◇**宇治電鈍債三百五十萬圓發行**

同社は總會に於て第一期工事不足金補充のため社債三百五十萬圓發行を可決、條件は年利六分半、發行價格九十八圓、三ケ年据置後七ケ年間隨意償還

二十五日（木）

◇**大阪電證券一千萬圓の發行**

條件は日歩一錢四厘、仕拂期日四十五年八月廿六日

◇**深川正米市場の延取引警告さる**

深川精米市場の差金勘定による延取引は前年五月禁止されたが、再びこの種不正行爲が行はれ米價釣上機關と化してゐるため、農商務省から嚴重警告を受けた

二十六日（金）

◇**北海道拓殖銀行債券三百萬圓發行**

同行では第十五回拓殖債券總額三百萬圓を年利六分、價格額面以上、三ケ年据置後二十ケ年間に毎年二回抽籤償還の條件で發行

◇**富士身延鐵道會社の創立**

同社（資本金二百萬圓）は本日創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役　牟田口元學、根津嘉一郎、山中陽之助、堀內牛三郎、竹村欽次郎、堀內良平、淺川六三、小野金六　▽監査役　佐竹作太郎、松永安彥、古屋專藏、小曾根嘉一郎

二十九日（月）

◇**西部船主同盟會下級船員增給を決定**

西部船主同盟會では下級船員給料を左の如く決定した、但しこれは西部同盟船四十隻の平均である

▽甲板部最高二十五圓、最低七圓　▽機關部最高二十圓、最低七圓

◇**兵庫農工銀行二百五十萬圓に增資**

同行は臨時株主總會に於て資本金百萬圓を二百五十萬圓に增資の件を可決した

◇**遠達紡績會社三百五十萬圓に增資**

同社は株主總會に於て資本金百七十三萬五千圓を三百五十萬圓に增資の件を可決した

◇**夕張炭坑爆發し死者二百七十六名**

北海道炭礦汽船會社の夕張炭坑は瓦斯爆發し死者二百七十六名を出した

三十日（火）

◇臨時事件公債二千萬圓發行論
臨時事件公債（を發・の誤）二千萬圓を抽籤償還の方法によつて四月一日抽籤、その結果、證券千四百三十七萬三千三百五十圓、甲種登錄五百七十萬圓、合計二千七萬三千三百五十圓を本日から償還開始した

◇東京市電罷業煽動の片山潛等の判決
前年十二月中東京市電罷業の煽動をなし、治安警察法違反に問はれた片山潛、佐々井辰次郎、池田右兵衛門の三名に對する事件は、本日東京地方裁判所に於いて片山は重禁錮五月、佐々井、池田は重禁錮四月の判決を言渡された

【五月】

三日（金）

◇全國產馬大會組合法改正決議
同大會は岩手縣會議事堂に開會、日本產馬會幹事廣瀨辨二以下六十名出席、左の決議案を可決した
一、產牛馬組合法の改正を期すること
二、國有林野處分を促すこと

◇全國製絲聯合大會の決議
同大會は本日より東京市神田區錦町の大日本蠶糸會において開會、四日の會議に於て左の五項目の決議を可決した
第一、横濱に蠶糸業陳列館設置の件
第二、生繭取引方法改良の件
第三、生糸練減に關する件
第四、生糸二本揚防止の件
第五、生糸資金に關する件

四日（土）

◇宇佐參宮輕便鐵道免許
同鐵道會社（資本金二十萬圓）は大分縣宇佐郡宇佐町から西國東郡高田町に至る延長五哩十鎖敷設の件を鐵道院から免許された

◇大阪市の株式仲買商鈴田商店破產
大阪市の株式仲買商鈴田忠次郎商店（資產百十萬圓）は總負債額百四十萬圓の巨額に達し破產した。同店は昨年は百萬圓の巨利を占めたが、市場に對する思惑に失敗した結果、破綻したものである

六日（月）

◇日丁通商及び關稅兩條約批准
日本と丁抹國間の通商及び關稅兩條約は外務省に於て外務大臣內田康哉と丁抹國外交代表者和爾公使フアン・ロイエンとの間に批准交換を完了した。新條約は日瑞典、日諾、日獨各新條約と同じく輸入稅に關する事項を通商航海條約から分離し特別相互關稅條約を以てこれを規定し、通商航海條約の存續期間は十ケ年であるが關稅條約は一ケ年の豫告を以て何時でもこれを廢棄し得ることゝした。協定稅率を設けぬ點は日丁舊條約と同樣であるが、新條約においては一般に不動產の取得に關し各自國內法が外國人に認むる範圍內に於て相互の條件により互に最惠國待遇の許與を保證し、沿岸貿易に關しては規定することなく互に最惠國待遇を保證し、商事會社の互認、國境貿易及び海產に關する除外例の新規定を設けた

◇米國鋼鐵會社解散の事問
米國大統領タフトの最後のトラスト征伐と稱される合衆國鋼鐵會社を解散せしむる政府の訴訟は六日開廷され、ジエー・ピー・モルガン、イー・エチ・ギヤリー及びルーズヴエルトは證人として審問を受けた

◇栃木縣村長連原輕便鐵道に反對
栃木縣西那須野驛前において鹽原輕便鐵道の試運轉を行つたのに對し狩野、西那須野の兩村民約二百六十名は機關車の煙突から火の粉を吹き危險であるから運轉を中止すべしと

輙慫慂安課長に迫ると共に、同會社事務所に押掛け會社員を毆打し騷擾を極めたので警官隊出張して鎭撫した

◇日本電燈會社々長・中澤義吉死去
本日午後七時個島の別邸において死去、享年七十四、天保十年二月二十七日東京市京橋區南新堀町に生れ、明治二年三野村利左衞門小野善助と共に東京商社を設立、次で日本窯業會社、横濱電氣鐵道會社、東京建物會社、八十四銀行、興業貯蓄與行、六十三銀行、東京火災保險會社、帝國海上火災保險會社等の重役に就任、最後に日本電燈會社々長に就任した

七日（火）

◇武藏鄕輕便鐵道會社創立
同社（資本金百萬圓）は帝國鐵道協會において創立總會を開き、敷設區間と役員を左の如く決定した
▽敷設區間　東京府北豐島郡巢鴨町を起點とし埼玉縣飯能町に至る線路延長二十四哩七十鎖
▽取締役社長平沼專藏▽專務瀨下秀夫▽取締役小熊五郎、重野慶次郎、粕谷義三、笹田懋、內野五郎三、白山小平次、篠五郎作▽監査役金子忠五郎、高橋源太郎、鴨下榮藏、紫田武平、双木八郎

◇芝浦製作所の特許權侵害事件判決
明治四十四年獨逸アルゲマイネ電氣會社代理店大倉組はカーテス式ダービンを神戸電燈會社、南海鐵道會社の兩社に賣却したが芝浦製作所は本邦の專賣權を米國ジーイー會社から讓受けてゐるので特許權侵害であるとて紛爭を惹起し、昨年秋日米獨の關係者は獨逸において協議した結果、二社の分に對しアルゲマイネ會社から芝浦製作所に三萬五千圓の損害賠償金を支拂つたがアルゲマイネ會社は更に芝浦製作所に對し專賣權の謬渡は詐害行爲であると稱し辯護士長島鶴太郎に依頼し十萬圓の訴訟を提起したが、芝浦製作所は辯護士岸落一を訴訟代理人とし係爭の結果、東京地方裁判所においてアルゲマイネ會社の訴訟は却下、芝浦製作所側勝訴の判決を言渡された

◇鹿島農林會社創立
同社（資本金五十萬圓）は東京の九州倶樂部において創立總會を開き事業と役員を左の如く決定した
▽事業　嘉義廳下に於て護謨樹を栽培し副業として甘蔗、バナナ、パイナップルを栽培する
▽取締役（社長）高山喜代藏、（專務）村田小次郎、今井磯太郎、內村廉郎、高石忠慥、山中善平、松浦孝太郎▽監査役　栗塚省吾、奥野市次郎、藤村靜郎

九日（木）

◇英國銀行の利下
英蘭銀行は國內金融の引緩みと市中銀行の金利低落により、公定割引步合との鞘開き擴大したゝめ重役會を開き公定割引步合を五厘方引下げ三分と爲すことに決定した

十日（金）

◇三井合名會社監査部新設
同社は監査部を新設し、左の如く部長及び部員を任命した
監査部長　三井源右衛門、部員　三井武之助、同三井養之助、同三井得右衛門、同波多野承五郎、同有賀長文、同林健、同山野友次郎、同間島與吉

◇大阪莫大小紡績會社の創立
資本金六十萬圓を以て大阪莫大小紡績株式會社を創立、社長に南鄕三郎、常務取締役に掘文平が就任した

◇青森縣森林盜伐罰金二百萬圓事件

青森縣中津輕郡清水町大字惡戸の三浦太吉及び澤田專藏、成田直吉、その他六十二名に對する森林盜伐被告事件は、函館控訴院において罰金百九十八萬百圓、青森大林區署長の私訴九千三百二十四圓十二錢連帶負擔の判決を言渡され、各被告は不服として上告し、十日大審院刑事二部において井上裁判長の係で開廷、被告中五名を除き六十名に對する第二審判決は違法の點あり、更に事實を審理判決の必要あるため原判決を破毀し、東京控訴院に移送すべしとの判決を言渡された

◇支那新國旗を制定

支那參議院は五色旗を以て支那國旗と爲す旨決定した

十一日（土）

◇信越線碓氷峠の電化

信越線碓氷峠で電氣機關車の試運轉を本日から開始した。蒸氣機關車で一時間を要するものを電化によつて二十分短縮し、四十分で同峠を昇降し得ることになつた

◇東京電燈會社の社債更迭

同社は一時八十萬圓の製品停滯し營業困難に陷り昨年來夜業を中止し生產制限を加へ販路の擴張に務めた結果停滯品減少し整理は一段落を告げたので、社長宮部久は辭任し平取締役となり、大倉喜八郎が社長に就任、直接經營の任に當ることに決定した

◇監獄觀達會社の創立

同社は佐藤正、山中降之助、高東康一等發起の下に資本金二百六十萬圓を以て廣島市に創立された

◇北東政府の斷髮調令

北京政府は北方人民が斷髮を躊躇する傾向があるので、學校職員生徒及び巡警をして斷髮を勵行せしめ、人民の模範とするため來天學務公署を經て調令を發した

十二日（日）

◇南極探檢隊長白瀨矗歸朝

南極探檢船開南丸に乘り明治四十四年十二月シドニーを出發、本年一月十六日キングエドワード灣から上陸、南極探檢の目的を達した隊長白瀨矗中尉等一行六名は本日長崎に入港上陸した

十三日（月）

◇振替貯金特別取扱規則公布

遞信省は郵便振替貯金に依る債券募集、元利並に貸付事務特別取扱規則を制定、二十日から施行する旨本日の官報を以て公示、特別取扱の擴張された範圍左の如し

（一）債券の募集即ち申込の方法に依るものも賣出の方法に依るものも之を取扱ふは勿論、申込方法に依るものゝ如きは募入後の拂込及び債券の交付をも之が取扱を爲すこと

（二）債券の元利金支拂を爲すこと

（三）貸付金の借入申込の取次を爲し且つ貸付金の交付及び借入金の辨濟に際しては金高に制限なく振替貯金の受拂を爲すこと

◇高圓紡績聯合會の決議

同社委員會は墺地利國サルツブルグ市に開會、十三、十四の兩日に亘り協議を遂げ、印度棉栽植及び綿糸改良に關し聯合會として充分盡力すべきこと外五項の決議を爲した

十四日（火）

◇興本御之助死去

本日午後三時上海に於て死去、享年六十一嘉永五年八月赤坂紀州藩邸に生る。慶應三年十六歲で砲兵頭となり、明治三年藩政改革に從ふ、西南役の功により陸軍少佐に進級、次で朝鮮の幣制改革に盡し、明治二十八年王妃毒殺事件に連座、朝鮮保全と對露政策に奔走し、明治四十四年十月革命勃發後の南支に赴き、活動中であつた

◇米價引下同志會の決議

米價の騰貴甚しいため東京市各新聞記者と有志は芝浦竹芝館に會合、米價引下同志會を組織し左の決議を爲した

現時の米價は異常に昂騰せり之を引下ぐるは當面の緊要事と認む故に吾人は米價引下同志會を組織し關稅の輕減を斷行し米穀取引所に於ける格付は範圍を擴張し憂鮮米代用の途を開き進んで營業者の不正手段を抑止し當業者をして機宜を誤らざる措置を採らしめんことを期す

▽十八日の白米標準相場無砂米一石に付一等二十九圓十錢、二等二十八圓四十錢、三等二十七圓五十錢

◇慶應義塾記念圖書館開館式

同義塾創立五十年記念圖書館開館式は本日新築圖書館に於て擧行した。同圖書館は建築費二十萬圓を以て明治四十二年六月起工、同四十四年四月十五日竣工。同建築費の主なる寄附者左の如し

▽三萬圓福澤桃介、吳錦堂▽一萬五千圓三井家▽一萬圓岩崎久彌男、德川頼倫侯、古河虎之助、藤田家

十九日（日）

◇衆議院議員當選訴訟

十六日から開廷され判明した衆議院議員總選擧の當選結果につき衆議院事務局は政派別を左の如く發表した

▽政友會二〇九▽准政友八▽國民黨九一▽准國民五▽中央倶樂部二六▽准中央六▽無所屬三五▽未定大烏一、未詳岐阜縣一

二十日（月）

◇地方財政調査會第一回調査會

地方財政調査會第一回調査會は內務省において開會、水野地方局長、中川、井上兩書記官、湯淺、塚本兩參事官、囑託小林法學博士、地方財政に關係ある委員數名出席、左の調査方針について協議した

第一、地方費負擔の輕重及び公平、不公平如何

第二、地方費制減の餘地ありや否や若し餘地あるとせば如何なる處置をとるべきか

二十一日（水）

◇東京鐵行團大阪市債引受を拒絕

大阪市債七百萬圓を年利五分賣出價格九十一圓五十錢で募集を引受けた大阪銀行團代表小山健三は東京銀行團にも引受方を交渉して來たので、三井、三菱、第一、十五の各銀行代表者は本日銀行倶樂部において協議した結果、大阪市債の時價は利子を含めて九十一圓五十錢に過ぎず、利落計算では八十九圓見當となり、九十一圓五十錢以上に賣出すとしても消化は困難であるとの理由で引受拒絕を決定した

二十三日（木）

◇瀧澤銀行設立認可

横濱市の同行（資本金百萬圓、設立者瀧澤福三郎）は設立を認可された

二十五日（土）

◇東京電燈會社料金引下

同社は桂川第二水力工事が完成したので電氣料金を左の如く引下げ七月一日から實施する旨發表した

▽定額電燈料（單位錢）

燭力	現行料金	改定料金
五燭光	五五	五〇
十燭光	一〇〇	八〇
十六燭光	一四〇	一一〇
二十四燭光	一九〇	一五〇
三十二燭光	二四〇	一九〇

▽タングステン

八十燭光　三六〇　二九〇
百燭光　六五〇　五〇〇

更に二十七日動力料金を左の如く改正し七月一日實施の旨發表した

▽普通定租電力料（一馬力）（單位圓）

現行料金		改定料金	
一馬力以上	一〇	一馬力以上	一四
十馬力以上	一四	十馬力以上	一三
二百馬力以上	一三	五十馬力以上	一二
五百馬力以上	一二	但し一馬力以内は一馬力分の料金を受く	
但し一馬力以内は一馬力分の料金を受く			

◇**信濃の運搬人足十萬人同盟罷業**

信濃坂市の運搬人足聯合會は賃銀値上の要求が容れられぬため二十四日總同盟罷業を命じ本日十萬人が罷業に參加し、二十六日市内を示威行進した。繰罷業のため二百隻の船舶はチームス河に滯泊し、貨物の荷揚げは停止した。三十一日一時間六片の賃銀を一志に增額する要求が容れられ罷業は大半中止した

二十七日（月）

◇**東京、大阪両引所代用米格付認可**

農商務省は臺灣米、朝鮮米格付に關し東京米穀取引所、大阪堂島取引所に對し左の趣旨の代用米格付認可の指令をなした

一、臺灣米、朝鮮米は未定格品と爲し標準米（武藏中米）に對し現品を檢査し相當の格付を爲すべし

二、臺灣米、朝鮮米の格付範圍は、標準米（武藏中米）に對し朝鮮米は四圓下げ迄、臺灣米は五圓下げ迄のものに限る

三、内地米に就ては從來一圓五十錢下げ迄の分のみを代用に供したが今回格幅を更に擴張し標準米に對し二圓下げ迄の分を代用せしむること

◇**鶴岡藩士責腹遺族事件の判決**

舊鶴岡藩士伊丹親文外五百四十九名は辯護士濱地八郎を代理人とし明治七八年の率還金、明治九年の金祿公債證書下賜に際し不足額を生じたとの理由から大藏大臣山本達雄を相手取り家祿返還請求の行政訴訟を提起し本日行政裁判長山脇玄から大藏大臣は伊丹親文に對し四百四十五圓八十三錢七厘、外三十八名に對し合計九千百六十七圓四十九錢三厘に相當する公債證書及びその端金を交付すべしとの判決言渡があった

二十八日（火）

◇**外米輸入稅率引下勅令公布**

關稅定率法第六條の内作に因る米價騰貴の場合に輸入稅率を下ぐることを得る規定に基き政府は明治四十五年十月三十一日まで米及び粺の輸入稅率を毎百斤四十錢とし即日施行する旨の勅令を本日官報を以て公布した、現在の輸入稅率は毎百斤一圓で四十錢は低下し得る最低限である

◇**東京市會四十六萬燈電可決**

東京市會は一萬キロワット四十六萬燈計劃案（事業費豫算七百八十四萬餘圓）を附議し委員長豊原基臣から委員會の經過を報告、原案通り可決した

◇**大阪市債十百萬圓の成立**

大阪市債七百萬圓は三十四、浪速、山口、北濱、第三の公金取扱銀行との間に手取り九十一圓、七月一日全額拂込の條件を以て成立した

三十日（木）

◇**帝國瓦斯協會創立**

帝國瓦斯協會創立總會は東京瓦斯會社において開會、定款を議決し評議員三十五名を左の如く選任した

高松豊吉、大橋新太郎、久米良作、鴨島甲子三、平松末吉、渡邊福三郎、利光鶴松、

岡烈、渡邊朔、内藤游（東京瓦斯會社）片岡直輝、渡邊千代三郎、岸清一、下村孝太郎、岩下清周、今西林三郎（大阪瓦斯會社）奥田正香、上遠野富之助、岡本櫻（名古屋瓦斯會社）奥繁三郎、宇野保太郎、松方五郎（京都瓦斯會社）松方幸次郎、久保正助、船曳申（神戸瓦斯會社）鈴木寅彦、村山駒之助（北海道瓦斯會社）藤波重雄（門司瓦斯會社）藤澤幾之輔（仙臺瓦斯會社）藤山安次（八王子瓦斯會社）岡崎遠光、岡正矣（日韓瓦斯電氣會社）磯部保次（韓國瓦斯會社）鈴木庸生、富次素平（滿鐵瓦斯會社）

◇**東京市電車罷業事件の判決**

東京市電車同盟罷業事件に連座し治安警察法違反に問はれた被告に對し東京地方裁判所において松山裁判長から新宿組六十三名の内首謀者元山源治、堀田宗十郎の兩名は懲役三ケ月、湯淺常吉外六十名と三田組の坂本熊吉外三十名は懲役二ケ月、いづれも二年間刑の執行を猶豫すとの判決を言渡された

◇**陸軍農業豫備役員勝訴**

静岡農工銀行副支配人海野伊三郎は行金十五萬六千百四十七圓餘を費消したゝめ同頭取高森雄兵衛以下取締役監査役は責任を負ひ連袂辭任した

◇**漢口市街再建借款成立**

革命のため兵火に遭った漢口市街再建設の目的を以て黎元洪は參議院の承認を得、米國ダラー商會と三百五十萬磅を左の條件で借款する契約成立した

▽債證期限　二十五ケ年▽据置期間五ケ年

▽利率年五分▽手取九四

【六　月】

一　日（土）

◇**英国炭坑夫同盟罷業**

英國ミッドランドの炭坑夫千三百名は賃銀裁定局の決定した賃銀を不服として同盟罷業を決行した

◇**綾青の米ーイ三千五百名同盟罷業**

綾青市のホテル三十軒のボーイ三千五百名は給料の値上を要求して容れられず同盟罷業を決行した

二　日（日）

◇**大日本フイルム會社改稱**

大日本フイルム機械製造株式會社（資本金一千萬圓）は發起人會を開き日本活動フイルム株式會社と改稱して創立、後藤猛太郎、鄕誠之助發起人總代となり一萬五千株（總株數二十萬株の内十八萬五千株は發起人贊成人に於て引受濟）公募と決定した

三　日（月）

◇**寺内朝鮮總督暗殺陰謀事件起訴**

明治四十三年八月の日韓併合條約に憤慨し同四十四年十一月迄の間において朝鮮總督寺内正毅暗殺の陰謀を企てた朝鮮人用致昊、梁起鐸等百二十二名に對する謀殺未遂事件は京城地方法院檢事局に於て全部有罪と決定し起訴された

五　日（水）

◇**鳥羽造船所休業**

安田善次郎經營の同造船所（資本金二百五十萬圓）は四十餘萬圓の負債を生じ、經營困難に陥り本日無期休業と決定し、職工伍長には一ケ月分、その他にはそれ〳〵慰勞金を支給した

◇**奥羽電氣會社の社債成立**

米澤市の同電氣會社（資本金百萬圓）は業務擴張のため二十萬圓の社債を左の條件で帝國生命保險會社から借入れることに交渉成立

▽利率　年七分▽期限　三ケ年据置後四ケ年目に償還

六　日（木）

◇信州製絲家の破産

信州更級郡上山田村更級社（明治十九年創立、二百二釜）は生糸市場不振（平均相場信州上一番八百三十五圓）のため五萬圓の負債を生じ破綻した

八　日（土）

◇日本鋼管會社の創立

澁澤榮一、淺野總一郎、大倉喜八郎等によつて發起され、資本金二百萬圓を以て日本鋼管株式會社は創立され、社長には白石元治郎が就任した

九　日（日）

◇帶鋼輕便鐵道會社創立

同社（資本金百萬圓）は創立總會を開き建設費の增額三十萬圓を承認し、左の役員を選任した

▽取締役　竹内綱、笠井愛次郎、山中產兵衛　田中元三郎、沼尻榧次郎、新井善次郎、野々村澤四郎▽監査役　齊藤斐、濱名信平、大野落敏

十　日（月）

◇兩毛織物組合聯出綿物檢査規則既布

兩毛織物同業組合聯合會は輸出綿物（主としてタフタ）の組製濫造を防止するため檢査規則を制定、農商務省の認可を得、本日聯合會員に配布した

十一日（火）

◇全國倉庫聯合會の營業稅輕減陳願

全國倉庫聯合大會の決議（四月二十日神戸市に於て）により委員東京倉庫取締役會長佐々木勇之助、川良平、澁澤倉庫取締役會長佐々木勇右衛門連署の上、東神倉庫取締役社長三井源右衛門連署の上、西園寺臨時制度整理局總裁宛營業稅法改正（倉庫營業稅輕減）に關する上申書を本日內閣書記官長南弘、大藏省主稅局長菅原通敬に提出した

◇富士身延鐵道・富士馬車を買收

富士身延鐵道會社（資本金四十萬圓拂込濟）は富士馬車鐵道會社（資本金八萬圓）を十萬六千圓で買收することに交涉成立した

◇島原電鐵の社債成立

島原電氣鐵道會社（資本金八十萬圓）は事業資金四十萬圓を安田銀行から利率八分、五ケ年の償還期限で借入れることに交涉成立

十三日（木）

◇東京市長尾崎行雄辭任

東京市長尾崎行雄は本日辭表を提出した

十四日（金）

◇東京モス創立者・井上市兵衛死去

本日午前十一時死去、享年五十四、山梨縣に生れ明治二十八年東京毛斯綸會社を創立、洋織物商富屋を經營、病氣のため毛斯綸會社の取締役を辭し隱退してゐた

十五日（土）

◇日獨船舶積量互認當分公布

日獨船舶積量互認に關し公正積量證書を有する西洋形關領印度船舶は帝國諸港に於てその積量を測度することなく、その證書に記載する登簿噸數は日本船舶の登簿噸數と同一と看做すとの逓信省令が本日公布された

◇京都市圓大事業竣工式

京都市は一千七百萬圓を以て七ケ年計劃の第二琵琶湖疏水開鑿發電事業擴張、上水道敷設、道路擴張、電鐵敷設の四大事業が完成したので本日岡崎公園地內大極殿に於て竣工祝典式を擧行した

◇大阪の株式仲買商破産

大阪市の株式仲買商吉川增太郎商店は株式市場不振のため債務約五萬圓に達し破綻、同石橋繁三郎商店も債務二萬圓となり破綻した

朝鮮釜山稅關桟橋竣工し本日開通式を擧行

十八日（火）

◇三井物產、串木金鑛買

三井物產會社は明治三十九年から鹿兒島縣串木金鑛の調査に着手したが有望と決定したので百萬圓の資本を以て採掘することゝなり英國に四百噸、米國に五百噸の採掘機械を注文し、その一部は長崎港に到着した

十九日（水）

◇率天に動亂勃發

率天北門外駐劄混成第二協第三隊の兵士に對し國民捐として給料額を輕減すとの譏出でしため減給の兵士等は忽ち不平を起し城外において約千七百名の兵士は掠奪を行ひ放火を爲したので率天城內各要所は巡防隊と佛兵で警備され二十一日偵察した。掠奪と放火の被害は約二百萬圓に上る

◇南極探檢船開南丸歸る

航程四萬餘浬を航行し南極探檢の目的を達成した開南丸は品川灣出帆以來二十ケ月目で隊員七名、海員十三名乘船、本日橫濱港に歸港した

二十日（木）

◇清國投資の六ケ國財團詰責

巴里に於て開會（十八日）された英、米、佛、獨、日、露六ケ國銀行會議は日本側の提案した滿蒙問題に關し露國側の同意を得、本日五ケ條から成る財團規約の調印を終り、六ケ國財團の成立を告げた。財團規約の內容は財團の目的、借款、名稱（政治借款を改めて支那改造借款と稱す）分擔、一切の公債發行手續等を規約したものである

二十二日（土）

◇參宮輕便鐵道會社免許

參宮鐵道汽船株式會社の子會社たる參宮輕便鐵道會社（資本金五十萬五千二百十五圓）の愛知縣豐橋市から同縣渥美郡福江町に至る延長二十哩敷設の件は本日鐵道院から免許された

◇伊豫水力電氣社債成立

同社（資本金百三十萬圓）は金五十萬圓を舊債の償還、三十萬圓を事業擴張に充當するため日本生命、帝國生命の兩保險會社から各四十萬圓宛、年利七分二厘五毛、三ケ年据置、三ケ年後に償還する條件で借入成立

◇鴻鑑監事の新任と更迭

同社（資本金二億、內一億二千三百九十九萬四千圓拂込濟）は株主總會に於て左の如く監事の新任と更迭を可決した

▽新任大倉喜八郎、村井吉兵衛、入江鷹之助、秋田宗四郎▽更迭　瀧兵衛門退任、大橋新太郎就任

二十三日（日）

◇青木昆陽の碑竣工式

甘藷栽培の先覺者贈正四位青木昆陽の建碑は東京市外目黑不動尊境內に建立、六代の孫青木榮太郎參列し本日竣工式を擧行した

二十四日（月）

◇大倉張殼礦會社組織變更

同社（資本金百二十萬圓）は臨時株主總會を開き、組織を變更し三菱合資會社に經營を一任に決定、役員を左の如く選任した

▽取締役　岩崎小彌太、南部球吾、原田鎭治、木村久壽彌太、江口定條▽監査役　馬越恭平、豐川良平

二十五日（火）

◇大興信債證券二千萬圓發行

東京日本橋に本店を有する帝國有價證券株式會社々長兼帝國銀行（資本金四十萬圓）總監督武上善九郎及び同社專務取締役麻生要廣、元同社營業課長小幡錄郎、同社秘書齋藤

譽治の四名は共謀し、外交員六十名を使用し勸業債券を賣るとゝ稱して會員から募集した三十萬圓を詐取し費消したこと發覺し東京地方裁判所檢事局に拘引された

二十九日（土）

◇大阪鹽業の社債成立

同社（資本金二千四百七十萬圓）の社債二百萬圓借入は左の條件で成立した

▽發行價格九十八圓、手取九十六圓五十錢

▽年利　六分五厘▽償還期限二ヶ年据置、八ヶ年償還△引受銀行　浪速、三十四、住友、北濱、鴻池、近江、山口

◇山陽紡績會社創立

同社（資本金百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役（專務）田附政二郎、阿部房次郎、藤井善助、伊藤忠三、下郷寅二郎▽監査役　北川與平、瀨尾喜兵衛、柴田源右衛門

【七　月】

一　日（月）

◇富士瓦斯紡會社大株主會の調査報告

同社の内紛に關し先に大株主會に於て選定された調査委員發起の二百株以上の大株主會は東京商業會議所に於て開催、出席者四十九名、調査委員の報告は大要左の如くである

一、同社の固定資本は約百萬圓以上に評價されてゐるが、牧場の樹木價格に於て四十萬圓、舊式機械と同値に評價し、建物の用材萬圓、大阪の土地に於て四十萬圓、建物の用材械を新式機械と同値に評價し、建物の用材等を時價に見積りたるものにて三十萬圓、合計大約百萬圓にて不當の評價とは云はれない

二、帳簿中有價證券三十四萬圓とあるが、この内には五萬圓の不都合なものがあつた

三、銀行預金の四十萬圓は大部分興業銀行の分であるが、これは利鞘の點で毎年少からぬ損失を蒙つてゐる

四、小野社長と關係の深い割引銀行には不都合な取引關係はない

五、受取手形には不審の點がないが支拂手形の中東海肥料會社宛十六萬圓は固定資本の性質を有する

六、持越製品の値段は前期は兎も角も今期は實値段よりは遙かに安價の工場原價を以て計上してゐる

以上は今期の決算を基礎として調査せるものであるが、短期間のため以前の帳簿を見ることは困難であり且つ約四百萬圓を投じた北海道方面に關しては調査しなかつたと報告、更に調査せしめることを決議した

◇福井縣の羽二重電雲雲間盟休業

原料絲價の低落と共に羽二重市價の低落を來し機業家の破産に瀕するもの續出したゝめ、福井縣鯖江では前月二十八日協議の結果に基き本日から同盟休機を實行した

四　日（木）

◇日糖重役獄山・鹿村の判決確定

大日本製糖株式會社の元重役磯村晉介、秋山一裕に係る私書僞造行使依託金費消瀆職等の各被告事件の公判は、四十二年から四年間繼續しその間減刑となり執行猶豫となり三度迄上告されたが本日大審院刑事第二部井上裁判長の係にて上告棄却の言渡を受けたので、被告兩名に對する名古屋控訴院の各懲役三年の判決は確定を告げ保釋中の兩名は直ちに刑の執行を受けることゝなつた

五　日（金）

◇日本電氣信託會社創立

同社（資本金五百萬圓）は北濱銀行に創立總會を開き左の如く重役を選任した

▽取締役　岩下清周（會長）速水太郎（常務）

岩本榮之助、小曾根喜一郎、大西五一郎、大林芳五郎、片岡直輝、田中隆三、前島右一郎、郷誠之助、神野金之助▽監査役　飯田精一、戸田榮藏、加藤重三郎、中西萬藏、野田儀一郎、牧野元次郎、水間此二夫、志方勢七

六　日（土）

◇北海道炭礦汽船會社の重役總辭職

同社は重役會を開き室田社長から前年二月十八日以來の同社々債問題の經過を報告した後室田社長以下取締役一同は波多野、貝塚兩監査役に辭表を提出した。なほ社債問題に就いて奔走した大株主委員中池上仲三郎、山中疇之助、櫻内幸雄、根本正、須永清、岡崎正也等出席して室田社長から總辭職をなすに至つた顚末を聽取し同時に大株主委員を辭任した。總辭職の理由は、大體次の如くである。明治四十二年五月井上角五郎の社長辭任以後會社の内部は紊亂を極め、殆ど拾收すべからざる狀態にあつたが、室田義文社長となり整理に着手、二年前に一應會社の財産狀態を整理し、營業方針を根本的に改革する目論見にて鎭山專門家、關工學博士を煩はし會社所有の炭山を測量したところ未着手礦區のみにて二十二億五千萬噸の採炭量あるを確めた、そこで一ヶ年二百萬噸採掘の計畫を立て之に要する資金として六百萬圓の起債をなすに決し前年二月十八日以來社債募集の方法を講じた結果、會社重役にて三十五萬圓、一般株主からの申込額百十萬圓に達したので、先づ大株主三井に出資を求め、次で宮内省、安田等の出資を求むる豫定だつたが、三井家は正式に調査する必要があるとの理由にて社債に應じなかつた、それ故三井の同意を得るには重役並に大株主委員は一先づ辭任すべしといふ見解に達したのである

◇福井藩荒子組の秩祿請求勝訴

元福井藩荒子組卒族渡邊喜助外千三名餘名は辯護士岡崎正也を代理人として大藏大臣に對し三十萬圓の秩祿請求の行政訴訟を行政裁判所に提起し、本日山脇裁判長の係にて開廷原告の請求は理由あるものとして勝訴の判決を受けた。請求の理由は、荒子組は維新の際各所に轉戰功勞少くなかつたが、明治二年中僅少の手當を受けて解散せられたので、一同は大に激昂し騷動を起したゝめ明治四年中解散處分を取消し、元の給祿を復舊すべき指令があつた、然るに維新の際とて實行されなかつたので、原告等は不服を唱へその可否を爭つたが實現しなかつた、故に原告等には明治二年の祿制に基き公債交附の請求權があると云ふのである

◇檢太郎、後藤新平邸訪す

公爵桂太郎、男爵後藤新平は午後七時新橋驛發にて鎌都訪問の途についた

八　日（月）

◇東亞興業會社、江西鐵道に融資

東亞興業株式會社は江西鐵道に五百萬圓を貸附けることに契約成立した。利息年六分、償還期限十ヶ年据置後十六ヶ年償還、契約成立と同時に東亞興業は三十萬圓の手付金を交附した。右借款使途は同鐵道に對する日本興業銀行百萬圓、大倉組の五十萬圓、三井の三百萬圓、大清銀行、交通銀行、漢冶萍煤鐵公司等の合計約五十萬兩の借入金の償還に充てその殘金は利息年六分にて東亞興業に預金することに決した

◇阪谷芳郎東京市長に當選す

尾崎行雄辭任につき東京市會は男爵阪谷芳郎を後任市長に選任、十二日同市長の就任裁可があつた

十四日（日）

◇明治天皇御不例

明治天皇に於かせられては、本日御腸胃に御故障あらせられ、御嗜眠の御傾向を見させ給ふた

◇支那招商局の組織變更

支那の招商局は近年その經營が困難となつた上に革命後は更に不況の度を増したので、當局は本日の臨時株主總會に於て三つの改革案を協議したが、第一案外國人を雇入れて代辨せしむること及び第二案政府の專辨を請ふことの二案は否決となり、左の第三案が可決された

新會社を組織し會權を以て會社の業務を辨理すること、招商局は株金四百萬兩なるも財產の評價は一千萬兩に上れり、今折半して一定の金額とし大資本を募集し一の新會社の業務を辨理するの全權を附與し、此の資本金は舊株主に優先的に募入を許すが、其希望するものは株券に若干の割增を加へて買收したる後は舊會社に屬する一切は悉く新會社の權利に歸し、新會社に加入を希望する株主の株金は從前の通り利害を共にし、脫退したる株主は何等新會社に關係なきものとする。但し外國人は應募を許さず專ら中國人より株券を公募する

十五日（月）

◇御谷卯三郎勸業銀行副總裁に昇任

久しく缺員のまゝだつた日本勸業銀行副總裁は本日同行理事御谷卯三郎が任命された

十八日（木）

◇北港製糖會社の外資百二十五萬圓借入

同社は事業擴張費及舊借入金償却のため小池合資會社の仲介に依り本日ロンドンのサミュル商會と百二十五萬圓借入の契約を結んだ。利率は手數料共年六分五厘にて据置三ケ年後六ケ月毎に書換へ、その時に於ける英蘭銀行の公定割引步合を標準として高低することに決した

十九日（金）

◇富士製紙會社の內訌落着

同社はその內情に關し改革說を主張する者があつたゝめ本年六月二十六日の同社定時總會に於て社長小野金六以下重役一同總辭職をなし、その後多少の波瀾を生じたが、本日の臨時總會は平穩に經過し社長に原六郎、取締役に山岡直記就任することに決し內紛も落着した

二十日（土）

◇明治天皇御容體公表

明治天皇におかせられては明治三十七年末頃より糖尿病に罹らせられ、三十九年一月末より慢性胃腸炎御併發、爾來御病勢多少御增減の御模樣に拜したが、本月十四日御腸胃症御發病、十五日より少しく御嗜眠の御傾向あらせられ、十八日以來御嗜眠は一層增加遊ばされて御食氣御減少、十九日午後より御精神少しく恍惚の御狀態にて御腦症あらせられ、御尿量頓に御減少、蛋白質著しく御增加、同日夕刻突然御發熱遊ばさる、本日午前九時、侍醫頭醫學博士男爵岡玄卿、東大教授醫學博士青山胤通、同三浦謹之助拜診、尿毒症たる旨上申した

◇華太鐵道開通式

樺太栄町（大泊）から東海岸栄濱（ドブキー）に至る五十六哩の縱貫鐵道完成し、本日栄町に於て全通式を擧行した

◇名古屋銀行の增資

同行は定時株主總會に引續き臨時株主總會を開き、資本金百四十四萬圓を增加して三百萬圓とすることを決した

二十一日（日）

◇明治天皇御容體不豫

御尿閉あらせられ、御興奮の狀にて御睡眠少く喃々譫語を發せられ、御腹部の鼓張御增加の御樣子なるも、他は前日と御變りなし

二十二日（月）

◇明治天皇御病狀御輕快

御容態稍々御良好と拜承す

◇鬼怒川水力電氣會社外債百萬圓借入

同社は工事完成費としてロンドンのサミュル商會から資金百萬圓を利率手數料共年六分を以て借入るゝことに契約成立し、本日現金の授受を了した

◇京都組織誤行の体裁

西本願寺の經營する京都の起業銀行は從來からその內情を疑はれてゐたが、本月十一日以來破綻の風評傳つたゝめ京都本店及び鳥原出張所に取附起り二十日の預金引出額は十五萬圓に達し、その餘波は下關支店及び小倉その他の九州各出張所にも及んだので、本日に至り遂ひに向ふ三週間、即ち八月十一日まで支拂停止を發表した。同行は明治二十九年三月、資本金二百萬圓を以て設立、三十四年の恐慌の損失を蒙つて百萬圓に減資し、三十八年再び五十萬圓に減資した。現頭取は平井熊三郎であつたが、本年總選擧の際多額の運動費を使つたのみならず投機のため多大の損失を招き銀行に對しても危惧の念を生ぜしめることゝなつたので、平井はその持株八千株を本派本願寺に賣却して急場を凌がうとしたが、內部に反對者があつて話がまとまらず遂に取付が行はれ臨時休業の止むなきに至つたもので預金及借入金總計百九十四萬二千圓、貸出及所有物總計二百四十六萬三千圓である なほ同行取締役頭取平井熊三郎、取締役吉川久七、杉森清藏、監査役木村省吾の四名引責辭職したので、本月三十一日補缺選擧を行ひ取締役に上原芳太郎、木村省吾、伊藤傳次、監査役に德力耕太郎、浮田桂造が當選した

二十三日（火）

◇明治天皇御容體良好

廿二日來御經過概して御良好にあらせられる旨發表さる

二十四日（水）

◇明治天皇御病勢進む

御疲勞の度加はり安靜ならざる御狀態と拜せらる

二十五日（木）

◇明治天皇御容體輕からず

御脈百五乃至百十、不整にして、御呼吸も亦不御調、御舌苔だしく御乾燥、暗褐色の苔を呈し、御安靜ならざる御模樣に拜察され、御容態は憂慮さる

◇大藏省證券一千萬圓發行

◇淡路銀行と北淡銀行の合併

淡路洲本町の株式會社淡路銀行（資本金七十二萬五千圓、內拂込額四十三萬五千圓）と同國岩屋町の株式會社北淡銀行（資本金六萬圓、全額拂込濟）とは、北淡の資本金を七十七萬五千圓に增資して淡路銀行に合併し、資本總額を百五十萬圓とすることゝし、兩行とも本日總會を開いてこれを決議した

◇東京市四十六萬燈計劃認可

東京市の申請による電燈經營事業設計變更目論見工事施行設計、即ち四十六萬燈計畫は本日一括して逓信大臣より認可されたが、これと同時に主務省は民營會社との均衡上左の命令を交付した

第一條、東京市は電線路施設の爲め市の管理する道路橋築其他の物の使用に關し他の電氣業者の出願ある場合に於て濫りに其位置を先占保留すべからず。逓信大臣は東京市が前項に違反したる行爲ありと認むるときは何時にても其工事の中止を命ずること

あるべし（以下略）

◇植村大阪市長辭職

大阪市長植村俊平は市の變跡變更線並に松島安治川線の電鐵認可問題が紛糾した責を引いて市長を辭任、本日附當局の許可があつた

二十六日（金）

◇明治天皇御病狀惡し

廿五日に比し御疲勞御增加、御衰弱も加はり、御脈不整にして、御呼吸も不規則、シヤイネストツク氏型に類似し、終日御病篤き狀態にあらせらる

二十七日（土）

◇明治天皇御病狀御緩和

御脈不整なれども御力强實、御呼吸の不規則狀態も少しく御減少、御腹部の鼓脹も御減退遊ばして、總體の御狀況は二十六日に比し御緩和の御樣子に拜察さる

二十八日（日）

◇明治天皇御容體惡化遊さる

二十七日夜來御脈少なく本日午前二時以後御安靜にあらせられず、御呼吸不規則に渡らせられたが、午後御容體急變、一時過より御脈搏御增進、二時半御脈の不整結滯甚しく御四肢に輕度の御痙攣を發し御苦悶の狀に拜察され、七時には御全身に御痙攣あり甚だ御危險の狀態に陷らせ給ふ、御平癒を祈り來る民草一重構前に嗚咽し、夜を徹して去らず

二十九日（月）

◇明治天皇御病篤し

午前三時拜診御體溫三十七度五分、御脈百二十、結滯多く御呼吸御困難に拜察され、午前九時には御脈不整微弱にして御危險の御狀態に拜さる、午後零時御脈細微にして御呼吸は依然御困難の御狀態にあらせられ、御四肢の末端暗紫色著明にして益々御危險と拜察さる、午後七時には御病勢頗々御增進、御呼吸御淺薄に渡らせらる

三十日（火）

◇明治天皇崩御

本月十四日から御膳病にて御不例中の明治天皇に於かせられては、凡ゆる名醫の御診療並に全國民を擧げての熱誠を盡めた御平癒祈願もその甲斐なく、本日午前零時四十三分心臟麻痺にて崩御あらせらる。實算六十一

◇大正天皇御譲詔

明治天皇崩御につき百二十三代の天皇に當らせらる大正天皇には、本日午前一時宮中賢所大前に於て譲祚の御儀式を擧げさせられ引續き御置薬御の御式を行はせられた

三十一日（水）

◇大正と改元さる

大正天皇御踐祚につき、登極令の規定に依り元號を改め、樞密院の御諮詢を經て本日曉官報號外を以て「大正」と定めらるゝ旨左の詔勅を發せられた

詔勅

朕菲德ヲ以テ大統ヲ承ケ祖宗ノ靈ニ諮ケテ萬機ノ政ヲ行フ　茲ニ

先帝ノ定制ニ遵ヒ明治四十五年七月三十日以後ヲ改メテ大正元年ト爲ス主者施行セヨ

御名御璽

◇御詔勅並に遺勅渙發あらせらる

大正天皇におかせられては本日午前十時朝見の式を行はせられた後、御詔勅並に陸海軍へ遺勅を發せられた

◇ボンベー鼠花市場弔慰休止

明治天皇崩御の報に接し、同市場は本日取引を休止した

◇親濱の夏商・茂木陸兵衛死去

合名會社茂木銀行、茂木商店の出資社員茂木惣兵衛は腎臟病にて東京高輪の邸にて死去、享年四十七。氏は慶長二年群馬縣に生れ

幼少の頃先代茂木保平の養子となり、生糸貿易を營む傍ら上毛物產會社取締役、七十四銀行頭取、横濱蠶糸貿易商組合組長として活躍したが、先年來病氣のため諸會社の重役を辭して第一線を退き、その後、專ら靜養に努めてゐた

【八　月】

七　日（水）

◇鹽豆電氣鐵道會社の借入成立

同社はさきに三島鐵道を買收して資本金を三百萬圓に增加したが、蒸氣動力の三島鐵道を電氣鐵道に變改する事業費並に電燈擴張費のため三十七萬五千圓を年利七分二厘にて明治生命及び東京海上兩保險會社から借入れることに決定、鐵道院の認可を受け鐵道條例に依り借入の手續を終了した

◇日佛銀行の日本側出資割當決定

同行は本年六月二十四日に佛國法に依り第一回創立總會を、七月三日に第二回創立總會を開き、佛國法律に依つて完全な設立を見たが、同行の資本金は二千五百万法即ち邦貨約一千萬圓にして內六百萬圓は佛國側の出資にかゝり殘額四百萬圓は日本側が引受けることに決したので本日井上馨侯邸に內田外相、山本藏相を始め勝田理財局長、高橋日銀總裁、添田興銀總裁、三島正金頭取、澁澤男（第一銀行）早川千吉郎（三井銀行）三村君平（三菱銀行）等會合し、井上侯を中心に日佛銀行の株主割當額、重役選任、營業開始に關する重要協議を行つたが、株式割當額は左の如く決した。一株は五百法にして邦貨約二百圓である

日本興業銀行一萬二千株、第一銀行、三菱銀行各二千五百株、三島正金頭取、巽正金倫敦支店長（同行取締役）井上馨九郎（興銀理事）齋藤恂（興銀理事）渡邊千冬各百株宛

尙又外國側株主數は三十三であるが銀行其大部分を占め、內株式組織の銀行及び會社の數二十三で資本金額十八億五千六百萬法、個人銀行十三、その見積資本金六億法、總計二十四億五千六百萬法に達し、この內個人銀行の分は內輪に見積られてゐるから、その實狀は總計よりも遙かに多い見込である

◇富士紡專務・和田豐治滿歿す

富士瓦斯紡績會社專務締役和田豐治は同社技師後藤正堯、木內直及び日比谷新次郎、木村平右衛門、柿沼敬太郎、川崎芳次郎等と共に新橋發にて渡歐の途に就いた

八　日（木）

◇臺灣電氣鐵會社創立

同社（資本金三百萬圓）は東京日本橋倶樂部に創立總會を開き左の重役を選任した

▽取締役木下新三郎（社長）、江口晉三（專務）石川昌次、松方五郎、高橋虎太、▽監査役川上俊介、內田直三、木村泰治、林寬敏、關善次郎

九　日（金）

◇九州水力電氣會社、博多軌道社合併

同社は東京日本橋倶樂部に於て臨時株主總會を開き博多電氣軌道會社合併の件を可決、博多軌道も同日九州本社に於て株主總會を開き合併案を可決した、博多軌道は連年缺損を續けたので九州水力と九州電氣會社の双方に對して合併運動を試みたが九電の合併條件が過酷なため九水との交渉成立するに至つたものである。契約の要項は九州水電は博多軌道の株式五萬株（一株三十五圓拂込）に對しその株式七萬株（一株十二圓五十錢拂込）を交附することゝし、從來の資本金八百萬圓は合同の結果三百五十萬圓を增加、一千百五十萬

調となつた

十　日（土）

◇上信電鐵開業式　新潟縣中頸城郡直江津町から東頸城郡下保倉村に至る十哩七十二鎖、資本金二十二萬圓の同鐵道は、發起人大竹謹治外七名に對し敷設免許狀を下附された

十一日（日）

◇桂公、後藤男參謁帰朝　露都を訪問した桂公、後藤男の一行は明治天皇崩御の報に接し、旅程を變更して急遽歸朝の途につき本日午前六時新橋驛着歸京した

十二日（月）

◇北海道炭礦汽船臨時委員分論　同委員は本社に集合、宮内省内藏寮主事坂本敏健、團琢磨、飯田義一を始め委員全部出席、委員長として坂本敏健を擧げ、調査の部署を分けて三部となし、第一部を炭礦、第二部を副業、第三部を營業として委員長の指命により左の如く委員を決定した

▽炭礦調査委員　團琢磨、雨宮亘、渡邊甚吉、神谷傳兵衛、樣内幸雄、馬場道久、田中新七　▽副業調査委員　田中新七、池上伊三郎、飯田義一、雨宮亘、村上太三郎、團琢磨、須永清　▽營業調査委員　飯田義一、武智直道、池上仲三郎、須永清、樣内幸雄、山中陣之助、岡崎正也、根本正

十三日（火）

◇桂太郎内大臣侍從長に轉任　前首相桂太郎は元老の切なる勸說により政界を斷念し、當時輔弼の重任に當ることとなり、本日内大臣兼侍從長に親任せられた

◇日佛銀行の重役決定　日佛銀行の重役は本日左の如く決定し何れも就任した

▽總裁ゲルノー▽副總裁添田壽一（興銀總裁）▽取締役　グンツブルグ、ブスケー、フイナリー、ラパシイー、フルクー、巽孝之亟（正金倫敦支店長）井上辰九郎（興銀理事）齋藤恂（興銀理事）渡邊千冬（專任）

十五日（木）

◇大藏省證券二千萬圓發行

十七日（土）

◇日本パルプ會社創立　同社（資本金五十萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した。目的は製紙原料パルプの製造で、パルプに適せざる木材は製材又は薪炭として販賣する

▽取締役　河瀨秀治、横河規一、松永正名　武澤悉敬、渡邊登三郎▽監査役　大石麗司　東兵右衛門

十八日（日）

◇浦賀船渠會社整理案を協議　同社は創業以來營業方針を誤つたゝめ多年缺損無配を續け、株式の市價は殆ど反古紙同樣となり前途を危ぶまれたが、曩に東京毛織物會社の整理に成功した日本皮革會社取締役町田豐千代が浦賀船渠の債權者第一銀行を代表して社長となり、本年三月以降工場内部の刷新に着手し、五月七日には不良職工四百三十二名を淘汰した、次いで同社の根本的改革をなすため十四名の整理委員を擧げ、次の如の如き整理案を持寄り、日本工業倶樂部に於て協議した

一、資本金九十五萬圓此株式一萬九千株の内損失塡補及財産減價償却の爲め金六十六萬五千圓株式一萬三千三百株を減資し、結局資本金二十八萬五千圓株式五千七百株に改むること（即ち現在株式十株を三株に切捨て七株を減資償却すること）

二、右減資實行の上は更に資本金を百十三萬五千圓に增資し現存借入金八十五萬圓（第

一銀行六十萬圓、二十七銀行二十五萬圓）を此の增資に充當振換へること

二十一日（水）

◇鹽業銀行重役辭表聽取　平井頭取以下各重役辭任の後を受け前月三十日の同行臨時總會に於て自ら進んで就任した起業銀行頭取上原芳太郎、取締役木村省吾、監査役浮田桂造、穗刀耕太郎の四名は本派本願寺の援助を受くることが出來なかつたため銀行整理に絕望し本日辭表を提出した

二十三日（金）

◇臨時議會開會　明治天皇の御大喪費を議するため、臨時議會召集、本日開院式を擧行

二十四日（月）

◇御大喪費可決　明治天皇御大喪費百五十四萬五千三百八十九圓は貴衆兩院に於て即決確定した

二十六日（水）

◇大藏省證券一千萬圓發行

三十日（金）

◇三井物産名古屋支店員の手形僞造　三井物産名古屋支店會計主任四方都は名古屋ビルブローカー主任白井庄三郎同副主任田中勇三郎と共謀、三井物産名古屋支店長岡野梯二の印鑑を僞造使用して同支店の約束手形を僞造、七十餘萬圓を費消したこと發覺し、田中は二十三日自首し、白井は二十七日大阪にて妻と情死を遂げ、四方は逃走の後逮捕されたので本日記事解禁。右の事件による同支店の不正手形二十一萬圓を有する四日市銀行（拂込七十萬圓積立十六萬圓臨時準備金五十萬圓、預金總額三百萬圓）は二十九日十五萬圓の預金取付に遭つた

◇大日本人造肥料社長・澁澤榮作死去　リユウマチス脚痛病を併發し本日午前一時死去、享年七十三。氏は埼玉縣大里郡八基村に生れ、澁澤榮一の從兄弟に當り、幕末の志士として活躍したが、明治維新後實業界に轉身して小野組に投じ、小野組破産の後は獨立して各種の事業に携り、十二年頃東京に廻米委託販賣業を開き、次で横濱に生糸賣込業を創め、更に東京深川に廻米市場を興し、生糸米穀の二方面に活躍した。その後吉田健作等と北海道製麻會社を、澁澤榮一等と人造肥料會社を起して、その重役を勤めたが、二十二年以後は丸木商會（生糸）深川の同商會（米穀）を嗣子に讓つて閑地についてゐた

三十一日（土）

◇鹽業綿花會社の創立　同社（資本金二千萬圓）は創立總會を開き左の如く重役を決定した

▽社長　宋秉畯▽專務取締役　篠塚信▽取締役　白完爆、松永二郎、鳳井孝治▽監査役　大炊御門幾麿、中川利一郎、山城銓一

【九　月】

二　日（月）

◇正隆銀行の貯蓄預金部新設　滿洲奉天に本店を有する同行は明治三十九年七月、日本軍政署の許可によつて資本金銀十六萬圓の日支合辦組織を以て創立し、間もなく銀二十四萬圓に增資し明治四十一年一月に至り日本政府銀行條例に則り、一般銀行業務を營んだ。その後明治四十三年前後の經濟界不況の打擊を受けて營業不振に陷り、挽回策も成功せず關東都督その他の斡旋により安田家が同行の經營を繼承し、資本金を金銀合せて百萬圓に增資、本店を大連に移轉すると共に奉天、旅順等に支店を設置し、經營に努力した結果、漸次營業狀態好況となり預金總額二百十六萬圓となつたので貯蓄預金部を新

設し本日よりその營業を開始した

◇臺灣銀行九江支店開業

支那江西省の長江沿岸九江に新設した臺灣銀行九江支店は營業を開始した

三　日（火）

◇下關電氣會社の設立

芙城縣下妻町に本社を置く同社（資本金十萬圓、四分の一拂込）は創立總會を開き、左の重役を選任した

▽社長　才賀藤吉▽專務取締役　沼尻文治▽取締役　沼尻善次郎、三井助作、錦貫英陳▽監査役　鈴木鐵、三澤信一、岸野誠

◇蒙古に動亂勃發す

外蒙古ハルハ內閣が、蒙古を連合し蒙古國を設立する目的を以て東部蒙古の王公士民を煽動し滿洲里、海拉爾、洮南、興東、醴泉、開通の諸州縣を陷れ、興東縣に於て漢人三百名を殺害した。これがため滿洲軍隊全部に對し支那政府は動員令を下した

四　日（水）

◇支那銀團社創設と決定

支那大總統袁世凱は孫逸仙より國民黨入黨の勸誘を受けたが、袁は新しく創設される黨ならば兎も角、共和黨及び民主黨を差措いて國民黨への入黨は穩かならずと拒絶したので、孫は黎元洪、黃興等と協議、新に救國社なるものを結成することに決定し、これを袁に提議、袁は拒絶することが出來ず、その創立者となることを承諾した

五　日（木）

◇大原府農工債券八十萬圓募集

同行は左の條件で債券總額八十萬圓を募集することに決定した

▽利率年六分五厘　▽發行價格額面通り（百圓）▽一ヶ年据置後十二年以內償還

十　日（火）

◇日本活動寫眞會社の創立

同社（資本金一千萬圓）は創立總會を開き、左の役員を決定した

▽社長　後藤猛太郎▽專務取締役　鈴木要三郎▽取締役　後藤勝造、桂二郎、林謙吉郎、河浦謙一、梅屋庄吉、横田永之助、田畑健造、高倉藤平▽監査役　賀田金三郎、重野謙次郎、金子圭介、內田直三、横田千之助

◇武揚貯蓄銀行の臨時休業

横濱市尾上町所在の武相貯蓄銀行（明治三十二年設立、資本金二十圓、內拂込十五萬圓）は、神奈川縣の多額納稅者石井虎之助を頭取とし、同縣選出代議士石渡秀吉を取締役として、神奈川農工銀行の下受け及び同縣市金庫事務取扱、同縣赤十字社支部、同縣愛國婦人會支部等の資金を預り營業中のところ、頭取石井虎之助が東亞火災保險會社の經營を引受け、同會社に七萬圓を融通、續いて取締役石渡秀吉が自己の代議士選擧費金に同行の行金を相當に費消した結果、資金難に陷り、これがため本月九日に至り神奈川縣、市金庫事務取扱を停止された。この事實が一般預金者の知るところとなり、同日取付に遭つたので、同行は本日より二十三日まで二週間の臨時休業を爲す旨を發表した

◇長崎縣農工債券五十萬圓募集

同行は左の條件で、債券五十萬圓を九月二十日より同二十五日迄募集

▽利率年六分五厘　▽發行價格額面通り、（百圓）六ヶ月据置後十五ヶ年以內償還

十一日（水）

◇久原鑛業會社の組織變更

同社は創立總會を開き、久原房之助の個人經營を資本金一千萬圓の株式會社に變更設立し、左の重役を選任した

▽社長　久原房之助▽取締役　齋藤幾太、鮎川義介▽監査役　藤田小太郎、田村市郎

◇支那蝗災令解除

來天省は防殺令（米、粟、大豆等の省外及海外への輸出禁止）を實施中のところ本年の作柄良好なるため解除となつた

◇袁逸仙支那鐵路全權に就任

袁大總統は孫逸仙を支那鐵路全權に任命し、同國鐵道問題を處理させることゝなつた

十二日（木）

◇內國貯金銀行創立

同行（資本金五十萬圓）は創立總會を開き左の重役を選任した

▽社長　村上定▽專務取締役　小出敬、▽取締役　岩崎一、津田興二、植松好二、▽監査役　武智直道、稻茂登三郎、神田清兵衛

◇中川小十郎臺灣副總裁に就任

帙員中の臺灣銀行副總裁に、樺太廳事務官中川小十郎が任命された

十三日（金）

◇明治天皇御大葬

午後八時御靈柩宮城御出門、文武百官從ひ參らせて午後十時青山葬場殿に御到着、御斂葬の大典終らせ給ふや、十四日午前二時御靈柩は青山停車場より列車にて京都伏見桃山御陵に向はせ給ふ

◇恩賜惠恤詔勅發布

官報號外を以て、恩赦の詔書及び惠恤の勅語を發布、貧民救濟費として御內帑金百萬圓を御下賜の御沙汰あらせられた

◇乃木希典大將夫妻殉死

乃木大將夫妻は午後八時明治天皇御靈柩宮城御發引の時刻を圍り、東京赤坂の自邸に於て自殺、殉死し來つた。大將はその遺書にある如く明治十年の西南戰役に軍旗を失つた責任を痛感し、その後死處を得たく機會を待つてゐたのであるが、明治天皇の御大葬に際し意を決して殉死を遂げた

十四日（土）

◇元浦賀船渠社長・足立太郎死去

喘息のため療養中のところ胃癌を併發して本日死去。山口縣人で嘉永五年二月生れ、工部省技師、佐渡鑛山局長となつたが轉じて實業界に入り、京仁鐵道會社支配人、京釜鐵道會社京城支店長、同理事、石狩石炭會社取締役、浦賀船渠社長等に歷任した。享年六十一

十八日（水）

◇才賀電氣商會の破綻

才賀藤吉の經營する大阪市の才賀電氣商會は九月十七日期限の支拂手形十六萬圓の內二萬圓が預金不足のため支拂銀行の大阪北濱銀行から拒絶され不渡となりかけたのを、苦心の末調達して一時を凌いだが、同日中に支拂ふべき三十萬圓の資金調達が出來ず遂に破綻に直面し同商會一切の整理を片岡直溫、平賀敏の兩名に委任することゝなつた。破綻の原因は營業方針の杜撰から來たもので同商會は地方に電燈會社又は電氣鐵道會社を設立される場合先づその土地の有力者と連絡を取り一社を組織し、もしその株式募集の際應募不足が出來ると、その不足株全部を其社で引受け、創立後の會社に對しては同商會の機械を賣込み、その他一切の工事を請負つて、その代金を以て株金拂込に充當させ、機械材料の仕入先たる大倉、三井、古河等に對しては約束手形を發行し、一方新設會社の株券を擔保にして資金の運轉を圖り、この方針で一社を設立するや更らに新會社の設立に着手し、同商會の直接、間接關係する會社は全國において六十餘となつた。しかし乍ら、同商會の資本金は僅かに五十萬圓の少額で運轉資金の融通

に懼んでゐるところへ三井物産名古屋支店の不正手形事件のため、關西各銀行が極度に警戒し出したので全く資金難に陥り、遂に二萬圓の支拂手形支拂不能が動機となつて破綻を暴露したものである。現在の才賀商會の財產狀態は資產總額六百二十四萬六千九百十四圓、負債總額五百三十一萬圓、差引九十三萬六千九百十四圓の剩餘金を生ずること丶なり、片岡、平賀の兩名は債權者たる大倉、古河の兩會社に才賀商會の事業引受を交渉したが拒絕され、更らに日本電氣信託會社に交渉した

十九日（木）

◇第二銀行、二十銀行を合併

第一銀行は臨時株主總會に於て二十銀行合併（第一銀行の一株に對し二十銀行の二株を割當）の件を決定した、なほ定款を改正して取締役一名を增員し、舊二十銀行頭取佐々木慎思郎が就任した

◇滿洲崇社黨員の謀反

滿洲崇社黨は支那革命政府顚覆を企て、その軍費金として四十萬圓の紙幣を奉天に於て密造中、支那革命黨に探知され、崇社黨員七名は死刑に處せられた

二十日（金）

◇支那革命政府新政綱八ケ條を決定

支那革命政府大總統袁世凱は孫逸仙と合議の上、左の新政策八ケ條を決定した

一、立國の方針としては統一制度を採る

二、是非善惡を正し行動により民族を正す

三、軍費を縮小し、先づ海陸兩軍の人材を養成す

四、門戶開放、外資輸入を以て鐵道鑛山を興し鋼鐵工廠を設置して民政を厚うす

五、國民の產業を補助し先づ農林工商より着手す

六、軍事外交財政司法は悉く中央集權主義に從ひ、その餘は各省の狀況を斟酌して地方分權主義を採用す

七、速かに財政を整理す

八、黨爭を調和し秩序を維持して列國承認の基を作る

二十四日（火）

◇東京土地會社の創立

不動產賣買及び不動產抵當貸付委託管理等の營業をなす目的を以て同社（資本金五百萬圓）は創立總會を開き、左の重役を決定した

▽專務取締役　廣部清兵衛▽取締役　佐久間定吉、河合德兵衛、中村茂八、野島泰次郎、野本傳七▽監査役　高橋熊三、中島伊平、江口善六

◇支那革命政府官制に關する討議

北京の革命政府參議院に於て行はれた同政府總理選擧は、出席議員七十一名中六十九名の多數で趙秉鈞が當選した

二十五日（水）

◇神奈川縣下五銀行の同盟結成

武相貯蓄銀行の破綻事件以來、橫濱附近の一般預金者は地方小銀行に對して不安を抱き初めた傾向があるので、戸塚、關東、日本實業、鎌倉、瀨谷の各銀行は同盟を結成し、取付の際は互に應援することを申し合せた。なほ必要に應じて左右田、第二、七十四銀行からも應援を受けることを決定した

二十六日（木）

◇恩賜令大赦令發布

◇眞宗信徒生命保險會社々長の不始末

同社々長木村省吾、及び同社取締役上原芳太郎の兩名は從來より關係ある京都起業銀行破綻に際し起業銀行救濟の目的を以て眞宗信徒生命保險會社の資金十一萬圓を起業銀行に預金したが同銀行は破綻を暴露した結果右預

金は回收不能となつた。從つて眞宗信徒生命保險會社は取締役堀貞の名儀を以て、保險會社の所有金錢を銀行に預金する場合は取引銀行に就いて主務官廳の許可を必要とするに拘らず起業銀行は許可銀行でないのに、本村、上原兩名が勝手に預金したものなりとの理由によつて、京都地方裁判所に右兩名に對する損害賠償の訴訟を提起した

二十七日（金）

◇瀨谷銀行の取付

神奈川縣鎌倉瀨谷村の瀨谷銀行（資本金五十萬圓）厚木支店（同縣愛甲郡厚木町）は武相貯蓄銀行支拂停止の影響を受けて今朝來取付に遭ひ、翌二十八日まで約四萬圓の支拂をしたが、鎌倉、戸塚、關東、日本實業の各銀行の援助により鎭靜、平常に復した

二十八日（土）

◇三井物產會社人事課を新設

同社は人事課を新設し、これと同時に大連出張所を大連支店に昇格し、滿洲營業部を合併した

◇寺內朝鮮總督暗殺謀事件の判決

京城地方法院に於いて二十四回の審問を重ねた寺內朝鮮總督暗殺陰謀事件被告に對する第一審の判決は左の如く言渡された

伊致昊、梁起鐸、安泰國、李昇薰、林埈玉、柳東院は謀殺未遂犯として懲役十年、王觀杉以下十八名は同じく七年、李法煥以下四十名は同じく六年、吳大泳以下四十二名は同じく五年、右の外十七名は證據不十分にて無罪

三十日（月）

◇東武鐵道會社の輕便鐵道敷設許可

鐵道院は東武鐵道會社の栃木縣安蘇郡葛生町より同縣上都賀郡菊澤町に至る十八哩の輕便鐵道敷設を許可した

◇東都貯蓄銀行七條支店取付

京都停車場構內に於て、京都貯蓄銀行（資本金一萬圓、預金總額二十七萬圓）の七條支店が支拂停止をしたとの風說を流布した者があつたゝめ、同行は取付に遭ひ、約十萬圓の拂出をしたが、虛說と判明し翌日には二萬圓に減じ漸次平常通りとなつた

【十　月】

一　日（火）

◇南洋郵船組合令發布

南洋郵船組（板谷、緒明、原田の三汽船共同）は神戸、スラバヤ間爪哇航路の命令航路（補助金年額十五萬圓）を受命し、航路を開始した

◇生產調査會が產業行政統一を建議

生產調査會建議案特別委員長田健治郎は、產業行政統一に關する建議書を牧野農相に提出した

◇日本銀行の利上

同行は公定利子歩合を左の如く引上げ、二日より實施の旨發表した

▽國債以外のものを抵當とする貸付利子及國債以外のものを保證とする手形割引歩合日歩一錢八厘以上、商業手形割引歩合日歩一錢七厘、當座貸越及コルレスポンデンス貸越利子日歩二錢、國債を抵當とする貸付利子及國債を保證とする手形割引歩合日歩一錢七厘以上

◇福山銀行の取付

山陽貯蓄銀行等の取付があり、人心動搖してゐる折柄、福山銀行（廣島縣福山町）が支拂停止したとの風說が流布され、同行は取付に遭つたが、間もなく鎭靜に歸した

一一　日（水）

◇東京兩取引所の法令改正實情

東京米穀取引所の根津理事長、及び東京株式取引所の角田理事は牧野農相に對し、取引所法改正に關する取引所聯合會の決議として大要左記事項の採用を陳情した

▽仲買人にして取引所法違反を以て處罰されたるものは再び仲買人たることを得ざるの規定を改むること▽仲買人の身元保證金に取引所株の代用を許すこと▽仲買人より所取引に提供する擔保證券類の範圍を擴張すること

◇住友銀行、第六十一銀行を買收

住友銀行は、久留米市所在の第六十一銀行（資本金五十七萬圓、内拂込三十七萬三百圓）の買收を決定した。條件は第六十一銀行の舊株五十圓、新株三十圓を額面通とし、買收資總額は同行拂込金三十七萬三百圓に解散費一萬圓を加へた合計三十八萬三百圓である

◇貴族の小賣商店破產續出

大阪才賀商會の整理事件發生以來、金融業者は俄に警戒を始め短期の資金放出を手控へ出したので、同地方の小賣商は資金難に陷り左の破產者續出した

▽中村善助商店（綿ネル商）大阪市東區南本町三丁目に店舗を有し資產五千圓、負債二萬圓

▽足立房次郎商店（メリヤス商）大阪市北區空心町二丁目に店舗を有し、資產總額八萬二千圓、負債十萬圓

▽小島卯三郎商店（紙商）京都上京區新町通りに店舗を有し資產五千圓、負債一萬五千圓

三　日（水）

◇才賀電氣商會破綻の善後策決定

才賀電氣商會の事業一切を日本電氣信託會社が條件付で繼承することゝなり、同會社の代表者片岡直輝、大林芳五郎、岩本榮之助及び才賀藤吉、片岡直温、平賀敏の立會の下に左の覺書を當事者間に交換した

（一）日本電氣信託會社は左の社債を發行し才賀電氣商會の債務證書と同額を以て引換へをなすこと、發行額百二十五萬圓、年利七分、三ヶ年据置、二ヶ年後隨意償還

（二）才賀電氣商會債務額の内約五百萬圓は日歩一錢八厘とし、一ヶ年半据置、後六ヶ月に隨意償還をなすこと、但し期限前と雖も信託會社の都合により償還することあるべし

（三）前二項は才賀藤吉に於て各債權者の承諾を得ること

（四）日本電氣信託會社は現金百二十萬圓を提供し、その半額を才賀電氣商會の引受工事未完成資金とし、その半額を債務整理資金の一部に充つ

四　日（金）

◇名古屋警察署、詐欺金融會社檢擧

名古屋警察署では、同市内に於て金融會社を設立し、小口資金供給の名目の下に詐欺行爲をなす不正會社を一齊檢擧した

五　日（土）

◇臺灣銀行利上決定

同行は當座貸越利子を一厘乃至二厘引上げ本月七日から實施の旨發表した

◇日本電氣會社增資決定

同社は臨時株主總會を開き、工場擴張費とするため現在の資本金四十萬圓を百萬圓に增資を決定した

◇東京府農工銀行員の行金横領

同行芝支店長岸田哲雄は前年より元府會議員瀧本八十八外三名と共謀して行金六萬圓を横領し、その他にも不正貸出が發覺、所轄警察署に拘引された

六　日（日）

◇元二十銀行員の行金横領事件

元同行會計係小西定一郎は、投機の失敗から行金二十一萬四千圓を横領費消したことが發覺し、警視廳の手で逮捕された。發覺の動機は、同行が第一銀行と合併されるに付き帳簿整理に取りかゝつた際、重役が不審の點を發見し調査の結果、右の次第と判明したもので、第一銀行との合併に際して二十銀行重役佐々木慎思郎、船山峰智、山口熊吉、本多康虎、小西治兵衛等は右の二十一萬四千圓を辨償した

◇大阪府農工債券五十萬圓追加

同行は九月二十日より同二十五日まで債券八十萬圓を募集したところ、四十七萬餘圓の超過を示したので、更に左の條件で債券五十萬圓を募集することゝなつた

▽利率年六分五厘、發行價格額面八百圓）通り、一ヶ年据置後十二年以内償還

七　日（月）

◇紐育銀行支拂開始

京都の同行は支拂停止以來、同行取締役田中左門及び山口縣下預金者千六百十九名より破產申請あり檢事局の活動するところとなつたが、同行は裁判官の心證を良好ならしむるため資金七萬圓を調達、預金百圓に對し五圓の割で支拂を開始した

◇日本金行詐欺罪で拘引

東京市本郷區金助町に日本金行と稱する日本銀行と類似名の資本金五萬圓の銀行を經營する柳島敏行は自ら頭取となり、神奈川、千葉、群馬縣下から信託、預金等を勸誘し、岩原治平外五百餘名より八千圓餘を詐取したことが發覺、本富士署に逮捕された

◇支那政府が地方自由借款規定設定

北京總統府では、地方自由借款規定を設定し支那各省に通告した。大要は次の如し

各省に於て借款する場合には當該省議會の認可が必要、借款に關する抵當は總統府の許可を得ること、借款の用途は中央政府に報告すること、契約の條文は中央政府の許可を得て調印すべし

八　日（火）

◇モンテネグロ、トルコと開戰開始

モンテネグロ（バルカン半島）は國境問題紛爭のためトルコ軍と戰鬪を開始した

九　日（水）

◇朝鮮殺天教主鄭萬嘉被捕

鄭萬基は國權回復を目的とし、朝鮮の忠清南北二道を根據として敬天教なる宗教を以て愚民を煽動中、朝鮮大田警察署に探知され檢擧された

十　日（木）

◇東京府農工債券六十萬圓發行

同行は第十一回農工債券六十萬圓を左の條件で發行と決定した

▽利率年六分五厘▽發行價格百圓以上▽申込期限十一月十一日より十五日迄▽拂込期限十一月二十八日より三十日迄▽償還方法大正四年十二月迄据置、以後二十ヶ年以内償還

十一　日（金）

◇北海道拓殖銀行債券二百萬圓發行

同行は第十六回北海道拓殖債券二百萬圓を左の條件で發行と決定した

▽利率年六分▽發行價格九十六圓以上▽申込期限大正元年十月二十一日より同月二十六日迄▽拂込期限大正元年十一月九日▽償還方法大正二年十月二十一日迄据置、以後二十ヶ年以内毎年二回抽籤償還

十五日（火）

◇第十銀行の借額增資決定

山梨縣甲府市の同行は臨時總會に於て現在

の資本金百萬圓を二百萬圓に增資を決定した

◇山口銀行東京支店開業

山口銀行東京支店は東京日本橋區本町三丁目に開業した

◇助川セメント會社の創立

同社（資本金五十萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽社長　關清英▽專務取締役　伊藤豊次郎▽取締役　吉見輝、田中喬樹、鈴木重勝▽監査役　關經雄、原田越城、大島要三

十六日　（水）

◇湖亀銀行の改組と改稱

同行（大阪）は臨時株主總會で現在の個人經營を資本金五十萬圓の株式會社とし船場銀行と改稱する件を可決、左の役員を選任した

▽取締役（社長）守山又三、大塚惟明、中辰之助、細川仁吉、松尾平次郎▽監査役　湖亀與三郎、内藤正明

◇三省堂書店の破綻

東京神田區神保町所在の三省堂書店は破綻を暴露した。原因は同店が明治四十一年十月から發行してゐる日本百科大字典のために、同字典には出版以來既に莫大な資本を注入し、他方原稿料、洋紙等が値上りしたにも拘らず豫約出版のため同字典の値上げが出來ぬため破綻を招いだが、店主亀井に債務償還資金として同字典の版權、原稿、刷紙、製本全部、編輯所の圖書、金庫、什器等を使用せしめ、債務は分割辨濟に決した

◇ロンドン市場の日本公債暴落

バルカン半島問題紛糾のため歐洲財界一般に恐慌を來し、ロンドン市場の日本公債中、第一回、第二回四分利公債は各一磅の暴落を示した

十七日　（木）

◇バルカン半島に戰鬨湧き起る

トルコ政府はハンガリア、セルヴイヤ（バルカン半島）の二國に對し宣戰を布告し、トルコ軍隊は國境に向つて進擊し、これに對しハンガリヤ、ギリシヤ、セルヴイヤの三國政府も十八日トルコに宣戰を布告した

十八日　（金）

◇日本毛織會社の工場擴張

同社（兵庫）は臨時株主總會を開き、モスリン製造のため東京府下大井町金子與吉所有の織物工場を三十一萬三千九百圓で買收することに決定した

◇馬來護謨會社の創立

同社（資本金五十萬圓）は創立總會を開き左の重役を選任した

▽社長　星野錫▽專務取締役　脇田勇▽取締役　池邊龍一、增田義一、篠田久兵衛▽監査役　日下義雄、中村房次郎

十九日　（土）

◇日本鍵行支店長更迭

同行倫敦及び紐育代理店監督役土方久徵歸朝につき、その後任として大阪支店長梶原仲治、大阪支店長後任として國債局長麻生二郎、國債局長には祕書役深井英五、その後任には檢査部主事川田敬三が各就任と決定した

二十二日　（火）

◇大阪賣文館書店破産整理

大阪賣文館は東京三省堂との手形關係少からず、三省堂が破産したゝめ、その影響を受けて破綻を來した。尙十一月八日關西側債權者大會を、同十七日東京側債權者大會を開き、同店を資本金十萬圓の合資會社として營業を繼續せしめ、債務は分割辨濟することに決定した

◇東京市對東京電燈の報償調約決定

東京市と東京電燈會社間の報償契約は交渉の結果利益配當一割以上の場合は六分、一割

未滿の時は五分五厘を市に納付することに決定、東京市會に於ては本月十八日これを承認可決し、同市と會社間の正式調印は本日終了した

◇政府補助の南洋航路開始

原田十次郎、板谷宮吉、綿明主造の三船主に依つて組織する南洋郵船組の南洋定期航路（政府補助年額十五萬圓、二ヶ年契約）は本日から開始した。航路は神戸、門司、ホンコン、シンガポール、バタビヤ、サマラン、スラバヤ等で使用船は北都丸、萬里丸、旅順丸の三隻である

二十四日　（木）

◇朝鮮鐵行令公布

本日の官報にて公布され、十二月一日より實施と決定した

◇仙臺市の宮城紡績電燈買收認可

仙臺市當局は、宮城紡績電燈會社買收費として、同市々債の償還年限八ヶ年を二十ヶ年に繰延べ百七十三萬八千圓で同社を買收し市の直營とすること及び經費二百萬圓を起債による件を内務省から認可された

二十五日　（金）

◇大藏省證券一千萬圓借替發行

本年七月二十五日發行の大藏省證券一千萬圓は本日支拂期限となつてゐるので、日歩一錢六厘、支拂期日十二月二十五日の條件で借替發行した

二十六日　（土）

◇東武鐵道會社增資決定

同社定期株主總會に於て、事業擴張費に充當するため、現在の資本金五百三十九萬圓を九百萬圓に增資の件を決定した

◇貴銀信託會社重役間に内訌起る

才賀電氣商會（大阪）の債權引受け問題に關し、同社重役間に内訌を生じた結果、取締役片岡直輝、大林芳五郎の兩名は本日辭表を提出した

二十八日　（月）

◇日・墺洪通商航海條約調印

日本と墺洪國との通商航海條約は本日調印を完了した

尙ほ同條約は大正二年六月十七日公布、同年七月一日實施された

二十九日　（火）

◇鴻池銀行副支配人高濱廣召喚

同行副支配人高濱廣は、三井物産會社名古屋支店の不正手形事件に關し、僞造手形行使詐欺取財背任罪の嫌疑により名古屋地方裁判所小幡檢事に召喚された

◇横濱茂木商會金茂木保平死去

腦溢血にて死去、享年四十一。名古屋の瀧定助の二男で先代保平の二女ゑいの入夫となり、保平を襲名、義兄惣兵衛病氣引退後は茂木銀行、茂木商店、野澤組出店の經營を主宰し、横濱七十四銀行、同貯蓄銀行、第二銀行、横濱火災、横濱生命等の重役として財界に重きをなしてゐた

三十日　（水）

◇元眞宗信徒生命保險會社專務召喚

元眞宗信徒生命保險會社專務取締役にして、京都市會議員たる村岡角太郎は京都起業銀行事件に關し、京都裁判所に召喚されたが、背任罪として起訴された

【十一月】

一日　（金）

◇歐亞瑪鎗旅客賃金決定

歐亞旅客直通連絡は大正二年度から實施に決し、直通賃金の決定を見た。主なるものを示すと左の如くである

▽新橋伯林間　三百六十九圓五十八錢▽新

構費敷間　四百十二圓十五錢▽塩橋巴里間四百十七圓三十五錢（以上大連經由一等）

◇國分利公債日銀擔保價格の引下げ

日本銀行は四分利公債の日銀擔保價格九十圓を八十六圓臺に引下げた

二　日（土）

◇東成電車第一期線開通

東京市本所押上から市川及び柴又に至る京成電車第一期線は本日開通した

三　日（日）

◇關東織物組合の結成

關東織物同業組合は、關東織物生産に關し共同利益の增進と弊害矯正の目的で、關東織物同業組合協和會を組織した

四　日（月）

◇外國火保協會の設立認可申請

在日本の外國火災保險會社はローヤル、ヨークシャー等が主唱のもとに社團法人組織の協會を設立して、保險料金協定、內國會社に對抗する方策等を樹立すべく、本日設立許可を申請した

五　日（火）

◇大正企業組合の組織

關澤桃介、田中新七、岩崎清七、野村德七、大田黑重五郎等組織の大正企業組合は、東京有樂町の事務所に創立總會を開き、左の委員を選任した。同組合は各種企業殊に水力電氣の調査企業を主目的とする

▽委員長　關澤桃介▽委員　大田黑重五郎、野村德七、吉川三次郎、塞川恒貞

◇帰田高商歸朝

阪米國蔡廣行中の三菱銀行副部長串田萬藏は本日橫濱入港の春洋丸にて歸朝した

六　日（水）

◇香港に於ける邦船の無電使用許可

香港領海內で、日本郵船、大阪商船、東洋汽船の船舶上に裝置の無線電信機使用を香港政廳から許可された

◇ウイルソン、米國大統領に當選

米國大統領選擧の結果、民主黨のウイルソンは全票五百三十一票のうち三百九十九票を獲得して次期大統領に當選、進步黨のルーズヴェルトは次點となつた

七　日（木）

◇東亞火災保險相互會社の營業停止

牧野農相は東京京橋區柳町五の同社に對し、保險業法第十條により、新保險契約の停止を命じた

九　日（土）

◇比島議會ウイルソンに獨立承認を要求

フイリツピン民選議會はウイルソンに米國大統領當選祝賀の電報を發し、比島獨立承認の實現を要求した

十　日（日）

◇愛知電鐵會社の同盟罷業

愛知電鐵運轉手、車掌等五十名は、車掌二名の免職に端を發して本日罷業を行ひ、全線の運轉中止となつたが、會社側の讓步で午後解決を見た

十一日（月）

◇鶴舞線道の一部開通

柏崎、石地間は本日より開通した

◇名古屋米穀取引所立會を停止

同取引所員山與が米兵に賣つた二萬五千石の追證金延納のため立會停止となる

◇大正土地會社の創立

名古屋北部の繁榮を目的とする資本金百萬圓の同社は本日創立總會を開き、左の役員を選任した

▽取締役　加藤重三郎（社長）山本九八郎、佐治泰藏、高橋彦次郎▽監査役　江濱庄兵衛、三輪常七

十二日（火）

◇芝園電鐵會社外債三十萬圓借入

同社は事業費三十萬圓を日步一錢八厘の手形々式でセール・フレザー商會から借入れ契約を締結した

十三日（水）

◇大藏省證券二千萬圓の借替發行

十一月十四日償還期の大藏省證券二千萬圓を、一厘引上げの日步一錢七厘、償還期限大正二年一月廿七日の條件で借替發行

◇日本銀行利上を發表

日本銀行は公定割引步合を左の如く一厘方引上げ、十四日から實施の旨發表した

▽商業手形割引步合日步一錢八厘　▽國債を抵當とする貸付利子及國債を保證とする手形割引步合日步一錢八厘以上　▽國債以外のものを抵當とする貸付利子及國債以外のものを保證とする手形割引步合日步一錢九厘以上　▽當座貸越及びコルレスポンデンス貸越利子日步二錢一厘

◇總電銀行に破產の宣告

京都の同行は山口縣下の預金者千四十餘名の代理人信吉辯護士等から破產宣告申請をうけ、京都地方裁判所で審理の結果、破產決定を宣告された

十四日（木）

◇愛島仲買人等番行爲で檢擧

大阪米穀取引所仲買店主大林虎松、福井茂左衛門、中村與惣兵衛等は大客筋の岡半、東京の加田金等と結んで呑行爲をしてゐた廉で檢擧された。同時に堂島の空米師五十餘名一齊檢擧され、更に本日門司の空米師三十餘名も檢擧された。檢擧目的は呑行爲による米價騰貴を防ぐにある

◇島平銀行の倉賣り決定

北海道福山の吉田三郎右衛門は東京神田區柳町の島平銀行（資本金三十萬圓）を繼承し、自ら頭取として經營することとなつた

◇伊太利汽船の日本直航開始

伊國汽船の伊太利孟買間、孟買香港間の航路は、日本向孟買棉花を香港で日本郵船に積換へるため不便多く、紡績聯合會の苦情もあつたが、今回日本まで延長された

十五日（金）

◇富山農工銀行債券三十萬圓發行

同行債券三十萬圓は額面百圓、年利六分の條件で發行

◇山口實業銀行の開業

資本金六十萬圓の同行（山口町）は本日より開業した

◇關東商業銀行の支拂停止

東京日本橋區城邊河岸に本店を置く同行（資本金十萬圓）は、親銀行の二十七銀行から手形代理交換を拒絕され、支拂停止に陷つた

◇東京の西澤商會破綻

東京麹町區八重洲町西澤藤太郎經營の貿易商西澤商會は、小切手の不渡から破綻を暴露した

十六日（土）

◇臺灣內地間の無線電信開通

內地臺灣間海底電線の不通中、大瀨崎局（九州五島）富基角局（臺灣淡水附近）間の無線電信により通信聯絡することゝなつた。誰上相互間無線電報取扱の嚆矢である

十八日（月）

◇銀瀧正金銀行の利上

同行は生糸擔保貸越利率を最低二錢一厘、羽二重、屑糸擔保を最低二錢二厘と、各々一厘方引上げた。三井、第一、第二、第三、第百、住友の各行も商品擔保貸越利率を一厘方引上げた

◇瀧到輕便鐵道の開通

北海道浦別線野付留達萬間の輕便鐵道十四哩十三鎖は開通した

◇坐繭調査會工業助長案を可決

同會特別委員會は第一、第二、第三部會の工業助長の答申案を可決した

◇東京各銀行の預金利子引上

第一、三井、三菱、第百、十五銀行代表者會合協議の結果、預金利子を左の如く引上げ、二十一日から實施に決定した

▽定期預金年六分（一分高）▽當座預金日歩九厘（三厘高）▽小口當座日歩一錢二厘（二厘高）

十九日　（火）

◇東京米穀商品取引所受渡米格付の改正

東京米穀商品取引所の受渡米格付改正が本日發表されたが、改正要點は格付範圍の擴大にあり、從來各等級の差十錢を十二錢に改正し、その結果、格上品十八錢、格下品三十錢合計四十八錢に格付範圍を擴大した

◇富士紡の須川水力發電所竣工

富士瓦斯紡績會社の須川發電所（五千二百五十キロワット）は竣工した

◇大東護謨會社の創立

熊本縣天草郡、長崎縣島原、母子島の各炭礦經營（資本金百二十萬圓、全額拂込）の同社は創立總會を東京に開き、左の役員を選任した

▽取締役　山本久顕（社長）　益谷正吉、野本傳七、横馬直彌、高野今彦▽監査役　戸水寛人、肥田景之

◇興濱取引所當八十萬圓に減資

紛擾中だつた同所は臨時總會を開き左の原富太郎案を承認した

▽資本金二百萬圓を百八十萬圓に減資する▽重役負擔を十六萬一千三百五十五圓五十錢とする▽仲裁者は二萬五千圓を取引所へ寄附する▽舊十株に對し新九株を割當てる

二十日　（水）

◇交詢社財團法人に組織變更

慶應義塾出身者の社交倶樂部たる交詢社は財團法人に組織を變更した。その役員は左の如し

▽理事長　綾田榮吉▽理事　岡本貞烈、澤一太郎、朝吹英二、森下岩楠▽常議員長林董、常議員副長　門野幾之進

◇大日本鐵鋼聯合會、社團法人に變更

同會總會に於てその組織を社團法人に變更の件を可決した

二十一日　（木）

◇大阪市各銀行の預金利子引上

大阪組合銀行は預金利子を左の如く引上げ十二月一日から實施に決定した

▽定期預金年六分（一分高）▽當座預金日歩八厘（二厘高）▽小口預金日歩一錢二厘（二厘高）

二十二日　（金）

◇增師問題を閣議に提議

上原陸相は朝鮮二ケ師團計劃を閣議に提出した。同案は陸軍省經常費七千六百七十九萬圓の中百九十五萬圓即ち總額の百分の三を整理し、臨時費を向ふ三ケ年間に五百八十萬圓整理、別に今後六ケ年間に一千六百三十九萬圓の事業繰延を行ひ、この經費節約額を以て二ケ師團增設を行ひ、六ケ年後完成の曉に、經常費不足額二百八十一萬圓の新規支出を要求するものである

二十五日　（月）

◇日伊通商航海條約調印

◇大蔵省證券一千萬圓發行

◇千葉縣工銀行百萬圓に增資

同行は總會に於て二十萬圓を增資して資本金百萬圓とする件を可決した

二十六日　（火）

◇東京商業會議所の增師反對運動

同會議所は本日議員協議會を開き、全國實業家多年の主張たる民力休養、行政財政整理實行に背馳する增師に反對し、且つ主張貫徹のため左記九名の實行委員を擧げて即時行動を開始することを決議、第一着手として翌二十七日中野武營、大橋新太郎は首相を訪問、全國商業會議所の意見として增師反對を陳述することゝした

中野武營、大橋新太郎、杉原榮三郎、稻茂登三郎、岡崎久次郎、前川太兵衛、西村小市、馬越恭平、根津嘉一郎

◇日佛銀行東京支店開業

二十七日　（水）

◇關釜聯絡觀光丸の處女式

神戸川崎造船所建造の同船（三千百噸）は本日進水式を擧行した

◇坐繭調査會の工業助長案決議

第三回生産調査會特別委員會は政府諮問の工業助長策に關し大要左の如く決議した

▽第一部（一）製造用原料に對し便益を圖る（二）原動力利用を充分ならしめる（三）工業教育及工業試驗所の奬勵擴大（四）機械製造の發達奬勵（五）意匠、圖案、發明の奬勵及表彰（六）工業用材料及重要商品の統一

▽第二部（一）工業資金の融通（二）運輸交通の發達助成（三）稅法の改正（四）副業奬勵の施設（五）工業用地の保留（六）工業法の制定

▽第三部（一）組合法改正、組合增設、貯蓄奬勵、職工養成、職業紹介所設置、勞働保險の制定、徒弟制改良、貧銀暴騰防止、資本家との融和、職工表彰（二）生活費の減（三）海外工業の調査（四）行政上の障害除去（五）官業の縮小整理、工業の補助

◇鳳興倉庫會社重役十五萬圓を費消

豊釜の同社重役熱海久吉は米相場に失敗のため三井物産へ支拂ふべき社金十五萬圓を費消し、行方不明となつた

◇鳳來製糖機增設會社の創立

同社（資本金五十萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役　磯部保次、松宮春一郎、田尻茂、淺田忠造、加藤金造▽監査役　副島道正、小泉愛太郎

二十八日　（木）

◇工業に關する日獨條約の公布

明治四十四年六月二十三日東京に於て調印の同條約は大正二年三月四日から實施の旨本日の官報をもつて告示、同條約は工業所有權の相互の保護及支那に於ける工業權の相互保護に關するものである

◇大日本ホテル會社の强制競賣申請

京都市粟田口の同社（資本金二百萬圓、內百萬圓拂込）は都ホテル、奈良ホテル、宇治山田ホテル、有馬ホテル、大佛ホテルを經營中の處、興銀其他に四十二萬圓の負債を有し、利拂困難のため、京都裁判所にホテルの土地建物の强制競賣を申請された

◇武藏貨鐵會社一千百萬圓に增資

同社は總會に於て、資本金三百五十萬圓を一千百萬圓に增資と決定した

◇東京市會、下水道案を可決

工事費三千七百萬圓、三分の一國庫負擔の東京市下水道案が可決された

二十九日　（金）

◇八幡銀行の休業

大阪府八尾町の同行（資本金九萬五千圓）は、大口取引先の中、河內郡龍華村桑名屋製油所破綻の影響をうけ、本日より一週間の臨時休業を發表した

三十日（土）

◇增師問題を閣議不承認

本日の閣議に於て上原陸相は增師と整理とを分離し得ず、增師實行を制度整理の必須條件とする說を固執し、內閣はこれを切離すことを主張、從に意見の衝突を見るに至つた

◇鹽水力電氣會社六百萬圓に增資

同社は臨時總會に於て資本金を六百萬圓に增資の件を可決した

【十二月】

一　日（日）

◇電正帶電法の實施

◇夏草・京城間電話開通

◇支那海運會議の貴河鐵道問題

同橫開通で津浦線は完通を見た

二　日（月）

◇東京米穀貿易組合の豐穰金賞歌

同組合は　方からの外米註文に對しては一袋五十錢の證據金徵收を本日より開始した

◇勸業債券四百萬圓の發行

第四十三回勸業債券を次の條件で發行した

▽總額四百萬圓、額面二十圓、年利五分、割增金第一回抽籤一等一千圓（二十本）二等五百圓（二十本）三等五十圓（百六十本）四等十圓（五百本）

◇興產銀行の開業

名古屋市大曾根町の興產銀行（資本金五十萬圓）は本日から開業した

◇增師問題で上原陸相辭表を捧呈

陸軍大臣上原勇作中將は單獨青山離宮に參內して、陸軍の二箇師團增設要求が西園寺內閣に容れられず、進退を決するに至つた經過を奏上し辭表を捧呈した

◇各地商業會議所の增師反對決議

東京商業會議所の增師反對運動に伴つて、松本、高岡、岡山、長野、仙臺、札幌、大津神戶、大阪、丸亀等の各商業會議所も增師反對決議をしたが、商業會議所西部聯合會は本日梯多商業會議所に開催、左の決議を行ひ、西園寺首相、山本藏相、牧野農相に提出した

師團增設は制度整理の方針と一致せず、國家財政に累を及ぼし、延いては民力の休養產業の發達を阻止するの虞あるを以て、其增設の議を廢せられん事を切望す

◇東邊銀行の不正手形事件發覺

岐阜縣御嵩町の東美銀行下麻生支店長竹內貴道は、投機失敗から十萬圓の不正手形を發行したことが發覺し拘引された

◇濃名に鐵道整理反對運動起る

本日靜岡縣濃名鐵道整理組合會が開催されたが反對議員十六名と村民二百餘名は會場の濃名郡役所に押寄せ、工事進行中止の示威運動を行つた

三　日（火）

◇政友會少壯代議士會の增師反對決議

增師問題に關し政友會の少壯代議士は本日會合を開き左の決議をなした

一、增師を否とする現內閣從來の態度を是認し極力之が遂行を望む

二、增師案の提議は財政計劃を破壞し國論を無視したるものと認む

◇政友會の外米輸入稅引下決議

政友會政務調査會分科會に於て米作不良のため外米輸入の必要上、輸入稅を百斤四十錢の低率とし、米價を調節せよとの外米輸入稅引下を決議した

◇川崎造船の創設者・川崎正藏死去

本邦造船界の大先達であり川崎造船所の創設者たる同氏は本日死去した、享年七十六。鹿兒島の商家に生れ、維新後海運業に從事し

たが、明治十一年造船事業に身を投じ、東京築地に洋型船舶製造所を創設し、次いで兵庫にも造船所を創立し、更に政府の兵庫造船局の拂下を受け川崎造船所の基礎を築くと共にわが造船界に多大の貢獻をなした。第一回帝國議會の開設に當り貴族院議員に選ばれ、多年の功勞により勳三等に敍せられ、危篤に際し特旨を以て從五位に敍せられた。晩年は事業を養嗣子芳太郎に讓り、悠々自適の生活を樂んで居た。後年川崎家が男爵に列せられたのはその功勞による

四　日（水）

◇第九銀行の休業

大分縣佐伯町の百九銀行は整理を理由に本日より一週間の臨時休業を豫表した。同行は資本金十二萬圓、積立金一萬七千圓、預金四十二萬圓で、明治十二年の設立

五　日（木）

◇高岡寺內閣辭職滿足して總辭職

西園寺內閣は增師問題で單獨辭職した上原陸相の後任を得ることが出來ず、陸軍大臣現役制がたゝり總辭職をした

六　日（金）

◇競馬取締の元老會議開催

本日午前、宮中牡丹の間に、山縣有朋公、大山巖元帥、侍從長桂太郎公、井上馨侯、（松方正義侯は病氣缺席）の四元老出席、後任首相選定の協議を行つた。その結果、山縣公は西園寺侯を訪問して留任を勸告したが拒絕され、再び宮中で協議の後、松方侯の意見を聽取することゝなつた

七　日（土）

◇第二回元老會議松方侯を強勸

後繼內閣組織を松方正義侯へ交涉することに決定した

◇電燈業法案閣議確定公布

本日官報を以て公布された。これは事務簡捷のため改正を見たものである

◇興濱正金銀行の利上

同行は生糸倉庫保貸越利率の最低日步を二錢二厘、羽二重及屑糸の最低日步を二錢三厘と各一厘方引上げた

◇トロール漁者賣淫宿を襲撃

各地の主要トロール漁業者が大阪に會合して、トロール漁業會社不振の打開策を協議の結果、紛爭を避けるため共同販賣所を設けること、相互保險制度を設けて同業救濟に努めることゝ等を決定した

本日午前、宮中牡丹の間に、山縣有朋公、大山巖元帥、侍從長桂太郎公、井上馨侯、（松方正義侯は病氣缺席）の四元老出席、後任首相選定の協議を行つた。その結果、山縣公は西園寺侯を訪問して留任を勸告したが拒絕され、再び宮中で協議の後、松方侯の意見を聽取することゝなつた

七　日（土）

◇第二回元老會議松方侯を強勸

後繼內閣組織を松方正義侯へ交涉することに決定した

◇電燈業法案閣議確定公布

本日官報を以て公布された。これは事務簡捷のため改正を見たものである

◇興濱正金銀行の利上

同行は生糸倉庫保貸越利率の最低日步を二錢二厘、羽二重及屑糸の最低日步を二錢三厘と各一厘方引上げた

◇トロール漁者賣淫宿を襲撃

各地の主要トロール漁業者が大阪に會合して、トロール漁業會社不振の打開策を協議の結果、紛爭を避けるため共同販賣所を設けること、相互保險制度を設けて同業救濟に努めることゝ等を決定した

八　日（日）

◇下關電力社債十萬圓の發行

同社々債十萬圓を年七分五厘で明治、帝國兩生命保險會社が引受けた

◇名古屋電燈社債百八十萬圓處立

同社は明治生命、明治火災、東京海上三社から借入れて居る社債百五十萬圓の借替及び事業資金三十萬圓の社債發行の契約を三社との間に結んだ。條件は年利七分五厘

九　日（月）

◇松方侯組閣辭退を言明

元老會議の結果に基き、本日午前、井上侯桂公、午後には大山公及び再度桂公が芝三田の松方邸を訪問、內閣組織を懇請したが松方侯は元老等の勸說に對し、午後大山公に辭退を言明した

十　日（火）

◇松方侯組閣の內諾を辭退

本日午前、桂公は內旨を奉じて松方侯の出馬を懇請、これに對して松方侯は、午後特に平山成信をして桂公を訪問せしめ、正式に內旨を拜辭した

◇粟米仲買人臺鮮米代用に反對決議

東京米穀商品取引所仲買人委員會は、臺鮮

米の常時代用は内地米の市價を攪亂し標準を失はしめるとの理由で反對し、米價騰貴の際のみ臨時代用とせよとの決議をした。數日後にはこれが全國米穀取引所の決議となつた

◇トロール漁業組合監視船管置

同組合協議會は、從來問題化してゐるトロール船の禁漁區域侵入、海底電線切斷等の不法行爲取締のため、組合の費用で監視船を設置することに決定した

十一日（水）

◇後藤男爵に山本權兵衛を推薦

第六回元老會議を宮中牡丹の間で開會、松方正義侯の組閣辭退後の後繼内閣首相侯補に、山本權兵衛伯を推薦、松方侯をして交渉せしめることゝなつた

十二日（木）

◇山本權兵衛組閣を拒絶す

山本伯は元老會議の推薦による組閣を拒絶したがその理由は左の如くである

增師問題に名を藉りて陸軍當局を煽揚し、西園寺内閣をして辭退の外なきに至らしめたるものは山縣公を始め、所謂長派に屬する人々である。昨今の政局其志と違ひ益々勢制混亂せるがため、一時を糊塗するか又

豫定の辭着點に達すべき順序として、心にもなき世辭的態度を採り、御鉢を廻したりとて何人か敢て之に手を觸るゝを得やう。西園寺内閣を留任せしむるに非ずんば、之を崩壞せしめたる山縣公若くは其一派を以て内閣を組織せしめ、時局收拾の任に當らしめるのが當然である

◇元老會議平田東助を推薦

元老會議を宮中に開催、山本伯拒絶後の後繼首班に子爵平田東助を推薦し、桂公に其交渉を一任した

十三日（金）

◇横濱巷和會の發立

横濱に於ける輸出絹業者及び同加工業者の親睦增進のため、鈴木賢吉、岡部菊太郎、長與程三發起のもとに春和會が設立され、野毛山の茂木別邸に於いて創立總會を開催した

◇東京市の公園借地料引上げ

東京市は淺草公園外各地借地料を平均十三割方引上げた

十四日（土）

◇平田東助組閣を勸進

子爵平田東助は午前山縣公宛書面を以て後繼内閣首相を引受くることを辭退した

十五日（日）

◇政友會大總親會の決議

政友會關東倶樂部、東京支部、院外團聯合の大懇親會を東京明治座に開催、來會者千五百名、尾崎行雄、杉田定一等の演說があり、左の決議をなした

時正に大正新政の初に際り、殊に諒闇中なるに拘らず、閥族官僚の徒敢て權變を弄し專恣を逞うし、遂に憲政を破壞せんとす、其暴狀斷じて恕すべからず、依て吾人は猛然蹶起、閥伐政治を根絶し、以て憲政有終の美を濟さん事を誓ふ

◇千葉縣輕便鐵道の開通

千葉縣大原大滝間十哩五分の縣營輕便鐵道は本日開通した

十六日（月）

◇政友會の憲政擁護大演說會

同演說會は東京明治座で開催、聽衆二千名に及んだ。主なる演說者及演題左の如し

▽井上角五郎「財政經濟をして更に紊亂せしめんとするか」▽松田源治「大正維新」▽江原素六「何の爲に演說するか」▽菅原傳「國民の聲」▽小久保喜七「陸軍當局の行動を難ず」▽吉植庄一郎「增師問題與相」

▽杉田定一「憲政の進歩」▽尾崎行雄「藩閥の末路」

十七日（火）

◇元老會議後藤男爵を後任首相に推薦

宮中牡丹の間に四元老及び渡邊宮相參集各元老は一致して内大臣侍從長桂太公を郎後繼内閣首相として正式に推薦した

◇桂太郎に大命降下

桂公は午前十一時參内、内閣組織の大命を拜し、直ちに閣僚の人選に着手した

◇米穀取引所憲兵隊時代用に決定

憲鮮米常時代用は全國の米穀取引所の反對に遭つて立消えとなり、代用は米價暴騰の際隨時行ふことに決定、大正二年四月から實施することゝなつた

十九日（木）

◇憲政擁護聯合大會の宣言

政友・國民兩黨代議士及び新聞通信社員聯合の憲政擁護大會を東京木挽町歌舞伎座に開會、聽衆三千五百名に及んだ。關直彦開會の辭を述べ、杉田定一司會の下に菊池武徳が左の宣言書を朗讀、滿場一致可決。次いで政友會代表尾崎行雄、國民黨代表犬養毅、新聞記者代表本多精一等演壇に立ち、終つて五分間演說に入り、佐々木安五郎、加藤時逸、堀切善兵衛、大江卓、伊東知也等が相次いで憲政擁護を叫び、古島一雄の閉會の辭を以て散會

▽宣言書　閥族の横暴今や其極に達し、憲政の危機目睫の間に迫る。吾人は斷乎妥協を排して閥族政治を根絶し、以て憲政を擁護せんことを期す、右決議す

二十日（金）

◇海軍大臣齋藤實留任を拒絶

齋藤海相は三億五千萬圓、九ケ年繼續の海軍補充計劃を大正二年度から實行する約束を桂公から得て、十九日一旦留任を承諾したが該補充案の實行方法に關して充分な條件を得る事が出來ず、本日留任を拒絶した。

二十一日（土）

◇第三次桂内閣成立す

桂内閣は本日親任式を擧行。その顔觸れは左の如くである

内閣總理大臣兼外務大臣桂太郎、内務大臣大浦兼武、大藏大臣若槻禮次郎、陸軍大臣木越安綱、海軍大臣齋藤實（本日御沙汰により留任決定）司法大臣松室致、文部大臣柴田家門、農商務大臣仲小路廉、遞信大臣兼鐵道院總裁拓殖局總裁後藤新平

内閣書記官長江木翼、法制局長官一木喜德郎・警視總監川上親晴、檢事總長平沼騏一郎

◇横濱電鐵會社六百萬圓に增資

同社は株主總會に於て資本金三百萬圓を六百萬圓に倍額增資の件を可決した

◇神戸電燈、電鐵兩會社の合同案

松方幸次郎は兩社合同條件の裁斷委託をうけて、合同案を提出した。同案の大要は兩社を合併して神戸電燈會社が權利義務を繼承し營業を繼續する、又電燈舊一株に對し電鐵株一株を、電燈新一株二十圓拂込の分に對して三十圓拂込の電鐵一株を交付するといふのである

◇西園寺公爵の感謝を受く

西園寺公望侯に對し、左の優渥なる勅語を賜つた

朕大統を承けしより日尚淺し　卿多年先帝に率事して親しく聖旨を受く　將來匡輔に須つもの多し　宜しく朕が意を體して克く其力を致し贊襄する所あるべし

二十二日（日）

◇滿蒙鐵道計劃調査着手

西園寺前内閣に於て大正二年度から實行決

定の海軍補充案は、桂首相と齋藤海相と交渉の結果、大正二年度計上額を六百萬圓とし、その名稱を補充費とせず一年度臨支出の形式で計上することに妥協、齋藤海相の再辭職決意を翻へすことに成功した

二十三日（月）

◇議友會議員圓寺公望の演說

本日開催の政友會議員總會に於ける西園寺總裁の演說要旨は左の通りである

昨年組閣以來行政整理を進め既に一般會計二千二百七十九萬圓、特別會計五百九十二萬圓の整理決定を見、未確定分をも合すると總計三千七百五十八萬圓を捻出し得る計劃でこの整理から生ずる新財源二千七百二十九萬圓を以て大正二年度に於て稅制整理産業振興施設、海軍補充計劃共行の方針であつた。この時陸軍からその所管で整理した額を以て二箇師團增設の提案があり、整理問題と分離すべからざる事を主張して來た。然るにこの實行は財政上からも不可能で、國際上からも急設の必要なく、吾内閣はこれを整理問題から分離せんことを求めたが、陸軍大臣はその主張を枉げず遂に辭職するに至り、吾内閣も後任陸相を得ることが出來ず、遂に總辭職を見るに至つたものである

◇夕張炭坑爆發死者二百十六名を出す

北海道炭礦汽船株式會社の夕張炭坑第一坑第二斜坑が瓦斯爆發をし、坑夫二百十六名慘死した

二十四日（火）

◇阿里山鐵道全線開通

臺灣阿里山鐵道の嘉義、二萬千間四十一哩の全線が開通した

◇大藏電氣會社三百萬圓に增資

同社總會に於て資本金七十萬圓を三百萬圓に增資の件を可決した

二十五日（水）

◇大藏省證券一千萬圓の借替發行

本日債權期日の大藏省證券一千萬圓は日步一錢七厘、大正二年二月二十五日償還の條件で借替發行された

◇關西地方の火災保險競爭激化

關西地方は火災保險競爭が激甚を極め、保險料率が著しく低落し、名古屋は一萬分の五、京都地方は一萬分の五の低率で契約する會社を現出するに至つた

◇臺灣製麻會社の創立

資本金二百萬圓を以て創立した同社は本日創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役山下秀實（社長）蔡蓮坊（副社長）安田善三郎、鍬田岩松、横田寅吉、▽監査役　山口誠太郎、坂本次郎、坂本寨魯哉、林献堂

◇鬼怒川水力電氣の送電開始

屢々問題を惹起した鬼怒川水力電氣會社の第一期工事が竣工し十一月二十三日通水式を行ひ、本日より東京市へ電力輸送を開始した

◇峰運銅山坑夫の賃銀値上

久原所有の静岡縣峰澤銅山坑夫八百名は賃銀値上げを要求して同盟罷業を行つた

二十六日（木）

◇臺灣製麻・埔里社製麻を合併

臺灣製麻會社は本日の臨時總會で埔里社製麻を合併し、資本金を二千七百五十萬圓に增加する件を可決したが、合併條件は一對一の對等條件で、合併實行期は大正二年七月一日である

二十七日（金）

◇電政擴張調査會の申合せ

東京市築地精養軒に開會、犬養、杉田、尾崎、岡崎、關、野田等の政友、國民、無所屬各派代議士、同志新聞記者、在野有志等三百名會合、左の申合を可決後、犬養毅、竹越與三郎、花井卓造、新渡貞吉、副島義一、青木徹二の演說があつた

一、本會は國民打破專政擁護の國論を發揮せんが爲め、各地方に交渉し、此際政派の異同を問はず聯合大會の開催を促す事、二、本會は衆議院解散の場合に於て、前記聯合會に加盟したる代議士の再選を期する事

◇久留米線の開通

鹿兒島縣大川、久留米間十二哩の輕便鐵道は本日開通した

二十八日（土）

◇木更津、久留里間輕便鐵道の開通

千葉縣木更津、久留里間十四哩三分が開通した

二十九日（日）

◇大阪商船南米航路開始

大阪商船の南米航路第一船笠戸丸は、本日就航した

◇有田陶器職工一千餘名の罷業

佐賀の有田陶器職工一千餘名は賃銀値上を要求して同盟罷業を起した

明治四十五年 大正元年 統計

日本銀行兌換券發行高

	兌換券發行高	正貨準備	保證準備	制限外
	千圓	千圓	千圓	千圓
一月	三八七、一七一	三八、九八一、八六	一五八、二三五	三八、三五五
二月	三八四、七五五	三二、六六四、七五二	一五八、二三五	一八、三五五
三月	三八二、四三二	三二、三七、五六八	一五八、二三五	一五、四七一
四月	三四五、七五五	三二、三五、七六九	一二九、九六六	——
五月	三四三、四二四	三二、三二、三三七	二〇〇、〇九六	九六
六月	三六一、八〇四	三二、〇五八	一六二、三四三	四一、四三五
七月	三六一、〇三四	三一、九、九六四	一四一、〇九九	三一、〇九九
八月	三五一、八一一	三一、九、一三一	一五三、六四九	三三、六四九
九月	三六六、六六四	三一、九、九九〇	一四九、六四四	二九、六四四
十月	三五九、三九二	三一、九、九二一	一六三、六四八	四三、六四八
十一月	三九〇、三三一	三一、九、九四一	一六九、八四一	四九、八四一
十二月	四四八、四四一	三四七、〇三三	二〇一、八九八	八一、八九八

東京組合銀行金利表

	手形貸付金 最高	最低	平均	割引 最高	最低	平均
	錢	錢	錢	錢	錢	錢
一月 前年	三・三〇	一・〇五	二・九六	三・二〇	一・三〇	一・九
同月	三・三〇	一・二五	二・九一	二・九〇	一・〇〇	一・九五
二月 前年	三・三〇	一・五〇	二・一一	三・二〇	一・三一	一・九三
同月	三・二〇	一・〇〇	一・九〇	二・九〇	一・〇〇	一・九五
三月 前年	三・三〇	一・三〇	二・〇九	三・二〇	一・三一	一・九二
同月	三・三〇	一・〇五	一・九一	二・九〇	一・〇〇	一・九五
四月 前年	三・三〇	二・〇〇	二・九〇	三・二〇	一・三一	一・八九
同月	三・二〇	〇・九五	一・九一	二・九〇	一・〇〇	一・九四
五月 前年	三・二〇	一・一〇	二・〇九	三・二〇	一・二〇	一・八七
同月	三・二〇	〇・八〇	一・九一	二・九〇	一・〇〇	一・九五
六月 前年	三・二〇	一・三〇	二・一〇	三・二〇	一・三一	一・九二
同月	三・二〇	〇・九五	一・九一	二・九〇	一・〇〇	一・九四

七月	前年同月	二・六八	一・三五	二・〇五
		二・五〇	一・二〇	一・九〇
八月	前年同月	二・〇六	一・三五	二・〇五
		二・〇〇	一・二五	一・九二
九月	前年同月	二・五〇	一・三〇	二・〇六
		二・五〇	一・三五	一・九四
十月	前年同月	二・五〇	一・九〇	二・二四
		二・五〇	一・三五	一・九五
十一月	前年同月	二・五〇	一・九〇	二・二八
		二・五〇	一・三〇	一・九〇
十二月	前年同月	二・五〇	一・九〇	二・二五
		二・五〇	一・三〇	一・八八

東京交換所手形交換高

一月	二九六、六二一枚	二四一、二一四、四四三圓
二月	三二九、二六五	三一〇、六四〇、九四二
三月	三六六、八四四	三八八、〇四七、四六八
四月	三六八、三〇四	三四三、一二九、二四〇
五月	三六〇、六四五	三六一、九四八、四三一
六月	三八一、八九五	三九一、九〇八、八八一
七月	三五六、四四九	三七三、四二四、三〇二
八月	三五六、五四九	三三二、九二三、二〇二
九月	三三三、三九九	三三八、三九八、六八四
十月	三四三、四六二	三四〇、八九四、一六八
十一月	三六〇、四四九	三四〇、八九四、一六八
十二月	四四七、四三一	四〇四、九九四、七三六

外國貿易概況

一月	上旬	最高	志片	二、〇〇一/二
		最低	志片	—
	中旬	最高	弗	—
		最低	弗	—
	下旬	最高	弗	—
		最低	弗	—
二月	倫敦宛		志片	二、〇九/一六
	紐育宛		弗	二、〇〇一/二
	上海宛		兩	八一/二
				八一/二
				八一/二
				八一/二
				八一/二
				八一/二
				七七
	倫敦宛		志片	—
	紐育宛		弗	—
	上海宛		兩	—
三月	倫敦宛		志片	二、〇〇一/二
	紐育宛		弗	—
	上海宛		兩	七六
四月	倫敦宛		志片	二、〇〇七/一六
	紐育宛		弗	—
	上海宛		兩	七六
五月	倫敦宛		志片	—
	紐育宛		弗	—
	上海宛		兩	七四
六月	倫敦宛		志片	—
	紐育宛		弗	—
	上海宛		兩	七七
	倫敦宛		志片	—
	紐育宛		弗	—
	上海宛		兩	七七
	倫敦宛		志片	—
	紐育宛		弗	—
	上海宛		兩	七七
	倫敦宛		志片	—
	紐育宛		弗	—
	上海宛		兩	七七

七月	倫敦宛		志片	—
	紐育宛		弗	—
	上海宛		兩	七四
八月	倫敦宛		志片	—
	紐育宛		弗	—
	上海宛		兩	七四
九月	倫敦宛		志片	—
	紐育宛		弗	—
	上海宛		兩	七四
十月	倫敦宛		志片	二、〇〇一/二
	紐育宛		弗	二、〇〇七/一六
	上海宛		兩	七二
十一月	倫敦宛		志片	二、〇〇九/一六
	紐育宛		弗	—
	上海宛		兩	七〇
十二月	倫敦宛		志片	二、〇〇五/八
	紐育宛		弗	二、〇〇九/一六
	上海宛		兩	七〇

銀塊相場

一月	倫敦	最高	片	二六13/16
		最低	片	二五1/8
二月				二七7/8
				二六1/8
三月				二七1/8
				二六11/16
四月				二八3/16
				二六3/4
五月				二八1/4
				二七7/16
六月				二八3/4
				二七15/16
	紐育	最高	仙	五八1/4
		最低	仙	五四5/8
				六〇5/8
				五八1/2
				五八7/8
				五八
				五八1/4
				五八1/8
				六〇1/8
				六〇3/4

七月				二八15/16
八月				二九1/8
九月				二九7/16
十月				二九5/8
十一月				二九3/8
十二月				二九11/16

外國貿易月表

一月	輸出	三一、四七四、八五五圓
	輸入	四六、一九一、二八四
	輸入超過	一四、七一六、四二九
二月	輸出	三六、六八八、三六二
	輸入	五七、四八六、九八三
	輸入超過	二〇、七九八、六二一
三月	輸出	三七、九一一、六七九
	輸入	六二、〇二四、二〇四
	輸入超過	二四、一一二、二五
四月	輸出	三九、九七八、二六二
	輸入	六八、六二五、八二三

輸入超過		二八、六四七、五六一
五月	輸出	四三、三九七、六九八
	輸入	六三、三一一、六三六
	輸入超過	一九、九一三、九三八
六月	輸出	四〇、〇二四、六九〇
	輸入	五二、四一二、八八六
	輸入超過	一二、三八八、一九六
七月	輸出	四三、五八九、四九三
	輸入	四八、〇六三、七三六
	輸入超過	四、四七四、二四三
八月	輸出	五〇、二五〇、九五五
	輸入	四四、七五二、一八七
	輸出超過	四、五九八、七六八
九月	輸出	四六、一七四、〇四七
	輸入	三六、〇一八、八三八
	輸出超過	一〇、一五五、四〇九
十月	輸出	五四、八八九、九七五
	輸入	四八、九八六、七七一
	輸出超過	五、九〇三、二〇四
十一月	輸出	四九、八九九、三七九
	輸入	四四、五一二、三七一
	輸出超過	五、三八七、〇〇八
十二月	輸出	五二、七〇二、四四七圓
	輸入	四六、六〇五、七五八
	輸出超過	六、〇九六、六八九

一月以降累計額

輸出		五二六、九八一、八四二圓
輸入		六一八、九九二、二七七
輸入超過		九二、〇一〇、四三五

東京株式取引所定期相場

	拂込	配當率	最高	最低	平均
	圓	分	圓	圓	圓
日本郵船	五〇	一一・〇	一〇六・一〇	一〇九・八〇	
炭礦汽船	五〇	一二・〇	三五・八〇	三四・八〇	
東京電燈	五〇	一〇・〇	四〇・〇〇	三九・五〇	
字治川電氣	五〇・五	五・〇	五八・五〇	五六・七〇	
鐘淵紡績	五〇	一二・〇	一〇九・〇〇	一〇三・八〇	一〇五・五六
同 新	二五	一四・〇	一四・〇〇	一四・〇〇	一四・〇〇
富士製紙	五〇	六・〇	五九・五〇	五八・七〇	五九・二〇
大日本麦酒	五〇	一二・〇	一二・〇〇	一〇・八〇	一〇・九一
臺灣製糖	五〇	一二・〇	一二・〇〇	一〇・八〇	一〇・九一
人造肥料	五〇	一〇・〇	一〇・〇〇	一〇・〇〇	一〇・〇〇
日本石油	五〇	一二・〇	一二・〇〇	一〇・八〇	一〇・九一
東京株式	五〇	一四・〇	一四・〇〇	一四・〇〇	一四・〇〇
同 新	二五	一四・〇	一四・〇〇	一四・〇〇	一四・〇〇

同 新	二五	一二・〇	六二・五〇	六〇・五〇	六一・六
富士製紙	五〇	六・〇	五九・五〇	五八・五〇	五九・七〇
大日本麦酒	五〇	一二・〇	八四・〇〇	八一・五〇	八二・四九
臺灣製糖	五〇	一二・〇	八二・〇〇	八一・〇〇	八二・四九
人造肥料	五〇	一〇・〇	五九・五〇	五九・〇〇	五九・六〇
日本石油	五〇	一二・〇	六九・〇〇	六八・〇〇	六八・七一
東京株式	五〇	一四・〇	一六一・〇〇	一四四・〇〇	一五〇・三六
同 新	二五	一四・〇	一二・五〇	一二・〇〇	一二・三六
二月					
日本郵船	五〇	一〇・〇	一一八・五〇	一一〇・五〇	一一六・一六
炭礦汽船	五〇	—	三五・五〇	三四・一〇	三四・七〇
東京電燈	五〇	一〇・〇	四一・〇〇	四〇・一〇	四〇・九一
字治川電氣	五〇・五	五・〇	五八・五〇	五六・一〇	五六・八〇
鐘淵紡績	五〇	一二・〇	一〇九・九〇	一〇八・一〇	一〇八・八〇
同 新	二五	一二・〇	七一・四〇	六九・五〇	六八・三〇
富士製紙	五〇	六・〇	四三・六〇	四〇・一〇	四一・一九
大日本麦酒	五〇	一二・〇	八九・五〇	八四・五〇	八四・三五
臺灣製糖	五〇	一二・〇	八四・一〇	八二・五〇	八二・八八
人造肥料	五〇	一〇・〇	六二・二〇	五九・〇〇	六〇・九〇
日本石油	五〇	一二・〇	七二・六〇	六九・一〇	七二・三五
東京株式	五〇	一四・〇	一六九・九〇	一六八・六〇	一六九・一四
同 新	二五	一四・〇	一二〇・五〇	一一六・五〇	一二〇・九一

三月					
日本郵船	五〇	一〇・〇	一二〇・八五	一一九・〇〇	一一九・〇〇
炭礦汽船	五〇	—	三九・五〇	三四・九六	
東京電燈	五〇	一〇・〇	四二・五〇	四一・四九	
字治川電氣	五〇・五	五・〇	四八・五〇	四四・六〇	四六・六四
鐘淵紡績	五〇	一二・〇	一一〇・八〇	一〇九・〇〇	一〇九・〇四
同 新	二五	一二・〇	四〇・四〇	四〇・〇〇	四〇・九一
富士製紙	五〇	六・〇	四四・〇〇	四一・八五	
大日本麦酒	五〇	一二・〇	八八・〇五	八七・九九	
臺灣製糖	五〇	一二・〇	八四・八五	八四・四一	
人造肥料	五〇	一〇・〇	六九・〇〇	六九・五五	六六・五五
日本石油	五〇	一二・〇	七四・〇〇	七二・〇〇	七四・九九
東京株式	五〇	一四・〇	一六九・五〇	一六九・一〇	一六九・一〇
同 新	二五	一四・〇	一二〇・〇〇	一二〇・〇〇	一二八・〇五
四月					
日本郵船	五〇	一〇・〇	一二〇・五五	一一四・五五	一一四・二九
炭礦汽船	五〇	—	三五・一五	三三・九五	三三・五六
東京電燈	五〇	一〇・〇	四六・一五	四一・五五	四二・六五
字治川電氣	五〇	五・〇	五六・五〇	五四・一〇	五六・七八
鐘淵紡績	五〇	一二・〇	一一二・五五	一〇九・五〇	一〇九・九一
同 新	二五	一二・〇	四一・四〇	四〇・四〇	四〇・四〇
富士製紙	五〇	六・〇	四四・五〇	四四・〇〇	四四・五〇
大日本麦酒	五〇	一二・〇	八四・〇五	八四・四五	八四・四一
臺灣製糖	五〇	一二・〇	八四・〇五	八四・四五	八四・四一
人造肥料	五〇	一〇・〇	六九・〇〇	六九・五五	六六・五五
日本石油	五〇	一二・〇	七四・〇〇	七二・〇〇	七四・九九
東京株式	五〇	一四・〇	一六九・五〇	一六九・一〇	一六九・一〇
同 新	二五	一四・〇	一二〇・〇〇	一二〇・〇〇	一二八・〇五
五月					
日本郵船	五〇	一〇・〇	一二四・〇〇	一一二・五〇	一一二・九〇
炭礦汽船	五〇	—	三二・〇〇	二九・七五	三〇・七六
東京電燈	五〇	一〇・〇	四二・〇〇	四〇・七五	四〇・九一
字治川電氣	五〇	五・〇	五六・五〇	五五・八〇	五六・七〇
鐘淵紡績	五〇	一二・〇	一一九・九五	一一四・〇〇	一一四・九〇
同 新	二五	一四・〇	一三〇・〇〇	一二四・九〇	一二四・九〇
六月					
日本郵船	五〇	一〇・〇	一二六・〇〇	一一四・〇〇	一一四・〇〇
炭礦汽船	五〇	—	三二・〇〇	二九・七五	三一・一〇
東京電燈	五〇	一〇・〇	四二・五〇	四〇・七五	四〇・九一
字治川電氣	五〇	五・〇	五六・五〇	五五・八〇	五六・七〇
鐘淵紡績	五〇	一二・〇	一一九・九五	一一四・〇〇	一一四・九〇
同 新	二五	一四・〇	一三〇・〇〇	一二四・九〇	一二四・九〇
大日本麦酒	五〇	一二・〇	八九・一〇	八四・二五	八四・九〇
臺灣製糖	五〇	一二・〇	八四・〇五	八二・五〇	八二・八〇
人造肥料	五〇	一〇・〇	六九・五〇	六九・〇〇	六九・五〇
日本石油	五〇	一二・〇	七四・〇〇	七二・〇〇	七四・九〇
東京株式	五〇	一四・〇	一六九・五〇	一六五・一〇	一六五・〇九
同 新	二五	一四・〇	一二〇・〇〇	一一九・五五	一一九・三五
七月					
日本郵船	五〇	一〇・〇	一二四・〇〇	一一九・五〇	一二〇・一二
炭礦汽船	五〇	—	三一・〇〇	二九・〇〇	三〇・九五
東京電燈	五〇	一〇・〇	四二・〇〇	四〇・七五	四一・九五
字治川電氣	五〇	五・〇	五六・五〇	五五・八〇	五六・七〇
鐘淵紡績	五〇	一二・〇	一一九・九五	一一四・〇〇	一一五・〇四
同 新	二五	一四・〇	一二〇・〇〇	一一九・〇〇	一二〇・一二
富士製紙	五〇	六・〇	四四・〇〇	四一・八五	四三・七六
大日本麦酒	五〇	一二・〇	八四・〇五	八二・五〇	八三・九五
臺灣製糖	五〇	一二・〇	八四・〇五	八二・五〇	八三・九五
人造肥料	五〇	一〇・〇	六九・〇〇	六九・〇〇	六九・〇〇

日本石油	五〇	一二〇	九五・四五
東京株式	五〇	一四・九六	一四五・〇〇
同　新	二五	一四・九六	一四八・〇〇
			一四五・五〇
			一四〇・九九

八　月

日本郵船	五〇	一〇・〇	一三五・九〇
炭礦汽船	五〇	—	二四〇・〇〇
東京電燈	五〇	一〇・〇	九〇・〇〇
宇治川電氣	五〇	五・〇	五六・一〇
鐘淵紡績	五〇	一四・〇	一六・〇〇
同　新	五〇	一四・〇	八〇・〇五
富士製紙	五〇	九・〇	四四・一〇
大日本麦酒	五〇	一五・〇	八六・〇五
臺灣製糖	五〇	一二・〇	九六・一〇
人造肥料	五〇	一〇・〇	九〇・〇〇
日本石油	五〇	一二・〇	九四・八〇
東京株式	五〇	一五・九六	一五六・一〇
同　新	二五	一五・九六	一六六・〇〇
			一二九・九〇

九　月

日本郵船	五〇	一〇・〇	一三五・九〇
炭礦汽船	五〇	—	二四〇・〇〇
東京電燈	五〇	一〇・〇	九〇・〇〇
宇治川電氣	五〇	五・〇	五六・一〇
鐘淵紡績	五〇	一四・〇	一六・〇〇
同　新	五〇	一四・〇	八〇・〇五
富士製紙	五〇	九・〇	四四・一〇
大日本麦酒	五〇	一五・〇	八六・〇五
臺灣製糖	五〇	一二・〇	九六・一〇
人造肥料	五〇	一〇・〇	九〇・〇〇
日本石油	五〇	一二・〇	九四・八〇
東京株式	五〇	一五・九六	一五六・一〇
同　新	二五	一五・九六	一六六・〇〇
			一二九・九〇

十　月

日本郵船	五〇	一〇・〇	一三五・九〇
炭礦汽船	五〇	—	二四〇・〇〇
東京電燈	五〇	一〇・〇	九〇・〇〇
宇治川電氣	五〇	五・〇	五六・一〇
鐘淵紡績	五〇	一四・〇	一六・〇〇
同　新	五〇	一四・〇	八〇・〇五
富士製紙	五〇	九・〇	四四・一〇
大日本麦酒	五〇	一五・〇	八六・〇五
臺灣製糖	五〇	一二・〇	九六・一〇
人造肥料	五〇	一〇・〇	九〇・〇〇
日本石油	五〇	一二・〇	九四・八〇
東京株式	五〇	一五・九六	一五六・一〇
同　新	二五	一五・九六	一六六・〇〇
			一二九・九〇

十一月

日本郵船	五〇	一〇・〇	一三五・九〇
炭礦汽船	五〇	—	二四〇・〇〇
東京電燈	五〇	一〇・〇	九〇・〇〇
宇治川電氣	五〇	五・〇	五六・一〇
鐘淵紡績	五〇	一四・〇	一六・〇〇
同　新	五〇	一四・〇	八〇・〇五
富士製紙	五〇	九・〇	四四・一〇
大日本麦酒	五〇	一五・〇	八六・〇五
臺灣製糖	五〇	一二・〇	九六・一〇
人造肥料	五〇	一〇・〇	九〇・〇〇
日本石油	五〇	一二・〇	九四・八〇
東京株式	五〇	一五・九六	一五六・一〇
同　新	二五	一五・九六	一六六・〇〇
			一二九・九〇

十二月

日本郵船	五〇	一〇・〇	一三五・九〇
炭礦汽船	五〇	—	二四〇・〇〇
東京電燈	五〇	一〇・〇	九〇・〇〇
宇治川電氣	五〇	五・〇	五六・一〇
鐘淵紡績	五〇	一四・〇	一六・〇〇
同　新	五〇	一四・〇	八〇・〇五
富士製紙	五〇	九・〇	四四・一〇
大日本麦酒	五〇	一五・〇	八六・〇五
臺灣製糖	五〇	一二・〇	九六・一〇
人造肥料	五〇	一〇・〇	九〇・〇〇
日本石油	五〇	一二・〇	九四・八〇
東京株式	五〇	一五・九六	一五六・一〇
同　新	二五	一五・九六	一六六・〇〇
			一二九・九〇

大日本麦酒	五〇	一三・〇	八六・五〇
臺灣製糖	五〇	一二・〇	九六・五〇
人造肥料	五〇	一一・〇	九六・九五
日本石油	五〇	一二・〇	九四・八五
東京株式	五〇	一一・二	一四四・九〇
同　新	二五	一一・二	一四四・九〇

東京米穀取引所定期相場

一月	一月限	二月限	三月限
最高	一八・九〇	一八・九〇	一八・九〇
最低	一八・一〇	一七・九〇	一八・〇〇
平均	一八・一七六	一八・一二九	一八・〇〇
二月	二月限	三月限	四月限
最高	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇
最低	一八・〇〇	一八・〇〇	一八・〇〇
平均	一八・七三	一八・七八	一八・七九
三月	三月限	四月限	五月限
最高	二〇・〇〇〇	一九・〇〇	一九・七〇
最低	一九・〇〇〇	一八・九〇	一八・七〇
平均	一九・九二九	一九・四八	一八・七八

四月	四月限	五月限	六月限
最高	一九・九〇	一九・八〇	一九・〇〇
最低	一九・二一〇	一九・一五	一八・九〇
平均	一九・六二	一九・五六	一九・五九
五月	五月限	六月限	七月限
最高	二〇・六〇	二〇・四〇	二〇・四〇
最低	一九・五〇	一九・一五	一九・一五
平均	二〇・一〇	一九・八九	二〇・三四一
六月	六月限	七月限	八月限
最高	二〇・四〇	二〇・四〇	二〇・四〇
最低	二〇・一〇	二〇・〇〇	二〇・〇〇
平均	二〇・二〇三	二〇・三〇二	二〇・二〇六
七月	七月限	八月限	九月限
最高	二〇・五〇	二〇・四〇	二〇・六五
最低	二〇・〇〇	二〇・〇〇	一九・八〇
平均	二〇・三〇〇	二〇・二〇〇	二〇・〇八
八月	八月限	九月限	十月限
最高	二〇・四〇	二〇・六五	二〇・四〇
最低	二〇・二〇	二〇・〇〇	一九・七〇
平均	二〇・二〇六	二〇・〇八一	一九・六七七

九月	九月限	十月限	十一月限
最高	一九・七〇〇	一八・五〇	一八・四〇
最低	一九・八〇〇	一八・三〇	一八・三〇
平均	一九・八七二	一八・四一四	一八・三八四
十月	十月限	十一月限	十二月限
最高	一九・四六〇	一九・四〇	一九・六〇
最低	一八・〇五〇	一八・三五〇	一八・四五〇
平均	一八・八九四	一九・〇四六	一九・〇九
十一月	十一月限	十二月限	一月限
最高	一九・九五〇	二一・四〇	二一・八五〇
最低	一八・四〇	一九・六四〇	一九・六四〇
平均	一九・〇八一	二〇・八五一	二〇・八八五
十二月	十二月限	一月限	二月限
最高	二一・一〇	二一・一〇	二一・一〇
最低	二〇・五九〇	二〇・九四〇	二〇・七四〇
平均	二一・一二五	二一・一五一	二一・一五二

東京卸賣物價指數

（明治三十三年十月—一〇〇）

	總平均指數	前年同月
一月	一二八、三四	一二二、五七
二月	一二九、五四	一二二、八八
三月	一三〇、四八	一二二、八九
四月	一三一、六八	一二二、五八
五月	一三二、二八	一二三、〇七
六月	一三一、一四	一二一、二九
七月	一三二、八二	一二一、六四
八月	一三一、〇二	一二四、一三
九月	一三〇、一三	一二七、三二
十月	一三一、五二	一二六、七一
十一月	一三二、四六	一二五、六六
十二月	一三三、九八	一二六、四三

大正二年（紀元二五七三年 西曆一九一三年）

【一月】

四日（土）

◇中鉄臨行休業

長岡市の同行（資本金十萬圓）は欠損金三十八萬圓に達したため帳簿の整理を理由とし本日より十七日まで休業する旨發表した

五日（日）

◇大阪府の漁民三百名騷擾

大阪府下泉北郡港村の漁民三百名は大阪市西區江戸堀南通三丁目鶴本半次郎が漁民の利益を圖るとの契約の下に港村海岸に遊園地を設け網干場の大部分を潰し更に二階建の家屋二百戸を建築したゝめ憤慨し全家屋を破壞すると激昂、忽ち二戸の家屋を破壞したので巡査五十四名、消防夫四十三名の應援隊出動して漸く鎮壓した。堺署の井上部長、鳳署の和田部長は漁民のため毆打され重傷を負うた

六日（月）

◇日銀の制限外發行稅率引上

日本銀行は制限外發行高が八千百萬圓の巨額に達したゝめ兌換券調節の目的を以て發行稅率一分を引上げ六分（明治三十五年十二月の稅率五分）と爲すことに決定した

七日（火）

◇滿人會の宣言擁護宣言

滿人會は東京日比谷公園松本樓に開會、富田幸次郎、古島一雄、遠藤良吉、望月圭介、小川平吉、村松恒一郎、伊東知也、佐々木照山、田中拾身、大江卓、山口熊野、林包明、寺崎泰吉、末永節等二百餘名出席、桂内閣に對し非を鳴らし閥族打破、憲政擁護の宣言書を發表した

◇憲政擁護土佐同志會の宣言

同會は東京新橋松本樓に開會、板垣退助伯竹内綱、大江卓、山本幸彦、白石直治、林包明、黑岩周六、中野寅次郎、荒野長知等七十餘名出席、憲政擁護に關する宣言と決議を可決。尙ほ十三日同會の大江卓、山本幸彦、林包明は宮内省に出頭、憲政擁護に關する上奏文を侯爵野文事秘書官長の手を經て奉呈した

◇支那借託公司創立

同公司（資本金五百萬圓）は井上角五郎外十數名發起で北京に創立、役員は左の如く決定した

▽專務理事　松本君平▽監事　山本條二郎　櫻内幸雄

八日（水）

◇東海鐵道會社

同鐵道會社（資本金七十萬圓）は長野縣北佐久郡小諸町から南佐久郡小海村に至る十九哩、北佐久郡岩村田町から同郡御代田村に至る四哩三十鎖、岩村田町から北佐久郡中津村に至る三哩四十鎖敷設の件を鐵道院から免許された

九日（木）

◇大正天皇御即位式御決定

大正天皇の御即位式及び大嘗祭は大正三年十一月京都市に於て行はせらるゝことに御決定の旨仰せ出された

◇日本銀行理事山口熊吉辭任

十一日（土）

◇郵便貯金取扱規程改正

逓信省は郵便貯金取扱規程中第三十四條注意書第三號を「國債利子額（數枚の利札を合同して受入るゝ場合はその合計額）に錢位未滿の端數あるときは之を切捨て受入を爲すべきも其他の證券利子額に錢位未滿の端數あるも之を切捨てざるものとす、又國債證券及び

貯蓄債券の利子に對しては所得稅を課せざるものに付受入の際注意すべし」と改正、即日施行

◇日本セルロイド會社の重役更迭

兵庫縣の同社（資本金百二十萬圓）は財界不振のため物品の停滯甚しく欠損金約六十萬圓に達し根本的に改革する必要あるため重役協議の結果、社長に岩崎典彌、常務取締役に西田博太郎を選任、營業一切は大阪市の岩井勝太郎商店に一任することに決定した

◇評付發行大阪市長に就任

八日の大阪市會に於て市長第一候補者に海軍中將男爵肝付兼行當選、本日就任を受諾

十二日（日）

◇十八團體討閥聯合大會の宣言

伊豫立憲同志會以下十八團體から成る討閥聯合大會は東京日比谷公園松本楼に於て開會、中村弼座長席に着き「閥族の根柢を拔き以て憲政の實を擧ぐるに於て最善を盡さんことを期す」との宣言書と「國民の輿論を天聽に達するため相當の手續を經て上奏文を捧呈すること」外六項の決議文を可決した、十八團體名は左の如し

伊豫立憲同志會、浪人會、日本倶樂部、土佐同志會、十日會、理想選擧同盟會、理想團、立憲國民黨院外團、立憲政友會院外團、火曜會、軍事研究會、立憲作振會、憲政擁護會、國民倶樂部、新聞同志記者團、自由同盟會

◇憲政擁護各選擧聯合大會大會

同大會は大阪市西横堀町岸松館に於て開會、中村友信司會者となり「此際吾人同志の士は協力一致以て憲政の擁護に力めんことを期す」との宣言書及び「吾人は憲政擁護運動に參與せる代議士の再選に力むること」との申合を可決した

◇郵便自由黨、自由同盟會組織

書自由黨に屬する山口彈正、青森金太郎、久保田高三は時局に鑑み、自由同盟會を組織し、實行委員山口彈正外二十一名を決定「自由の大義を論じ憲法の渙發を要求し民權を闡明し憲政の實績を絕叫する」との檄文を發表した

十三日（月）

◇京都電鐵會社の通行稅横領事件

京都電氣鐵道會社（資本金五百二十五萬圓）は臨時株主總會を開き通行稅金十九萬六千五百圓横領事件に關し小野田社長は横領金は舊重役が私消したものでなく利益金に編入し株主に分配したとの事實を報告したので株主側から議論百出し紛擾を釀したが、結局問題の解決を取締役に一任することに決定し左の役員を選出した

取締役谷村一太郎、土屋金次郎、監査役大塚維明、湖亀治郎太

◇鶴玉鐵道會社免許

同鐵道會社（資本金四十五萬圓、發起人平澤三郎外三十四名）は埼玉縣南埼玉郡久喜町から北足立郡鴻ノ巣町に至る延長十二哩、軌幅三呎六吋の蒸汽鐵道敷設の件を鐵道院から免許された

十四日（火）

◇賣文館の整理更生

大阪市の書肆賣文館は債務額約十六萬圓のため昨年秋休業したが、出資者吉岡平助、東京賣文館主大庭久吉、大阪賣文館主神戸支店長柏佐一郎から資本金一萬圓を支出して整理し合資組織に變更した

十五日（水）

◇北海道貴礦汽鑛會社減資

同社（資本金一千五百萬圓）は臨時株主總會を開き資本金を九百萬圓に減資し更に優先

株年利七分五厘付九百萬圓發行の件を可決し役員を左の如く選定した

▽取締役　關琢磨、飯田義一、山田直矢、雨宮亘、宇野鶴太、池上仲三郎、大島六郎

▽監査役　貝塚卯兵衛、小野友次郎、横内幸雄

◇大阪合同紡績會社增資

同社（資本金百萬圓）は北濱銀行に於て株主總會を開き事業擴張のため資本金を百六十萬圓に增資する件を可決した

◇南滿洲汽船會社設立

同社（資本金五十萬圓、代表取締役鈴木岩次郎）は本日創立總會を開き設立確定した

十七日（金）

◇全國同志記者大會の閥族打破宣言

同大會は東京築地精養軒に於て開會、全國の同志新聞記者三百七十餘名參集、鶴原定吉座長席に着き、小山完吾は憲政擁護會を代表し、新波貞吉は同志記者側を代表し擁護會成立以來の經過を報告し、閥族打破、憲政擁護に關する宣言、決議、附帶決議をそれ〴〵可決した

◇才賀電氣商會の整理案

破綻した大阪市の同商會の整理は債權者會に於て決定せる同事業保全のため新會社組織に關し整理委員片岡直輝の同意を得、資本金を三百萬圓とし一時に拂込ましめ、同額の社債を發行し一半を債權者に充て一半を社債に充てることに決し、なほ債權者大倉組との間には債權は六ケ年据置、その期間中に擔保品を處分して返還に充てること外二件の條件で落着した

十八日（土）

◇警察界の先輩者・連水堅吾死去

本日午前横濱市南太田町の長男眞實方で死去、享年七十四、天保十年舊前橋藩に生れ、維新の際蠶絲業の發達を圖り明治九年渡米し本邦の生絲を紹介して直輸出の途を講じ、千住製絨所長、官業富岡製絲所長、同伸會社頭取等を歷任、大正元年秋功勞に依り正五位に叙され銀杯を下賜された

十九日（日）

◇政友會大會の宣言

同大會は東京の本部に於て開會、西園寺總裁以下松田源治、原敬、元田肇、尾崎行雄、大岡育造その他數百名出席「本會は夙に憲政の濟美を以て主義と爲す、今や時局の趨勢に鑑み眞に憂慮に堪へざるものあり、乃ち曷ぞ忠忱を傾竭して邇旨に奚順し先帝の遺澤に奉酬するの道を盡さゞるべけむや」との宣言書を可決した

◇國民黨大會の綱領綱領決議

同大會は東京の本部に於て開會、犬養毅、大石正己、河野廣中、富田幸次郎、島田三郎その他出席「憲政の本義に背叛せる現内閣を彈劾すること」外五項の決議を可決した

二十日（月）

◇桂總理新政黨樹立の聲明書發表

總理大臣桂太郎公は東京市の各新聞社及び通信社の主なる人々を三田の私邸に招待し、遞信大臣後藤新平男と共に一室に現はれ、新政黨を組織することを言明し「廣く天下同志の士と與に此に新政黨を組織し以て大正日新の時局に應酬し以て憲政完美の功を完うせんことを期す」との聲明書を桂公の名を以て發表した

◇日本石油會社の借額增資

同社（資本金一千萬圓）は臨時株主總會を開き事業擴張資金として資本金を倍額の二千萬圓に增資する件を可決した

◇第一銀行大阪支店員二十萬圓費消

第一銀行大阪支店員山口忠三郎は有價證券

約二十萬圓を他に轉進費消したので同支店副支配人松井萬藤は大阪府警察部に届出た

◇北滿の穀物輸出禁止

支那政府は北滿州盛京省の寬甸、綱安兩縣に於て凶作のため食糧欠乏したので大麥、麥粉、粟、高粱、玉蜀黍の輸出を禁止した

◇日本興業銀行總裁落田藤一郎任

二十一日（火）

◇第三十議會停會

衆議院は未だ議事を開かざる前に午前十一時半、桂總理大臣は議長大岡育造を院内大臣室に招き「只今詔書を賜つた」と左の停會詔勅を交付した

睦帝國憲法第七條に依り一月二十一日より二月四日迄十五日間帝國議會の停會を命ず

大正二年一月二十一日　各大臣副署

◇桂太郎立憲同志會組織に着手

桂公の組織すべき新政黨は立憲同志會と命名、事務所は東京麹町區内幸町東洋協會内に設置することに決定した

◇國民黨顧問七名脫黨

國民黨の領袖大石正己、武宮時敏、笑浦勝人、加藤政之助、河野廣中、島田三郎、片岡直温は本部に脫黨届を提出した。脫黨の理由は十九日の大會席上、會衆が片岡直温を惡罵し院外團が除名の決議を爲したのは不當であるといふにある

二十三日（木）

◇大日本人造肥料會社の借金增資

同社（資本金六百二十五萬圓）は臨時株主總會を開き事業擴張資金として資本金を倍額の一千二百五十萬圓（二十五萬株）に增資する件を可決した

◇尼ケ崎紡績會社の增資

同社（資本金二百萬圓）は重役會を開き事業擴張資金として五百萬圓に增資し、二百萬圓を舊一株に付新一株を割當て、殘り百萬圓はプレミアム付で公募することに決定した

二十四日（金）

◇憲政擁護大會の宣言

同大會は東京新宮座に於て開會、三千餘名入場、午後一時古島一雄開會の挨拶を述べ、杉田定一座長席に着き「大勢鼓に至りては立憲の閣臣たるもの當に責を引きて骸骨を乞ふべきなり」との宣言を可決し、尾崎行雄、犬養毅、斯波貞吉、山本宰彦、佐々木安五郎、伊東知也、花井卓蔵、林毅陸、鵜澤聰明等の國族打破に關する演說があつた

◇大日本本テル會社の破産申請

京都市の同會社（資本金二百萬圓）は日本興業銀行の信託社債十七萬五千圓不拂のため京都の都ホテルと五二會館を差押へられ、更に大阪市東區今橋四丁目須賀商會に三千六百圓を支拂はねため本日同商會から京都地方裁判所に破産を申請された

◇神戸電燈、神戸電鐵會社を合併

神戸電燈會社（資本金五百萬圓）は臨時株主總會を開き神戸電鐵會社（資本金六百萬圓）を合併する件を可決した

二十五日（土）

◇三菱倉庫會社の組織變更

同社はその組織を改め特別待遇者の資格を定め管事の外に理事、參事、主事を置き、同時に部長並に支店、造船、鑛山、炭礦等は皆これを職名とし左の如く決定した

▽管事（炭礦部長）南部球吾▽理事（內事部長）壯濟次郎、（銀行部長）三村君平（金屬鑛山部長）原田鐵治、（造船部長）丸田秀實、（庶務部長）木村久壽彌太、（倉庫部長）江口定條、（地所部長）桐島像一、（銀行部副部長）串田萬藏

尙管事豐川良平は後進の途を開くとの理由で組織變更を機として退職した

二十九日（水）

◇大阪電球會社增資

大阪電球會社（資本金三十萬圓）は重役會を開き事業擴張資金として資本金を百萬圓に增資することに決定した

◇百十銀行の整理案決定

下關市の同行（資本金六十萬圓）は整理方法に關し山口銀行に於て協議の結果、資本金を半額の三十萬圓とし積立金三十七萬五千圓も切捨て回收不能の貸金を相殺し同時に資本金二十萬圓を增資し、五十萬圓とすることに決定した

◇北京に興業銀行創立

佛國資本家代表クロード・ポーシャルは周支那財政總長との間に北京に興業銀行（資本金四千五百萬法、支那政府の出資額一千五百萬法）を設立する契約に調印した

三十日（木）

◇國民黨議員代議士同志會に入黨

國民黨を脫黨した大石正己、河野廣中、武宮時敏、島田三郎、笑浦勝人は本日午後五時半帝國ホテルに於て桂太郎公、大浦兼武子、後藤新平男、仙石貫と會見、新黨たる立憲同志會に入黨することに決定し、三大政綱を左の如く協議決定した

一、政黨を基礎とせる內閣の樹立

二、減稅的意味を有する財政整理

三、幣制を改革して通貨の膨脹を防ぎ以て物價の騰貴を抑止すること

◇帝都生命保險會社の創立

同社（資本金五十萬圓）は本日創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役　大谷嘉兵衛（社長）、關本英作（專務）、若尾民造、佐竹作太郎、吉田栄右

▽監査役　安藤浩、相澤喜兵衛、藤品裕太郎

◇バルカン同盟國開戰宣言

同盟國委員代表セルビヤ代理公使は媾和條約締結の望みを失つた旨を土耳古委員に通告し、且つ「戰鬪は二月三日午後七時を以て開始せらるべく從軍記者はこれを許さぬ、この上談判を行はんとすれば土耳古は先づ戰場に於て假媾和條約に調印するを要す、アドリアノープルは先づ第一に攻撃せらるべく、次でチャタルジヤの攻撃に移るべし、物牙利は賠償金を要求するものである」との宣言を發表した

三十一日（金）

◇宇治川電氣の社債成立

同社發行の社債二百五十萬圓は左の條件で成立した

（一）利率　年八分、（一）發行價格　額面以上、（一）償還期限　二ケ年据置後十八ケ年

（一）取扱銀行　卅四、浪速、山口、鴻池、北濱、近江

【二　月】

一　日（土）

◇大阪の憲政擁護第二回大會宣言

憲政擁護有志第二回大會は大阪市中ノ島公會堂跡空地に於て開會、菊池侃二座長席に着き「吾人は鼓に大會を催し飽くまで當初の決意を以て勇往邁進し以て其目的を貫徹せんことを期す」との宣言書を可決し、石黑涌一郎、白河鯉洋、野間五造、鵜原定吉、關直彦、松田正久等の憲政擁護に關する演說があつた

◇正金銀行加州分店新設

横濱正金銀行は米國加州ロスアンゼルス（桑港の南方約四百五十哩）に桑港支店の分店を設置し本日から開業

◇大倉組江西鑛業借款金交付

大倉組は明治四十五年七月支那の江西鐵道に對し五百萬圓の借款契約を締結したが本日右借款の全額五百萬圓を同鐵道に交付した

二　日（日）

◇陸軍のパルセバル飛行船成功

所澤飛行場（埼玉縣）に於て航行練習中のパルセバル飛行船に船長益田大尉以下五名搭乘、午前九時所澤を出發し、九百尺の高度を保つて飛行し同十時三十五分東京代々木練兵場に下降し成功した

三　日（月）

◇日向輝武代議士政友會を離名

政友會本部は群馬縣選出代議士日向輝武を除名した、理由は常に幹部に反抗し黨則を紊すといふにある

四　日（火）

◇樺公立憲同志會員を招待

桂公は大浦畯武子、後藤新平男と共に主人側として左の立憲同志會員を帝國ホテルに招待し午餐を共にし「諸君と余とは今後も議會に於て共に國政に當らねばならぬを以て厚き御懇親と援助とを切望す」との挨拶を述べた

中島行孝、星野錫、溝口光哲、岩下清周、田川大吉郎、大竹貫一、松本恒之助、尾崎元次郎、高橋義信、岡崎久次郎、竹村欽次郎、荘井卓蔵、早速整爾、有田濕三、國光五郎、高野金重、久保通猷、秋田清、清水隆徳、三輪信次郎、小泉又次郎、原眞澄

◇國民黨の脱黨者續出

同黨所屬代議士中左の二十一名が本部に脱黨届を提出した

▽兵庫縣　大森與三次、柴崎鹿之助、肥塚龍、横田孝史、小寺謙吉、齋藤隆夫、▽新潟縣　川合直次、中野貫一、目黒孝平、坂口仁一郎、川上淳一郎▽山形縣　根津嘉一郎▽福島縣　鈴木貞吉▽富山縣　泰丘覺平▽岡山縣　坂本金彌▽愛媛縣　竹内作平▽秋田縣　添田飛雄太郎、町田忠治（兩名の届出未着）

◇早川鐵治代議士政友會を離名

政友會本部は長崎縣選出代議士早川鐵治を除名した

◇宣政擁護四國聯合會秋田清代議士を離名

憲政擁護四國聯合會同志會は愛媛縣選出政友會代議士秋田清を桂首相の旗下に走つたとの理由を以て除名した

◇全國青年大會の閥族打破宣言決議

同大會は東京神田の青年會館に於て開會、閥族打破の宣言と責任内閣樹立に關する決議を可決した

五　日（水）

◇第三十議會再び停會

議會は十五日の停會を終つて本日午後一時衆議院本會議を開き、總理大臣桂太郎の施政方針と大藏大臣若槻禮次郎の大正二年度の豫算に關する演說あり、政友會の元田肇の内閣組織に關する質問、桂首相の答辯があつて後元田肇、尾崎行雄、犬養毅、關直彦、松田正久から提出された左の内閣不信任決議案（贊成者二百二十九名）の議事に入り尾崎行雄は提案の理由を說明し桂首相の辯明直後、二月五日から二月九日迄帝國議會の停會を命ずる旨の詔勅が降つたゝめ島田三郎は壇上に立往生となつた

内閣總理大臣公爵桂太郎は大命を拜するに當り屢聖勅を煩はし宮中府中の別を紊り官權を私して黨與を募り又帝國議會の開會に際し濫りに停會を行ひ又大正二年一月二十一日本院に提出したる質問に對し至誠其責を重んずるの意を明かにせず是れ立憲の本義に背き累を大政の進路に及ぼすものにして上皇室の尊敬を保ち下國民の福祉を進む

る所以にあらず本院は此の如き内閣を信任することを得ず因て玆に之を決議す、右正規に據り提出候也

◇國民大會解散を命ぜらる

立憲日本黨、丁未倶樂部主催の國民大會は本日午前十時東京兩國の國技館に於て開會せんとしたが拒絶され回向院大廣間に開會、發起者の一人森田義郎は會場變更の理由を說明し演說會に移らんとした時、臨場の警官のため解散を命ぜられ、群衆中に左の意見書が散布された

桂内閣は民意に副はざる内閣なる事は國論の歸する所、貴族院に於て倒議劈頭彈劾上奏案を議決相成度此段意見を陳じ候也

六　日（木）

◇東都驛の改築決定

鐵道院は明年秋の御即位式のため約百五十萬圓の費算を以て京都驛を改築することに決定した

◇滿洲貿易の開拓者菱谷孫次郎死去

本日午前一時肺炎のため死去、享年六十九

弘化二年名古屋市在布袋村に生れ、伊藤貞剛田中市兵衛等と提携し大阪商船會社を創立、次で日濠館を設立し、滿洲貿易の開拓者となつた

七　日（金）

◇立憲同志會實行委員長の資格

桂公は立憲同志會創立委員長の資格を以て東京市内の新開通信社員三十餘名を三田の私邸に招き「我建國の本源に溯り皇室を中心として忠愛の大義を顯昭するにあり維新の鴻圖を紹述して開國進取の皇謨を翼贊するにあり」との宣言書を發表、更に帝國ホテルに立憲同志會に入黨した大石正巳以下國民黨の脱黨者、肥田景之以下舊中央倶樂部員、その他同志會贊成の代議士八十一名を招待し午餐を共にし桂公は新黨成立の挨拶を述べ大石正巳は答辭を述べた

八　日（土）

◇三菱が豐川良平に二十萬圓贈呈

管事を辭任した豐川良平に對し三菱合資會社々長岩崎久彌男は感謝狀と共に一時金二十萬圓を贈呈し終身年金五千圓を支給

◇豐國鐵行頭取濱口吉右衛門辭任

時局に關する意見書を發表し累を同銀行に及ぼすを慮れて辭任した

九　日（日）

◇政・國聯合閥族打破演說大會

同演說大會は閥族打破の目的を以て東京兩國の國技館に於て開會、政友會院内總務尾崎行雄、國民黨院内總理犬養毅、佐々木安五郎伊藤仁太郎、關直彦等の演說があつた

十　日（月）

◇第三十議會三度停會

停會明けの衆議院は午後一時四十分、本會議の開會に先立ち二月十日から十二日迄の三日間三度停會の詔書が發せられた

◇樺内閣總辭職

政友會提案の内閣不信任案に對し政府は三度議會の停會をもつてこれに對抗したるも同案の撤回をなさざるため首相は政局敢拾し得ずと内閣總辭職を決し午後一時半宮中に參内辭表を奉呈したした

◇臺灣產業組合規則公布

同法は本日の官報にて公布され、三月一日より施行と決定

◇東京市に驅逐事件勃發

警視廳は衆議院議事堂の周圍に多數詰めかけた民衆を取締るため議事堂を稻荷竹葦等で取圍み二千二百四十名の警官を出動せしめて嚴重に警戒、騎馬巡査三十名も加はり、午後一時頃正門前に扇雪れ込む群衆目蒐けて騎馬

巡査が乗入れたゝめ、民衆は一旦日比谷公園まで引揚げたが、午後九時に至り激昂した群衆は先づ帝國ホテルを襲撃し、新政黨の事務所を破壞せよと叫び、投石して階上階下の硝子窓を破壞し、更に群衆は國民新聞社、都新聞社、やまと新聞社、二六新聞社、報知新聞社、讀賣新聞社の六社を襲撃し石礫を投じて硝子窓等を破壞し、神田警察署外十數ヶ所の交番を或は大破し或は焼に火を投じて投込み鎗打を爲したので警視總監川上親晴から川村衛戍總監に出兵を求め、兵士は二十名宛に一人の將校を付し、襲撃を受けた二六新聞社、桂首相の官邸並に三田の私邸等を警戒し、厳重は深更に及び佩剣された

◇憲立憲政黨異議行動綱に任命

明治四十二年まで住友銀行總支配人として在職してゐたが、本日興銀總裁に就任

十一日（火）

◇憲法發布二十周年記念大會

同大會は東京築地精養軒に於て開會、關直彦、尾崎行雄、浮田和民、阪谷芳郎男、古賀廉造等の記念演說があつた

◇臺灣拓殖會社創立

本社を東京に置く臺灣拓殖會社（資本金百萬圓）は本日創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役中澤彦吉、今井喜八、長澤延次郎 寄藤珪次、秋田太吉、中澤義一▽監査役榊田清兵衛、西澤米二郎、田村鳳兵衛

十二日（水）

◇山本權兵衛伯に大命降下

海軍大將山本權兵衛伯は宮中に參内、後繼内閣組織の大命を拜受した

◇大阪市に騷擾起る

大阪市土佐堀青年會館に於ける大阪青年倶樂部發會式の演說會が中止されたゝめ群衆は激昂し本日午後七時頃國民、二六、報知、やまとの各新聞社支局を襲撃し御池橋巡査派出所等を襲つて破壞し翌十二日午前二時頃鎭撫した

◇鳴崎貯金銀行罪付

新潟縣の同行（資本金二十萬圓）は預金約十萬圓の取付を受けた

十三日（木）

◇東京市騷擾事件起訴

厳重事件に連座し東京監獄に收監された百八名は東京地方裁判所に於て放火及び傷害罪授受として起訴された

◇神戸市に騷擾起る

神戸市新開地に集合した群衆は夜に入り立憲同志會代議士小寺謙吉宅、横田孝史宅、報知新聞支局、神戸新聞、又新日報、大阪朝報支局等を襲撃し翌十四日午前二時半鎭撫された

十四日（金）

◇支那國民黨總理孫逸仙亡命

孫逸仙一行十名は本日午後八時二十五分新橋驛着列車で亡命し來り帝國ホテルに投宿

十五日（土）

◇臺湾製糖會社創立

同社（資本金三百萬圓）は東京の日本橋倶樂部に創立總會を開き、役員を左の如く決定した

▽取締役（社長）鈴木梅四郎、（常務）河井苗太郎、川上熊吉、原邦造、岩崎清七、陳鴻鳴、吳汝祥▽監査役 安部幸之助、高津久右衛門、里見四郎、張作人、吳純仁

十七日（月）

◇東都市に騷擾起る

京都立憲青年黨は三條通柳ノ馬場青年會館に發會式を擧行したが、入場し得なかつた約一萬五千名の群衆は日出新聞社、電車等を襲撃し厳重を極め深夜鎭撫した

十八日（火）

◇日本化學工業會社增資

同社（資本金六十五萬圓）は臨時株主總會を開き、會津工場、亀戸工場の擴張資金に充てるため資本金總額を二百萬圓に增資する件を可決した

二十日（木）

◇山本內閣成立

山本權兵衛伯を首班とする內閣が組織され閣員は左の如く決定、本日午後三時五十五分親任式を行はせられた

▽內閣總理大臣山本權兵衛▽外務大臣牧野伸顯▽內務大臣原敬▽大藏大臣高橋是清▽司法大臣松田正久▽文部大臣奥田義人▽農商務大臣山本達雄▽遞信大臣元田肇▽海軍大臣齋藤實（留任）▽陸軍大臣木越安綱（留任）▽鐵道院總裁床次竹二郎

◇山口線の一部開通

鐵道院は山口線小郡、山口間七哩九分の鐵道竣工を告げたので本日から運轉を開始した

◇日光山電氣鐵道竣工許

同社（資本金三十萬圓、發起人山本久顯外二十三名）は栃木縣上都賀郡日光町から同湯本に至る延長七哩七十二鎖敷設の件を鐵道院から免許された

◇東京神田の大火と火保損害高

本日午前二時三十分東京市神田區三丁目救世軍の大學殖民館から發火し全燒三千九百四十三戸、半燒百二戸、燒死者二十四人を出した。各保險會社の損害高左の如し

▽三十二萬圓東京火災▽二十五萬圓豐國火災▽四十三萬圓共同火災▽十八萬圓神戸海上火災▽十三萬圓大阪火災▽十二萬圓帝國火災、東洋火災、浪速火災、横濱火災、明治火災▽十萬圓東亞火災▽六萬圓福壽火災▽五萬圓日本火災▽四萬圓日本海上火災▽外國保險五萬圓コンマーシャル・ユニオン、ノーウイッチ・ユニオン▽十萬圓サン火災▽二萬五千圓ニュージランド

二十二日（土）

◇滿人會の山本內閣排斥決議

滿人會は東京日比谷公園松本樓に大會を開き佐々木安五郎、伊藤仁太郎、伊藤知也、村松恒一郎等四十餘名出席、「山本內閣は民論を無視し專政を恣にしたものである」との決議を爲した

◇全國記者同志會山本內閣反對決議

全國記者同志會及び實行委員會は日比谷公園松本樓に開會「山本內閣は吾人の理想たる政黨內閣主義を去ること遠し吾人は極力之に反對し之が更迭を期す」との決議を爲した

◇英國・西藏修交通商新協約成立

英國政府は支那政府との間に、西藏修交通商に關する新協約に調印した

二十三日（日）

◇政友會硬派議員二十四名脫黨

政友會が山本內閣を支持し閥族と握手することは友黨に背き天下の義憤を招くとの理由から尾崎行雄以下左の二十四名は政友會を脫黨し本部に届出を爲すと同時にその理由を認めた宣言を發表した

尾崎行雄、岡崎邦輔、菊池侃二、菊池武徳、小山完吾、竹越與三郎、福澤桃介、林毅陸、細梅三郎、田中數之助、牧野彦太郎、小山谷藏、風間禮助、田中善立、平田喜三郎、岡部二郎、笠原忠藏、木下成太郎、小坂順造、八田裕次郎、中川虎之助、森田小六郎、岩國伊代治、安田伊左衛門

二十四日（月）

◇立憲同志會總會政策可決

同會は東京樓田倶樂部の同會事務所に於て

代議士總會を開き、島田三郎會長席に着き、委員長桂太郎公の山本新内閣に對し最も公平無私の所見を持し極めて公明正大な態度に出づることを要すとの演說後、左の如く役員を決定し、「皇室を中心として忠愛の大義を顯彰すべし」外八項の綱領と、「國防計劃を確定し陸海軍備の整理統一を圖るべし」外十三項及び政務調査會規定要領六項目を可決した

▽會計監督　若槻禮次郎、安達謙藏、木下謙次郎、綾部鏈兵衛、江木翼、增田次郎、廣瀨吉郎▽中間報告委員　武富時敏、肥塚龍、肥田景之安達謙藏、村松龜一郎

二十五日（火）

◇大藏省證券一千萬圓借替發行

本日償還期に相當する大藏省證券一千萬圓（一般會計）は日步一錢七厘、償還期五月九日の條件で借替發行と決定した

◇臺灣製糖會社創立

同社（資本金三百五十萬圓）は東京の九州倶樂部に創立總會を開き、役員を左の如く決定し、町田製糖場と新總製糖合資會社買收の件を可決した

▽取締役（社長）安場末喜、（常務）堀口榮三郎、海野景彰、若尾瑋八、矢崎榮助、渡邊勝三郎、坪井九八郎、町田龜喜、吉野周太郎▽監査役松野重榮、若尾謹之助、內池三十郎、上田省三、渡邊文藏

二十七日（木）

◇所得稅法改正を山本首相言明

第三十帝國議會貴族院本會議に於て總理大臣山本權兵衛伯は施政方針演說中に本會期中に所得稅法改正案を提出する旨言明し、衆議院本會議に於て大藏大臣高橋是清は犬養毅の質問に對し所得稅、營業稅、取引稅等の減稅見積額は九百萬圓內外であると答辯した

◇日本銀行理事土方久徵病歿から勝制

二十八日（金）

◇三島彌太郎日本銀行總裁に任命

正金銀行頭取貴族院議員子爵三島彌太郎は日本銀行總裁に任命された

◇水町日銀副總裁・正金銀行頭取を兼任

正金頭取子爵三島彌太郎が日本銀行總裁就任の後を受け日本銀行副總裁水町袈裟六が正金銀行頭取兼任を命ぜられた

◇大阪送電、木會電興・日本水力多會併

大阪送電會社は木會電氣興業會社及び日本水力電氣會社を合併した（日附不詳）

【三月】

一日（土）

◇三共株式會社の創立

同社は資本金十萬圓にて創立、左記役員が選任された

▽取締役　高峰讓吉（社長）鹽原又策（專務）古谷竹之助、吉田宗二郎、大橋新太郎植村澄三郎▽監査役　大谷幸之助、鳥井德兵衛、室田義文

三日（月）

◇日本活動寫眞會社々債募集

同社は東京商業會議所に臨時總會を開き、社債二百萬圓募集の件を可決した

◇浩面電氣鐵道會社創立

同社は京都市五條倶樂部に於て創立總會を開催、資本金百萬圓に對する二萬株は發起人及び賛成人に於て引受け一切公募せざること並に事務所は東洞院七條下る才賀電氣商會支店に移轉し本月中に工事に着手することを決定した

四日（火）

◇正貨の現在高及出入高

衆議院の豫算第三分科會に於て勝田大藏大

官は高木正年の質問に對し在外正貨の在高及その流出入の關係につき左の如く說明した

▽正貨在高　政府所有　四千九百五十二萬圓、日本銀行　三億百二十三萬圓、合計三億五千七十五萬圓、內、內地に在るもの　二億三千六百四萬圓、海外に在るもの　二億一千四百七十一萬圓

一ヶ年に於ける正貨流出の豫想高は九千萬圓乃至九千五百萬圓と見積らるゝが、その內譯を示せば外債の利子拂六千二百萬圓、元金償還一千萬圓、海軍の支拂一千五百萬圓等にして、なほ昨年の貿易入超も亦正貨流出の原因たるに前年中に於ける實際の正貨流出高は三千五百萬圓に過ぎず、蓋し移民の送金五千萬圓、產金額二千萬圓を以て相殺したる以上は信用決濟に依りたるものなるべし

五日（水）

◇鐵道短期外債四千萬圓成立

本月十四日償還期に當る鐵道證券三千萬圓及び大藏省證券中鐵道特別會計に屬する一千萬圓合計四千萬圓は倫敦市場から横濱正金、香港上海、バースの三銀行引受けにて三千萬圓、紐育市場からクンロープ、ナショナル・シティ、紐育コムマースの三銀行引受にて一千萬圓、合計四千萬圓の短期借入契約が成立し五日調印を了つた。條件は公債の形式をとらず短期證券にして內二千萬圓は割引證券、殘りの二千萬圓は利附證券の形式をとり、割引證券の分は、割引步合年五分五厘、償還期限一ヶ年、利附證券の分は利率五分、手取九十九、償還期限二ヶ年

◇露支日本を去る

二月十四日入京した支那國民黨總理孫文一行は本日午前十時二十分新橋驛發の特別列車にて横濱に向つた。見送者には大隈、板垣兩伯、松井外務次官、大岡衆議院議長、犬養代議士等名士數百名に達した。六日横濱市の中華會館に於ける國民黨支部の歡迎會に臨み、七日發關西に向ひ、十一日午後六時から大阪ホテルの大阪財界有力者の歡迎會に臨み、九州を經て二十五日上海に歸着した

◇外人絹物組合書記長ロ氏死去

横濱在留外國人絹織物及び生絲兩組合書記長エー・エル・ロビンソンは食道癌にて死去享年五十。氏は英國人にして、約二十年前に來朝し、日本政府の役人となつたが、間もなく辭して山町下四十八番のクーパー商會に入り、後年これを辭して輸出業を獨立經營し、その傍ら前年四月横濱外人絹物組合及び生絲組合の書記長を兼ね、帝國木製家具株式會社の支配人をも勤めてゐた

七日（金）

◇横濱大火と火保會社の損害高

本日午前四時同市福富町二丁目四十五番地彫刻師西岡彌作方裏手から發火、全燒二百余戶、半燒二十余戶を出して同七時鎭火。各保險會社の損害額は概算左の如し

明治火災三萬圓（正味）共同火災二萬圓（正味）日本海上八千圓（正味）東邦火災六千圓（正味）横濱火災八千圓（正味）日本火災一萬四千圓（正味）東京火災三萬圓（總額）神戶海上四萬圓（總額）

十日（月）

◇ブラジル拓殖會社創立

同社（資本金百萬圓、拂込三十萬圓）は東京商業會議所に於て創立總會を開催、出席者は創立委員長澁澤男爵以下株主二十三名、左の重役を選任し、相談役に近藤廉平、中野武營、最高顧問に大浦子爵、澁澤男爵を擧げた。なほ同社はブラジル國サンパウロ州イグアペ區に五萬町步の未開地を讓受けた

▽取締役　子爵酒井忠亮（會長）男爵横山隆俊（專務）川田鷹、神谷忠雄、藤崎三郎助、青柳郁太郎、森田彦季▽監査役　千早正太郎、各務幸一郎、八木宗十郎

十二日（水）

◇英貨鐵道證券百五十萬磅發行

英貨鐵道證券百五十萬磅發行に關する規定が制定され即日施行した

◇兇日本郵船專務、岩永省一死去

本日午後一時東京府下目黒の自邸に於て胃癌にて死去、享年六十一。氏は肥前大村の藩士後藤家に生れ、岩永家に養子となり、慶應義塾を經て英米兩國に七年間留學し歸朝、その後福澤諭吉の推擧にて郵便汽船三菱會社に入り、十八年日本郵船會社の成立と共に横濱支店支配人となり次で本店支配人に榮進、三十二年十一月同社專務取締役に擧げられ、四十四年十一月病のため辭職、後、明治生命保險會社監査役の閑職にあつた

十五日（土）

◇佐賀米穀取引所營業停止

同取引所は營業細則二十七條に依り營業を停止された。その理由は、同取引所の財産狀態は主として十二月期の受渡に關する違約の賠償及びその賠償責任を顧みずして利益配當をなしたゝめに甚だしく不安固である、それ故同取引所が將來法律上負擔すべきことあるべき賠償責任の履行に關し甚だ憂慮すべきものがある、といふにあつた

◇東拓外債二千萬圓巴里にて募集

東洋拓殖會社の外債二千萬圓は利率年五分、發行價格百圓に付九十六四分の三、償還期限五箇年据置後二十五箇年の條件を以て、本日パリにおいて賣出された

◇大連重要物産取引所規則制定

農會を通過した大連重要物産取引所規則は本日公布、四月一日より施行の旨公示された

十六日（日）

◇大阪の憲政擁護大會

關西聯合憲政擁護大會は大阪中之島公會堂にて開會、來會者二萬。犬養毅、尾崎行雄等多數代議士の演說があり、左の宣言書を可決した

宣言書　憲政擁護閥族打破の事業は今や益益其の急を訴ふ。吾人の運動は眞に僅かに長閥の私見たる桂内閣を産すを得たりと雖も長閥は未だ決して滅びたるにあらず。彼等は今や退いて更に閥族擁護政權回復の手段を講ぜるのみ、此秋に當り薩州閥族の徒忽然として蹶起して復政權を私して敢て憲政濟美の道を杜塞せんと民黨的假面を脱して薩長の走狗となり猶々として其の頽使に甘んじ寧ろ憲政の賊となるを喜ぶ。最近議會に於ける山本首相の答辯の誠意なき或は政友會の之れを庇護せるを以て其一斑を徹するに足る——閥族交互政權を握り私曲を逞うする彼の如く多數政黨の奴隷として惡政を助長する斯くの如し憲政濟美眞に期すべからず——是に於てか吾人國民は宜しく奮然として蹶起し翕然として結束し以て此閥族私黨討滅の義戰に任じ殘れて而して後止むべく生きて閥族打破の義民となり死して憲政擁護の鬼となる快ならずや。吾等は重ねて玆に關西聯合憲政擁護の大會を開き以て國民的大運動の警鐘を鳴す。又斯の如き時勢の要求已むを得ざるが爲めのみ。吾人玆に誓つて全國に於ける民黨の中堅として最後の目的を達せん事を期す

十七日（月）

◇鹿井藍綿織物組合の營業稅改正運動

同組合は營業稅改正案につき評議員、部長、參與員の協議會を開催、製造業者を甲乙二種に分ち綿織物十分の三を一半に、建物賃貸價格千分の八十を四十とし、就業者を男女二種に分ち、男五十錢女三十錢と遞減すべしと決議運動のため柳原組合長は本日夜東上した

◇中越銀行破産宣告

長岡市の中越銀行は前年末新潟支店にて急激な取付に遭つたゝめ支拂停止の悲境に陥り暫らく營業を休んで輕傷を整理し重役にも缺損金の幾分を負擔せしめ、漸く本月十五日から營業を開始し預金の一部を拂出しつゝあつたが、十七日當局から破産の宣告を受けた

十八日（火）

◇銀行家の所得稅、營業稅改正案互動決議

東京手形交換所は、十五日經濟調査委員會を開き、當期議會に於ける政府提出の所得稅並に營業稅改正法案に反對の決議をしたが、更に本日銀行集會所に於て東京手形交換所組合銀行臨時總會を開會、出席者三十一行三十三名、左の決議をなし集會所正副會長、常任委員、調査委員等が夫々運動に當ることゝなつた

▽所得稅法中改正法律案に對する決議

政府より當期帝國議會に提出せられたる所得稅法中改正法律案は、第三種所得の一部に對し負擔を輕減せるも、其他は却て稅率を加重せるものにして、減稅的整理の聲言に反し國民多年の要求に背き商工業の發達を阻害するものと認む。依て當組合銀行は本案に反對し現行稅法の下に於ける負擔を增加せざる範圍に於て公正適實の修正を加へられんことを望む

理由（要點）

一、非常特別稅は戰時非常の場合に於て國民に賦課したる極度の負擔なり、而して所得稅の如き其最も過重なるものとす。故に之を改正整理するに當りては當然之を輕減するを以て根本の方針と爲さゞるべからず然るに今回の改正案を見るに一方に於て一部所得者に對する負擔を輕減せりと雖も他方に於て名を整理均衡に託して戰時以上の重稅を課せんとす、如斯は斷じて國民の容認すべき所にあらざるなり

二、課稅には自ら程度がある、非常時の場合は兎も角、非常時に於て國家が個人若くは甲種法人の所得に二割以上を强要するは不當である

三、今回の改正案に於ては第一種法人甲に對し過重なる現行稅率に比し更に驚くべき急激に稅率を增加した、是れ立法の精神を無視し經濟界の秩序を重ぜざる提案である

四、一人又は一族が株式の過半を有する株式會社若くは株式合資組織會社を合資組織のものに準じ課稅せんとするときは、企業の中心たるべき大株主の出現を間接に制限するの結果を生じ、近世の産業組織と相容れざるのみならず內外人共同の事業に重大の支障を釀すべく又株式の過半が偶々一人又は一族の有に歸したる場合に於て全然與り知らざる小株主にも重稅を負はしむるに至るは何等理由あるを見ず

五、今回の改正案は從前提出せられたる二案とその精神に於て異るところなく吾人の希望するところと相距ること遠い

▽營業稅法中改正法律案に對する決議

政府より當期帝國議會に提出せられたる營業稅法中改正法律案に於て、銀行業に對する課稅標準として新たに借入金額の一項を加へたるは不當なりと認む。依て當組合銀行は本項を削除し之に關聯せる條項に適當の修正を加へられんことを望む

理由（省略）

◇倉庫業者の營業稅改正法案互動決議

當期議會に於ける政府提出の營業稅改正法律案に關し、東京、大阪、京都、神戸、名古屋等の倉庫業者は再三東京の三友倶樂部に集合協議を重ねた結果、左の陳情書を起草し、本日右書面を以て貴衆兩院議員中の有力者を個別訪問して陳情した

▽陳情書　倉庫業に對する現行課稅標準は資本金と建物賃貸價格とを併用せられたり。然るに倉庫業の資本は殆んど全部が建物賃貸價格の基本たる土地建物に變形すべきものなれば、明かに二重の課稅なり。改正案が之を後者の一方に是正せられたるは妥當なるも其稅率に於て依然現行法に準據せられたるは他の營業に比し過重の負擔たること明なり――以下略

かくしてこの陳情書は倉庫業の現狀を說明した後、倉庫業に對する營業稅は資本金額に準據すべく、その稅率は千分の五を適正と認むるが、若し建物賃貸價格に課稅標準を求むれば、その稅率は千分の六十五とすべしと述べてゐる

◇ギリシヤ國ジオーヂ一世暗殺さる

ジオーヂ一世はサロニカの市街を徒步せる際同國の社會黨員に狙撃せられて卽死した

二十四日　（月）

◇日佛銀行の外人重役來朝

日佛銀行取締役マルチニー及び同行本店支配人ドリゾンは午後八時二十分新橋驛着列車にて入京した。マルチニーは千九百三年以來前後八ケ年駐日佛國大使館附武官として東京に在住、ドリゾンは佛國有數の大銀行ソシエテ・ゼネラル總支配人ルイ・ドリゾンの長子にしてパリ高等商業學校卒業後直ちにソシエテ・ゼネラルに入り前後十ケ年同行に勤めたるが、日佛銀行創立と共に同行支配人となつた

二十五日　（火）

◇米及移民入稅禁止法案通過

大內畅三外五名の提出した同法案は衆議院を通過して貴族院に回附せられ、本日の本會議にて可決された。なほ同法案は四月八日附法律第十七號を以て七月一日から施行する旨公布された

◇所得稅法改正法律案通過

政府提出の同法律案は衆議院に於て修正審議し、本月二十四日政府と政友會案との交渉成立し全部政友會の主張通り左の如くに決し直ちに同日の本會議に於て可決した

一、大正二年度より實行すること
一、最低課稅限を四百圓に引上ぐること
一、法人所得の新課稅を削除すること

斯くて本日の貴族院にても衆議院修正のまま可決した。修正案の內容は左の如し（要點）

一、第三條、第一種法人所得甲乙の稅率左の通り修正す

▽第一種甲所得稅率

全額別	所得金額	現行稅率	改正稅率
	圓	千分	千分
五千圓以下	七、六八四、五六	四五	四〇・〇
一萬圓同	一、九三五、四七三	四七・五	四二・五
二萬圓同	一、〇二六、四二〇	五〇	四六・〇
三萬圓同	二、九四七	五五	五二・八
五萬圓同	七六一、二六六	六五・〇五	六〇・〇
七萬圓同	八二四、四六八	八二・五	七〇・〇
十萬圓同	一、〇二六、四二〇	一〇〇	七八・五
二萬圓同	二、〇五二、八四〇	一一〇	八六・四
三萬圓同	三、〇七八、二六〇	一二〇	一〇〇・〇
五萬圓同	五、一三〇、四二〇	一三五	一一〇・〇

▽第一種乙所得稅率

株式會社合資會社の稅率は千分の六十二半とす

二、三、四、省略

五、五十條中「沖繩縣」を削り更に左の一項を加ふ

沖繩縣には大正七年分所得稅より本法を施行す

なほ本法は四月八日の官報を以て公布され大正二年五月一日より施行された

二十六日　（水）

◇營業稅改正法律案修正となる

政府提出の同法案は衆議院で修正可決、貴族院に回附されたが、本日最終日の貴族院に於て審議未了のため握潰しとなつた

◇總豫算並に各特別會計豫算決定

山本內閣の提出した大正二年度總豫算は桂內閣の編成したものを一旦拵回し更にそのまま再提出したものであるが、衆議院に於ては三月十五日の本會議に於て僅か五票の差を以て原案通り可決した。貴族院に於ては本日の會議に於て衆議院回附の原案を可決するに當り左の附帶決議をなした

大正二年度の豫算を審査するに次年度以降國防充實其他緊切なる施設の爲に新に巨額の支出を要するものあり。又減稅の爲め歲入の減少するものあらんとす。行政及び財政の整理を斷行するは實に焦眉の急務に鑑み委員會は山本內閣總理大臣が二年度豫算の實施に際し嚴に政費の節約を行ひ以て財政の基礎を鞏固にすべしとの言明を諒とし必ずや其實績を擧ぐべきを期し之に協贊を與ふべきを決議す

次に委員會は二種の希望決議を政府に致したり、卽ち一、國勢調査費は次年度豫算に計上せざるも政府は成るべく之を施行すべきこと、二、市町村敎育費の整理を爲すべきこと是れなり

貴族院は右の附帶決議を爲すに止め豫算に對しては衆議院回附の通り何等の修正を加ふることなく之れを可決した

總豫算の歲入歲出は各五億八千四百九十二萬四千五百十一圓にして三月二十九日の官報を以て公布された、なほ同年度豫算追加及各特別豫算追加案も同日公布された

二十八日　（金）

◇長測貯蓄銀行休業

大分縣の同行（資本金三萬圓、拂込二萬三千五百圓）は本日から四月十日まで臨時休業を發表した。原因は取引先の米穀商人が失敗したゝめその影響を受けたものである

◇日華國民會の組織

大日本帝國及び中華民國兩國民の親善融和を圖り、東亞の大局を維持する目的にて兩國有志發起の日華國民會が組織され、本日東京築地精養軒に於て發會式を擧行した。三浦梧樓子爵を座長に推し趣意書及び規約を議定した後、日本側は三浦子、大橋新太郎、支那側は前駐日公使汪大燮並に來朝中の胡瑛の演說があつた。來會者三百名、主なる人々は三浦子、犬養毅、頭山滿、山座圓次郎、寺尾亨、根津一、胡瑛、汪大燮等

二十九日　（土）

◇栃木縣下の石工同盟罷業

下野大谷石材の發祥地である栃木縣河內郡城山村字乾針を中心とする採掘場の石工全部千二、三百名は本日同盟罷業を起した。原因は從來の賃銀八十五錢を九十錢に値上を要求して容れられなかつたゝめである

【四　月】

一　日　（火）

◇鉱路鐵道助費の減額更新

大正元年度滿期大正二年度に於て更に繼續の必要ある命令補助航路は滿洲航路、日本海航路（浦鹽及樺太線）寄港補助は北海道航路

東京小笠原航路、小笠原各離島航路、伊豆諸島航路、鹿兒島縣各離島航路、島根縣隱岐航路等で、これに對する補助金は大正二年度豫算に於て各航路を通じ百七萬三千餘圓であつたが、一般行政整理經費節減の趣旨に依り、又各航路の實績に徴し種々調査の末、前記豫算額より十九萬圓六千餘圓を減じ八十七萬七千餘圓を支給することに決し、四月一日付を以て各受命者に對し夫々命令書を交付した。

補助金の內譯は左の如し

	支給額	豫算に比し減額	受命者
	圓	圓	
遼洲航路	三一三、〇〇〇	九九、〇〇〇	日本郵船
日本海航路	二八七、〇〇〇	六二、〇〇〇	郵船及商船
寄港補助	二六、〇〇〇	二三、〇〇〇	阿波共同其他
其他の航路	二四九、〇〇〇	二、〇〇〇	郵船其他

なほ南洋航路補助は豫算通り十五萬圓を支給された

◇山東輕便鐵道會社免許

鐵道院は本日附を以て山東輕便鐵道株式會社發起人垣內太郎外十一名に對し同鐵道敷設免許狀を下附した。同鐵道は、和歌山縣海草郡中ノ島村から同郡西山東村大字伊太祈會に至る延長六哩、軌道幅員三呎六吋の蒸汽鐵道で、資本金二十五萬圓である

◇池貝鐵工所の組織變更

合資會社池貝鐵工所は資本金五十萬圓の株式會社に組織を變更、左記役員を選任した

▽專務取締役社長　池貝庄太郎▽（副社長）千葉恒次郎▽取締役　池貝喜四郎、千葉次郎、松尾彌太郎、池貝杉二、今井三吉▽監査役　千葉松兵衛、千葉直五郎

◇島諸手形交換所設立

才賀電氣商會の事業を繼續すべき日本興業株式會社（資本金二百萬圓）は大阪市土佐堀佐々木旅館に於て創立總會を開き、左の如く重役を選任した。なほ四月十五日の臨時總會に於て社債百萬圓發行の件を附議し之を可決した

▽取締役　岩下清周（社長）、遠水太郎、中島萬吉▽監査役　荻野元太郎

◇東京市の電燈料値下

東京市電氣局電燈部は本日から左の如く電燈料を値下した

▽定額電燈料　門燈　現料金から割引六分五厘即ち四十二錢、五燭以上　現料金に對し割引一割即ち十燭七十二錢、十六燭　一圓、二十四燭　一圓三十五錢、三十二燭　一圓七十錢

なほ從量電燈料は現在既に規定にも割引を設けてあるので、これを活用し一日から一キロワット十八錢に改めた

二　日（水）

◇東京電氣瓦斯會社創立

同社（資本金三十五萬圓、代表取締役田澤巳之吉）は本日創立總會を開いた

四　日（金）

◇大阪臨港土地會社創立

大阪の同社（資本金五十萬圓）は創立總會を開き、左の如く重役を選任した

▽取締役　藤本清兵衛（社長）、島定次郎、中谷德恭▽監査役　岩下清周、清海又三郎

五　日（土）

◇大正生命保險會社の創立

同社（資本金五十萬圓）は本日創立總會を開き、左記役員の選任を見た

▽取締役　伯爵柳原義光（社長）、岡烈（專務）、植村俊平、乾井泰治、藤田勘七、下坂藤太郎▽監査役　鈴木岩次郎、金子直吉、柳田富士松

◇バルカン戰爭と列國の調停

前年十月勃發したバルカン戰爭は土耳古の抵抗力弱くブルガリア其他の同盟軍に擊破せられ、十二月十六日からロンドンで媾和談判を開始したが、不調に終り、本年二月三日から再び戰鬪を開始した。然るに同盟國間にあつてもルーマニアのブルガリア壓迫、セルビア及びモンテネグロのオーストリアに對する挑戰的態度、モンテネグロのスクタリ攻擊問題等利害一致せず、戰の勝敗は既に決してゐるにも拘らず平和回復が遲延してゐたが、五日ツフイアよりの報道によればバルカン同盟國は次の保留條件付にて列國の調停を承認した

一、列國の提案に係るスレースの新境界は單に今後の交渉の基礎として承引すること

一、イージアン島嶼は之を割讓すること

一、償金支拂の主義を是認すること

七　日（月）

◇鬼怒川水力電氣社債六百萬圓募集

同社は興業銀行の信託により三月三十一日興銀と契約を締結したが、本日より十二日迄を期間とし次の條件にて社債を募集した

▽發行總額　六百萬圓　▽發行價格　百圓に付九十八圓以上　▽利子　年七分五厘　▽償還期限　二ケ年据置後八ケ年間に償還　▽申込期日　四月七日—十二日　▽拂込期日　四月三十日

◇横濱の富豪・平沼專藏死去

本日午前二時鎌倉町長谷の別邸にて死去、享年七十八。氏は天保七年四月埼玉縣入間郡飯野町に生れ、幼時父に從つて大工職を業としたが後志を立てゝ上京、次で開港當時の横濱に出て明石屋平藏方に傳はれて飯炊奉公をなし、勤勉を認められて暖簾を分けて貰ひ二十兩位の資本で石炭商を開業した。以後綿絲の輸入、地所の賣買等により富を築き死去當時は横濱銀行、横濱中央貯蓄銀行、金叶貯蓄銀行、横濱電氣株式會社、横濱電線製造株式會社等の重役であつた。なほ衆議院議員、貴族院議員にも擧げられたことがあり、關東財界に重きをなした

八　日（火）

◇中華民國の議會開設

中華民國は國會議事堂に於て民國議會の開會式を擧行した。當日大總統袁世凱は缺席し趙總理が袁大總統の祝辭を朗讀した

十　日（木）

◇播磨鐵道敷設免許

鐵道院は本日附を以て同會社（資本金四十萬圓）發起人藤田榮一外五十名に對し千葉縣東葛飾郡船橋町から同郡四季村に至る延長十三哩十鎖、幅三呎六吋の輕便鐵道敷設免許狀を下附した

◇川北電氣工業社の創立

從來個人經營であつた同社は資本金百萬圓の株式會社に改組して大阪に設立、役員は左の如し

▽取締役　川北榮夫（社長）野口遵　古賀春一▽監査役　ヴイクトル・ヘルマン　鎮尊潤之助▽支配人　矢村克

十一日（金）

◇萬國工業所有權保護條約公布

明治四十四年六月二日ワシントンに於て我が全權委員駐米大使館參事官松井慶四郎、特許局長中松盛雄の兩氏が獨、墨、白、伯、玖、丁、努、西、米、佛、英、伊、墨、諾、和、蘭、塞、瑞、スイス及びチュニスの關係各國全權委員と共に署名した千九百年十二月十四日ブリュッセル及び翌年六月二日ワシントンに於て改正せられた工業所有權保護に關する

千八百八十三年三月二十日のパリ同盟條約並に附屬議定書は、先に樞密院會議の諮詢を經、批准を終つたので條約第二號を以て本日公布された。右條約は全文十九ケ條から成り又附屬議定書は千九百十一年六月二日ワシントンに於て最終の協定條項を明かにしたものであるが、その主なる要項は左の如し

締盟國は工業所有權保護の爲め茲に同盟を組織す

『工業所有權』なる語は其最も廣き意味に解すべく農産業（葡萄酒、穀物、果實、畜類其他）及び採取産業（鑛物、鑛泉其他）の範圍に屬する一切の生産物にも及ぶものとす

◇中野東商會頭、排日問題で米大使を訪問

東京商業會議所會頭中野武營は宮岡東商顧問、前駐米日本大使館參事官）を同伴し、雲南坂の米國大使館を訪問、北米加州に於ける排日案につき代理大使大使館參事官ベリー・ブランシャールに會見、緩和の方策を採るやうに懇力されたき旨を陳情した

十二日（土）

◇鐵道豐幾二千萬圓發行

十四日償還期限に達する鐵道證券二千五百萬圓の内五百萬圓は現金償還をなし、二千萬圓は大藏省證券に借替へることに本日決定、新證券の發行條件は、總額二千萬圓、日歩一錢六厘、發行日四月十四日、償還期限六月十三日

◇六商業會議所の排日案防止協議會

東京、横濱、名古屋、京都、大阪、神戸の六商業會議所は、東京商業會議所に於て排日問題に關し聯合協議會を開催、中野武營（東京）、増田増蔵（横濱）、上遠野富之助（名古屋）、會頭代理西池書記長（京都）、土居通夫（大阪）、松方幸次郎（神戸）の諸氏出席、中野東京會議所會頭より本問題に關する今日までの經過を報告した後、協議の結果、防止に關し桑港、ロスアンゼルス、オークランド、サンデイゴ等の商業會議所會頭宛電報を以て依頼することに決した

◇排日案防止の日米同志會組織

米國加州議會に於ける排日案問題につき協議するため東京柴地精養軒に於て學者、代議士、實業家の聯合會を開催、出席者中野東京商業會議所會頭、島田三郎、守屋此助、高木正年、菅原傳、關和知の各代議士、杉原東京府會議長等五十餘名、島田三郎より本問題の經過につき報告した後、意見の交換をなしたが、本問題は加州議會の議決のみによつて解決されるものではないから根本的解決を期するためには半永久的の組織を要するとの見解から日米同志會を設立し、米人の篤志家も加入せしめることゝし、同志會々長に澁澤男、副會長に中野武營を推薦した

十三日（日）

◇六十五銀行の整理案確定

兵庫縣の同行は重役の怠慢に依り不良貸金殆加し拂込資本金八十五萬圓に對し約七十萬圓の巨額に達したので、前月末の總會に於て曾根重役始め一同引責辭職し、住友銀行下關支店支配人村上喜平を專務に迎へて整理に腐心したが、本日の臨時總會に於て（一）資本金百萬圓を半減すること、（二）未回收貸付金七十萬圓は減資金三十五萬圓、積立金十五萬圓、繰越金四萬圓、合計五十四萬圓並に現在準備金十六萬圓を以て充當すること、尚增資案として五十萬圓を二百萬圓に增加し、本年八月一日現在の株主に舊株一株につき新株三株を割當て、第一回拂込を十二圓五十錢とし十月一日拂込とする諸件を可決した

十四日（月）

◇肇太協會創立

公爵二條基弘、宮尾舜治等の發起に係る官民協同の樺太研究機關たる樺太協會は東京上野精養軒に創立總會を開催し、會則を可決した後、總裁に二條基弘公、會長に陸軍中將楠瀬幸彦を選定した

◇鐘淵紡績・朝日紡織兩社合併内定

朝日紡織會社は前年五月三井系の人物を中心とし資本金五百萬圓を以て設立され、現在拂込資本金百二十五萬圓で大阪府下東成郡鉱井村に工場建設中のところ、同社創立當時と四圍の事情が異り、前途の經營に不安を抱くに至つたので、朝日紡織社長藤野龜之助は專務で鐘淵紡績會社專務式藤山治との間に左の兩社合併假契約を締結し、臨時株主總會に諮ることゝなつた

一、朝日紡織會社は五月、七月、十月の三回に分ち未拂込金の内金二百五十萬圓の拂込を了し一株の拂込金額三十七圓五十錢此總額三百七十五萬圓を以て鐘紡五十圓拂込券三萬株と交換する事。一、鐘淵紡績より朝日紡織に現金十六萬二千五百圓を交附する事。一、鐘淵紡績は新に發行したる三萬株に對し本年下半期決算に於て現在五十圓拂込濟のものと同一金額の配當を爲すべきものとす。一、鐘淵紡績は朝日紡織所有地十二萬三千餘坪の半數は原價を以て朝日紡織に交附し、朝日紡織は之を第三者に賣却する事を承認せり

然るに三月二十二日重役會を開いて右の假契約の承認を求めたところ、取締役中菅沼達吉、渡邊千代三郎、瀧村竹男の三名は承諾を拒み二十五日辭職を申出でた。その結果、藤野は高崎親章、三名は小山健三を仲裁人に立て交渉の結果、兩仲裁人は本日大阪市北濱花外楼に於て覺書を交換し、朝日紡績と鐘淵紡績の合併案を承認した。なほ鐘紡、朝日紡の兩社は四月三十日何れも臨時株主總會を開き合併案を可決したが、朝日紡織は新たに資本金百萬圓の土地會社を設立することになつた

十五日（火）

◇鐵道外債二億法成立

明治四十二年以降大正元年度迄鐵道の建設改良に要した資金にして短期借入となつてゐた總額約一億圓を整理するため、去る三月英國に於て三百萬磅を起債したが、その殘額は佛國ロスチャイルド家との間に金額二億法の國庫債券引受の契約成立したので、本月二十四日左の條件で發行することに決した

▽利率　年五分▽償還期限　十ケ年▽發行價格　九十八

◇米國加州議會排日法案通過

外國人土地所有禁止法案は十五對六十の多數を以て米國加州下院を通過した

十七日（水）

◇佛貨公債二億法發行

政府は本日佛貨國庫債券二億法發行に關する規定を制定、即日施行された

二十一日（月）

◇一宮銀行臨時休業

愛知縣一宮町の一宮銀行（資本金五十萬圓内四十四萬圓拂込濟）は營業不振のため經營困難となり本日から三週間の臨時休業を發表した

二十三日（水）

◇米國大統領排日土地法案破棄を勸告

米國大統領ルーズヴェルトはカリフォルニア州知事に長文の書簡を送り州議會をして差別的待遇を設けんとする外人土地所有法案を破棄せしめるやう强硬に勸告し、日本人に對し差別的待遇を設けることの不正當なるを說明した

二十五日（金）

◇朝鮮事業費國庫債券三千萬圓發行

朝鮮事業費國庫債券發行規程は本日大藏省令第十一號を以て公布された

發行總額三千萬圓、利率年五分、發行價格額面百圓に付九十五圓、償還期限大正六年十二月一日迄に全額償還、申込期間大正二年五月十日より同月十五日迄

◇直江津銀行の臨時休業

新潟縣直江津町の直江津銀行は四月中旬取付に遭ひ本日から五月二十五日迄一ケ月間帳簿整理のため臨時休業を發表した。同行は資本金三十五萬圓、預金五十八萬七千圓、貸出八十一萬二千圓

二十六日（土）

◇大阪實業團體會の排日案討決議

大阪商業會議所有志議員の組織する大阪實業同志會は土佐堀青年會館に於て發會式を擧行、土居商業會議所會頭の降に次で井上書記長は同會を組織して對米問題の解決を促すに至つた所以並に在米日本人會長手島蘇爾から母國人に訴へた長文の書簡を朗讀、米國加州議會の排日土地法案通過反對の決議をなし、加州知事及會議所宛の電文を可決した後、加島銀行の星野行則、京都帝大教授神戸正雄等の講演があつた

◇支那の五國借款二億五千萬圓成立

久しく懸案となつてゐた支那借款問題は幾多の曲折を經て支那共和國政府と英、佛、獨露、日五ケ國の銀行團との間に交渉まとまり本日を以て總額二億五千萬圓の借款調印を終つた。支那共和國政府は前年十一月以來英、佛、獨、露、米、日六國の銀行團に對し借款交渉を開始したが、その間種々の事情があつて容易に成立するに至らず、殊に顧問招聘問題は最も紛糾を極め六國側の決議にては最初重祭局に英人、審計院に佛人、國債局に獨人各一名を採當てることに決してゐたが、其後露國からも顧問を派す權利ありとて異議を唱へ、その結果借款談は六國側相互の妥合となつた折柄、從來同一行動を取り來つた米國は民主黨內閣の成立と共に突如右借款の內容は支那の內政に干與し民主黨の政綱に反するものとして借款團から脫退の聲明を爲したので、殘餘の借款團も結局解散をさへ豫想されるに至つた。然るに一方支那共和國政府の財政は殆ど窮乏の極に達し且つ袁總統は宋教仁暗殺事件等の爲め國民の反感甚しく四月八日國會開設後の形勢は益々自派に非にして、これが爲め議員の操縱、軍隊の充實等に巨費を要するため同財務總長をして內密の間に米國を除く五國銀行團に對し交渉を進めしめ、他面顧問々題に對する五國側の意見もまとまりこゝに多年の懸案となつてゐた借款問題も無事調印を終るに至つたのである。その內容を摘記すれば左の如し

▽借款總額　二千五百萬磅（二億五千萬圓）▽利子　年五分▽發行價格　九十▽手取八十四▽償還期限　十五ケ年據置五十ケ年償還▽擔保　全國の鹽稅を擔保とし鹽稅の取入が三ケ年續續して本借款の利拂を爲すに至る迄直隸、山東、湖南、江西の地租を擔保とす▽借款引受銀行　香港上海銀行（英國）、露亞銀行（露國）德華銀行（獨逸）印度支那銀行（佛國）橫濱正金銀行（日本）但し正金銀行引受の五千萬圓は內國に於て募集せず全部英佛市場にて賣出す筈▽前渡金二百萬磅

借款の用途は左の八項とす

（一）期限に達せる支那政府負擔の支拂（二）未拂小額借款の全部償還（三）漸時滿期となるべき支那政府負擔の支拂、但し革命戰

爭より生じたる損害に對する外國人の要求を含む（四）軍隊の解散費用（五）軍隊及各省紙幣の償還（六）行政經常費（七）鹽政改革費（八）他の行政上の施設にして、支那政府と、銀行團との間に妥協さるべきもの

◇神戸電氣會社創立

神戸電燈及び神戸電鐵會社合併に伴ひ新設された神戸電氣（資本金千四百八十二萬五千圓內千百五十六萬二千圓拂込濟）の創立總會は神戸神港倶樂部に於て開會、重役の報酬年額一萬五千圓と決定、左の重役を選任した

▽取締役　村野山人、小川爲次郎、高橋長秋、秋山忠直、秋山恕卿、內村直俊、川西清兵衛、曾根正命、寺田元吉　▽監査役　小川銕吾、竹田文吉、朝田喜三郎、澤野定吉、物集伴次郎

二十八日（月）

◇明治製糖、中央製糖を合併

明治製糖株式會社（資本金一千萬圓）は東京の本社に總會を開き、中央製糖株式會社（資本金五百萬圓、內拂込百二十五萬圓）合併の件を可決し、中央製糖社長關清英を監査役に、同常務取締役谷井千次郎を取締役に選任。合併の結果、明糖は資本金一千萬圓を一千二百萬圓に增加し、六月三十日現在の中央製糖株主に對し、全額拂込濟株式二萬六千株及び、四分の一拂込濟株式一萬四千株の新株式を發行、中央の現在二十圓拂込濟株式十萬株と交換し、なほ中央の重役及使用人解散慰勞金に充てる爲め現金五萬五千圓を交付すること、中央は製糖六月三十日の決算をなさゞることと又右交換株式に對する明糖の大正二年下半期配當金はその半額の割合にて交附することゝなつた

◇東海商業銀行頭取、杉井敬造死去

本日心臟痲痺にて死去、享年三十二。氏は明治大學卒業米國エール大學に入り保險學を修め、歸朝後東洋海上保險會社を創設して專務取締役となり、又東海商業銀行を起してその頭取となつたが、傍ら大日本水產會の常議員、明治大學の評議員に擧げられてゐた

二十九日（火）

◇東京瓦斯製造會社創立

同社（資本金十七萬五千圓、全額拂込）は創立總會を開き、左の重役を選任した。同社は鈴木藤三郎の發起に係り、氏の發明した方法により澱粉飴及びグリコース其他澱粉を原料とする各種の製造を目的とする

▽取締役　鈴木藤三郎、村上大三郎、鈴木矢郎、鈴木富士彌、吉川長三郎▽監査役　鳩山一郎、中村政二郎

【五　月】

一日（木）

◇各種製造業者の所得稅免除

左の製造業を營む者の所得稅免除を勅令をもつて公布、同時に施行された

一、金、銀、鉛、亞鉛、鐵又はアルミニウムの地金

二、鐵の條、竿、テー形アングル形類、軌條、板、線及管（鑄製管を除く）

三、銅の合金の條、竿板及管

四、汽鑵、原動機（機關車を含む）及動力を以て運轉する鐵製の機械

五、燐、曹達灰、苛性曹達、硫酸アムモニウム、石炭酸、クロール酸加里及びグリセリン

六、製紙用パルプ

七、板硝子

八、コンデンスミルク

九、絹亞麻又は毛の織物

◇加州米國人民大會の決議

米國カリフオルニア州の排日土地法案成立せんとするに對し、日米同志會員中野武營、大橋新太郎、竹越與三郎、倉地誠夫等二十余名は三十日東京商業會議所に會合して、同法案に關する意見の交換をしたが、又別に有志の名を以て本日午後六時より東京市神田青年會館に於いて國民大會を開催、左の決議をなした

日本は深く國交を尊重して紳士的協約以來多大の苦痛を忍び移民の渡米を制限中なれば米國諸州は在住日本人に對し在住歐洲人同樣完全なる保護を與へんが爲特に注意を加ふべき義務あり。然るに加州議會は動もすれば事實上專ら在住日本人の利權毀損を目的とする偏頗的立法を敢てせんとす。是れ一は眞に加州議會の議決に基き特に在住日本人の實情を調査して日本人は加州開發のため有用缺く可らずとしたる議案を既調し、一は紳士的協約成立の根本義を無視し、延いては日米傳來の國交を傷害するものなり。今若し右の法案にして成立せんか、本邦人の加州に對する感情益々激越して押ふるに由なからんとす。是れ畏外交及び貿易のため忍ぶべき事ならんや。仍て吾人は此事の危害を未然に防止せんがために加州知事及び加州議會が此際切に猛省せんことを警告す

◇ラサ島燐礦會社改組と國債增資

恒藤恭學博士の設立による同社は資本金七十萬圓を以てラサ島燐礦の積取りに從事してゐたが、大日本人造肥料及び關東酸曹兩社の後援により資本金三百萬圓（四分の一拂込）の株式會社に改組、本日創立總會を開き左の重役を選任した

マ取締役　恒藤規隆、井田榮造、深川喜次郎、來栖壯兵衛、松本隆治、九鬼紋七、伊丹彌太郎、中谷整治マ監査役　大井卜新、須田辰次郎、永松爲治郎、堀谷左次郎マ相談役　奈良原繁、和田豐治

二一　日（金）

◇中華民國總理の辭職

中華民國々務總理趙秉鈞が辭職したので、袁總統は、陸軍總長段琪瑞に對し、國務總理代理を命じた

◇米國中華民國を承認す

北米合衆國政府は、中華民國を正式に承認した

三　日（土）

◇排日土地法案加州兩院を通過す

米國カリフオルニア州上下兩院は上院では二に對する三十五、下院では三に對する七十二の多數で外人土地所有禁止法案（ウエツブ案）を通過せしめた。此の外人土地所有禁止案によれば、日本人は住居、工場及び商店の所有は許され、田畑及び園圃の所有は許されないが、辛うじて三ケ年間の借地權のみは許されるものである

排日問題の沿革　一八九三年には一千有余人に過ぎなかつた日本移民が、日露戰役後一萬有余人に膨脹し、排日問題は漸く全アメリカの政治問題となつたのである。排日の原因は、人種的偏見と、勞働力の競爭にあると言はれてゐるが、一八七二年制定の加州憲法には、外人土地所有について何等の制限がなかつたのである。然るに、一八七九年第十九條に於いて歸化權なき者の入國を禁止し、その結果一八九三年に土地所有の制限法を作らんとしたことがある。又パブリックランドの所有はこの當時から禁ぜられてゐた。これが加州に於ける日本人の土地所有禁止の最初であつて、明治四十

年には日本人の土地賃借權を一年以内に制限せんとする議案の提出があつた。その後も幾度か排日案の議出を見、遂に今回に到つたのである

五　日（月）

◇大連汽船同盟會社の增資議決定

滿鐵の經營に係る大連汽船同盟會社は、臨時株主總會を開き、從來の資本金百五十萬圓を五百萬圓に增加して、且つ從來の安東縣天津航路の外に、大連天津直通航路の開始を決定した

◇支那參議院借款調印審決

英、獨、佛、露、日の五ケ國よりする所謂五國借款契約について、中華民國參議院は「借款には反對ならざるも本院にて協議せざりしものなれば、借款契約はこれを承認することは能はず」と參議院に於て決議、同決議は總出席三百七十九名中二百二十九名の大多數を以て通過した

六　日（火）

◇總錄運賃率の新調印成る

日清汽船會社外三會社は上海、漢口の綿糸運賃について日支綿糸商と新契約を締結したが、新率は五厘四分、邦貨換算大俵七十二錢小俵四十二錢である

◇在加州の邦人市民權獲得に關聯

在桑港日本人有志は加州の排日問題に對し市民權獲得期成同志會を組織し、根本問題の解決に努力することになつた

◇米國アリゾナ州の邦人排斥

米國アリゾナ州議會は、米國に歸化の意志を宣言せざる外人に對して、不動產取得を禁止する法案を殆んど滿場一致で通過させた。因に同法は專ら日本人排斥を目的とせるものである

八　日（木）

◇宇治川電氣の地下線許可

宇治川電氣株式會社の大阪市内に於ける地下線敷設は許可された

九　日（金）

◇日本政府排日問題で米國に抗議

帝國政府は加州の排日問題に關し珍田駐米大使をして米國々務卿ブライアンに對し抗議せしめたが、その概要は、文明國間の双互條約は双互の國民に對し他國民と同等の待遇を與ふるを以て根本の本義としてゐる。然るに加州に於ける土地案は事實に於て我國民に他國民に比して劣等の待遇を與へんとするものにして日米條約の根本的主義精神に反戻せるものなりといふのである

◇體育會聯合總會の開行協議

茶業組合中央會議所は、靜岡市城内の同會議所出張所に於て、製茶檢査所長及び鑑定員の聯合協議會を開き製茶の檢査方法につき協議した。本年より米國に於ける着色茶檢査法が一層嚴重となつた結果、内地に於ても取締の勵行が必要とせられたゝめである

◇中華民國の五國借款調印畢了

英、獨、佛、露、日の五國よりなる中華民國借款は、參議院の嚴重な反對にも拘らず本日調印完了し、二百萬磅の前渡金が毎週五十萬磅づゝ授受されることになつた

十一　日（日）

◇支那の進歩黨結黨式を擧ぐ

支那の共和、統一、民主の三黨聯合よりなる進歩黨は結黨式を擧行、同時に左の政綱を發表した

（一）國家主義を取り黎國善良なる政府を建設す　（二）人民の輿を尊重し法律の附與せる自由を擁護す　（三）世界の大勢に應じ平和の實利を增進す

なほ同黨の理事長は黎元洪、理事は伍廷芳

湯化龍、梁啓超、孫鍵筠、魯洽、張謇、孫武等である

十二日（月）

◇東京市電千六百萬圓募債可決

東京市電氣局は本年度以降の電氣事業電燈並びに動力事業建設費一千五百萬圓の公債募集を市參事會に諮問し、參事會はこれを特別委員に附託し、募集金額を一千六百萬圓に增額した

▽募集金額　千六百萬圓▽利子　百分の六以内▽募集期間　大正二年度以降四年間▽償還方法は大正六年以後二十三年間に於て抽籤其他の方法に依り電氣局特別會計より支拂ふものとす▽公債の使途　募集公債を以て大正二年度より四ヶ年間に電車線路を五十五哩延長し、且つ大正三年度以降三ヶ年間に百萬圓の改良費に充つるものとす

◇大阪市の大阪電燈買收契約調印

大阪市の同會社買收契約は肝付壁行市長と土居社長との間に調印を完了した。買收價格三千百五十二萬七千六百四十四圓、買收の日より起算滿三ヶ年以内に現金を以て代金を交附する條件である。なほ大阪市はこの資金にあてるため發行總額五千二百萬三千圓の公債條例案を市參事會員に配付した

十五日（木）

◇大藏當證券一千萬圓借替證發行

本日償還の大藏省證券一千萬圓（一般會計）は國庫の都合上日歩一錢六厘にて借替發行と決定した。償還期は七月二十五日

◇石油關會社の價格協定圖

〈スタンダード、ライジングサン、日本、寶田の四石油會社は從來價格の上下に鎬き同一歩調を取り來つたが、突然ライジングサン社は輝發油の値下げを發表し、更にタンク油の値下げ斷行を發表した

◇淀戸電氣鐵會社の增資決定

淀戸電氣鐵道株式會社は株主總會に於て從來の資本金四十六萬圓を百萬圓に增資の件を可決した

十七日（土）

◇對米問題に興論喚起

〈加州排日案通過後第一回の大演說會は本日午後六時より東京本郷座で開かれ、頼母木桂吉、清瀬規矩雄、永井柳太郎、日向輝武、林毅陸、島田三郎の演說あり、左の宣言を發表した

◇宣言　吾人は加州土地問題の公平なる解決を謀ると共に此際在米歐人と均等の地位に立つを妨ぐる一切の法規に對して根本的解決を下し、他は以て日米傳來の國交を毀損せしむる一切の禍根を永遠に杜絶せしむることを期す

十九日（月）

◇山田銀行の臨時休業

宇治山田の同行（資本金八十萬圓）は本日より三週間帳簿整理のため臨時休業。二十萬圓の滯貸を減資により補塡する方針に決した

◇加州の排日土地法案認可

同州知事ジョンソンはさきに上下兩院を通過した加州の排日土地法案を裁可した

二十二日（木）

◇米棉運賃引上協定成立

棉花業者と日本郵船、大阪商船、東洋汽船各社との間に、米棉運賃百封度につき十仙（邦貨二十錢）方引上げの協定が成立した

二十四日（土）

◇大藏當證券一千六百萬圓借替發行

二十六日償還期に當る大藏省證券一千五百萬圓は、全部借替發行することに決定の旨發表された。利率は前回同樣一錢六厘、償還期八月十一日

◇ライジングサン三度び値下

再度値下げを斷行せるライジングサン石油會社は、更に三度タンク油五錢方の値下げを發表した

◇泰野銀行の增資

神奈川縣中郡泰野町の同行は臨時株主總會を開き資本金十五萬圓を五十萬圓に增資した

二十六日（月）

◇東京市商工調査會の誕生

東京市に於て實業の保護奬勵その他商工業に關する重要事項を調査審議すべく、阪谷芳郎市長の斡旋で誕生した商工調査會の第一回會合が開かれた。會長は中野武營、委員は市原求、今野信隆、星野錫、笠原小十郎、吉川伝太郎、吉村鐵之助、中島行孝、植田小太郎、山本實彦、安藤豫吉、三枝代三郎等である

◇國民生命保險會社の改稱と增資

廣島の國民生命保險會社（創立明治二十七年契約高三百五十萬圓）は本日臨時總會を開き、社名を共同生命保險會社と變更、資本金を五十萬圓に增加、本社を東京に置くの件を決定し、同時に重役を次の如く選出した

▽社長頼廣二郎▽專務取締役田邊壯吉▽取締役村上定、岩崎一▽同豫支配人渡邊義一▽監査役岩崎清七、同伊藤保平

二十七日（火）

◇在米日本人會時局問題決議

在米日本人會時局特別委員會（ロスアンゼルス）は加州排日問題の善後策を協議し八項目に亘る對策を決議した

二十八日（水）

◇平塚銀行の增資

神奈川縣中郡平塚町の同行は、從來の資本金十五萬圓を四十萬圓に增資した

二十九日（木）

◇日本石油の値上げ發表

日本石油會社は本日より石油及び輕油の三錢方値上げを發表した

◇支那中國銀行の實情聲明

中華民國陸外交總長よりわが伊集院駐支公使に對して、中國銀行條例に基いて設立された中國銀行は、民國の中央銀行としての業務を行ふ旨通告して來た

三十日（金）

◇バルカン同盟諸國の媾和條約調印

前年十月土耳古とバルカン同盟諸國（モンテネグロ、ギリシヤ、ブルガリア、セルビア）の間に所謂第一次バルカン戰爭勃發するや、土耳古は連戰連敗、十二月には早くも媾和會議が倫敦で開かれたが同盟諸國の土耳古に對する要求過大のために交渉容易に纏らず列國特に英國の斡旋によつて漸く本日調印が完了した。本條約によつて土耳古はエースよりミジヤに至る以西の地及びクリート島、イージアン海の島嶼を同盟諸國に割讓する外、賠償金の支拂を命ぜられた

【六　月】

一日（日）

〈桂川電力會社營業開始

資本金八百萬圓、明治四十三年九月設立の同社は本日より營業を開始した

◇北海道夕張炭鑛會社の縣賞採炭實行

同社はわが國の石炭が印度北米等に輸出され始め、且つ內地の需要增加のため、從來の採炭量では不足を告げるに至つたので本日より夜業を開始し、懸賞採炭を實行することに決した

二日（月）

◇滿洲輸出入貨物の海稅取締調印

鐵道による滿洲輸出入貨物は滿洲に關する日清條約附屬協約に基き、わが國に於て東清

鐵道會社條約に明記せる關稅三分の一減の利益に均霑するの權利あるものと認めたるを以て、わが政府は明治四十四年以來支那政府に對し交渉を重ねてゐたが、五月二十九日北京に於て伊集院公使と總務司の間に、右實行に關する取極書の調印が行はれ、本日より實施された

◇英貸公債五十萬磅買入銷却

政府は第一回及び第二回四分半利付英貨公債證書額面各二十五萬磅、合計五十萬磅を四十六萬四千五百九十七磅九志三片の價額で買入銷却した

◇四石油會社の協定復歸

前後三回にわたつて二十錢の値下げを斷行一時石油界を混亂に陷らしめたライジングサン石油會社は、その後十錢方値上げ又本日タンク月星印共に十三錢方の値上げを發表した。これによつて石油四會社（ライジングサン、スタンダード、日本、寶田）の四社協定が實現され石油界は平穩に歸した

◇合同瓦斯會社創立

東京の同社（資本金八十五萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽社長　鶴澤桃介▽取締役　杉田卯之助、國松眞三郎、杉山彌太郎、渡邊修、高木得三郎井市作、淺井惣十郎▽監査役　和田秀之助、秋本茂、井上角五郎、松永安左工門

十　日（火）

◇横濱市債百三十萬圓募集決定

横濱市會は根岸海岸埋立事業のため、百三十萬圓の市債募集を可決した

◇袁總統、李烈鈞を免職

中華民國大總統袁世凱は國民黨所屬の江西都督李烈鈞を罷免したほか國民黨派の全官吏をすべて免職した

十一日（水）

◇青梅鐵道會社の增資決定

同社は從來の資本金三十萬圓を八十萬圓に增資し、二十五萬圓を以て電氣鐵道を建設することに決定した

◇第百五銀行山田支店の取付

三重縣山田町の同行支店はさきに臨時休業した山田銀行の影響をうけて取付を受けた

◇東京市水道鐵管案可決

市民の保健に重大關係ある東京市水道第二期擴張に關して、市會の調査委員會は本年度より向ふ七ケ年間繼續事業として總經費二千七十萬圓を可決した

十二日（木）

◇初瀬鐵道會社の延長線敷設免許

同社は奈良縣磯城郡初瀬町より三重縣飯南郡松坂町に至る延長哩數五九哩餘（建設費六百萬圓）の輕便鐵道延長線敷設を免許された

◇塗浦・吉長兩鐵道全通

支那の津浦鐵道及び吉長鐵道は全通した

十三日（金）

◇山本內閣の行政整理發表

聖上陛下の御不豫によつて遷延してゐた山本內閣の行政整理がいよ／＼本日官報號外をもつて發表された。この整理による淘汰人員五千三百人、本年度經費節約額三千三十六萬圓。整理の概要は次の如し

▽內閣——統計局審査官、技師、技手及專任恩給局審査官を廢し新に統計官、統計官補を置く又賞勳局、法制局に於て定員を減ず

▽樞密院——顧問官二人を減ず、議長秘書官及び屬の減員を行ふ

▽貴族院——書記官一人及び屬、速記技手及び守衛番長の定員を減ず

▽衆議院——同上

▽會計檢査院——三部十二課を二部八課制とし部長以下の定員を減ず

▽行政裁判所——評定官定員より六人を減ず

▽拓殖局——廢止、其事務は內務外務に分屬せしむ

▽外務省——取調局長、記錄課長、報告課長を廢止し高等官、判任官を通じ小數の減員を行ひ、在外公使館に於ては大公使館參事官、通譯官を減員し商務官を廢す本省事務に從事する特命者に俸給額を給するの制を變更し尙大使館參事官の交際手當支給を全廢す

▽內務省——宗教局を文部省に移す檢疫豫防に從事する臨時職員を廢止し書記官技師事務官以下の減員を行ふ、横濱衞生試驗所を廢す傳染病研究所の技手書記三人を減ず

▽北海道廳、府縣——道廳は從來の事務官及び事務官補を廢し內務部長、警察部長、拓殖部長、土木部長及び理事官を置く其他警視以下を減員す。府縣にありても從來の事務官及び事務官補を廢し內務、警察、港務各部長及び理事官を置く港務獄醫官以下減員

▽大藏省——國債局を理財局に團稅局を主稅局に併合、書記官一名減員、稅關は減員を行ひ稅務監督局十三局中秋田、宇都宮、長野京都、鹿兒島の五局を廢止し他に併合八局とす稅務署は十二ケ所廢止尙監督局にも減員を行ふ臨時建築部を廢し臨時建築課を置く。專賣局は本局四部を二部とし支局十九、製煙所廿三、工場一を支局廿七とし試驗所五を二とし支署百九十五を百六十七とし高等官の定員を減じ判任官四百二十人を減ず

▽陸軍省——大臣官制中「大臣及び次官に任ぜらるゝ者は現役將官を以てす」の一項を削る軍事費中樺太守備隊、朝鮮軍馬補充費を廢止し獨立守備隊馬四百八十六頭を減じ內地十五監獄、臺灣朝鮮滿洲監獄を縮小、馬政局の定員減少、臨時馬疫調査事業廢止等

▽海軍省——大臣官制中同前の一項を削り文官を減員する外旅順鎭守府以下縮小廢止

▽司法省——民事刑事兩局を廢し法制局を置き監獄事務減員、裁判所構成法の改正

▽文部省——實業學務局圖書局廢止、其事務を專門普通兩學務局に移し視學官の定員を減少し督學官を改め圖書審査官及び編修員の別を廢して圖書官と改め技師屬技手の定員を減少、文藝委員會、通俗教育調査委員會、國語調査委員會、萬國教學教育調査會等を廢止し宗教局を內務省より移す

▽農商務省——工務、商務の兩局を併合して商工局とし統計課を廢止し文書課に移す統計事務官保險事務官を廢止し一般に減員を行ふ大林區署の管轄區域を改正し十署を七署とし宮城、長野、高知の三大林區署を廢止し山林監督署を鐵務署と改稱、生產調査會廢止

▽遞信省——經理局廢止、電氣事務官廢止、參事官以下所管各局課の減員、遞信管理局及び通信署を廢し新に地方遞信官を置く。郵便貯金局を仮替貯金局と改稱。臨時發電水力調査局を廢止

◇對支同志會大會の政府建議決議

支那に對するわが政府の外交方針を非なりとする在野政治家及び實業家有志の一團（犬養毅、尾崎行雄、中野武營、頭山滿、關直彥、澁澤榮一、菊池武愛、上島長久、福澤桃介、林毅陸）等は東京築地精養軒に同志大會を開き、東亞の大局を保持し世界の文明に貢獻せん大目的の下に中華民國の時局には嚴正の態度を以て臨むべしとの宣言、並びに次の決議をなした

一、支那南北の紛爭に對しては我政府をして嚴正中立の態度を取らしむること

一、借款前渡金の使途は監督を嚴重にして

軍費、もしくは政爭費には使用せしめざること

一、支那の時局鎭定に至るまで借款は今後の交附を延期せしむること

◇鐵道融通證券二千萬圓償還

本日償還期限の同證券二千萬圓は、一千萬圓を大阪其他の地方に於て、殘額一千萬圓を東京に於て全額償還された

十六日（月）

◇日墺條約の批准書交換

大正元年十月二十八日維也納にて調印された日本墺地利洪牙利間通商航海條約の批准書が交換された

十七日（火）

◇日伊條約の批准書交換

大正元年十一月二十五日羅馬にて調印された日伊通商航海條約の批准書が交換された

十八日（水）

◇行政整理に對する國民黨の意見書

國民黨は十三日發表の政府の行政整理に對して、大要左の如き意見書を發表した

（一）今回の整理はその斧鉞の及ぶところ單に末節に止り姑息的なり、且つ政費の節約は減稅を意味せざるべからざるに、然らずして却つて節約せる所のものを軍事費等に振當んとするを遺憾とす（二）官僚事業の失態とその改革不統一（三）陸海軍大臣の任用範圍を強後備役に擴張したるは表面改正の形あるも文官に及ばざる以上は憲政の見地よりして全然無益の改正たるを免れず（四）整理の結果に基く新財源の貧弱さ等の諸點よりみて、今回の整理を姑息なりと斷ぜざるを得ず

◇日本商船株式會社の增資

東京市日本橋區北島町所在の同社は、從來の資本金四十六萬九千圓を百萬圓に增資する件を臨時株主總會で決定した

二十日（金）

◇利根發電會社の社債成立

同社は東京海上保險及び明治生命保險兩社より百五十萬圓借入の交渉が成立した。利率年八分五厘、償還期限五ヶ年

◇松本重太郎死去

一時關西財界の巨頭として活躍したが、晩年不遇、胃癌で本日死去した、享年七十。氏は丹後岩崎在の貧農の子に生れた立志傳中の人物で第百三十銀行を創立し之を本據として南海、山陽等の鐵道會社を初め四十余ケ所の銀行會社を經營してゐたが、第百三十銀行の破綻と共に凋落、實業界より隱遁してゐた。特旨を以て正六位勳五等に叙せられた

二十一日（土）

◇東西兩取引所滿期延長認可

農商務省は九月三十日を以て滿期となるべき東京株式、東京米穀商品、大阪株式、大阪堂島米穀の四取引所に對して繼續認可の指命を交附した

◇東電の日本電燈買收條件成立す

東京電燈會社の日本電燈會社買收交渉は、双方の條件に多大の懸隔あり、行き惱み中のところ、山本達雄農相の斡旋により妥協成立し、本日左の條件を以て假契約の調印を完了した

一、日本電燈會社は任意解散の手續をなし東京電燈會社は其資產一切の代償として拂込金三百萬圓と別に金百四十萬圓（一株に付き六圓）を交附すること

一、桂川電力會社は日本電燈會社に電力供給の關係上、此場合東京電燈會社と無條件同率の計算を以て合併すること

◇國債一千萬圓の買入償却

政府は內債五百萬圓、外債五十萬磅合計一千萬の買入銷却をなした旨發表した

二十二日（日）

◇東電の電燈獨占に反對運動

東電の日電買收による電燈獨占に反對して反對期成同盟會は東京神田青年會館に於て演說會を開いた。司會者田中舍身で高島米峯、篠原和市、野々山幸吉、宮島次郎等の演說があつた

二十三日（月）

◇國民黨の電燈獨占反對決議

國民黨東京支部は東電の日電買收に對して左の反對決議をなし且つ實行委員を擧げた

▽東京日本兩電燈會社の併合は難關の弊を釀生し帝都市民の公益を蹂躙するものと認む ▽山本農商務大臣が日本電燈會社設立認可の趣旨を沒却し東京電燈會社に一富家の利益の爲め兩會社の併合を斡旋盡力せしは權力を濫用し官紀を紊亂するものなるを以て其責に任ぜしむべきものとす

▽日本電燈會社が解散の形式に依り東京電燈會社と併合せんとする契約は特許命令第十一號に豫め遞信大臣の許可を要するものなる事疑ひを容れず故に遞信大臣は公益上有害の行爲として該申請を却下すべきものとす

實行委員松村雄之進、丸東、近藤達兒、野間五造、鈴木梅四郎、古島一雄、高木正年

二十四日（火）

◇淺草區會の兩電燈會社合併反對意見書

東電の日電買收に反對して淺草區會は委員會を開き、左の意見書を內務大臣並びに府知事宛提出、同時に遞信大臣、警視總監に陳情書を提出した

日本電燈株式會社は市內電燈事業獨占の弊を矯めんがために設立を許可せられしが未だ料金の發表もなさず一部の供給をも開始せずして當初の聲明に背き東京電燈株式會社に買收せらるゝの假契約を交換したりと言ふ、之れ許可條件の精神に悖るは勿論二百萬市民を侮蔑したる行爲にして卽ち獨占の弊を重ね市民の不利を釀すものと認むるを以て政府は當初設立許可の精神に依り當該會社間に設ける假契約の讓渡は絕對に否認し以て市民の利益を保護せらるゝ樣措置あらんことを切望す

二十六日（木）

◇國債記者倶樂部の電燈問題互對決議

遞信省出入新聞通信記者より成る遞信倶樂部は、東電の日電買收について、左の決議をなした

東京日本兩電燈株式會社の合同は日本電燈株式會社設立認可の趣旨を沒却し市民の公益を無視するものと認む、仍て本倶樂部は斷然之に反對す

二十七日（金）

◇立憲同志會の電燈合同反對決議

立憲同志會は東京支部總會を開いて左の決議をなした

政府は曩に日本電燈會社の設立を許可したるは東京電燈會社の獨占的橫暴を防遏し市民の利益を保護せんがためなり、然るに今や政府は會社を慫慂して讓渡合同を敢行せしめ以て會社の利益を保護し東京電燈會社をして益々獨占的橫暴を助長せしめんとす之實に市民の利益を無視したるものと認む

◇東電對日電の合併禮讚

東電の日電買收につき反對の世論漸く喧しく元田遞相は遂に東電の佐竹・日電の安田兩代表を招き合併中止の忠告をなした。その結果、兩社は合同の假契約を破棄することに決した

◇日の出訪問 播州新聞記者社を合併

右兩社は臨時總會を開き播州紡績を解散して日の出紡績に合併の件を可決した。合併後の日の出紡績は資本金二百二十萬圓である

二十八日（土）

◇日本電燈會社營業開始

東電との合同破談となつた同社は愈々獨立の營業を開始した

二十九日（日）

◇關東會電燈會同破談にダメを押す

立憲同志會は東電、日電合同破談に對して左の決議を發表した

政府が兎に電燈會社を許可したるは一會社の獨占に依る横暴を矯正し消費料金を低減せしめ市民をして周く技術の進歩其他に基く利益を享受せしめんとするに外ならず今や合同の計劃は意外の障碍に遭うて挫折するに至れりと雖も如何なる場合に於て如何なる方法を以てするか之が再現なきを保し難し、吾人は如此措置は如何なる名義方法を以てするに拘らず市民の利益を無視するものと認め極力之を排撃し、政府を督勵して會社既定の事業を遂行せしめ、遍く市民をして料金低減の利益を受けしめんことを期す

◇千代田運輸會社創立

同社（資本金六十萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽社長牧朴眞▽專務取締役藤田謙一▽取締役辰澤延次郎、堀江正三郎、新合眞次郎▽監査役山科禮藏、杉井勝太郎

【七月】

一日（火）

◇日本、トルコ間郵便爲替開始

萬國聯合爲替約定に基き、日本郵便局とトルコ郵便局間の郵便爲替直接取扱は本日から開始した

◇布哇に太平洋銀行設立

ハワイ在留の日本人の金融機關として、益澤榮一、中野武營、淺野總一郎等の盡力により太平洋銀行（資本金四十萬圓）が設立された。重役は米國法律に從ひ同地在住者のみとし、左の諸氏に決定した

頭取米倉關三郎▽副頭取住田多次郎▽取締役高梁興一、王堂辰次郎、二木良守、川原正夫、中村伊勞松▽監査役岩永知一、三枝欽三▽支配人中佐市太郎

◇東株仲買商山栗商店破産

東京株式仲買商山栗商店（經營主栗生武右衛門）は石油株の大暴落のため約六十萬圓の損失を招き破綻を來した

二一日（水）

◇關東側に正金銀行を設置

横濱正金銀行は關東州に銀行券を發行することゝなり、本日勅令を以て左の通り發表された

横濱正金銀行は金貨又は日本銀行兌換券を以て引換ふべき銀行券を五年を限り關東州に於て發行することを得

二二日（木）

◇大江卓その他が對支研究會を組織

對支問題研究のために大江卓、田川大吉郎、大井憲太郎等は對支研究會を組織し、その第一回總會を東京神田南明倶樂部に開催した。集合者は百餘名、左の決議を行つた

我帝國の支那に對して執るべき方針政策は先づ南滿洲に於ける帝國の優越なる地歩を嚴守し、內蒙古の開發を圖り列國の支那本土に對する分割の趨勢を擘肘し南方に於ける我經濟的勢力を進めるに在り而して滿蒙問題の解決は今日の最大急務なりと信ず

◇苫小牧輕便鐵道會社創立

同社（資本金五十萬圓全額拂込、本社北海道）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽社長藤原銀次郎▽取締役高島菊次郎、田中治朗、永島弦四郎▽監査役廣瀨彌三郎

五日（土）

◇日本硫黃亞鉛會社の創立

同社（資本金二十萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽專務取締役社長稻垣洋一郎▽取締役松本鶴吾、中山冲右衛門▽監査役池田寅次郎、加藤仙之助

◇日本興業銀行の整理

同行は先年長崎縣波佐見金山に資金を融通したが、同金山の成績は面白からず、多額の資金が固定してゐるところへ更に引受けた四分利公債の下落で多大の損失を招いたので志立總裁はこの整理を計劃し、六月二十八日及び本日と二回に亘り臨時株主總會を開き、左の整理方針を決定した

一、當期の配當率は五分に止め整理資金の餘裕を作ること

一、日本、正金兩銀行より千三百五十萬圓の低利貸附を受け營業資金として利殖運轉し、從前の缺損を補塡すること

一、當期に切下ぐべき有價證券の價格は五十六萬圓にして、なほ次期以後に於て適當の價格引下を行ふこと

一、波佐見の投資額四百萬圓は損失と看做さず滯貸とし該貸出に相當する資金を積立てること

六日（日）

◇有栖川宮威仁親王殿下薨去

御病氣御靜養中の有栖川宮威仁親王殿下には本日薨去あらせられた。御年五十二歳。殿下は有栖川一品熾仁親王殿下第四王子に在しまし文久二年一月十三日御誕生、明治三十年海軍少尉に御任官、以後御進級、明治三十七年六月海軍大將、同三十八年軍事參議官とならせらる

八日（火）

◇三井合名、樺太にパルプ工場新設

三井合名會社は樺太に製紙原料パルプ製造所設立を計劃してゐたが、調査も完了したので團琢磨、益田孝、藤原銀次郎が僞議の結果資本金百五十萬圓を投じ年產二千萬ポンドのパルプ工場の新設を決定した

◇千代田火災保險會社の創立

同社（資本金五百萬圓）は創立總會を開き重役の報酬を年額一萬五千圓以內に決定し、左の重役を選任した

▽社長門野幾之進▽專務取締役新井由三郎▽取締役北川禮彌、棒山愛輔、成瀨正恭、松原重榮、松方幸次郎、益田太郎▽監査役岡本貞烈、坂田實、赤星鐵馬、關澤大四郎

◇東京實業銀行名古屋支店長銷引

同行名古屋支店長赤尾庄二郎は同行々金五千圓余を費消したことが發覺し、名古屋新榮町署に拘引された

九日（水）

◇富士紡が日比谷平左衛門に慰勞金贈呈

富士瓦斯紡績會社にては同社取締役を辭任した日比谷平左衛門に慰勞金として金十萬圓を贈呈することゝなり、同社取締役會長濱口吉右衛門、專務取締役和田豐治はこれを本人に傳達したが、日比谷氏はその厚意を謝し、直ちに右十萬圓を同社職工職員遺族扶助基金として寄附した

◇內藤紡織會社の設立

和歌山縣海草郡內海村木下七左衛門の發明した紡織機械を使用して綿糸綿布を製造する目的で設立された同社（資本金五十萬圓）は創立總會を開き左の重役を選任した

社長木下七左衛門マ取締役松居善助、木下重藏、前田辰之助、清水積一郎マ監査役竹中源助、石橋八九郎、清水與兵衛

十　日　（木）

◇**塩本銀行の改組並に增資**

神戸市所在の同行（資本金十萬圓、積立金六十一萬八千圓）は創立總會を開き、現在の個人經營を株式組織とし同時に資本金を百萬圓に增加と決定した

◇**ルーマニア、ハンガリーに宣戰布告**

◇**スペインの中立宣言**

ギリシヤ、ブルガリヤ間の戰爭に關し、スペイン政府は嚴正局外中立を宣言した

十二日　（土）

◇**松本、新潟兩市に日銀支店設置**

日本銀行は松本、新潟兩市に支店を設置することに決定した

十五日　（火）

◇**日本木材防腐會社解散決定**

同社は臨時株主總會を開き、同社の所有地機械、特許權及び營業權一切を十五萬圓で東洋木材防腐株式會社に讓渡し解散することを決定した

◇**德國銀行大阪支店開業**

準備中であつた同行大阪支店（東區備後町）は本日から開業した。支店長は同行京都支店長松本常吉が榮任

◇**朝鮮銀行奉天出張所開業**

十七日　（木）

◇**北京外交團支那政府に警告**

北京の外交團は本日外交團會議を開き、生命財產及び債權保護の見地から北京政府を激勵して遠かに動亂を解決すべしと決議した

◇**臺灣製材會社創立**

同社（資本金二十萬圓、社長松本徒彌）は創立總會を開き設立確定した

◇**南京に戒嚴令布かる**

動亂のため南京に戒嚴令が布かれた

十八日　（金）

◇**三越呉服店の職制改正**

同店は臨時株主總會を開き、專務取締役日比翁助病氣に付き專務制を廢し常務制度を採用することに決定、現在の常務藤村喜七の外に取締役兼營業課長中村刈器太郎及び朝吹常吉を常務取締役とし、山岡才次郎を取締役に選任した。なほ日比翁助は取締役會長として三越を統轄することゝなつた

◇**日本興業銀行副總裁更迭**

同行副總裁佃一豫辭任し、日本銀行營業局長小野英二郎が後任と決定した

十九日　（土）

◇**大阪市會、大阪電燈買收案を否決**

大阪電燈會社買收案は本日の大阪市會に提出されたが反對者多く否決となつた

◇**廣島電燈會社增資決定**

同社は臨時株主總會を開き、營業擴張費に充當するため、現在の資本金百三十萬圓を二百萬圓に增資の件を決定した

◇**瓦江銀行の臨時休業**

愛知縣渥美郡瓦江町の同行（資本金三十萬圓拂込十五萬圓）は帳簿整理のためと稱し本日より三週間の臨時休業を發表した

◇**朝鮮貿易株式會社の拂日行動**

朴泳孝、趙重應等の發起に係る同社（資本金百萬圓）は發起人間で八千五百株を引受け五百株を公募中のところ、會社當局は內地人の申込を拒否し、朝鮮人のみを加入せしめてゐる實情なので日鮮併合後、かゝる行動は怪しからぬと內地人間に非難の聲が高まりつゝある

◇**上海の支那銀行取付**

國內動亂のため、上海の交通、中國の兩銀

行を始め支那各銀行は取付となり、工部局の外人警官で護衛中である

◇**北京に戒嚴令布かる**

大總統袁世凱は國內動亂のため北京に戒嚴令を布き、司令官に趙秉鈞を任命した

◇**臺灣銀行取締役・吳見勇吉死去**

同行取締役支配人永見勇吉は胃潰瘍で本日死去した、享年四十二。氏は島根縣出身、慶應義塾を卒業後、時事新報記者となり、その後實業界に轉じ、武總銀行支配人を經て豐國銀行取締役となつた

二十二日　（火）

◇**大阪證券會社の創立**

同社（資本金二十五萬圓）は創立總會を開き左の重役を選任した

マ常務取締役北河豐次郎マ取締役落口澄江、柴田清之助、藤田毅、櫻井嚴、松島誠、田中宗一郎マ監査役三浦親次郎、下郷寅太郎、鈔浦吉之助

◇**孫逸仙、袁世凱に謀叛を勸告**

孫逸仙は袁世凱に對し、南北衝突し支那動亂の責任は貴下にあり、速に大總統を辭して國民の前にその罪を謝すべしと打電し、且つ同意味の宣言を發表した

◇**同成鐵道借款二億五千萬法成立**

支那政府はベルギー財團と二億五千萬法の同成鐵道借款の締結に成功した

◇**日本總花會社取締役、喜多又藏滯米**

米國綿業視察のため一ヶ年の豫定で神戸出帆、渡米した

二十三日　（水）

◇**日佛銀行副重役決定**

同行取締役井上辰九郎、齊藤恂の兩名は日本興業銀行理事を辭職と同時に同行理事を辭任したので、日本興業銀行總裁小野英二郎、同理事青木鐵太郎が後任に決定した

◇**東都貯蓄銀行の五倍增資決定**

同行は臨時株主總會を開き、業務擴張のため、資本金十一萬圓を五十萬圓に增資の件を決定した

二十四日　（木）

◇**横濱各銀行生絲擔保貸利率引上**

横濱市各銀行は一般金利の勝貴に鑑みて協議の上、横濱正金銀行は倉敷料及び保險料日歩二厘を外にして生糸擔保貸利率を最低二錢二厘、屑物及羽二重擔保貸利率を最低二錢三厘とし、他の各行は前者を最低二錢三厘、後者を最低二錢四厘と改正し、本月二十六日より實施した

◇**第一銀行借額增資決定**

同行は定時株主總會を開き、現在の資本金一千七十五萬圓を倍額增資して二千百五十萬圓とすることを可決した

◇**臺大總統謝電勸告を拒絕**

唐紹儀、蔡元培、汪兆銘の三名は大總統袁世凱に對し國家のため辭職されたしと打電したが、袁はその必要を認めずと返電した。なほ袁は孫逸仙の支那全國鐵路總裁の職を剝奪する旨を通達した

◇**北京政府、孫文等の追放要求**

北京政府外交部は上海在留の各國公使團に對し、上海居留地は革命軍の策源地なれば速かに孫文、黃興等の南軍首腦部を追放されたしと要求したが公使團は會議の結果、これを拒絕した

二十五日　（金）

◇**鬼怒川水力電氣會社の社員淘汰**

同社は節約の目的のために職別を改革し事務員、技師等の淘汰を斷行することに決定、右整理の結果、年額約十五六萬圓の節約可能となつた

◇**神奈川農工銀行の增資決定**

神奈川農工銀行は、臨時株主總會を開き、現在の資本金八十萬圓を百萬圓とすることを決定した

二十六日（土）

◇大阪モスリン會社々長決定

同社は臨時株主總會を開き、同社々長松本重太郎死去に付き後任として小西又助を選任した

◇日本水雷株式會社の創立

同社（資本金五十萬圓）は創立總會を開き左の重役を選任した

▽社長安部幸之助▽取締役矢野慶太郎、安部政次郎▽監査役福橋金之輔、殿木市太郎

二十九日（火）

◇至子製紙會社外債二百萬圓成立

同社は最新式抄紙機械購入費とするため、正金、三井兩銀行の斡旋でロンドン・カウンテー・アンド・ウエストミンスター銀行から手形割引の方法により利率年七分で二百萬圓の借入契約が成立した

◇東都府・市債不認可と決定

明年度開催の京都博覽會費用に充當するため京都府債百四十萬圓、京都市債六百萬圓の募集認可に付き内務省と大藏省間で交渉中のところ大藏省は債務をしてまで博覽會開催の必要無く、かゝる地方債は政府の消極政策と一致せずとの理由から不認可と決定した

【八　月】

一　日（金）

◇興亡鈴、支那圓務總理となる

熊希齡は北京政府國務總理に任命された

二　日（土）

◇日本生命保險協會の建議

同協會は大要左の意味の建議書を農商務省に提出した

政府從來の生命保險取締方針は內地殖産及び各植民地區々であつて統一を缺き、當業者はその手續の煩雜に堪へず、斯業の發展のために、政府當局は現行の手續に對し一大整理を加へ、至急統一する方法を實現されたし

四　日（月）

◇廣島瓦斯銀行の臨時休業

廣島市堺町の同行（資本金十萬圓內拂込三萬圓）は帳簿整理のため本日より一週間の臨時休業を發表した

五　日（火）

◇帝都實業家が經濟研究會を組織

都下實業家の財政經濟研究機關として和田豐治、鄭誠之助、藤山雷太、前川太兵衛、稻茂登三郎の五名が發起人となり經濟研究會を組織、本日その第一回會合を東京京橋の交詢社で開催した

六　日（水）

◇高崎水力電氣會社增資決定

同社は臨時株主總會を開き、事業擴張費とするため資本金九十二萬圓を百二十萬圓に增資の件を決定した

◇東京銀行會社重役更迭

同社は臨時株主總會を開き重役を選任、引續き重役會互選の結果、取締役柿沼谷藏は取締役會長に、取締役宮嶋清次郎は專務取締役に前社長土屋彦平は平取締役に決定した

七　日（木）

◇東株の新東株直取引復活運動

東京株式取引所理事角田眞平は同取引所仲買人組合の決議により農商務省に出頭、新東株直取引の復活を交渉した。これに對し農商務省當局は本月十二日に東京株式取引所に新東株直取引は不認可に決定した旨通達した

◇共同生命保險會社五倍增資

同社は臨時株主總會を開き、資本金十萬圓を五十萬圓に增資の件を決定し、なほ監査役として元三井銀行調査課長、安富兼輔を選任した

八　日（金）

◇山口銀行の職制改正

同行は株式組織に變更すべく計劃中であつたが、一時之を中止し個人經營の現狀維持に決定、同時に職制を改正して重役を增員する事となり、理事阪野榮通を專務理事とし、營業部長佐々木駒之助及び庶務部長朝長勘十郎を理事に昇任せしめ、越野嘉助、山口謙四郎を監事に選任した

九　日（土）

◇日本綿花會社の監査役決定

同社は臨時株主總會を開き、本吉勘四郎を監査役に選任した

◇孫逸仙、日本に亡命

孫逸仙は南方派の戰況不利にして寡世凱の壓迫甚だしく、身邊に危險を感じたゝめ日本に亡命を決意し、胡漢民を同道、本日神戸に上陸した

十二日（火）

◇日本銀行出納局長鈴木知雄死去

胃癌にて死去した、享年六十一。帝大豫備門の教授となり、明治三十二年日銀調査部人員文書局第二課長として同行に入り、累進して出納局長となつた

十三日（水）

◇大阪運輸倉庫會社解散

同社は大阪市電第二期線開通後非常な打撃を被り、この打開策として資本金二十萬圓を六萬圓に減じ整理に努めてゐたが、毎月二千圓宛の損失を繼續するので臨時株主總會を開き解散と決定した

◇三井物産會社の重役更迭

同社取締役小室三吉、同監査役林健、辭任に付き、臨時株主總會を開き、取締役に上海支店長藤瀨政次郎、監査役に前取締役小室三吉を選任した

十四日（木）

◇奉天省、朝鮮銀行に借款申込

奉天省は財政窮乏し兵隊及び官吏の俸給支拂も不能に陷たので、同省內輕便鐵道敷設權を擔保として、朝鮮銀行へ百萬圓の借款を申込んだ

◇日本聾唖士協會が當局に聯盟勸告

日本聾唖士協會は對支問題に關し、緊急協議會を開き、寡世凱は東洋平和を亂す者であるとの理由で辭職を勸告することに決定した

十五日（金）

◇臺灣嘉義廳下の同行（資本金二十五萬圓）は本日より十日間支拂停止の旨發表した

◇三井物産上海支店長任命

同社上海支店長藤瀨政次郎取締役に昇任に付き、小樽支店長小田柿拾次郎が後任と決定

◇日本銀行出納局長補任

同行出納局長鈴木知雄死去に付き西部支店長加藤晴比古がその後任となり、西部支店長には大阪支店調査役保井猪三が榮進した

十六日（土）

◇大阪電氣軌道會社々債百萬圓募集

同社（大阪市奈良市間敷設）は臨時株主總會を開き第二回社債百萬圓を左の條件で募集と決定した

利率年八分、發行價格額面百圓均一、償還方法一ケ年据置後四ケ年

◇西部瓦斯株式會社の創立

鹿兒島、熊本、大牟田、佐世保、博多、八幡、小倉、門司、下關の各瓦斯會社を合同して成立した同社は本日創立總會を開き、本社

を博多に置き、資本金を五百萬圓とし、重役を左の通り選任した

▽社長國澤桃介▽取締役石村虎吉、藤波重雄、千田一十郎、三井忠藏、岩臨武男、黑田純藏、富田屋之助、原專藏、久光定兵衛▽監査役阪梨敬、渡邊岡三郎、高木祥二郎、高木得三、赤尾元一▽相談役松永安左工門

十九日（火）〃

◇名古屋水道市債募集認可

同市が水道事業擴張費に充當のため、市債百五十三萬圓を年利七分以内で募集の件は本日内務、大藏兩大臣より認可された

◇利根水電會社重役選擧

利根水力電氣株式會社（資本金六百萬圓）重役は本日總辭職をした。原因は社長葉住大吉が同社第二次工事百三十萬圓の工事を東京の橋本忠次郎に請負はせたのに對し、大株主の根津嘉一郎が憤慨し、該契約は不法なれば取消すべし、さなくば重役は總辭職せよと迫り兩者の間に交渉中であつたが、協議遂に成立たず總辭職となつたものである。この結果同社は九月四日臨時株主總會を開き重役選擧を行つたところ、葉住派の重役は全部再選となり、根津派は須田宣が取締役となつた

◇日本銀行幹部行員の更迭

同行文書局長嶋郁太郎は監事に就任し、その後任には祕書役川田敬三が昇任、祕書役には京都支店長結城豐太郎、京都支店長には西都支店次席星野章が就任と決定した

二十日（水）

◇東京石炭商組合認可

三井、三菱、北海炭礦、石狩石炭、入山採炭、茨城炭礦等の諸會社が發起人となり東京石炭商組合の設立を農商務省に申請中のところ本日付を以て許可された

◇蒲東電氣鐵道會社の設立

同社（資本金五百萬圓）は本日創立總會を開き左の重役を選任したが、同社は東京本所區柳原より千葉縣松戸に至る本線十四哩及び松戸より同縣行德に至る支線三哩の敷設をなす計劃である

▽社長伯爵廣澤金次郎▽常務取締役千葉鳳義、橋本梅太郎、齊藤岬三郎▽取締役菊地長四郎、早速久五郎、鶴原英文、大塚喜一郎、川野濱吉▽監査役神谷傳兵衛、星野錫梅澤八太郎

二十一日（木）

◇大正製藥會社の創立

同社（資本金五十萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役星一、中島藤吉▽監査役高木貞剛

二十三日（土）

◇駄田鐵道會社創立

同社（資本金百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役河東田經濟、明石順吉、高木知定、渡邊龜藏、島村金次郎、豐口竹五郎、阿川彦七▽監査役鈴木伊十、籠貞吉

◇支那政府三鐵道を國有

さきに湖南粵漢鐵道（六月八日）滬寧鐵道（六月十二日）を國有とした支那政府は河南洛潼鐵道をも國有とする旨本日公告した

二十六日（火）

◇三井物産の部長、支店長更迭

同社小樽支店長小田柿拾次郎の上海支店長轉任に伴ふ部長、支店長の更迭が行はれ、鈔關部長平田篤次郎は小餘支店長に、大阪支店長代理支野欽一は鈔關部長に、機械部長加藤利夫は神戸支店長に、神戸支店長武村貞一郎は機械部長に任命された

二十八日（木）

◇日本鋼管會社の創立

同社（資本金五百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役星一、中島藤吉▽監査役高木貞剛

二十三日（土）

◇駄田鐵道會社創立

同社（資本金百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役河東田經濟、明石順吉、高木知定、渡邊龜藏、島村金次郎、豐口竹五郎、阿川彦七▽監査役鈴木伊十、籠貞吉

◇支那政府三鐵道を國有

さきに湖南粵漢鐵道（六月八日）滬寧鐵道（六月十二日）を國有とした支那政府は河南洛潼鐵道をも國有とする旨本日公告した

二十六日（火）

◇三井物産の部長、支店長更迭

同社小樽支店長小田柿拾次郎の上海支店長轉任に伴ふ部長、支店長の更迭が行はれ、鈔關部長平田篤次郎は小餘支店長に、大阪支店長代理支野欽一は鈔關部長に、機械部長加藤利夫は神戸支店長に、神戸支店長武村貞一郎は機械部長に任命された

二十八日（木）

同社（資本金五十萬圓）は創立總會を開き左の重役を選任した

▽社長星野錫▽專務取締役田島志一▽取締役酒田敬次郎、森山章之丞、鳩山一郎▽監査役越山太刀三郎、松井方利

◇清水銀行の臨時休業

靜岡縣安倍郡清水町の同行（資本金五十萬圓内拂込三十五萬圓）は營業不振のため本日より一週間の臨時休業を發表した

◇臺灣斗六製糖會社員の橫領僞造

臺灣斗六製糖株式會社東京出張所主任益田章は同社二十圓拂込の株券七千三百三十株を僞造し、これを擔保として報德、壹夜、若尾、岡本、河合、茂木、八十四銀行等より總額十四萬圓余を借出し、株式市場其他花柳界等で費消してゐたこと發覺、警視廳に檢擧された

二十九日（金）

◇三地方の米穀取引所繼續認可

來る十一月を以て營業期間滿期となる岡山、靜岡、津の三米穀取引所に對し農商務省は向ふ十ケ年間の營業許可指令を交附した

【九　月】

一　日（月）

◇大阪取引所開業開始

大阪取引所信託株式會社は八月三十一日新築取引所に開業式を擧行、本日から官營として開業した

◇南京陷落して北軍入城

城内南軍一部の内應により南京は陷落し北軍入城して市街戰各所に起り、掠奪虐殺が行はれ、張勳軍のため邦人三名虐殺された

三　日（水）

◇大阪の輸出入仲立業者破綻

大阪今橋の輸出入仲立業永田爲三郎商店は和田保商店の破產に關聯して破綻を暴露した。債務八萬二千圓、外に不動產抵當入七萬圓で、資產は約五萬九千圓、外に不動產土地十一町歩を有するが、擔保となつてゐるため差引二萬三千圓の不足を生ずるに至つた

◇横濱電氣の電燈料値下決定

横濱電氣株式會社は重役會を開き左の如く電燈料を引下げ、十一月一日實施に決定

▽月極五燭光屋外共四十五錢▽十燭光同六十五錢▽十六燭光以上百燭光迄は屋内外を分ち十五錢乃至六十五錢を低減

四　日（木）

◇南京事件に國内輿論硬化

犬養毅、頭山滿、河野廣中等の主唱で東亞同文書院に有志の對支緊急會議を開き、左の決議を行つた

支那軍隊の我が國旗及良民を凌辱したる事件に對し政府は先づ外交談判の保障を占取するを要す

◇足尾銅毒問題の立物・田中正造死去

足尾銅山鑛毒被害問題を提げて十二年間議會その他に惡戰苦鬪し遂に足尾銅山鑛毒除外工事施行及被害者の免租減稅を獲得・更に谷中村買收事件、利根川治水事業に活躍し義人と唄はれた同氏は本日死去、享年七十二。栃木縣出身、前衆議院議員である

五　日（金）

◇對支同志聯合會の强硬決議

同會は南京の邦人虐殺、漢口及兗州の日本武官凌辱事件等に關し次の決議をなした

一、東蒙南滿の要地を占領すること

二、揚子江一帶の要地に出兵すること

◇阿部外務省政務局長暗殺さる

外務省政務局長阿部守太郎は東京市赤坂區靈南坂町の自宅前で刺殺された。犯人は福岡縣生れ、岡田滿であつた。岡田は九日辯護士角岡知良（東京市牛込區築土町九）を訪れ、

安樂警視線監への自首を依頼し、その外出中自殺を遂げた。共犯者宮本千代吉は十二日大連へ高飛の途中宇品で逮捕された

◇富士製紙江別分工場全燒

札幌市外江別村の同工場二棟全燒、損害十六萬圓

六　日（土）

◇政友倶樂部の政府態度決議

政友倶樂部は在京代議士會を開き、南京事件に關して政府は速かに適宜の措置をとり、將來に對して相當の保障を求むる事を要する旨の決議をした

◇日支海底電線敷設權調印

遞信省は上海の大北電信會社と交渉、長崎上海間の海底新線敷設權を獲得し、且つ支那に於ける陸揚權を獲得、支那側代表者との間に調印完了した

七　日（日）

◇對支國民大會對支出兵要求

東京日比谷公園松本樓に、內田良平、伊東知也、中村弼、大竹貫一等發起の對支國民大會を開催、對支出兵の要求を決議した

十一日（木）

◇東奉線昌黎驛で日支兵衝突

山海關を距る二十里の昌黎停車場において日本守備隊兵卒が巡廻中、支那兵二十余名の襲撃を受け、我方は兵一名負傷、支那側死者三名、負傷二名を出した

◇南京事件その他の對支交渉開始

山座駐支公使は政府の訓電により十日大總統袁世凱に面會して訓令要旨を申入れ、更に本日書面を以て正式に左のわが要求條件を提出した

兗州事件

一、直接責任者を嚴重處分し其監督官を免官すること

二、當該軍隊最高指揮官親ら我支那駐屯軍司令部に來り司令官に陳謝の意を表すること

三、別に支那政府より帝國公使に對し公文を以て陳謝の意を表すること

漢口事件

一、傷辱行爲を直接に指揮又は下手したる將校兵卒を總て嚴重刑罰に處すること並に右刑罰（繼續的刑罰に付ては宣告）には我陸軍將校をして立會はしむること

二、傷辱行爲ありたる將卒の直屬大隊長を免官し其監督上官卽ち聯隊長及旅團長を嚴重戒飭すること

三、右兩項の各處分實行と共に一面當該師團長又は司令官親しく總領事館に來りて陳謝の意を表し一面黎都督より前記各處分實行の旨を總領事及我派遣隊司令官に通告して陳謝の意を表すること

四、別に支那政府より公然帝國政府に對し遺憾の意を表すること

南京事件

一、虐殺掠奪を行ひたる兵卒及直接之を指揮したる將校を其情狀に從ひ死刑又は其他の嚴重なる處罰に附すること並右處刑（繼續的刑罰に付ては宣告）には在南京帝國領事又は領事館員を立會はしむること

二、張勳始め前記將卒の直系上官を嚴重戒飭すること

三、張勳親ら在南京帝國領事館に來り帝國領事に陳謝の意を表すること

四、死傷者其他一般被害者に對し相當賠償を支拂ふこと

五、兇砲を敢てしたる聯隊をして我領事館前に來り謝罪の意を表するため捧銃の禮を行はしむること

六、支那政府より更めて帝國政府に公然謝意を表すること

◇支那國勢調査委員決定

▽外交總長孫寶琦▽內務總長朱啓鈐▽司法總長梁啓超▽教育總長汪大燮▽工商總長張謇▽交通總長周自齊

◇池上四郎大阪市長に當選

大阪市會は本日の會議に於て池上四郎を市長に選擧した

十三日（土）

◇井上準之助正金銀行頭取に就任

日銀副總裁水町袈裟六の後任となつてゐた横濱正金銀行頭取は、本日副頭取井上準之助の昇格となつた

十四日（日）

◇ダブリン運搬人組合の罷業

愛蘭ダブリンに於て屋主が一致して運搬人組合を非難したゝめ二萬五千人の勞働者が同盟罷業をなし騷動化した

十五日（月）

◇支那政府日本の要求全部承認

支那政府は南京事件、川崎大尉西村少尉凌辱事件に關する我が要求を全部承認した

◇北海道上磯輕便線の一部開通

同線五稜郭上磯間五哩四分の營業を開始

十六日（火）

◇大正元年度剩餘金の發表

大藏省は大正元年度國庫剩餘金見込額を左の通り發表した（單位圓）

▽歳入總額六八七、三八八、九七四▽歳出總額三九三、五九六、四四四▽剩餘金九三、七九二、五二九▽既定計劃使用額三三、八九九、八二五▽大正三年度へ繰越五九、八九二、七〇三

十七日（水）

◇日本產業銀行の解散

明治四十三年資本金二千萬圓にて發起の日本產業會社は營業開始前に一千萬圓に減資して不動產銀行となり、次いで二百萬圓に減資して日本產業銀行と改稱したが、本日東京市京橋區地學協會に臨時株主總會を開き解散、拂込濟全額を拂戻し、清算費は創立委員の負擔とする件を決議した

◇李烈鈞日本に亡命

支那南方派の巨頭李烈鈞は本日門司着、日本に亡命した

十八日（木）

◇昌黎事件につき支那の對日抗議

支那政府は昌黎事件につき日本政府に抗議を申込んだ

◇大阪瓦斯會社一千萬圓に增資

同社は臨時總會に於て資本金六百萬圓を一千萬圓に增資の決議をした

二十一日（月）

◇臨時事件公債二千萬圓償還告示

臨時事件公債（特別五分利）二千萬圓を十月二十日の抽籤に依り、十一月二十五日償還の旨本日告示した

◇東北帝國大學開校

二十四日（水）

◇石油市價維持の協定

スタンダード、ライジングサン、日本、寶田の四石油會社代表者は東京帝國ホテルに會合、市價維持を協定、指定價格を嚴守し、違反者の制裁を約定したが、市價維持の方法として指定以下の値で販賣した者は高價な指定價格で買戻す義務を負ふことゝした

◇眞宗債後生命保護會社の賣却決定

眞宗本願寺臨時宗會を開き、本願寺經營の同社（資本金五十萬圓四分一拂込）を賣却して本山財政難を救ふことを決議した

二十五日（木）

◇大藏省證券一千萬圓借替發行

本日債證期限の大藏省證券一千萬圓を日步一錢六厘、債證期十一月二十七日の條件で借替發行した

◇大藏省證券一千三百五十萬圓借換
專賣局特別會計に屬する大藏省證券一千三百五十萬圓を現金償還

二十六日（金）

◇下關市民代表の築港互斷陳情
同築港案は工費五十萬圓三ヶ年繼續豫定で既に當局の許可を得、工事に着手せんとしたところ、舞船業者及市民の負擔に堪えずとする反對起り、代表者青木坦平は內務省に築港延期を請願、一方市長及築港派市會議員二十余名は辭表を提出した

◇日本興立生命保險の改組並に增資
京都市の同社は從來資本金十萬圓の合資會社であつたが百萬圓の株式會社に組織變更、株式二萬株中一萬二千株は舊合資會社が引受け、八千株は出資社員が引受けた

◇對支五國資本團の決議
本年四月支那政府と政治借款を締結した日英、獨、露、佛の五國資本團は巴里に會議を開き、今後も支那の政治借款は同團が優先權を持つが、實業的なものは支那政府の自由意志に任せることに決定した

二十七日（土）

◇板本鐵道會社の創立
群馬縣大間々町を起點とし八王子に至る鐵道經營を目的とする同社（資本金百萬圓）は本日創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役（社長）子爵堀田正路（專務）持田茅狹、黑田孝藏、赤石武一郎▽監査役若旅喜一郎、石崎丈二郎、五明直温

◇讐天仇日本に亡命
支那革命派の領袖戴天仇は本日門司着、日本に亡命した

◇モスリン聯合會の成立
モスリン紡織會社たる東京、上毛、東洋、大阪、日本毛織の各社代表者は本日東京に會合しモスリン事業の發達を圖り、各社利益を保護する目的にて毛斯綸聯合會を組織した

二十八日（日）

◇南東事件の責任者張勳謝罪す
南京事件の責任者張勳は本日南京日本領事館に來り謝罪し、張勳の軍隊も領事館前に整列捧銃して謝罪の意を表した

二十九日（月）

◇東京市政調究會下水計劃互斷陳情
東京市政調究會は山本農相に對し、東京市下水道計劃は經費尨大で、市民を負擔に苦しめるのみならず、糞尿放流は附近十余郡の肥料を奪ふ結果、農業經營を困難にするとゝもに代用肥料輸入を招き、貿易逆調を助長する故絕對反對の旨陳情した

◇ブルガリヤ・トルコ媾和條約調印
同調印はコンスタンチノープルに於て行はれたが、同條約は國境變更を主とする

三十日（火）

◇東山鑛山坑夫の暴動
德島縣麻植郡東山鑛山坑夫千名は本日賃銀値上を要求し、首謀者解雇のため暴動化した

【十月】

一日（水）

◇日支間鐵道の聯絡實施
鐵道院線、朝鮮鐵道及び南滿鐵道と支那京奉鐵道線との旅客連絡は本日から開始された
新橋北京間三等三十七圓五十三錢、新橋天津間同三十一圓八錢である

◇朝鮮湖南線の一部開通
湖南線木浦、松亭里間の鐵道開通した

◇東洋モスリン會社の職工大量解傭
東京亀戸の東京モスリン會社は事業不振、夜業廢止のため本日千百名の職工を解傭した

二日（木）

◇鹽價引下發表
本日鹽下低減が發表され、十五日から實施される事となつたが、鹽價低減方法は（一）鹽回送費を全部政府負擔（二）一般價を百斤當り十八錢減少（三）鮪漁用、農業用等の各特別用途に使用の鹽價を減少（四）交附金下附の範圍を擴大し乾蝦及乾鮑を加ふ等で、この結果大正二年度の減額見込は二百五萬二千四百七十一圓である

◇英國銀行の利上
同行は正貨準備保護のため割引步合を五分に引上げた

三日（金）

◇伏木築港工事竣成
富山縣伏木港の築港工事は明治三十三年起工したが、竣工を告げ本日祝賀式を擧行、同工費は三百萬圓、三千噸の船舶が自由に棧橋に横付けされる

◇東東市外の麻埃鮪鯨場設置に反對運動
東京府下野方、落合兩村民三百名は塵埃燒場設置反對のため警視廳に押寄せた

四日（土）

◇三國商業銀行の休業
越前三國町の同行（資本金十五萬圓、拂込九萬圓）は本日から向ふ二週間の臨時休業を發表した。業務不振で預金取付に遭つたゝめである

◇東城居留民團の自治制擁護運動
同會は總督府の企劃した自治制度破壞に對し反對行動を採り、十名の實行委員を擧げて總理大臣以下各大臣、各政黨、新聞社等に民團歷止後、完全なる自治制度制定希望の意見書を提出した

◇彌滿登寫眞會社の創立
蓄音機及活動寫眞機の製造販賣貸興行を營業とする資本金二十萬圓の同社は創立總會を開き、取締役會長に川村惇、專務取締役に風間磯助を選任した

◇滿蒙五鐵道借款協定の成立
滿蒙五鐵道借款に關する協定が本日左の條件によつて我が資本家と支那政府との間に成立した
支那政府は我國資本家の資本を借入れ、四平街——洮南線、開原——海龍線、長春——洮南線の三鐵道を敷設すべきこと
支那政府は、將來若し洮南——熱河線、海龍——吉林線の二鐵道を敷設する場合に外國資金を必要とするときは、先づ我が資本家に商議すべきこと

◇洮南鐵道借款契約の調印
日支間に支那の洮南鐵道敷設に關する借款の調印を完了した。同契約は南滿洲鐵道四平街—洮南府間、開平—海龍府間、長春—洮南府間、洮南府—熱河間の四鐵道の建設費三千萬圓を年利五分三厘、該鐵道を抵當として日本から借款し、且つ技師長は日本人とし、鐵道材料は凡て日本から買入れる條件のものである

六日（月）

◇日本政府中華民國を承認
帝國政府は本日中華民國政府を正式に承認した

◇電氣事業法の改正公布
同法は本日の官報で公布されたが、改正要點は手續の簡捷によつて電氣事業者の便を圖り、從來不備の點を補足するもの

七日（火）

◇日本實業協會の設立
鄕誠之助、藤山雷太、根津嘉一郎、前川太

兵衛等發起に依り、經濟問題の研究及實行を目的とする日本實業協會が創立され、會長に澁澤榮一、副會長に中野武營が就任した

◇南京事件の犯人死刑執行

南京の邦人虐殺犯人二名は本日死刑、掠奪兵九十余名は二ケ月監禁、共他責任者も懲罰に付せられた

八　日（水）

◇東都市債百三十萬圓成立

京都市が上下水道費補充、道路設備及御大典準備費に充當のため發行の市債百三十萬圓は三井銀行が引受けた。條件は年利六分、發行價格九十圓、九ヶ年据置後償還

◇郵船香取丸の處女航海

長崎三菱造船所建造の日本郵船會社歐洲航路船香取丸（一萬九千噸）は横濱出帆處女航海の途についた

九　日（木）

◇日獨通商航海條約の實施

同條約は明治四十五年七月六日ヘーグに於て調印したもので、舊條約と異る點は不動産取得占有及沿岸貿易に互に最惠國待遇を保障し、永代借地權規定を削除したこと、存續期間は十二ケ月の豫告で何時でも廢棄し得ると

したこと等である

◇內閣無線電信規則の改正

本日の官報で公布、要旨は（一）海上の電報中繼、（二）特別取扱範圍の擴大（三）料金還付制限の緩和

十　日（金）

◇名古屋市醫學事件の解決

名古屋地方裁判所檢事局は八月二十五日全國各新聞に對し事件の記事掲載を差止めると共に、岐阜市前貴族院議員渡邊甚吉、名古屋土地株式會社取締役柴松照、代議士安東敏之名古屋電燈社長加藤重三郎等を各々贈賄罪又は詐欺罪として次々に起訴拘引、更に貴族院議員伊藤由太郎、名古屋商業會議所會頭奥田正香を起訴したが、本日に至り前愛知縣知事深野一三を起訴するに及び同事件の報道を解禁した。事件の內容は前年七月深野が愛知縣知事時代に、柴松經營の名古屋土地會社が渡邊所有の同市南區稻永新田（面積百七十町歩）を買收し、こゝに遊廓を移轉せしめようとする計劃の間に詐欺贈賄が行はれたものである

◇原警視製造支所の竣工

綾部、前橋、福島、松本、一宮、熊本に原警視製造支所を設置完了の旨官報を以て告示

された

◇東洋汽船會社々債二百萬圓募集

本月末償還の第一社債二百八十萬圓の償還資金に充當する爲擔保附社債二百萬圓募集、條件は額面百圓、五百圓、千圓、發行價格百圓に付九十八圓、年利八分、一ヶ年据置後六ヶ月毎に五十萬圓宛二ヶ年間償還、所有船舶擔保、第一、十五、第百、三井、三菱銀行取扱である

◇袁世凱の大總統就任式

北京參議院において本月六日中華民國第一次大總統に當選した袁世凱は、本日北京に於て就任式を擧行した

◇黎元洪の副總統就任式

北京參議院において本月六日中華民國第一次副總統に當選した黎元洪は、本日武昌に於て就任式を擧行した

◇公爵桂太郎死去

新黨組織中の前首相公爵桂太郎は本日死去享年六十八。公は弘化四年長州萩藩に生れ、戊辰戰役に官軍參謀として各地に轉戰し、明治初年獨逸に留學して語學、軍事學を研究、歸朝後陸軍大尉に任命され、累進して陸軍次官、臺灣總督、陸軍大臣に歷任し、三十四年

政界に轉じて第一次桂內閣を組織し、日露戰後の難局に當り、四十一年第二次桂內閣には首相兼攝藏相として戰後經營、鐵道國有、稅制整理、公債低利借替、朝鮮合併、通商條約改正に盡力し、四十四年公爵を賜はり、同八月元老の優遇を受けた。明治天皇の崩御後、一旦政界を退いて侍從長兼內大臣となり、同年十二月再び政界に復活して、第三次桂內閣を組織したが、護憲運動に遭つて在任僅か一月半で辭職し、新政黨立憲同志會を組織したが、その結黨式を見るに至らずして死去したのである

十一日（土）

◇朝鮮關稅の一部改正公布

同改正は修繕のため輸入する物品及加工又は製造のため輸入し一年內に再輸出する物品にして朝鮮總督府令を以て指定したものに對し關稅を免除するもので、官報を以て本日公布、十五日から施行

◇國鐵川內線の一部開通

九州川內線鹿兒島、東市來間十六哩四分は本日開通した

十二日（日）

◇北米フロリダ州に邦人排斥運動

北米フロリダ州に日本人移住を防止せんとする運動が同州選出聯邦下院議員クラークによつて開始された

十三日（月）

◇鐵道院が足尾鐵道を借受

鐵道院は足尾鐵道會社所屬の鐵道を借受け運輸營業を開始した

◇岸本鑛行の改組と十倍增資

神戸の岸本銀行は資本金十萬圓に積立金八十萬圓を加へ、更に十萬圓を出資、合計資本金百萬圓の合名會社に組織變更の件を主務省に出願した

十四日（火）

◇國民黨代議士會の決議

同黨代議士會に於て、政府發表の對支交涉問題につき左の決議をなした

今回政府の發表したる對支事件の交涉顚末は未だ國民を滿足せしむる足らず殊に國旗問題を不問に措き張勳の處罰を未了に附するが如きは失態も亦甚し是れ擧黨當局者の無能に因ると雖も抑も亦對支根本政策の確立せざるに基く依て我黨の主張を宣明すること左の如し

吾帝國外交の振はざる久し現內閣亦之を革新する能はず殊に支那に對する政策は其根本方針を誤り政府各部の行動絕へて統一なく事々悉く機宜を失す今にして斷然之を匡正するに非れば帝國不測の危險に陷らんとす彼に對し利害の密切なる吾帝國に如かず彼に對し威力の强大なる吾帝國に如かず彼に對し領土保全の實を擧ぐる吾帝國の右に出る者なし外交の振はざるもの之を要するに其間帝國の地位實力を自覺せざるに存す帝國は我が優越なる地位に據り、主動的手段を取り、以て東方の平和を維持せんことを期す

◇僞造紙幣事件の古賀廉造判決

商警保局長、貴族院議員法學博士古賀廉造潮田龜五郎、甲山清範等に係る外國紙幣僞造行使事件は、本日東京地方裁判所に於て、古賀を懲役三年、潮田、甲山を各懲役二年に處す旨の判決があつた

◇名古屋醫學事件の奥田正香引退

名古屋疑獄事件に連座せる中京財界の巨頭奥田正香は、名古屋商業會議所會頭其他諸會社重役を總て辭任した

◇支那現行關稅率引上を申出

支那政府は本日列國公使に對し現行輸入稅

則は十年の滿期となつたゝめ、之を改正して現行五分を一割二分に增加し、鑛金稅その他一切の內地稅を廢止したい旨を申出た

十五日（水）

◇鐵道運賃規定の一部改正

本日官報を以て發表、改正の要點は不正貨物發見の場合に鐵道は不足運賃の外五倍の增運賃を請求し、火藥其他危害品を他の品名で託送したときは一斤に付三圓以內の增運賃を請求し得る、又專用車室內へ係員の許可を得れば動物を携伴しうる等で、十一月一日から實施

◇川越綿業家の休業

武州川越町の機業家は今春の恐慌以來回復不充分の上、絲屋、金融業者の警戒も嚴しいため、本日から四十五日間休業と決定した

◇東京市下水設計變更の許可

東京市第一期第二期下水工事は工費六百二十萬圓（三分の一國庫補助）の豫算のところ物價騰貴のため六百八十萬圓に變更の件は本日許可された

十六日（木）

◇露寬武日本に亡命

支那四川省で袁世凱討伐に失敗した五師團長熊克武一行四名は上海から本日近江丸で長崎着、日本に亡命した

十七日（金）

◇北陸線の列車衝突

北陸線岩瀨驛にて旅客列車と貨物列車が衝突し、死者二十四名、重輕傷者六十七名を出した

十八日（土）

◇東邦市債百二十萬圓の發行

同市債は三井銀行一手引受のもとに年利六分、賣出價格九十三圓、一ケ年据置後六ケ年抽籤償還の條件で二十日から廿五日まで賣出

◇中央生命保險相互會社創立

同社（基金五十萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役社長前田利定▽專務取締役朝倉菊衛▽取締役近藤賢二、池田寅治、瀧本得之、山崎知遠▽監査役三苫舜太郎、山岸喜藤太

二十日（月）

◇下津井輕便鐵道會社の增資

岡山縣の同社は臨時株主總會に於て資本金三十萬圓を五十萬圓に增資の件を可決した

二十一日（火）

◇北海道拓殖債券二百萬圓の發行

同行は第二十回債券二百萬圓を發行、條件は發行價格九十三圓以上、年利六分五厘、大正四年十一月三十日迄据置、其後二十ケ年間に毎年二回抽籤償還、取扱店は全國代理店、郵便局、小池、鴨島、紅葉屋銀行の現物團

◇朝鮮京元線の一部龍巡

京元線一部龍池院高山間四哩の營業開始

◇山田鐵行の整理案決定

伊勢の同行は本日大株主及預金者會を開き缺損金五十萬圓は重役賠償金十五萬圓、株式切下二十八萬圓、積立金七萬圓を以て補塡し、別に農工銀行から七分以下の低利で資金三十萬圓を借入れ、預金總額百二十萬圓の中少額預金者には全額を支拂ひ、殘額は四分五厘の利札付預金債券とし五ケ年賦で償還することを可決した

◇津市土地建物會社の創立

同社は資本金十萬圓を以て本日創立された

二十一日（水）

◇何海鳴日本に亡命

南京に於ける討袁軍總指揮者であつた何海鳴は、本日神戸入港の郵船筑波丸で日本に亡命した

二十三日（木）

◇靜洋丸南米航路に就航

東洋汽船會社が英國に註文した靜洋丸（一萬四千噸）は本日から南米航路に就航

二十四日（金）

◇印綿分損保險の廢止決議に抗議

印度海上火災保險會社は日本行棉花に對し分損保險廢止を決議し、紡績聯合會棉買出張所に申込んだので、日本側は本日直ちに抗議を申込んだ

二十五日（土）

◇岩手輕便鐵道の一部開通

岩手輕便鐵道花卷、土澤間七哩が開通した

◇朝鮮農工銀行が內地人に株式開放

同行は株主總會を開き定款を變更して、從來株主を朝鮮人のみに限つたのを、內地人でも商農に限り株主たり得ることゝした

二十六日（日）

◇長井輕便線の一部開通

長井輕便赤湯、梨郷間四哩三分が開通した

二十七日（月）

◇大藏省證券一千萬圓發行

本日期限の大藏省證券一千萬圓を日步一錢六厘、十二月二十四日期限で借替發行

◇松本製絲業者の絲價暴落對策決議

松本生絲同業組合は生絲暴落は生產過剩よりも寧ろ生絲問屋の惡策にありとし、設訪生絲同業組合と協議の上（一）今後信州糸を定期の現物渡に提供しないこと（二）本年は十一月限りで休業減產を圖ること（三）長野縣全製絲家に贊成運動を起すことを決議した

◇十五銀行四千萬圓に增資

同行は臨時株主總會に於て資本金一千八百萬圓（拂込濟）を四千萬圓に增資の件を可決した

◇獨逸帝國銀行の利下

同行は割引步合六分を五分五厘に引下げた

二十八日（火）

◇モスリン聯合會織業經綸を決定

東京モス、上毛モス、東洋モス、日本毛織、モスリン紡織の各社代表者は大阪に會合、第二回モスリン聯合會を開催し約二割七分の生產制限を行ふことを決定した

◇京阪電鐵、摂津電氣を合併

京阪電鐵會社は、摂津電氣會社を合併した（日附不詳）

【十一月】

一日（土）

◇千葉縣輕便鐵道免許

鐵道院は千葉縣の經營に係る同縣印幡郡遠山村から同郡八街村に至る八哩五鎖（建設費三萬六千二百六十圓）の輕便鐵道に對し敷設免許狀を交附した

◇日本銀行の整理改革

日本銀行では、政府が行政整理を斷行した趣旨に基き行內各機關の整理を爲し、業務の改善進步に資せんと調査中のところ、大藏大臣の認可を得たので、本日より實施することとなり、發行、國債兩局は廢止され、約六十名の人員罷免を行つた。これに伴ひ發行局長因藤成光は勇退し、國債局長深井英五は營業局長に任ぜられた

◇高崎電鐵と伊香保軌道の合併

高崎電氣鐵道會社（資本金百三十萬圓）と伊香保軌道會社（同二十萬圓）とは去る八月合併を決議したが其準備が整つたので、本日代議士稻茂登三郎、須藤高崎電鐵社長は、內務省に水野次官を訪ひ合併手續を取つた

一一日（日）

◇信州生絲業者の操業經綸決定

生糸販賣調節に關する案件を協議事項として開かれた長野縣生糸同業組合聯合會は、講

究委員に選ばれた小山鶴太郎五人が協議會を開いた結果、各組合代表と凝議して、閉業期日を十二月十八日限とすること、一日の操業時間を二時間以上短縮することを可決した

三　日（月）

◇支那財政部借款六百萬磅成立

支那財政部と、中佛實業銀行との間に六百萬磅の借款契約が成立した

四　日（火）

◇內國公債百萬圓賣却

大藏省は內國公債額面百萬圓を買入銷却した旨公示した。

◇群馬、埼玉兩縣製絲組合の陳情

群馬縣製糸業組合委員竹田勝藏外二名並に埼玉縣製糸業組合委員綱野豐次郎外二名は、齋藤安雄、武藤金吉兩代議士と共に本日鐵道院に床次總裁を訪問して製糸用石炭運賃の輕減に就き陳情、更に大藏省に高橋藏相を訪問、製糸業に對する營業稅輕減を陳情した

◇大正火災保險會社發起認可

農商務省は、安場末喜男外十四名の發起に係る大正火災保險株式會社に對し、本日發起認可の指令を與へた。同社は資本金百萬圓で本店を東京に設置する

五　日（水）

◇日本製銅所の日本側重役辭職

日本製銅所重役山內萬壽治外日本側重役一同は、英國側資本家と意見不一致のため本日辭任を申出た

◇外蒙古に關する露支協定成立

七　日（金）

◇全國取引所大會實行委員の陳情

全國取引所聯合大會の決議實行委員角田眞平（東京株式）根津嘉一郎（東京米商）田中太七郎（大阪株式）高倉藤平（大阪堂島）等の十七名は、內務省に水野次官を訪問し「市場外仲買人類似行爲」につき嚴重取締方を陳情し、更に大藏省、農商務省に出頭、議會に取引所法改正案及び稅法改正案が提出される日に至るも變更の必要を認めない旨を陳情することを期待し、前年提出した改善意見は、今及んだ

八　日（土）

◇漢口市街再建の借款成立

漢口市街再建に要する借款は湖北省政府と漢口及上海のヂードリッチソン商會との間に交渉中であつたが愈成立して調印を終つた、金額は三百萬磅、手取八十八、年利五分、償還期限三十年、十年据置で、擔保は地方稅、家屋稅、水道稅等である

九　日（日）

◇汽船取扱業者同盟會成立

日本船主同盟會から分離した汽船取扱業同盟會は、本日神戸に創立總會を開き、全國各地からの出席者六十三名に及び、定款の審議を終り投票の結果理事は小栗麴送店外二十五名と決定。理事長は理事互選の結果三上豐夫が當選した

十　日（月）

◇船川輕便線の一部開通

鐵道院は、本日より秋田縣の船川輕便線追分、二田間の鐵道運輸營業を開始する旨告示した。その哩程は六哩三十七鎖餘である

◇北海道下富良野線開通

本日北海道の下富良野、瀧川間三十五哩六十三鎖が開通した。この下富良野線開通の結果函館、釧路間の直通距離三十三哩、時間にして二時間を短縮した

十一日（火）

◇伊東鐵道會社の新線免許

鐵道院では本日附を以て伊東鐵道株式會社に對し敷設免許狀を下附したが、同鐵道は靜

岡縣田方郡熱海町から同郡伊東町に到る延長十一哩六十三鎖、建設資金七十五萬圓である

◇福井羽二重業者の夜業休止

羽二重の不況のため生產調節を圖るべく福井市力織會の提案した休業問題に付本日全縣當業者大會を開き、十二月から夜業を休み年末に至つても尙ほ不況の時は一月から斷然休業することに決定した

◇臺灣米代用撤廢不認可

全國米穀取引所から陳情した臺灣米代用撤廢に關し農商務省から不認可の申達があつた

◇古河合名が九州に石炭販賣所新設

古河合名會社は九州の炭鑛主伊藤傳右衞門と提携して石炭販賣所を設置し、伊藤經營の中鶴、牢田、泉井、新手各坑の出炭（一ヶ年約三十五萬噸）販賣の依託を受けることとなり、その契約を締結した

◇名古屋株式取引所理事更迭

名古屋株式取引所は、本日名古屋商業會議所に總會を開き理事奥田正香、理事兼松照辭任の件を承諾し、同時に其後任理事の選擧を行ひ鈴木摠兵衞、後藤幸三當選、互選の結果鈴木摠兵衞が理事長に當選した

十二日（水）

◇墨國動亂に軍艦派遣決定

墨國に動亂が物發したので邦人保護のため軍艦出雲を派遣することに決定した

十四日（金）

◇浦信鐵道借款三百萬磅成立

支那政府は英國と三百萬磅の浦信鐵道借款を成立した

◇日本生命の創立者弘世助三郎死去

日本生命保險會社の創立者、弘世助三郎は本日死去した、享年七十一。氏は滋賀縣彦根町の產、生粹の江州商人で、明治十年三十三歲の時早くも地方金融界のため、第六十四銀行、百三十三銀行を創立し頭取となり貢獻した。更に湖東鐵道、關西鐵道、大阪鐵道を發起し關西實業界に頭角を現はした。一方明治二十二年に日本生命保險會社を創立、鴻池善右衞門を戴き後自ら主宰した。其他三十四銀行、日本海陸保險、中立貯蓄銀行、近江貯蓄銀行、共同曳船、紀和鐵道等の諸會社にも關係した。なほ政治思想の鼓吹にも盡力、近江新報を起し初期國會には、滋賀縣より杉浦重剛、大東義徹、相馬永胤、伊庭貞剛等を應援く當選せしめたこともある

十五日（土）

◇米墨國交斷絶通牒

米國政府は墨西哥大統領ウエルタとの外交關係斷絶せる旨歐洲列强政府に通牒した

十六日（日）

◇桂川水力電氣會社の職制改正

桂川水力電氣會社は、常務取締役四名の合議制で取締役會長なく、總會等の場合は抽籤を以て議長を決定してゐたが、今回職制を改正し島甲子二、岩田作兵衞、原潛の三常務取締役が辭任して平取締役となり、常務取締役兩宮亘が取締役會長を兼ねることゝなつた

十七日（月）

◇第四十九回勸業債券三百萬圓賣出

第四十九回割增金付五分利勸業債券三百萬圓は十二月一日から同十五日迄賣出のことに決定した

◇富士紡、相模水力を合併

富士瓦斯紡績會社は相模水力電氣會社に對し、相模水力株二十萬株に付き富士瓦斯紡績株四萬株を交附する條件を以て本日合併議成立、富士側の日比谷平左衞門、和田豐治と相模側の古市社長、伊藤長次郎會見、調印を了した

◇孟買棉保險料率引上

孟買棉保險料率引上問題は行き悩み中のところ愈々具體化し、本邦向棉花は定期船一圓に付五十錢、臨時船一圓に付き七十錢方の引上げを爲すことに決定した

十九日（水）

◇大阪電燈會社重役辭職

大阪電燈會社株主寺田一派は、土居社長、菅沼專務取締役等の排斥運動を試みてゐたが一方中立株主派の反對的運動が起り、各派相爭ふに至つたので、本日の重役會に於て土居社長は、各重役の不一致は自己の不明の爲として辭表を提出、その他の重役も電燈偵下問題以來株主の攻擊を招いた責任上總辭職をすることになり、監査役藤田惣次郎のみ居殘り事務を見ることに決定した

◇日韓瓦斯電氣會社專務門崎鐵光死去

病氣のため朝鮮より歸京療養中のところ本日死去した。享年四十五

二十一日（金）

◇東鐵の支那專管居留地撤廢問題

京城に於ける支那專管居留地の撤廢問題は本日朝鮮總督府に於て小松外事局長と富芝英との間に調印を了つた

◇別府電氣鐵道の職設免許

鐵道院は本日別府輕便鐵道株式會社に對し敷設免許狀を下付したが、同鐵道は兵庫縣加古郡野口村から同郡別府村に至る延長哩數二哩四十八鎖、軌道幅員三呎六吋で、建設資金十四萬圓である

二十二日（土）

◇和製練乳業の保護論

最近本邦に於ける練乳製造高は年額約四十六萬六千餘圓であるのに對し外國製品輸入高は約五倍の二百餘萬圓に達し內地製品は今後益々壓迫を蒙るべき形勢にあり、當業者等はこれが救濟策として（一）輸入品關稅の引上げ（二）當業者保護策（三）現行練乳に關する法規の適用を本日その筋に請願した

◇東京府生絲同業組合の爆烈決議

東京府生糸同業組合では、本日東京府蠶糸業取締所に於て長野縣生糸同業組合聯合會からの通牒に基き生糸操業短縮の件に就き協議し左の決議をなした

一、大正二年の生糸操業期日を十二月二十日とす

一、大正三年春挽開業期日を三月一日とす

◇本庄銀行の取付休業

秋田縣の同行は、預金者の取付を受け本日より向ふ一ヶ月間臨時休業を發表した。資本金二十萬圓、預金六十六萬圓、貸出七十八萬圓であるが、貸出中回收の困難なるもの二十萬圓に上る事實が明かとなつたためである

◇賣田石油會社專務取締役渡邊嘉吉外遊

賣田石油會社專務取締役渡邊嘉吉は、歐米各國に於ける石油事業視察の目的を以て本日橫濱解纜の天洋丸で渡米した

二十三日（日）

◇常磐鐵道金繰關係

茨城縣下館驛から取手驛に至る三十一哩餘を連絡する常總鐵道は、同縣中部を貫徹する重要の線路であるが、全線竣工し本日より開通した

◇大阪貿易同志會成立

大阪の支那貿易業者は、斯業の發達を圖ると同時に、因襲的惰弊を打破する目的を以て、大阪貿易同志會を組織し、本日總會を開催して會長に高橋彌助、副會長に吉村增太郎の外評議員十名を選出した

◇共正銀行の增資

東京に本店を有する共正銀行は從來の資本金三萬圓を一躍五十萬圓に增資するに決し同時に淺草、千住、並に京都下京區の三箇所に

支店を設置する事となつた

二十四日（月）

◇秋田縣會議員の鐵道廳港灣處陳情

秋田縣會議員渡邊文八郎、秋田市長大久保鐵作、船川港町長林光顯外關係町長數名は本日內務省に水野次官、久保田土木局長を訪問左の決議を齎らし陳情した

一、羽越沿岸線の速成は新潟縣よりの北進工事と秋田縣よりの南進工事と相俟つて事業の完成を期すること

一、雄物川河口改修實施繼上を期すること

一、秋田より奥羽、東北の兩幹線に連絡する橫斷線の速成を期すること

一、河口修築費國庫補助の確定と船川線の速成を期すること

二十五日（火）

◇日本動產火災保險會社設立

大阪の一部實業家が發起となつて、計畫中であつた日本動產火災保險會社は、本日認可を得たので、東京物品火災（資本金十萬圓）を買收、資本金を五十萬圓に增資し、本店を大阪に移すことゝなつた

◇田中鑄造會社の創立

同社は資本金三百萬圓を以て設立されたが役員は次の通りである

▽取締役　田中平八、田中銀之助、田中虎之助▽監査役　池上仲三郎、龍野周一郎

◇臨時事件公債二千萬圓借還

臨時事件公債（特別利率五分利公債）二千萬圓は本日償還を開始した

二十七日（木）

◇橫濱市役所、外商の滯納稅差押

橫濱市に於ける外國商人及會社の所得稅營業稅滯納十年に亘り市役所外商間又は市役所外務省間の問題となつてゐたが、橫濱市役所は斷乎たる處置を採ることゝなり、本日同市山下町英人經營の食料品商カーノー商會に赴き滯納稅を差押へた

二十八日（金）

◇滿河法施行規則發布

運河法實施に付その施行規則を內務省令第十七號で本日發布した

◇三遠、大正兩瓦斯會社の合併

大阪の三遠、大正兩瓦斯會社は、本日大阪商業會議所內に總會を開き二社合併を決議し關西瓦斯會社と改稱、取締役に渡邊嘉一、竹岡本樓、谷木寺雄、小和三郎、藤本清兵衛、岡本櫻、三好英次郎、牟田口元田正美、橫井辨之助、三

學等を選任した

◇東京青年會株式會社創立

同社（資本金十五萬圓）は本日東京日本橋倶樂部に於て創立總會を開き左の取締役及監査役を選任した

▽取締役　倉知誠夫、米山正、山本留次、益田英作、內野五郎二▽監査役　本重和助　竹澤太一

◇日本貯蓄銀行休業

日本貯蓄銀行（資本金十萬圓、拂込六萬圓）は預金の取付に遭ひ本日より十二月五日まで一週間本支店とも臨時休業を發表した

二十九日（土）

◇大阪朝鮮貿易同業組合の陳情

大阪朝鮮貿易商同業組合は、本日山本農相に對し、大阪取引所の憂鮮米に關する新格付は植民地の米穀生產上に一頓挫を來たさしむるものなるを以て各植民地產米改良の實を擧ぐる迄は現行格付範圍內に止め尙ほ副標準米の存置並びに公表の必要なる旨を陳情した

◇扶桑銀行事件被告有罪判決

扶桑銀行百萬圓事件に關する被告北村英一郎外四名に對する公判は本日東京地方裁判所に開かれ、小川裁判長から各々有罪の判決言

渡しがあつた

◇日本興業銀行監督官選賢

日本興業銀行經營宜しきを得ず、整理の必要を見るに至つたのは、監督官として失態であるとの理由を以て農商務次官橋本圭三郎、大藏次官勝田主計、大藏省理財局長山崎四男六、大藏書記官森俊六郎は譴責された

◇岡山電氣軌道會社の電燈營業許可

岡山電氣軌道株式會社は豫て電燈營業出願中のところ本日許可された

三十日（日）

◇東京米穀取引所の賣買格付準用

東京米穀商品取引所は、主務省の意嚮に基き本日午前理事、仲買委員及び格付委員等の協議會を開き、その結果翌年二月限の賣買に關しては取敢へず舊格付表を準用することに決定した

【十二月】

一日（月）

◇東京市電値事業公債の起債認可

久しく行悩んでゐた東京市電氣事業公債千六百萬圓は大藏内務兩者に於て審議の結果本日附を以て認可の指令があつた

◇播州鐵道會社運轉開始

播州鐵道株式會社は本日より加古川町、高砂口間二哩九分の運輸營業を開始した

一一日（火）

◇二個師團增設延期聲明

本日山内内閣書記官長は「本日の閣議に於て、補滿陸相から朝鮮二個師團增設に關し種種陳述があつたが、結局閣議で、その經費は大正三年度豫算には計上しないことに確定した」旨、邸下の新聞、通信記者數十名に聲明した

◇内外棉花會社々債二百萬圓發行

内外棉花會社は、本日の臨時株主總會で社債二百萬圓募集の件を決議し、大正三年二月賣出すことゝなつた。利率は年八分、二ヶ年據置後五ヶ年償還の條件である

◇内國運通會社の國作地運賃手減

北海道、東北地方國作の為め、内國通運會社は國作地方救濟の目的を以て、國作地往復の諸貨物で官公衙、又は公共團體の證明のあるものは、東京市内及北海道東北各支店荷扱所に託送されたものに限り、翌年六月迄賃銀を半減することを本日發表した

三日（水）

◇中央郵便局設置確定

東京中央停車場の開設に伴ひ、郵便物發着の連絡を取る必要上同驛附近に中央郵便局を設置することに本日の遞信省議に於て確定したが、經費總額は五十萬圓で、丸の内局を併合し、停車場との郵便物は地下鐵道を敷設してトロッコを使用する

四日（木）

◇上野、淺草間の架空電車不許可

東京上野公園櫻ヶ岡より淺草公園第六區まで（一哩七鎖）の架空單軌電車新設を奥山政敬外八名から出願中のところ、本日市會委員會で市内電車統一の必要上不認可に決した

◇全國酒造家の酒稅納期繰下運動

全國酒造家聯合實行委員は、九州、中國、岡山、四國、鳥根、愛知、神奈川、新潟、長野、宮城、山形、埼玉、千葉の各酒造組合代表者の決議に依り、酒稅納期の三月を五月に繰下げ、貯藏後の稅額改正、防腐劑使用禁止延期等の目的を貫徹することに決定、本日大藏大臣、主稅局長、各政黨本部を、五日は山本首相、松山衞生局長等を訪問陳情した

◇共同火災保險會社の傷害保險發表

農商務省は本日附を以て共同火災保險會社

に對し傷害保險事業を營むことを認可した

五日（金）

◇鐵物稅減稅運動委員の陳情

鐵物稅減稅運動中の委員小倉庄平（長岡）下條榮作（伊勢崎）田中盛憲（京都）藤倉富造（山形）高村勝太郎（桐生）等は本日農商務省に岡商工局長を訪問し、更に同省橋本次官に面會の上減稅の陳情をなした

◇日本貯蓄銀行休業延期

預金者の取付に遭ひ支拂を停止し本日まで臨時休業をした日本貯蓄銀行は、資金の調達不能のため更に本月十九日迄二週間臨時休業を爲すことゝなつた

六日（土）

◇東北水害國作に低利資金融通

東北各縣水害復舊及國作救濟の爲め内務省より低利資金六百萬圓を融通することに本日の省議で決定した

七日（日）

◇酒田線の一部開通

鐵道院で工事中の酒田線新庄、古口間十哩六分は本日より運輕營業を開始した

八日（月）

◇鐵鋼融後の大阪電燈新重役決定

感情問題より重役の總辭職を見た大阪電燈會社は本日臨時總會を開き、重役の選擧を行つたが、選擧に先立つて重役詮衡委員を擧げ重役の選任を委員の指名に一任することになつた結果、取締役に土居通夫、菅沼達吉、平賀敏、寺田甚與茂、岩本榮之助 監査役に永田仁助、島徳蔵、藤田德次郎が當選した。同社は更に取締役會を開き、社長に土居通夫を、專務取締役に菅沼達吉を互選した

十一日（木）

◇モスリン操短縮續を協議

モスリン操業短縮に就て、本日東京日本橋倶樂部に東洋、東京、上毛、大阪モスの各社代表參集操短九分二厘を四割短縮になさんとする案を附議したが、操短率決定困難なるのみならず景氣回復の兆ありとの說も出て當分形勢觀望に決した

◇豐國銀行頭取濱口吉右衞門死去

本日死去、享年五十二。和歌山縣の人で慶應義塾の出身、鐘紡重役、東京商品取引所理事、富士瓦斯紡績取締役、讀口合名社長、豐國銀行頭取、九州水力電氣社長等を兼ね實業界に貢献し、九州水力電氣社長等を兼ね實業界に貢献した功により特旨を以て從六位に叙せらる

十二日（金）

◇整理中の山田銀行開業

三重縣宇治山田町の山田銀行は、前年五月以來整理中の處本日より開業した

十三日（土）

◇排日移民法案米國下院委員會通過

米國下院移民調査委員會は、本日移民制限法修正案を可決した。右法案は凡ての亞細亞人勞働者を排斥するものであつて、日本人に就て特別の明記はないが、排日を主眼としたものである

十五日（月）

◇東西賣藥業者の反對陳情

東京、大阪、京都の賣藥業者は、今期議會に提出さるべき賣藥法改正の草案に反對し、山崎嘉太郎（東京）玉置金八（同）大木良藤（同）津村重舍（同）山田安民（大阪）猪飼史郎（同）浮田忠治郎（同）木村平三郎（同）森下博（同）久保田庄左衞門（京都）上尾庄兵衞（同）等の代表は、本日水野内務次官を訪問し反對の理由を陳情した

十七日（水）

◇郵船歐洲航路の新寄港地決定

日本郵船會社は、歐洲航路船を馬來半島の

アラッカ港に寄港せしめることに決定し、本日横濱出帆の熊田丸から直ちに實行した。同港は護謨、コプラ、タピオカ、サンタル材等を輸出し、鐵、鹽、砂糖、木綿、鹽魚等を輸入する

◇獨逸汽船會社東洋航路開始

獨逸ブレメン・ロイド汽船會社は、東洋貿易の發展に伴ひ新に東洋に向つて二週間一回の定期航路を開くことになつた。その第一船は本日ブレメンを出帆して東洋に向つたが、途中安南、新嘉坡、香港、上海を經て長崎、神戸に回航する

十八日（木）

◇宇治川電氣會社擴張認可

宇治川電氣會社は電力供給の範圍を擴張すべく其筋に認可申請中のところ本日堺市及び河内牧方面の供給に付き認可の指令があつた

十九日（金）

◇大阪賣藥業者の賣藥法改正反對決議

大阪地方に於ける賣藥業者は本日大阪に大會を催し來會者數百名、賣藥規則改正期成同盟會設立を諮つたところ滿場一致設立に決し左の決議を可決した

賣藥法第七條に對する中央衛生會の修正は不當に付き極力之に反對す

◇鐵道院副總裁の新任

滿鐵總裁中村是公は任期滿了し、その後任として鐵道院副總裁工學博士野村龍太郎が任命され、副總裁には政友會相談役伊藤大八が就任した

二十日（土）

◇中央生命保險相互會社營業認可

本日農商務大臣より中央生命保險相互會社に對し事業免許狀を下附した

二十一日（日）

◇廣島、吳兩瓦斯會社合併

廣島、吳兩瓦斯株式會社は本日合併調印を了し、名稱を廣島瓦斯株式會社と稱することとし合併と共に兩社々員三十名を解雇した。これに依つて一ヶ年の經費三萬圓を節約する

二十二日（月）

◇庶民金融機關調査會に關する決議

政友會政務調査會は本日庶民金融機關設置に關し左の通り決議した

一、無盡會社並に銀行類似會社の預金貸附を營業とするものを取締るべき法令を制定し其要件として特に資本實際拂込金額を少くとも金二萬圓以上とすること、業種類を限り當局の認可を經ざれば之を兼營し得ざること、貯蓄銀行條例を參酌し以て相當の保證を供託せしめ其擔保とすること、特に設立認可を要せしめ當局は其當事者の資產性行を調査して始めて認可することの各項を規定すべし

二、無盡會社を庶民階級が信用組合の方法にて組織することを奬勵するため設立登記の手續を簡易にして拂込資本の金額を低下する等相當の便宜を與ふる法令を制定すべし

◇千代田肥料株式會社創立

同社（資本金二十四萬圓）は本日創立總會を東京京橋築地倶樂部に開き、左の如く重役を選任した

▽取締役　秋山專藏、大原彌一郎、辻彌夫、飯村忠七、中村哲藏△監査役　小林甲子次郎、飯村清七、瀨谷勇次郎

◇南日本製糖會社の新重役決定

南日本製糖會社は、臨時總會を東京日本橋倶樂部に開き、詮衡委員が人選した重役承認の件並に、澁澤榮一男、竹内綱を將來相談役に推す動議を滿場一致可決した。新重役は取締役社長前川太兵衛、取締役大川平三郎、白

石元治郎、澁谷正吉、伊藤政重、豐査役堤德藏、岡崎久次郎、村松甚藏である

◇鐵道院副總裁・技監任命

鐵道院副總裁野村龍太郎が滿鐵總裁に轉任したので、本日その後任として鐵道院技監古川阪次郎を鐵道院副總裁並に鐵道院運輸部長に任じ、鐵道院技師石丸重美を鐵道院技監並に鐵道技術部長に任じた

◇メキシコ中央銀行支拂停止

メキシコの中央銀行は動亂による整理のため支拂を停止した

二十三日（火）

◇立憲同志會の結黨式

故桂太郎によつて組織準備中なりし立憲同志會は本日結黨式を擧げた。議員黨員府縣代表等集まるもの二千人、總理に男爵加藤高明が推選された

◇住友合資の煙害賠償額決定

愛媛縣の字摩、新居、周桑三郡は、住友に向つて烟害賠償を要求し兩者の間に交渉を重ねてゐたが、本日住友より賠償金七萬七千圓を支拂ふことに決定調印した

◇仁壽生命保險會社の火災

本日午後三時東京麹町區内幸町の仁壽生命保險會社の家屋裏より出火し、本年七月竣工した許りの新社屋を全燒した。損害三萬圓。同社は明治火災、横濱火災、千代田火災等に六萬圓の火災保險契約がある

二十四日（水）

◇大藏省證券一千萬圓借替發行

大藏省證券一般會計所屬一千萬圓は本日償還期限到來したので、日歩一錢六厘、償還期日大正三年二月二十四日の條件で、全部借替發行することに決定した

二十五日（木）

◇變替價格の調査發表

大藏省は變替賣法に依り大正三年中收納する變の賠償價格を決定したが、大正二年十二月に決定したものを其儘襲用することに決し本日官報で發表した

◇國鐵と水戸鐵道會社の聯絡運輸開始

鐵道院は本日より水戸鐵道會社線各驛と滝鐵道會社線那珂湊驛との間に院線水戸勝田間を經由し旅客手荷物小荷物及大貨物（速達便を除く）の聯絡運輸を開始した

二十六日（金）

◇耶馬渓線と國鐵との連帶運輸開始

鐵道院は本日より耶馬渓鐵道會社線と連帶運輸を開始した

◇大阪電燈會社增資決定

大阪電燈會社（資本金千四百四十萬圓）は本日株主總會を開き、新に資本金七百二十萬圓を增加し、總額二千百六十萬圓と爲す件を可決した

◇林本源製糖所の組織變更

臺灣第一の富豪たる林本源家の經營に係る林本源製糖所は、關係者一同協議の末組織を變更して資本金三百萬圓の株式組織となし、同時に臺灣銀行臺中支店長田邊米二郎を取締役兼支配人となし其經營に當らしめることに本日決定した

◇蟹江銀行休業

愛知縣海東郡蟹江町の蟹江銀行は、整理を名として突然本日より二週間臨時休業を發表した。同行は蟹江次郎を頭取とし、資本金十萬圓、預金現在高三十七萬七千圓である

◇日本製布會社の減資

大阪の日本製布會社は、本日臨時總會を開き、現在の資本金二百五十萬圓を百萬圓に減資の件を可決した

◇古河合名會社幹部更迭

古河合名會社理事木村長七、岡崎邦輔辭任

し本日古河系の足尾鑛道取締役小田川全之、營業部長井上公二、庶務課長昆田文二郎が現職の儀理事に任命された

◇墨國答禮使に記念品贈呈

本日三井、岩崎、近藤、澁澤の各男爵、中野武營等は、墨國獨立百年紀念答禮使デ・ラ・バラ一行を丸ノ内保險協會に招待し花瓶一對を贈呈した

二十七日（土）

◇日露運賃協議の改正

兩國當業者間に於て協議の結果決定せる日露連絡輸送規定が本日發布された。改正の要點は左の通りである

一括包中數種の貨物を混合する場合の運賃計算は、その混合貨物の貨率異る場合には混合貨物中の最高貨率に依り、混合各貨物の貨率悉く同一なる場合は一品と看做し之を行ふ、運送狀中の數種の小口扱貨物中貨率同一なるものは一品と看做し、貨率異るものは各別に之を行ふ、但し貨物は一運送狀に一品の外之を記載することを得ず

◇東洋拓殖會社正副總裁更迭

東洋拓殖株式會社總裁宇佐川一正、副總裁吉原三郎は本日を以て任期が滿了し、同時に副總裁吉原三郎が總裁に昇任、野田卯太郎が副總裁に就任した

二十九日（月）

◇支那革命軍政府國庫證券半額償還

第一革命の後、滬軍政府の軍資金に對して發行した國庫證券三百萬兩は年末滿期であるため上海商人は盛んに督促してゐたが、財政部は利子を支拂ひ其半額丈け償還することに本日決定した

三十日（火）

◇谷口綿布會社の創立

谷口綿布株式會社（吉見紡績の前身）は資本金五十萬圓を以て大阪に設立、左記役員の選任を見た（日付不詳）

▽取締役　谷口房藏（社長）池田馬之助、土岐榮太郎▽監査役　永田陽太郎、三谷軌秀

大正二年統計

日本銀行兌換券發行高

	兌換券發行高	正貨準備	保證準備	制限外
	千圓	千圓	千圓	千圓
一月	三九九、九七六	二四四、三〇八	一四、〇〇七	五五、〇九七
二月	三五二、六四八	二二一、三九九	一三一、〇四八	二二〇、四八
三月	三二九、六七六	二〇八、九二一	一二〇、六四四	三〇、六四四
四月	三二八、〇〇六	二〇四、三八七	一二五、四一八	一二、三八八
五月	三二八、三五三	二〇三、七七三	一二五、三八八	一二、三八八
六月	三七一、〇〇三	二一九、三八五	一三一、四一八	三一、四一八
七月	三四三、六九五	二一四、六七八	一三一、四一七	二一、四一七
八月	三四九、三五六	二一三、九九二	一三三、九九四	一三、九九四
九月	三五三、八一二	二一三、三八四	一四一、四一七	二一、四一七
十月	三六四、三九九	二一三、八三七	一四八、四一二	二八、四一二
十一月	三五二、三三〇	二一六、三三二	一四四、九九八	一四四、九九八
十二月	四三六、三八八	二二四、三六五	二〇一、〇四二	八二、〇四二

東京銀行手形貸付金利率

	手形貸付金 最高	最低	平均	割引 最高	最低	平均
	錢	錢	錢	錢	錢	錢
一月	三·三〇	一·四〇	二·四五	三·三〇	一·四〇	二·三一
前年同月	三·三〇	一·三五	二·〇九	三·三〇	一·四〇	一·八九
二月	三·三〇	一·四〇	二·四四	三·二〇	一·四〇	二·〇九
前年同月	三·三〇	一·三〇	二·一一	三·二〇	一·四一	一·九三
三月	三·三〇	一·六五	二·四一	三·二〇	一·四〇	二·二一
前年同月	三·三〇	一·三〇	二·〇九	三·二〇	一·四一	一·九二
四月	三·二〇	一·四〇	二·四〇	三·二〇	一·四〇	二·二三
前年同月	三·二八	一·〇〇	二·〇〇	三·二〇	一·四二	一·八九
五月	三·二〇	一·四〇	二·四〇	三·二〇	一·四〇	二·二二
前年同月	三·二八	一·〇〇	二·〇九	三·二〇	一·四一	一·九二
六月	三·二〇	一·四〇	二·四〇	三·二〇	一·四〇	二·二二
前年同月	三·二八	一·〇〇	二·〇九	三·二〇	一·四一	一·九二
七月	三·二〇	一·四〇	二·四〇	三·二〇	一·四〇	二·二二
前年同月	三·二八	一·〇〇	二·〇九	三·二〇	一·四一	一·九二
八月	三·二〇	一·四〇	二·四六	三·二〇	一·四〇	二·二三
前年同月	三·二八	一·〇〇	二·〇九	三·二〇	一·四一	一·九二
九月	三·二〇	一·八〇	二·四九	三·二〇	一·四〇	二·二三
前年同月	三·二〇	一·〇〇	二·〇九	三·二〇	一·四一	一·九二
十月	三·二〇	一·八〇	二·四五	三·二〇	一·四〇	二·二三
前年同月	三·二〇	一·〇〇	二·〇九	三·二〇	一·四一	一·九二
十一月	三·二〇	一·四五	二·四六	三·二〇	一·四〇	二·二三
前年同月	三·二〇	一·〇〇	二·〇九	三·二〇	一·四一	一·九二
十二月	三·二〇	一·四五	二·四六	三·二〇	一·四〇	二·二三
前年同月	三·二〇	一·〇〇	二·〇九	三·二〇	一·四一	一·九二

東京交換所手形交換高

	枚	圓
一月	三三一、九三六	三〇〇、三四三、七六
二月	三二九、三三三	二九六、一二一、〇七七
三月	三三五、九七二	三四四、一六四、六一
四月	三七二、四一九	三六六、〇六二、四三五
五月	三八一、一〇四	三七四、四一九、四一
六月	三七九、八三一	三七四、〇九〇、三四一
七月	三九四、一三三	三八一、四一二、四一一
八月	三九四、一三三	三八七、〇八一、八九九
九月	三六八、四四三	三五一、一三七、一四八
十月	三七八、九〇〇	三四三、三四七、三〇六
十一月	三八六、一〇四四	三六六、六六九、九八一
十二月	三〇三、六四三	四三九、三四三、四三一

外國爲替相場

		上旬	中旬	下旬
一月	最高	二、9/16	二、7/16	—
	最低	二、7/16	二、7/16	—
倫敦宛	最高	二、5/8	二、7/16	—
紐育宛	最低	四九3/4	四九5/8	—

上海宛	兩	七〇1/4	七〇	七〇1/2	七〇	七二1/2	七〇1/4	上海宛	兩	七三1/4	七三1/2
二月								六月			
倫敦宛	志片	二、7/16	—	—	—	—	—	倫敦宛	志片	二、7/16	—
紐育宛	弗	四九1/2	—	—	—	—	—	紐育宛	弗	四九1/2	—
上海宛	兩	七二1/4	七二1/4	七二1/2	七二1/2	七二1/2	七二	上海宛	兩	七四1/2	七四1/4
三月								七月			
倫敦宛	志片	—	二、1/4	—	—	—	—	倫敦宛	志片	—	—
紐育宛	弗	四九3/8	—	四九1/4	—	—	—	紐育宛	弗	四九1/2	—
上海宛	兩	七二3/4	七八1/4	七八3/4	七八1/2	七二1/2	七二	上海宛	兩	七四1/4	七六
四月								八月			
倫敦宛	志片	二、5/16	二、1/4	—	—	二、3/8	—	倫敦宛	志片	二、7/16	—
紐育宛	弗	四九3/8	四九1/4	—	—	—	—	紐育宛	弗	四九1/2	—
上海宛	兩	七六3/4	七二1/2	七二1/2	七四1/2	七四1/2	七二	上海宛	兩	七六1/4	七二
五月								九月			
倫敦宛	志片	二、3/8	—	—	—	—	—	倫敦宛	志片	二、9/16	二、1/2
紐育宛	弗	四九1/2	—	—	—	—	—	紐育宛	弗	四九3/4	四九5/8
上海宛	兩	七四1/4	七四1/4	七六	七四1/2	七六1/4	七六3/4	上海宛	兩	七二1/4	七四3/4
六月								十月			
倫敦宛	志片	二、7/16	—	—	—	—	—	倫敦宛	志片	二、9/16	—
紐育宛	弗	四九1/2	—	—	—	—	—	紐育宛	弗	四九3/4	—
上海宛	兩	七四1/2	七六1/4	七六3/4	七六1/4	七六3/4	七六	上海宛	兩	七六1/4	七六
七月								十一月			
倫敦宛	志片	二、7/16	—	—	—	—	—	倫敦宛	志片	二、1/2	—
紐育宛	弗	四九1/2	—	—	—	—	—	紐育宛	弗	四九5/8	—
上海宛	兩	七六1/4	七六3/4	七六1/4	七六1/2	七六3/4	七六	上海宛	兩	七六3/4	七六
八月								十二月			
倫敦宛	志片	二、7/16	—	二、1/2	—	—	—	倫敦宛	志片	二、7/16	—
紐育宛	弗	四九1/2	—	四九5/8	—	—	—	紐育宛	弗	四九1/2	—
上海宛	兩	七六1/4	七六	七六1/4	七六3/4	七六3/4	七六	上海宛	兩	七六1/4	七六

銀塊相場

		倫敦 最高	倫敦 最低	紐育 最高	紐育 最低
一月		二九3/8片	二八5/16片	六三3/4仙	六一1/2仙
二月		二八7/8	二七1/16	六二3/8	五八7/8
三月		二七7/16	二六1/16	五九5/8	五六5/8
四月		二八1/16	二六7/16	六〇7/8	五七3/8
五月		二八3/16	二七5/8	六一	五九7/8
六月		二七11/16	二六	六〇1/8	五八
七月		二七1/4	二六13/16	五九5/8	五八1/8
八月		二七9/16	二七3/16	五九3/4	五九
九月		二八11/16	二七7/16	六二1/8	五九1/8
十月		二八7/16	二七1/2	六一3/4	五九1/2
十一月		二七11/16	二六7/16	五九1/8	五七1/8
十二月		二七1/4	二五15/16	五八7/8	五六1/8

外國貿易月表

一月	輸出	四六、〇七四、三四七圓
	輸入	五四、〇三三、二七〇
	輸入超過	七、九五八、九二三
二月	輸出	四四、五五五、九三七
	輸入	六七、五〇八、六七四
	輸入超過	二二、九五二、七三七
三月	輸出	四七、八〇二、四一九
	輸入	六八、九三二、七〇四
	輸入超過	二一、一三〇、二八五
四月	輸出	五三、一六九、六五五
	輸入	七一、五六六、五五六
	輸入超過	一八、三九六、九〇一
五月	輸出	四九、七二二、六〇三
	輸入	七七、七八二、九九九
	輸入超過	二八、〇六〇、三九六
六月	輸出	四三、二二八、六三四
	輸入	六五、一五七、六〇六
	輸入超過	二一、九二八、九七二
七月	輸出	五二、八七六、三二〇
	輸入	五六、二九九、一九六
	輸入超過	三、四二二、八七六
八月	輸出	五五、五三三、七九八
	輸入	五二、二三七、五〇四
	輸出超過	三、二九六、二九四
九月	輸出	五七、八九九、一八五
	輸入	五〇、三九八、一一二
	輸出超過	七、五〇一、〇七三
十月	輸出	六二、九七八、七六四
	輸入	四九、八一六、七二八
	輸出超過	一三、一六二、〇三六
十一月	輸出	五七、四二九、一〇一
	輸入	五六、一八八、七〇一
	輸出超過	一、二四〇、四〇〇
十二月	輸出	六一、二八九、四五〇
	輸入	五九、五〇九、五八四
	輸出超過	一、六七九、八五六
一月以降累計額		
	輸出	六三二、四六〇、二一三
	輸入	七二九、四三一、六四四
	輸入超過	九六、九七一、四三一

東京株式取引所定期相場

	拂込	配當率	最高	最低	平均
	圓	分	圓	圓	圓
一月					
日本郵船	五〇	一〇〇	一二三・四五	一〇九・三五	一一一・三五
炭礦汽船	五〇	—	一八・九五	一四・八五	一八・九八
東京電燈	五〇	一〇・〇	六六・〇〇	六四・〇〇	六六・三五
宇治川電氣	二〇	四・〇	四・九〇	四・〇〇	四・〇〇
鐘淵紡績	五〇	一六・〇	一二二・二〇	一〇九・四五	一一一・三三
同　新	五〇	一六・〇	九六・五〇	九六・四五	九六・四五
富士製紙	五〇	八・〇	四四・〇〇	四一・九〇	四三・六二
大日本麥酒	五〇	一二・〇	八四・五〇	八二・〇〇	八三・四五
臺灣製糖	五〇	一二・〇	六四・〇〇	六四・五〇	六四・四五
人造肥料	五〇	一一・〇	六四・一五	六二・八〇	六四・三五
日本石油	五〇	一六・〇	九四・二〇	八八・八〇	九〇・五四
東京株式	五〇	一一・二	一四四・五〇	一四〇・五〇	一四四・三〇
同　新	二五	一一・二	一一一・二〇	一〇八・四五	一〇八・九八
二月					
日本郵船	五〇	一〇・〇	一二五・八五	一一一・六五	一二五・四五
炭礦汽船	五〇	—	一八・九〇	一四・五〇	一四・九八
東京電燈	五〇	一〇・〇	六六・三五	六四・五〇	六六・〇九
宇治川電氣	二〇	五・〇	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇
鐘淵紡績	五〇	一六・〇	九四・二〇	八八・八〇	九〇・五四
同　新	二五	一一・二	一四四・五〇	一四〇・五〇	一四四・三〇
			一一一・二〇	一〇八・四五	一〇八・九八
三月					
日本郵船	五〇	一〇・〇	一二五・一〇	一二四・二〇	一二四・八一
炭礦汽船	五〇	—	二〇・六五	一六・六〇	一八・六八
東京電燈	五〇	一〇・〇	六六・三〇	六四・〇〇	六五・三四
宇治川電氣	二〇	五・〇	五・〇〇	四・九〇	五・〇九
鐘淵紡績	五〇	一六・〇	一二二・二〇	一〇九・四五	一一一・三三
同　新	二五	一一・二	一四四・五〇	一四〇・五〇	一四四・三〇
富士製紙	五〇	八・〇	四四・〇〇	四一・九〇	四三・六二
大日本麥酒	五〇	一二・〇	八四・五〇	八二・〇〇	八三・四五
臺灣製糖	五〇	一二・〇	六四・〇〇	六四・五〇	六四・四五
人造肥料	五〇	一一・〇	六四・一五	六二・八〇	六四・三五
日本石油	五〇	一六・〇	九四・二〇	八八・八〇	九〇・五四
東京株式	五〇	一一・二	一四四・五〇	一四〇・五〇	一四四・三〇
同　新	二五	一一・二	一一一・二〇	一〇八・四五	一〇八・九八
四月					
日本郵船	五〇	一〇・〇	一二三・〇〇	一一九・一五	一二九・六五
炭礦汽船	五〇	五・〇	二二・〇〇	二〇・〇〇	二一・一一
東京電燈	五〇	一〇・〇	六八・九五	六四・〇〇	六五・八八
宇治川電氣	二〇	五・〇	四九・五〇	四九・五〇	四九・五〇
鐘淵紡績	五〇	一六・〇	一一一・九五	一〇九・四〇	一一〇・五四
同　新	二五	一一・二	一四四・〇〇	一四〇・〇〇	一四四・〇〇
富士製紙	五〇	八・〇	四四・〇〇	四一・九〇	四三・六二
大日本麥酒	五〇	一二・〇	八四・〇〇	八二・〇〇	八三・四五
臺灣製糖	五〇	一二・〇	六四・〇〇	六四・五〇	六四・四五
人造肥料	五〇	一一・〇	六四・一五	六二・八〇	六四・三五
日本石油	五〇	一六・〇	九四・二〇	八八・八〇	九〇・五四
東京株式	五〇	一一・二	一四四・五〇	一四〇・五〇	一四四・三〇
同　新	二五	一一・二	一一一・二〇	一〇八・四五	一〇八・九八
五月					
日本郵船	五〇	一〇・〇	一二八・四〇	一二六・一〇	一二六・八八
炭礦汽船	五〇	—	二〇・二五	一四・〇〇	一八・九八
東京電燈	五〇	一〇・〇	六四・〇五	六二・二五	六二・四五
宇治川電氣	二〇	五・〇	四九・八〇	四九・〇〇	四九・四〇
鐘淵紡績	五〇	一六・〇	一一二・四〇	一一〇・四〇	一一二・一一
同　新	二五	一一・二	八二・八五	八〇・九五	八一・九五
富士製紙	五〇	八・〇	四〇・〇〇	四〇・〇〇	四〇・〇〇
大日本麥酒	五〇	一二・〇	八四・五〇	八四・五〇	八四・五〇

臺灣製糖	五〇	一二・〇	六四・一〇	六一・五五	六三・六一
人造肥料	五〇	一一・〇	六二・四五	五九・五〇	六一・四五
日本石油	五〇	一六・〇	一四八・四〇	一四六・二〇	一四六・六四
東京株式	五〇	一一・二	一四二・〇〇	一四〇・五四	一四二・三五
同　新	二五	一一・二	一一二・五〇	一一〇・四五	一一一・八五
六月					
日本郵船	五〇	一〇・〇	一二五・九五	一一〇・九五	一二五・〇五
炭礦汽船	五〇	五・〇	二一・一〇	一九・〇〇	一九・三五
東京電燈	五〇	一〇・〇	六四・〇〇	六一・〇〇	六二・二一
宇治川電氣	二〇	五・〇	四四・〇〇	四四・〇〇	四四・〇〇
鐘淵紡績	五〇	一六・〇	一一二・九五	一一〇・三五	一一一・八五
同　新	二五	一一・二	一四四・五〇	一四〇・五〇	一四四・〇〇
富士製紙	五〇	八・〇	四四・〇〇	四一・五〇	四二・九五
大日本麥酒	五〇	一二・〇	八四・九五	八四・〇〇	八四・三五
臺灣製糖	五〇	一二・〇	六四・〇〇	六二・五〇	六三・四〇
人造肥料	五〇	一一・〇	六四・一〇	六二・四〇	六四・〇九
日本石油	五〇	一六・〇	一四八・四〇	一四六・二〇	一四六・六四
東京株式	五〇	一一・二	一四二・〇〇	一四〇・五四	一四二・三五
同　新	二五	一一・二	一一二・五〇	一一〇・四五	一一一・八五
七月					
日本郵船	五〇	一〇・〇	一一一・四〇	一〇九・一五	一一九・一四
炭礦汽船	五〇	—	二一・二五	一八・九〇	二〇・六四
東京電燈	五〇	一〇・〇	六四・〇〇	六一・五〇	六二・四五
宇治川電氣	二〇	五・〇	四四・〇〇	四四・〇〇	四四・〇〇
鐘淵紡績	五〇	一六・〇	一一二・九五	一一〇・四五	一一一・八五
同　新	二五	一一・二	一四四・五〇	一四〇・五〇	一四四・〇〇
富士製紙	五〇	八・〇	四四・〇〇	四一・五〇	四二・九五
大日本麥酒	五〇	一二・〇	八四・九五	八四・〇〇	八四・三五
臺灣製糖	五〇	一二・〇	六四・〇〇	六二・五〇	六三・四〇
人造肥料	五〇	一一・〇	六四・一〇	六二・四〇	六四・〇九
日本石油	五〇	一六・〇	一四八・四〇	一四六・二〇	一四六・六四
東京株式	五〇	一一・二	一四二・〇〇	一四〇・五四	一四二・三五
同　新	二五	一一・二	一一二・五〇	一一〇・四五	一一一・八五
八月					
日本郵船	五〇	一〇・〇	六四・三五	五九・一〇	六〇・〇九
炭礦汽船	五〇	—	四四・一〇	四四・一〇	四四・一〇
東京電燈	五〇	一〇・〇	六四・〇〇	六一・五〇	六二・四五
宇治川電氣	二〇	五・〇	四四・〇〇	四四・〇〇	四四・〇〇
鐘淵紡績	五〇	一六・〇	一一二・九五	一一〇・三五	一一一・八五
同　新	二五	一一・二	一四四・五〇	一四〇・五〇	一四四・〇〇
富士製紙	五〇	八・〇	四四・〇〇	四一・五〇	四二・九五
大日本麥酒	五〇	一二・〇	八四・九五	八四・〇〇	八四・三五
臺灣製糖	五〇	一二・〇	六四・〇〇	六二・五〇	六三・四〇
人造肥料	五〇	一一・〇	六四・一〇	六二・四〇	六四・〇九
日本石油	五〇	一六・〇	一四八・四〇	一四六・二〇	一四六・六四
東京株式	五〇	一一・二	一四二・〇〇	一四〇・五四	一四二・三五
同　新	二五	一一・二	一一二・五〇	一一〇・四五	一一一・八五
九月					
日本郵船	五〇	一〇・〇	一一一・四〇	一〇八・五〇	一一〇・一〇
炭礦汽船	五〇	—	—	—	—
東京電燈	五〇	一〇・〇	六〇・一〇	五八・〇〇	五九・〇六
宇治川電氣	二〇	—	—	—	—
鐘淵紡績	五〇	一六・〇	一〇九・四五	一〇二・五〇	一〇五・四〇
同　新	二五	一一・二	八二・〇〇	七九・一〇	八一・〇〇
富士製紙	五〇	八・〇	四四・〇〇	四四・〇〇	四四・〇〇
大日本麥酒	五〇	一二・〇	八四・五〇	八四・〇〇	八四・二五
臺灣製糖	五〇	一二・〇	六四・〇〇	六二・五〇	六三・四〇
人造肥料	五〇	一一・〇	六四・一〇	六二・四〇	六四・〇九
日本石油	五〇	一六・〇	一四八・四〇	一四六・二〇	一四六・六四
東京株式	五〇	一一・二	一四二・〇〇	一四〇・五四	一四二・三五
同　新	二五	一一・二	一一二・五〇	一一〇・四五	一一一・八五
十月					
日本郵船	五〇	一〇・〇	一〇六・四〇	一〇四・五〇	一〇五・九五
炭礦汽船	五〇	—	—	—	—
東京電燈	五〇	一〇・〇	六一・三五	五八・一〇	五九・八一
宇治川電氣	二〇	—	—	—	—
鐘淵紡績	五〇	一六・〇	一〇四・〇〇	一〇一・三〇	一〇二・一五

同　新	三五	一六・〇	八一・八〇	九九・三〇
富士製紙	三〇	九・〇	四四・二〇	四四・四〇
大日本麦酒	三〇	一三・〇	八二・八〇	八〇・〇〇
臺灣製糖	三〇	二二・〇	六八・八〇	六六・五五
人造肥料	三〇	二一・〇	三五・四〇	三四・二〇
日本石油	三〇	二〇・〇	一〇五・〇〇	九五・八〇
東京株式	三〇	二二・〇	一三六・〇〇	一三一・〇〇
同　新	二五	二二・〇	一〇五・九五	九九・六〇
十一月				
日本郵船	三〇	一〇・〇	二一・三〇	一〇四・〇〇
炭礦汽船	三〇	三〇・〇	三四・〇〇	三三・三〇
東京電燈	三〇	一〇・〇	六二・〇五	三九・八〇
宇治川電氣	三〇	—	—	—
鐘淵紡績	三〇	一六・〇	一〇四・〇〇	一〇五・二〇
同　新	二五	一六・〇	八一・九五	九九・八五
富士製紙	三〇	九・〇	四五・〇〇	四六・〇〇
大日本麦酒	三〇	二五・〇	八二・〇〇	八一・九五
臺灣製糖	三〇	二二・〇	六八・三〇	六六・七五
人造肥料	三〇	二一・〇	三六・〇〇	三五・八五
日本石油	三〇	二〇・〇	一〇九・一五	一〇〇・六五
東京株式	三〇	二二・〇	一三六・〇〇	一三五・三五
同　新	二五	二二・〇	一〇九・五五	九九・〇〇

十二月				
日本郵船	三〇	一〇・〇	二八・〇〇	二二・八五
炭礦汽船	三〇	—	三一・〇〇	二六・二五
東京電燈	三〇	一〇・〇	六五・三五	六〇・〇〇
宇治川電氣	三〇	—	—	—
鐘淵紡績	三〇	一六・〇	一〇〇・〇〇	一〇四・〇〇
同　新	二五	一六・〇	八五・〇〇	八一・八七
富士製紙	三〇	九・〇	四五・一〇	四六・〇〇
大日本麦酒	三〇	二五・〇	八六・三五	八二・八〇
臺灣製糖	三〇	二二・〇	六八・三〇	六六・七五
人造肥料	三〇	二一・〇	三六・〇〇	三五・八五
日本石油	三〇	二〇・〇	一〇九・一〇	一〇〇・六五
東京株式	三〇	二二・〇	一三六・〇〇	一三五・三五
同　新	二五	二二・〇	一〇九・五五	九九・〇〇

東京米穀取引所定期相場

一月	二月限	三月限	四月限	
最高	三二・八〇	三二・八〇	三二・八〇	
最低	三二・一〇	三二・八〇	三〇・四〇	
平均	三二・六二	三二・九七	三二・八二	
二月	三月限	四月限		
最高	三二・七〇	三二・三〇		

最低	三〇・〇〇	一九・八〇	一九・八〇	一九・八〇
平均	三一・一五	三〇・八八	三〇・六六	
三月	三月限	四月限	五月限	
最高	三一・六〇	三一・四〇	三〇・九〇	
最低	三〇・四〇	三〇・四〇	三〇・八〇	
平均	三一・一八	三一・〇二	三〇・八六	
四月	四月限	五月限	六月限	
最高	三一・四〇	三〇・八〇	一九・九〇	
最低	三〇・四〇	三〇・一〇	一九・一〇	
平均	三〇・九二	三〇・六八	一九・九七	
五月	五月限	六月限	七月限	
最高	三〇・八〇	三一・一〇	二〇・六〇	
最低	一九・八〇	一九・六〇	一九・八〇	
平均	二〇・九五	二〇・八五	二〇・二六	
六月	六月限	七月限	八月限	
最高	三一・八〇	二〇・八〇	二〇・一〇	
最低	二〇・一〇	一九・八〇	一九・三〇	
平均	二一・二二	二〇・四二	一九・四二	
七月	七月限	八月限	九月限	

最高	二二・〇〇	一九・八〇	一九・八〇	一九・三〇
最低	一九・八〇	一九・二〇	一九・〇〇	一九・〇〇
平均	二一・〇二	一九・八六	一九・五七	一九・二一
八月	八月限	九月限	十月限	
最高	二〇・〇〇	一九・三〇	一九・三〇	
最低	一九・八〇	一九・〇〇	一九・〇〇	
平均	一九・九六	一九・一七	一九・一八	
九月	九月限	十月限	十一月限	
最高	一九・一〇	一九・二〇	一九・二〇	
最低	一九・〇〇	一九・〇〇	一九・〇〇	
平均	一九・〇六	一九・〇八	一九・〇八	
十月	十月限	十一月限	十二月限	
最高	二〇・〇〇	二〇・〇〇	二〇・二〇	
最低	一九・八〇	一九・一〇	一九・九〇	
平均	一九・九四	一九・九〇	一九・八〇	
十一月	十一月限	十二月限	一月限	
最高	二〇・〇〇	二〇・二〇	一九・九〇	
最低	一九・二〇	一九・三〇	一九・七〇	
平均	一九・〇九	一九・二一	一九・七八	

最高	二一・〇〇	一九・八〇	一九・三〇	一九・三〇
最低	一九・八〇	一九・二〇	一九・〇〇	一九・〇〇
平均	二一・〇〇	一九・八六	一九・五七	一九・二七
十二月	十二月限	一月限	二月限	
最高	一九・二〇	一九・二〇	一九・三〇	
最低	一八・〇〇	一八・四〇	一八・三〇	
平均	一八・六二	一八・八二	一九・〇二	

東京卸賣物價指數

（明治三十三年十月—一〇〇）

	總平均指數	前年同月
一月	一三三・八〇	一二八・三四
二月	一三二・二七	一二九・五四
三月	一三一・八三	一三〇・四八
四月	一三一・六三	一三一・一八
五月	一三一・一一	一三二・二八
六月	一三二・二九	一三三・〇四
七月	一三〇・六三	一三三・六四
八月	一三〇・二五	一三一・七七
九月	一三二・八六	一三〇・九五
十月	一三三・七一	一三二・三〇
十一月	一三二・四六	一三三・二三
十二月	一三一・四三	一三四・七七

大正三年（紀元二五七四年 西暦一九一四年）

【一　月】

一　日（木）

◇墨西哥國の反軍、官軍と激戰

墨西哥國アヂナガに於て突然五千名の反軍蜂起し、四千名の官軍と三十六時間激烈な戰鬪を繰返したが、官軍のため擊破された

三　日（土）

◇電氣工事規定改正法公布

逓信省は電氣工事規定第一章第三節を始め各條項に時代に適應した改正を加へ本日の官報を以て公布、即日施行

◇道府縣債の現在高

内務省調査に依る道府縣債總額は二億八千七百三十三萬七千二百圓で最高と最低額は左の如し（單位圓）

▽最高　東京一〇五、四三五、〇〇〇▽最低　滋賀縣一〇、二三七

四　日（日）

◇横濱鉄道軍神後藤田又七死去

本日心臟痙攣で死去、享年七十六。天保九年三州豐橋に生れ、横濱港で回漕業を營み、横濱船渠會社、第二銀行、明治生命、日本火災保險、日本ペイント會社、東明火災保險會社等の取締役、日本安全油會社長等に就任

五　日（月）

◇南京事件賠償金解決

南京に於て支那兵の掠奪を受け損害を被つた個人に對する日本側の賠償要求額九十餘萬圓は支那政府と駐支公使山座圓次郎との間に六十四萬圓に切下げ、本月末迄に全部交付するとの交渉成立し解決した

八　日（木）

◇東北救濟會の救濟事項協定

昨秋の米作不良のため新潟、宮城、福島、山形、秋田、青森、岩手、北海道、埼玉の道府縣に於て救濟を要すべき延人員九百三十七萬五千三百二十三人の多きに達し、これが救濟のため組織された東北救濟會は本日衆議院圖書館に於て開會。澁澤榮一男、農長大岡育造、輪長林田龜太郎、益田孝、東武、長晴登日下義雄、菅原傳、淺羽靖等出席、協定事項たる救濟寄附取扱銀行は澁澤男に交渉の上これを取極めること外三項を協定した

◇支那政府七開市を公示

支那政府は、歸化城、張家口、多倫諾爾、赤峰、洮南、龍口、胡盧島を開市した

◇南阿の鐵道工夫同盟罷業

南阿弗利加のヨハネスブルグ、トランスバール、オレジア地方の鐵道工夫は銀賃値上を要求し本日同盟罷業を決行、政府は聯邦軍隊を召集し十萬人の武裝隊を以て鐵道を破壞せんとする罷業團を鎭壓した、十五日同盟罷業の巨魁ベーン外十名の首領は官憲の手に逮捕され罷業は殆ど終熄した

九　日（金）

◇動産抵當府縣郡市貸付利率引上

同行は府縣郡市に對する貸付利率は年七分の規定であつたが、金融界の情勢に鑑み、町村その他の公共團體と同樣七分二厘に利上と決定、本日認可された

十　日（土）

◇南阿の坑夫反亂

南阿佛利加エーゲルスフオンタインの金鑛石鑛山に於て七千名の坑夫は反亂を起し、多數の白人を殺害した

十一日（月）

◇櫻島の大爆發

午前九時半櫻島の櫻島岳爆發し有毒瓦斯を

含む降灰と大震動の爲め同島の赤水、横山、小瀧、赤生原、貳村の五ケ村は半ば燒失し死傷二十七名を出し南九州一帶に降灰あり、鹿兒島市に於ても倒壞家屋百四十八戸、死者十一名を出し、安永八年十月十日(百三十五年前)以來の大噴火であつた

十三日（火）

◇東京市の通行稅廢止請願

東京市は理事會を開き通行稅廢止に關する請願書と意見書を起草し、更に委員會本會議を開き市長阪谷芳郎以下出席して修正可決し內務、大藏、遞信の三省に請願書を提出することに決定した

十四日（水）

◇警戒令廢止さる

樞密院會議を開き副議長芳川顯正以下出席、明治二十五年一月二十八日發布勅令第十一號警戒令廢止の件を附議し、時勢の進歩に伴ひその必要無しとの理由で御諮詢を仰ぎ可決した

◇列國の朝鮮居留地廢止承認

朝鮮居留地廢止に對し各國政府は承認し獨逸のみ遲延してゐたが、同國も本日正式承認の旨通告して來たので全部承認濟みとなつた

◇警視、總監、通行三稅廢止大會決議

憲政擁護會主催三稅廢止大會は東京築地精養軒に開會、尾崎行雄、犬養毅、東京市內各團體代表等五百餘名出席、八田祐次郎座長席に着き、惡稅中の惡稅として醬油、織物、通行の三稅廢止に關する宣言及び決議を可決し四十名の運動委員を設け實行委員と提携して廢稅の目的を貫徹することに決定した

◇東都帝大法科教授辭職事件

同大學法科大學長法學博士仁保龜松、教授小川鄕太郎は京都市內の各新聞記者の會同を求め總長澤柳政太郎は教授會の意見を尊重せず不信任の故を以て左の正教授は總辭職を爲す旨發表したが、二十四日文部大臣奧田義人と辭職教授と會見の結果、辭表を撤回して解決した

仁保龜松、戶田海市、織田萬、岡村吉、小川鄕太郎、勝本勘三郎、田島錦治、中島玉吉、山本羊太乃、山田正三、跡部定次郎、佐藤丑次郎、佐々木惣一、雉本朗造、毛戸勝元、千賀鶴太郎、末廣重雄

十五日（木）

◇明治神宮奉建地東京と決定

明治天皇を奉祀すべき神宮調査委員會は全會一致を以て奉建地を東京と決定し、敷地は代々木、名稱は明治神宮、社格は官幣大社に內定した

十六日（金）

◇元帥海軍大將伊東祐亨死去

本日午前七時死去、天保十四年五月二十日薩鹿兒島藩士祐典の四男として生れ、明治初年海軍に入り日清戰役には聯合艦隊司令長官として清國艦隊を殲滅偉勳を樹て、同三十一年海軍大將に進級、元帥の稱號を賜り、日露戰役には軍令部長の要職にあり、戰後功一級伯爵に陞叙され、大正二年十月大勳位を授けられた。享年七十一

◇佛國銀行の破綻

佛國のソシエテ・アウジリエア・ヴ・クレヂー銀行は支那と取引關係を有する銀行であるが、百六十八萬磅の缺損を生じ破綻した

十七日（土）

◇大禮期日御治定

京都市に於て御擧行あらせらるゝ天皇陛下御卽位の大典は本日官報號外を以て左の如く御治定發表せられた

▽卽位の禮　大正三年十一月十日▽大嘗祭　同年同月十三日

◇滿洲戰跡保存會に滿鐵寄附

滿鐵は滿洲戰跡保存會に對し金十五萬圓を寄附することを決定した

◇日淸汽船會社々長更迭

同社々長石渡邦之丞病氣辭任のため、後任は近藤廉平に決定した

十九日（月）

◇災害地免稅法律案提出

政府は水害以外の災害又は天候不順のため收穫皆無となつた府縣には地租年賦延納の方法を採つてゐたが、水害の場合と同樣租稅を免除するため本日衆議院に災害地地租法律案（八ケ條）を提出した、內容左の如し

北海道又は府縣の全部又一部に亘る災害又は天候不順によりて收穫皆無に歸したる場合其田畑地租納稅義務者の申請に依り其の年度に限り免除す

◇東京銀行倶樂部新築可決

東京銀行集合所總會は澁澤榮一男以下出席して開會、五十萬圓の工費を以て銀行倶樂部を和田倉門外に建築、敷地九百二十餘坪、建坪三百三十餘坪、三階建、本年三月起工、大正五年落成の新築案を可決した

◇宇治電と大阪市の電力供給契約

大阪市は市營電鐵營業上の經費を節約するため宇治川電氣會社と大正四年一月一日から同五年六月三十日迄最大電力四千キロワットを、又大正三年七月一日以降大正二十五年四月四日迄は最大電力二千キロワットを、市に供給するとの契約を締結した

◇支那答禮使節梁傑來朝

中國興業株式會社副總裁倉知鐵吉は大正二年渡支して日支兩國斯業提携に關し斡旋盡力したのでその答禮使として前駐日參贊官劉宗傑が本日來朝した

二十日（火）

◇愛知銀行、關戶銀行を合併

名古屋市の愛知銀行（資本金二百萬圓）は株主總會を開き、關戶銀行（資本金十萬圓）を合併の件を承認し、預金は全部愛知銀行に於て引受けることに可決した

二十一日（水）

◇シーメンス會社の海軍賄賂事件

獨逸の電氣機械製造業シーメンス・エンド・シュッケルト會社東京支店の元タイプライター係カール・リヒテルは東京支店から書類を窃取した廉で伯林の裁判所に於て懲役二年の判決を言渡されたが、リヒテルは同會社が註文を取るため、海軍に關する註文に就ては三割五分、無線電信請負に就ては一割五分のコンミッションを、在倫敦の海軍機關少將藤井光五郎、艦政本部第一部長少將岩崎達人に贈賄した旨陳述した、シーメンス會社は日本官憲に對する贈賄は獨逸人の取締役が承認したものでなく、日本人代理者によつて行はれたものであると辯明した

◇支那、佛國と飲愉鐵道借款成立

支那政府は佛國政府と六億法の飲愉鐵道借款を締結した

二十二日（木）

◇米國の排日法案審議無期中止

米國下院移民委員會は、カリフォルニア選出議員レーカー提出の亞細亞移民排斥法案に對し國務卿ブライアンが同委員會に親展書を送り同案の證人審問はこれを開催せぬよう忠告したため、長時間討議の結果同案の審議は無期中止に決定した

◇英・獨・墺銀行利下

歐洲の商工界は不活潑で資金の需要減退したゝめ英蘭銀行は割引歩合を四分に、獨逸帝國銀行は割引歩合を四分半に、伊太利中央銀行(二十日)は五分に、いづれも利下をした。

尙金融引緩みに正貨準備多額となり、英蘭銀行は二十九日更に割引歩合を三分に引下げた

二十三日（金）

◇衆議院豫算委員會で海軍收賄質問

本日の同委員會に於て立憲同志會の島田三郎はシーメンス會社から日本海軍に贈賄したとの事件に關し「政府は如何なる立證により國民の疑惑を解かんとするか」と質問し、海軍大臣齋藤實は「余は斷じて斯かることのこれなきを信ずるものである」と答辯した

二十四日（土）

◇加奈陀の東洋人排斥問題決議

加奈陀コロンビア州では果物農園大會を開き、亞細亞人入國禁止を政府に請願する件を可決した

二十六日（月）

◇臨時事件公債一千萬圓償還

政府は大正二年度國債償還豫算殘額を以て臨時事件公債（特別五分利）一千萬圓を償還することに決定、二月二十二日抽籤、三月二十四日償還の旨發表した

二十七日（火）

◇山本首相海軍收賄問題巷説

總理大臣山本權兵衛は宮中に參內 天皇陛下に拜謁仰付られ海軍收賄問題の御下問に對し恐懼奉答した

◇製糸稅全廢同盟全國大會の決議

同大會は東京築地精養軒に於て開會、星野錫座長席に着き「吾人の營業稅全廢を絶叫するは實に當業者の利害のみならず國家百年の隆盛に係るところ多きを信ずれば也」との宣言書及び「國稅營業稅は最大惡稅也本會は今期議會に於て飽迄之が全廢を期す」との決議案を可決した

二十九日（木）

◇衆議院で海軍收賄事件追求

衆議院本會議に於て立憲同志會の島田三郎は「シーメンス會社の海軍將官に對する贈賄事件に關し同會社を恐喝し二十五萬圓を取つた者はロイテル通信員ブーレーであるが海軍大臣はこれを知るや」と質問し海軍大臣齋藤實は「余もその事は知つてゐる」と答辯した

◇海軍收賄事件調委員任命

シーメンス・シュッケルト會社の海軍將官に對する贈賄事件に關し海軍省は軍事參議官海軍大將出羽重遠を委員長とし海軍中將吉松茂太郎以下十一名の委員を任命。委員の一人有馬良橋海軍中將は海軍創設以來の一大事であると時事新報記者に言明した

三十日（金）

◇海軍事件恐喝犯人ブーレー收監

シーメンス・シュッケルト會社から海軍贈賄事件を種に二十五萬圓を恐喝したロイテル通信員ブーレーは東京地方裁判所檢事局の取調を受け起訴され東京監獄の未決監に收容された、三十一日ブーレーの妻ローラは愛犬を刺刀を以て斬殺し、自分も咽喉を突刺し自殺を企てた

◇紡績聯合會支那關稅改正反對

同會委員寺田甚與茂、庄司乙吉、關東紡績會社代表日比谷平左衛門（鐘紡）和田豐治（富士瓦斯紡）柿沼谷蔵（東京紡）田邊熊一（日清紡）は東京築地新喜樂に會合、支那關稅改正のため綿絲百斤に對する從價三分六厘が五分に引上げられ、對支輸出に甚大の打撃をるるため政府の意向に就て田邊熊一をして質問書を提出せしめ、議會に於て反對を爲すことに決定した

三十一日（土）

◇支那・米國と三百萬弗借款成立

支那政府は米國政府と三百萬弗の山東運河借款を締結した

◇大住友の柱石・廣瀨宰平死去

大住友の柱石、初代宰相として、明治三十年に第一線を退くまで財界に重きを謳はれた廣瀨宰平は本日死去した、享年八十七。氏は近江國の產、北脇家の系譜に記された武家の出であるが、後廣瀨家の養子となつた。幼にして住友家別子銅山の勘定場の丁稚小僧を振出しに、主人友親の認むるところとなり、住友家江戸支店及び別子銅山支配人を經て大阪本店の一番々頭となり、大住友の經營、人事に手腕を現はした。關西實業界においても重きをなし大阪商業會議所、大阪株式取引所、製銅會社、硫酸會社等の會頭又は副長、社長を歷任した

【二　月】

一　日（日）

◇京都の營稅廢說大會決議

中正會、國民黨聯合主催惡稅廢止大演說會は京都市三條通青年會館に於て開會、清水仁三郎、森田小六郎、早速整爾、鈴木梅四郎、菊池武德等の廢稅に關する演說あり「國民の重稅に苦しむや久し本會は惡稅減廢の第一着手として營業稅織物稅及び通行稅の全廢を期す」外一件の決議文を可決した

二　日（月）

◇憲政擁護會の海軍廳海決議

憲政擁護會は臨時總會を事務所に開會、尾崎行雄、古島一雄、高木正年、伊藤仁太郎等出席、「帝國海軍をして國民疑惑の標的たるに至らしめたるは閥族政治の然らしむる所なり本會は國家の威信と帝國軍人の名譽を中外に完保するため憲政の本義に照らし藩閥打破と同一の精神に據り薩閥の根絶を期し海軍を廓清するを以て方今の急務なりと認む」との決議文を可決した

◇大安生命保險會社創立

横濱の大安生命保險株式會社（資本金百萬圓四分の一拂込）は本日横濱銀行集會所に於て創立總會を開き、左の役員を選任した

▽取締役木村利右衛門（社長）岩田惣三郎小曾根喜一郎、原六郎、安部幸兵衛、佐藤政五郎、大西正雄▽監査役田部幸七、上野清助、日比野芳太郎、田中善助▽顧問根津嘉一郎、渡邊福三郎

◇三菱合資會社の營事・部長任命

三菱合資會社銀行部長三村君平は營事に、同副部長串田萬蔵は銀行部長に任命された

三　日（火）

◇營業稅法改正案提出

政府は營業稅法改正法律案を衆議院に提出した、改正要點は物品販賣業は全體を通じ減稅・建物賃貸價格は千分の八十を千分の七十に引下げ、銀行業と保險業はこれを區別し銀行業は資本金額に對する稅率を千分の五より千分の四に低下、保險業はその稅率を千分の五より千分の二に輕減、金錢物品貸附業は千分の八十を千分の七十に引下げる

◇海軍贈賄犯人ヘルマン收監

シーメンス・シュッケルト會社東京支配人ヘルマンは海軍に對する贈賄及び横領の嫌疑で、東京地方裁判所檢事局の取調を受け東京監獄の未決監に收監された

◇鐵道外債二千五百萬圓成立

政府は鐵道外債二千五百萬圓の發行契約を倫敦に於て締結した。總額二千五百萬圓の中一千五百萬圓は三月十五日償還期に達する鐵道短期證券の償還に充て他の一千萬圓は大正三年度の鐵道資金供給及び預金部よりの借入金整理に振向ける

◇米國下院・亞細亞移民排斥案否決

米國下院は討議の結果移民法案に對するレ

トカーの修正した亞細亞勞働者を排斥する修正案を賛成六票に對し百八十二票の多數を以て否決した

四　日　（水）

◇日本生命保險會社增資

同社は大株主會を開き資本金百二十萬圓を百五十萬圓に增資する件を可決した

◇東洋移民會資會社西信增資

同社（資本金十萬圓）は株主總會に於て南洋、南米等の移民事業擴張のため四十萬圓に增資の件を可決した

六　日　（金）

◇海軍廳濟、廢稅問題全國有志大會

國民黨、中正會、立憲同志會、廢稅同盟會新聞記者聯合會主催の同大會は東京兩國の國技館に於て開會、海軍の積弊と苛稅の非を鳴らした決議を可決し、鳥田三郎、關直彥、尾崎行雄、早速整爾等の海軍廳濟と廢稅に關する演說があつた

九　日　（月）

◇全國記者大會の山本內閣彈劾決議

全國新聞通信記者大會は東京築地精養軒に於て開會、大谷誠夫開會の辭を述べ、東京新聞を代表し石川安次郎、芳賀榮太郎、東京雜誌記者を代表し永井柳太郎、地方新聞を代表し早速整爾が山本內閣の政治と海軍の腐敗を攻擊し「全國記者大會は以て國論指導の任に當らんことを決議す」と決議した

◇海軍廳濟大演說會と大隈伯の演說

同會は東京兩國の國技館に於て開會、黑岩周六座長席に着き「當路各大臣は闕下に伏骨を乞ひ陛下を天下に欺へ內外の疑惑を拂ひ國家の體面を保持するを以て當然と認む」との決議を可決し、大隈重信伯は演說會に出席し得ぬとて「予は本日約を屢み諸君に見ゆる能はざるを遺憾とするも諸館の國士は必ず意致の進歩に於て齟齬さるゝ所あるべきを信じ國家爲めにこれを祝すると共に愈々その結束を固うし一擧にして閥族の根柢を拔かんことを祈る」との意見書を提出、次で伊藤仁太郎、橫鞭崎雲城、田中善立、三宅雪嶺、佐々木安五郎、高木益太郎等の海軍廳濟に關する演說があつた

十　日　（火）

◇衆議院、山本內閣不信任案否決

國民黨、中正會、立憲同志會の在野三派聯合會から提案された山本內閣不信任の彈劾案は本日の衆議院本會議に上程され提案者を代表し犬養毅、島田三郎、花井卓藏は海軍問題シーメンス事件に關する山本權兵衛伯の責任を追窮彈劾し、政友會の鵜澤聰明、奥繁三郎松田源治は反對を表明、山本首相は「本大臣は輔弼の大任を有するを以て斯くの如き提案に對し容易に服すべきものではない」と述べ討論終結、記名投票を行ひ採擇の結果可とする者百六十四票、否とする者二百五票、四十一票の差を以て不信任案は否決された

◇帝都の國民大會と騷擾勃發

海軍廳濟問題に關する國民大會は東京日比谷公園松本樓に開會、中西正樹、大木彝太郎川崎鶴太郎、松村雄之進等の山本內閣彈劾の演說あり、「國民は衆議院に向つて現內閣の彈劾を要望す」との決議を可決した、夜に入つて日比谷公園音樂堂に集つた群衆は中央新聞社と每夕新聞社を襲擊せんとして警官隊のために阻止されたが、山下橋上で群衆と拔刀した警官隊が衝突し、群衆中五名は警官のためいづれも足部を斬られた、又群衆の一部は衆議院と海軍省を包圍し不穩の形勢となつたので麻布步兵第三聯隊から一個大隊出動し、警戒した

◇米國石油會社、陝西、直隸の石油權獲得

米國スタンダード石油會社は、陝西省及直隸省の石油採掘權を支那政府から獲得した

十一日　（水）

◇大阪市民大會と騷擾

同市民大會は大阪天王寺公園に於て開會、聽衆約二萬人に達し、午後四時頃殺氣立つた聽衆は政友會代議士三宅執秀、同法橋善作、シーメンス會社大阪支店、心齋橋筋の交番、政友會大阪支部、稅務監督局等を襲擊したが、警戒嚴重のため群衆は散り〳〵となつて引揚げた

十二日　（木）

◇衆議院豫算案を修正可決

衆議院は本會議を開き大正三年度の豫算案を上程、歲出臨時部一億六千萬圓の海軍充實費中三千萬圓を削除（政友會の修正）し左の如く可決した（單位圓）

▽歲入經常部五三四、三二八、六四五　臨時部一〇六、九〇一、九一一　▽歲出經常部四二五、二九二、〇二六　臨時部一八五、九三八、五三〇

◇大日本商工協會創立

全國商業會議所、東京實業聯合會等發起で東京日本橋倶樂部に於て大日本商工協會の創立總會を開き星野錫、中野武營、大橋新太郎等三百餘名出席、八ケ條の規約を制定し「本會は大正三年度より營業稅全廢の目的を貫徹せんことを期す」外一件の決議をなした

◇廢稅團と警官・軍隊で二百名檢擧

全國廢稅團體の運動員と群衆は開會中の議會を目覓けて殺到し夜に入つて中央新聞社、日比谷警察署等を襲擊し日比谷公園から神田區美土代町青年會館の演說會に向つた一團は神田橋の交番を襲擊し、日本橋方面では電車に投石して窓硝子を破壞、三百名の群衆は淺草橋から淺草公園に向つたので、警視總監安樂榮道は三百名の警官に拔劍を命じ、各方面で約二百名の群衆が警官隊のため檢擧された

◇支那陝西省の石油鑛採掘契約

米國のスタンダード石油會社は支那政府と陝西省の石油鑛採掘の契約を締結、利益の見込十分の時は米支合辦の中米合資會社を組織し六ヶ月以內に採掘に着手するとの條件成立

十三日　（金）

◇衆議院本會議未曾有の混亂

衆議院本會議は營業稅廢止案外九件を議題とし委員長奥繁三郎は委員會の經過を報告せんとしたが、中正會、立憲同志會、國民黨の聯合派代議士は手足を以て床と卓を叩き、未曾有の大混亂に陷り、立憲同志會代議士綾部總兵衛は演壇上の投票箱を踏みにじり議長大岡育造は已むなく警鈴を鳴らし散會を宣した

◇近畿記者大會惡稅撤廢會言

同大會は大阪市中ノ島大阪ホテルに於て開會、惡稅撤廢に關する宣言書と海軍問題に關し閣員の責任を糾彈する決議を可決した

◇本願寺襲撃事件で五名收監

京都市の本派本願寺の疑獄事件に關し京都地方裁判所檢事局の取調べを受けた後藤寬爾・本多惠隆、朝倉宣明、上原芳太郎、芳瀧智暴の五名は慈善、共保兩財團の資金に關し背任橫領及び文書僞造行使罪として京都監獄に收監された

十四日　（土）

◇衆議院營業稅廢止否決

衆議院本會議は營業稅法改正案の討議に入り國民黨、中正會、立憲同志會から提出した營業稅廢止法案は二百一票に對する百六十七票を以て否決され、結局委員會の決定通り政友會案の營業稅改正案（總額千八百五十三萬圓減稅）が可決された

◇第二國會民大會特業稅全廢の決議
「同大會は東京日比谷公園松本樓に於て開會江島久米郎會長席に着き、大阪の實業家堀田元次郎を座長に推し、國民は營業稅の全廢を要求す」との決議をなした

◇支那運輸鐵道借款成立
支那政府は英國との間に三十七萬五千磅の滬杭鐵道借款契約を締結した

十五日（日）

◇臺灣阿緱線開通
臺灣總督府鐵道の阿緱線、打狗、阿緱間は本日開通した

十六日（月）

◇貴族院に於て海軍收賄被告氏名言明
貴族院本會議に於て田健治郎男の質問に對し海軍大臣齊藤實は軍法會議に附せられた被告は海軍大佐澤崎寛猛、海軍機關少將藤井光五郎であると言明、田男の追窮に對し山本首相は未だ遽かにその責任を明言することは出來ないと答辯した

◇海軍大佐太田三次郎免官
海軍大佐太田三次郎は國技館その他の公開演說會に於て海軍攻擊を爲したゝめ政府は上奏の上嚴戒處分とし本官を免じ位記返上勳章褫奪の命令を發した

十七日（火）

◇通行外三稅廢止法案否決
衆議院本會議は通行、織物、石油稅廢止法律案を否決し、地租律案及び鹽專賣法廢止法律案を可決し、條令改正法律案は政友會の修正通り九州北海道に於て地租二厘を減ずる案を可決した

十八日（水）

◇電報統一に關する勅令公布
農商務省は繭質の改良整理を行ふため道府縣に設置する蠶種製造所規程を省令を以て公布したが、同時に職員待遇規定の勅令を公布し四月一日から實施した

二十日（金）

◇日本製鐵會社創立
同社（資本金二百萬圓）は東京日本橋倶樂部に創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役（會長）瀧澤喜平治（專務）宮內二朝、梳竹三右衛門、大塚金兵衛、原邦造渡邊四郎、市原求▽監査役高橋善十郎、村上秀四郎、渡邊告三▽相談役菊池長四郎

二十一日（日）

◇海軍廳濟會の大演說會
海軍廳濟會は免官となつた太田三次郎大佐の慰藉を兼ね東京兩國の國技館に於て海軍廳清大演說會を開き、村松恒一郎、高木益太郎伊藤仁太郎、三宅雄次郎、田中義一、關和知高橋秀臣、增田義一等の海軍廳濟に關する演說があつた

二十四日（火）

◇藏原惟郭代議士登院停止きる
衆議院本會議は立憲同志會代議士藏原惟郭が本月二十一日の本會議に於て在官數名の收賄に關する嫌疑事實を指摘した信書を朗讀し發信者の氏名の發表を院議を以て迫られたが應ぜぬため懲罰委員會に於て決定した通り二週間の登院停止を命ぜられた

◇石川鐵道會社創立
金澤市の石川鐵道會社（資本金三十五萬圓）は創立總會を開き、左の重役を選任した
▽取締役木尾久雄、小川德三郎、藤村藤作堀喜平、栗田末松▽監査役栗田悅次郎、大屋喜三郎、寺田五三郎

二十六日（木）

◇北海道炭礦汽船三分の一に減資
同社（資本金二千七百萬圓）は定時株主總會を開き資本金を九百萬圓に減資する件を可決した

二十八日（土）

◇大正二年度歳豫算追加案可決
本日衆議院本會議に於て大正二年度歳入歳出總豫算追加案及び同年度各特別會計歳入歳出豫算追加案はいづれも可決された（單位圓）
▽追加額歳入七、六〇九、一八二　▽歳出七六〇九、一八二

◇總部總兵藤代議士懲罰
立憲同志會代議士總部總兵衛は投票箱蹂躙の廉により本日の衆議院本會議に於て懲罰に附せられ謝罪文を朗讀した

◇高崎板紙會社の創立
高橋板紙株式會社（資本金八萬圓）は高崎市に創立、左記役員を選任した（日附不詳）
▽取締役井上保三郎、青木勘之助、小島彌一郎、荒川仙十郎▽監査役櫻井仙十郎、清水新一郎

【三　月】

二　日（月）

◇東京府農工債券追加發行
二月二十八日で締切つた東京府農工債券五十萬圓は、應募總額約百五十萬圓に達したので、更らに應募超過額五十萬圓に限り同一條件で、新たに第十六回募集として本日五十萬圓の追加發行を決定した

三　日（火）

◇相續稅改正その他衆議院を通過
本日の衆議院本會議に於て臺灣銀行法中改正法案、相續稅法中改正法律案、產業奬勵基金特別會計法案が可決された

◇高砂生命保險會社創立
同社（資本金五十萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役佐藤作二、三枝代三郎、辰澤延次郎、喜多太郎、田中秀四郎、男爵小澤武雄▽監査役土志田與助、木村德兵衛、濱地八郎

四　日（水）

◇前司法大臣松田正久死去
前司法大臣、政友會總務松田正久は胃潰瘍のため本日死去した。享年七十。明治三十一年六月大隈內閣の藏相として入閣、同三十三年十月西園寺內閣の文相、三十九年西園寺內閣の法相、明治四十四年第二次西園寺內閣の法相、第一次山本內閣の法相として五度凖閣に列した

五　日（木）

◇織物消費稅改正其他衆議院で可決
本日の衆議院本會議に於て織物消費稅改正案、蠶絲業法中改正法律案、通行稅法中改正法律案、船舶積量測度法案が可決された

七　日（土）

◇登錄稅、實用新案法衆議院を通過
本日の衆議院本會議で登錄稅法中改正法律案、實用新案法中改正法律案が何れも修正可決された

◇上海華商が長江運賃協定に反對
上海の華商維持會は本日の會合で、招商局が外國汽船會社と長江運賃に關し妥協的契約を締結せんとしてゐるに對し、反對の決議をした

九　日（月）

◇紡聯委員會の支那關稅問題反對決議
紡績聯合會は本日委員會を開き支那關稅問題に就き協議したが、結局最初の主張通り絕對的に反對運動を繼續することに決議した

◇上海紡績會社が百萬兩增資
上海紡績會社は本日の臨時株主總會に於て百萬兩を增資し新株二萬株を發行することを決定した。尙增設工場は二年內に完成し現在の生產力を二倍にする

十　日（火）

◇東京海上、自動車保險を開始

東京海上保險會社は、海上保險の外に火災運送及び我國最初の自動車の三保險營業の免許を得、本日より營業を開始した。自動車保險は普通、特約保險の二つに分れ、前者は火災、發火、盜難、衝突等による自動車々體の破損、及びこれによる第三者の財產の損害賠償で、後者は運轉中の事故による人畜の損害賠償金である

十二日（水）

◇大國費豫算を衆議院滿場一致可決

本日の衆議院本會議で大體費豫算を滿場一致で可決し、次で日本興業銀行法中改正法案を可決、更に關稅定率法中改正法案、質屋取締法中改正法案は何れも修正可決した

◇日魯漁業會社の創立

同社（資本金二百萬圓）は兩館に創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役田村市郎（社長）西村秀造、中山說太郎▽監査役恠野榮吉

◇支那鑛山條例を發布

本日支那の鑛山條例が公布された。內容は百十一箇條より成るが、第四條に、外人は中華民國人民と合同して鑛業權を取得する時は必ず本條例及び其他の關係諸法律を遵守し、外人及外人會社の引受株は全株の十分の五を超えてはならない規定を設けてある

十三日（金）

◇貴族院海軍費を削減

本日の貴族院本會議に於て海軍補充費問題が上程附議されたが、同問題に對し、山本首相並に內閣を彈劾する者多く多大の波瀾を惹起し、海軍補充費削減の修正案採決の結果、二百四十票對四十四票の大多數を以て修正案が可決された

◇東米取引所の不合格米調査決定

東京米穀商品取引所は本日仲買人委員會を開き、一回目の不合格米に對しては十石に付三圓、新規定二回目の不合格米に對しては同七圓、舊規定は五圓の罰金を賣方より徵收し、これを買方に交附し、新市六月から施行することに協定成立した

十四日（土）

◇農工銀行法改正案衆議院通過

本日衆議院本會議に於て農工銀行法中改正法律案が修正可決された

◇大阪商船の增資決定

大阪商船會社は本日の臨時株主總會に於て資本金千六百五十萬圓を二千四百七十五萬圓に增資の件を決定した

十五日（日）

◇全國記者大會の現內閣彈劾決議

全國記者大會は本日東京兩國の國技館に開會、尾崎行雄、島田三郎その他の演說あり、內閣不信任を表明し、內閣倒滅を決議した。尙大阪に於ても同樣に近畿記者大會を開き、東京大會と同じ趣旨の決議をした

◇秋田地方に地震、被害甚大

本日午前五時十分秋田市並びに縣下に大地震あり、家屋の倒潰、死傷夥しく電信電話不通となり、秋田橫手間を始め至る所の線路は破壞され奧羽線は不通となつた

◇衆議院議長・長谷場純孝死去

衆議院議長、長谷場純孝は心臟痲痺にて本日午前五時淺谷の自宅に於て死去した。氏は鹿兒島生れ內務省官房長を經て鹿兒島縣會議長となり第一期議會當初より衆議院議員に當選し明治四十一年衆議院議長となり、第二次西園寺內閣の文部大臣として臺閣に列し、本月六日大岡前議長が文部大臣に任ぜられた後を襲ひ議長に選擧せられた

十六日（月）

◇大正二年度追加豫算公布

今期議會の協贊を經た大正二年度歲入歲出總豫算追加並に同各特別會計歲入歲出豫算追加は本日官報を以て公布された

◇盤水港製鐵、臺東拓殖製鐵を合併

盤水港製鐵會社（資本金七百五十萬圓）は臨時株主總會を開き臺東拓殖製鐵會社（七百五十萬圓）を合併に決定した。尙臺東側も臨時株主總會を開き合併を決議し、定款變更の件を可決した

十七日（火）

◇取引所法改正案衆議院を通過

本日の衆議院本會議に於て左の法案が通過した

▽取引所法中改正法案外一件（修正可決）

▽印紙稅法中改正案二件（可決）

◇改正取引所法公布

改正取引所法は本日の官報にて公布、九月一日より施行と決定

◇花蓆組合の善後策協議

神戸、岡山、廣島、福岡の各花蓆組合同業者は本日神戸に會合し、花蓆檢査改正法案否決に對し善後策を協議の結果、左の三件を決議し、農商務大臣に陳情する事となつた

▽各產地に檢査所支部を設置▽不合格の刻印の廢止▽小物花蓆の檢査實行

十八日（水）

◇モスリン業者の鳴物停止決議

本月十六日より大阪、東京、東洋、上毛の四モスリン會社代表者會議を大阪に開き、本日の會議に於て各會社は一萬圓宛の保證金を提供してモスリン會社聯合會を設け、東京に事務所を置き規約の勵行を圖る事を決定し、同時に操業短縮につき聯合會は、來る六月一日から本年十一月三十日までの六ケ月間、各社共三割ヅヽの操業短縮をなす旨の決議をした

◇大阪鐵工所の組織變更

純多龍太郎個人經營の大阪鐵工所は資本金六百萬圓を以て株式會社に組織變更、本日創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役純多龍太郎（社長）山岡順太郎、村木正憲▽監査役甲賀卯吉▽支配人山口勉

十九日（木）

◇豫算修正の兩院協議會決裂

豫算の修正に關する貴衆兩院協議會は本日開かれたが、貴族院の海軍補充費四千萬圓削減案と衆議院の三千萬圓削減案との妥協は遂に成らず決裂するに至り、衆議院の修正案を原案として採決の結果、十對九で原案を可決した

◇砂糖消費稅の改正施行規則公布

政府は本日勅令第三十四號を以て砂糖消費稅法施行規則の改正を公布した。改正目的は臺灣總督府に於て同島產出の砂糖を檢査し、その消費稅を收めて居たのを大藏省直轄とした結果、改正を必要とするに至つたもので、從來移入は移入者の任意指定であつたものを大藏省指定の東京、橫濱、神戸、大阪、名古屋、四日市、門司、下關、三池、長崎の十港に限定し、この中より任意に撰ぶ事が出來るやうにしたのである。又工場、移出港內の倉庫及び內地精糖工場內の倉庫を總括して原料糖に對する製造場と見做し、消費糖に對するものは工場及び移出港內の倉庫に限つたのを今回前記指定地の指定倉庫をも消費糖に對する製造場と見做す事に改正された

二十日（金）

◇大阪紡績と三貴紡績の合併

本日の大阪紡績會社重役會議に於て、三重紡績會社との合併案を發表した。その條件は

一對一の對等で、本年六月二十六日に合併、新會社は東洋紡績株式會社と稱し、資本金は千四百二十五萬圓とす

◇福井縣の絹羽二重製織業者休業

生絲の高値に反し羽二重は暴落したゝめ福井縣の機業家は不引合に堪へ切れず操業短縮又は休業等を協議したが、絹羽二重業者は本日から休業する事に決つた

◇大正博覽會開會

東京府主催の大正博覽會は本日より七月三十一日迄の會期をもつて、上野公園に開催された

二十三日（月）

◇兩院協議會貴族院で譲らる

本日の貴族院本會議に於て豫算修正に關する兩院協議會案を附議したが大勢は依然として院議尊重が絶對多數を占め採決の結果、贊成者僅か十一名の小數で葬り去られた

一方衆議院に於ては同志會所屬代議士を除く全員の贊成を得て可決した

◇大正三年度追加豫算衆議院を通過

本日の衆議院本會議に於て左の議案を可決した

▽大正三年度歳入歳出豫算追加案▽大正三年度歳入歳出豫算追加案▽大正三年度特別會計歳入歳出豫算追加案▽豫算外國庫の負擔となるべき契約を爲すを要する件二件▽國庫課稅金端數計算法案

◇衆議院で航路補助案可決

本日の衆議院本會議に於て航路補助案が可決された。然し議會停會命令により會期が盡きたので同案は貴族院の審議未了により確定とはならず、次期議會を待つ事となつた

◇帝國議會三日間停會

本日、貴衆兩院本會議々事中、二十三日より二十五日迄三日間帝國議會停會の詔勅が發せられた

◇神戸市債二百萬圓發立

神戸市水道公債二百萬圓發行に關し、三井銀行との間に交渉中のところ利率年六分、價格九十二圓五十錢、五ケ年据置三十ケ年償還の條件で成立した

二十四日（火）

◇山本内閣總辞職

本年一月議會に於けるシーメンス事件擴大し内閣不信任案の提出あり、政府は議會を停會したが、政局擔當不可能のため山本首相は本日總辞職と決定、辞表を捧呈した

◇石川福井兩縣の羽二重機業休止

生産力旁大ゝ輸出不振並に原料絲價高のために福井、石川兩縣下の羽二重機業家は極度の經營難に陥り、之が對策を講究中のところ福井縣の栗田、武生方面の當業者は四月一日より、石川縣下の當業者は五月一日より夫々全然機業を中止する事に決定した

二十五日（水）

◇徳島縣船戸延長線開通

徳島縣下船戸驛より阿波池田に通ずる延長線二十六哩五分は工事竣工し、本日より開通した

◇萬世銀行の休業

東京神田須田町の萬世銀行（資本金七十五萬圓内四十一萬二千五百圓拂込）は親銀行の東海銀行からの援助にもかゝはらず破綻に頽したので、帳簿整理を名として本日より二週間休業を發表した

二十六日（木）

◇第三十一帝國議會開會

帝國議會は本日停會明けとなつたが既に會期滿了となり閉會を告げた

◇鴻鹿銀行休業

長野縣下高井郡中野町の鴻鹿銀行は支拂困難のため本日より四月二十日迄臨時休業する事となつた

二十七日（金）

◇周防銀行の臨時休業

山口縣の周防銀行は本日三週間の臨時休業を發表したが、この影響は頗る大きく、同地方の一般金融界は險惡な狀態を示したので、日本銀行、住友、三十四、三井各銀行は夫々應急の準備をした

◇大日本製糖の債權引直し決定

大日本製糖會社の債權者會議で借付金を社債に引直す件に就いて協議中であつたが、本日次の如き條件で同社債問題は解決した

▽既定契約に基き、會社が一ヶ年百十五萬圓以上の利益を收めたる場合年七分、それ以下に對しては五分とす

但し同社の成績は半期に於て利益金百三十萬圓である故年七分と決定

二十八日（土）

◇兵庫農工債券五十萬圓募集

兵庫農工銀行は四月十日から十五日までの期間に農工債券五十萬圓を募集する事を發表した、その條件は

▽利率年七分▽價格額面百圓に付九十八圓▽拂込、四月二十八日から五月一日迄▽利廻率、初回債還分（二年七ケ月目）年七分五厘九毛强、五回目債還（四年七ケ月目）年七分五厘九毛弱、最終債還（十七年一ケ月目）年七分二厘六毛强

二十九日（月）

◇湖南米の移出再禁止

昨年十二月廿五日以來移出解禁中であつた支那湖南米は、目下地方在米缺乏のため米價騰貴し、何儘の虞ある所から、本日より再び禁止となつた

◇北日本汽船會社創立

北日本汽船會社（資本金百萬圓）は本日創立總會を開き設立確定した

三十一日（火）

◇鎮閣の大命清浦子に降下

内閣組織の大命は本日午前十時子爵清浦奎吾に降下、よつて清浦子は直ちに閣員の人選に着手した

◇英支鐵道借款契約成立

南京より安徽省の寧國、徽州兩府及び江西省の南昌を經て同省萍鄉に到り、粤漢鐵道の支線萍鄉株州間の線路を含み、更に安徽省寧國、蕪國間、寧國、杭州間及び南昌、武昌間支線を含む合計一千哩の鐵道建設借款は、支那政府とセントラル・チャイナ・レールウエー株式會社代表者の間に本日契約が締結された。その條件は、金額八千萬圓、利子年五分擔保は該鐵道收入及び政府の保證で、技師長會計長、事務長は浦信鐵道の例により、總て英國人たること、償還期限四十五年である。なほ三千萬圓はすでに本月二十八日、倫敦で募集された

◇富士紡績、相模水力を合併

富士瓦斯紡績株式會社（資本金千六百萬圓）は相模水力電氣株式會社を合併、資本金を千八百萬圓に增資した（日付不詳）

【四　月】

一　日（水）

◇東成電車鐵路變更

京成電氣軌道會社は宿望の市川、船橋間電車路線變更の許可を得たので直ちに着工することゝなつた

◇大機銀行の取付

岐阜縣大垣市の同行（資本金二十萬圓）は本日より預金の緩慢なる取付に遭ひ五日迄に三萬圓を支拂つた

二　日（木）

◇三菱・十五銀行シンヂケート貸付調印

十五銀行と三菱銀行は本邦初めてのシンヂケートを組織し、丁酉銀行を通じ名古屋電燈會社に對して四百萬圓貸付の契約成立し、本日名古屋電燈との間に現金授受を了つた。貸付利率は年七分五厘（此外丁酉銀行の保證料二厘五毛）手形割引の形式で二ケ年を限り貸付、一ケ年後は爾後三ケ月前の通知を以て解除し得る

◇ペテルスブルグに大罷業

露都ペテルスブルグのプチロフ工場、砲彈製造會社を始めその他の製造工場の約六萬の職工は賃銀値上げのストライキを起し、各社とも當分作業開始の見込みがなくなつた

五　日（日）

◇第十四銀行、廣島殖産を合併

山瀬後藤を頭取とする廣島の第十四銀行は臨時株主總會を開き、從來の資本金十二萬圓（全額拂込）を百萬圓に增資の件を決議したが、更に資本金二十萬圓の廣島殖産銀行を合併することに決定した

六　日（月）

◇清浦内閣遂に流産

清浦奎吾子が大命を拜してから閣員の人選に苦心の結果、一兩日前までに海相を除く外は全部應諾を見たが、加藤友三郎との交渉不調の結果、海相の人選難に陷り、遂に大命を拜辭し、清浦内閣は不成立に終つた

七　日（火）

◇萬世銀行の休業繼續

三月二十五日より二週間休業の萬世銀行は更に八日から二十日間休業を繼續したが、二十八日に至るも整理の目鼻つかず、引續き同日より向ふ三十日間休業した

◇支那四川鐵道國有價格決定

支那四川省鐵道國有引渡委員は成都に於て調印、買收價格千二百七十萬兩と決定した

◇佛國の對支借款七千五百萬法發行

本日より巴里で發行される中國實業銀行發行の五分利附支那公債は一億五千萬法である が、その發行額は七千五百萬法で大總統がこれが責任を負ひ、用途は浦口の修築、北京市の電燈、電車、水道敷設等の事業に充てるもので、抵當は上記事業の材料建築物北京の市稅約四百萬兩で、不足の場合は中央政府一般の收入を加へる約があり、一株の額面は五百法（十五萬株）で、償還は十五年據置十六年目より五十年間に償還するものである。なほ發行價格は九十四法四分の一、即ち五百法に對し四百七十一法二十五である

八　日（水）

◇大阪堂島取引所の論場解決

堂島米穀取引所は本日仲買人總會を開き協議の結果、除名處分に付された五名の仲買人は除名を免れ廢業することゝなつたが、其中二名は除名處分に甘んじて廢業し、又賣買追證據金未納のため賣買を停止された三名の仲買人は賣米或は肩代りで解決し、なほ取引所は定款の制規に依り當日兩限の立會を停止し六月限りの形式的立會を開始せしめたが、主務省よりの警告により九日から本立會を開始した

◇北清に露々哈爾鐵道敷設

齊々哈爾の支那都督は各長官及び主立つた商人を招致して會議の結果、齊々哈爾、ヘイホ間鐵道敷設を計劃、地租を增徵し、營業稅を課し、これを建設費に充當し、なほ不足の時は外債補塡をなすことに決定した

十　日（金）

◇信貴山ケーブル認可

信貴山ケーブル鐵道會社は奈良縣生駒郡三

郷村大字勢野から同村大字立野に到る延長一哩二十九鎖、軌幅三呎六吋の鋼索鐵道敷設の免許を下附されたが建設費は二十萬圓である

◇支那興國と五十萬磅借款成立

支那政府はオースタリー政府と五十萬磅の第三次借款を成立した

十一日（土）

◇昭憲皇太后崩御

昭憲皇太后陛下には本日午前二時十分沼津御用邸において崩御あらせらる。實算六十五

十二日（日）

◇鳥河堺の金融機關・興業社創立

我國の中小商業者の金融機關として、株式會社興業社が創立された。同社は德久武治が東京日本橋魚市場組合頭取白澤武平等と共に歐洲の庶民銀行にならひ、在來の金融會社に多大の改善を加へ、魚河岸を中心に、市内日用品營業者間の金融機關の目的をもつて計劃したものである

十三日（月）

◇大隈重信に大命降下

清浦子の組閣ならず、大命拜辭の結果、本日大隈重信伯に組閣の大命が降下した。よつて同伯は直ちに組閣に着手した

十四日（火）

◇國民黨大隈内閣の支持を決議

國民黨は臨時代議士會を開き、犬養總務以下二十餘名出席大隈内閣の成立を希望し且つこれを援助する決議をなした。なほ附帶決議として、同内閣には何人も入閣せざることを申合せた

十五日（水）

◇丹後電氣鐵道敷設認可

鐵道院は、丹後電氣鐵道會社に對し、愛知縣中島郡一の宮町から同縣丹羽郡古知野町に到る五哩五十鎖、軌幅三呎六吋の鐵道敷設を認可した。資本金二十萬圓である

◇名古屋電氣鐵道敷設認可

名古屋電氣鐵道會社の、愛知縣丹羽郡岩倉町から同縣東春日井小牧町に至る延長二哩七十八鎖六十七節幅員三呎六吋の電氣鐵道は敷設認可を得た。建設費は十七萬圓である

◇藤相鐵道會社敷設認可

鐵道院は藤相鐵道會社に對し靜岡縣志太郡藤枝町より同縣岡部町に至る長さ三哩、軌幅二呎六吋の蒸氣輕便鐵道敷設を認可した。尙同建設費金は五萬千六百圓である

◇福井縣下織業家の同盟休機

福井縣下の機業家部長會議は生産調節問題につき協議したところ、全會一致をもつて五月一日より十五日迄、縣下全部の同盟休機を實行し、精練會社にも交渉して工場を閉鎖し休業することゝし、休機間は各職工に對し日給十錢を與へること、各部長は嚴重に休機實行を監視することを決議した

十六日（木）

◇大隈内閣成立

かねて組閣準備中の大隈内閣は、本日左の顚末れで成立し親任式が行はれた

▽總理大臣兼内務大臣大隈重信▽外務大臣加藤高明▽大藏大臣若槻禮次郎▽陸軍大臣岡市之助▽海軍大臣八代六郎▽司法大臣尾崎行雄▽文部大臣一木喜德郎▽農商務大臣大浦兼武▽遞信大臣武富時敏

尙ほ、鐵道院總裁には仙石貢、警視總監は伊澤多喜男、内閣輪長には江木翼が夫々任命された

◇讃岐電鐵が日本興業會社に身賣

讃岐電鐵は奏に船橋銀行に對する預金約二萬圓の回收難から苦境に陷つたが、社長才賀藤吉は岩下清周と協議の上、同電鐵を日本興業會社に賣却することに交渉成立した

十七日（金）

◇臨時議會召集

昭憲皇太后屍御につき五月四日より會期三日間臨時議會を召集することに閣議で決定、本日臨時議會召集の詔書が發せられた

◇周防銀行整理案決定

休業中の山口縣柳井町の周防銀行は株主總會で、損失金二十九萬三千餘圓の内五萬圓を頭取、十萬五千餘圓を重役が負擔し、殘額十三萬八千餘圓は諸積立金から補塡整理することを決議した

◇日本石油會社の賣止解除

日本石油並に寶田石油の兩社は本月十五日内外油協定成立を前に思惑買入が頻々とあつたので、これが防遏策として燈油並びに輕油の賣止を發表し實行したが、日本石油會社は本日これを解除し同時に燈油輕油共に十錢値上を發表した。これは右兩社協議の上であるが、寶田會社は品整理のため未だ賣止解除をしないが、追て日石と同一歩調を執ることになつた。外油關係は、スタンダード社が更に五錢値上することになつた

十八日（土）

◇日露電信連絡會議開かる

本月十二日來朝せる日露電信連絡會議露國側委員露國遞信省外信課長セルウッチ、同書記官シエドリングは本日遞信省通信局長室に於て本邦側委員田中通信局長、渡邊外信課長と會合第一回會議を開いた

二十日（月）

◇大阪の營業稅全廢運動

大阪の營業稅全廢期成同盟會は内閣更迭後も依然同會を存續し、大日本商工協會と提携して目的貫徹を決議し、大隈首相に宛て本日土居會長から陳情書を提出した

◇岩谷銀行小倉支店休業

廣島の岩谷銀行（頭取岩谷松平、資本金二十萬圓拂込七萬六千二百五十圓、諸積立金約五十萬圓）の小倉支店は廣島金融界恐慌の影響をうけ、本日より三十日まで臨時休業を發表した

◇米墨外交關係斷絶

墨國の米國水兵凌辱事件に關する米墨兩政府の交渉は墨國ウエルタ政府が屈しないため斷絶するに至り、米國大統領ウイルソンは國會に教書を送り、ウエルタに對し武力を用ふる權能を要求したので、國會は武力行使の權能を與へ且つ軍費支出を決議した

二十一日（火）

◇大阪、大社間直通列車開通

大阪、大社間の直通列車運轉は本日より開始された

◇米墨兩國遂に開戰す

紛爭中の米墨關係は、本日に到り開戰となり、米墨國境ヴェラクルーズの砲擊は米國水兵によつて占領された

二十二日（水）

◇博多鐵道會社の敷設許可

博多鐵道會社は福岡縣糟屋郡志免村から同郡須東村に至る七十二鎖六十五節軌道三哩六吋の敷設を免許された。建設資金三萬五千五百二十五圓である

◇九州鑛業會社創立

福岡市の九州鑛業會社（資本金二十萬圓）は創立總會を開き、左の重役を選任した

▽取締役稻富藤一、川越通靖、宮田左近▽監査役坪井乙熊

◇大阪對滿綿絲輸出組合許可

綿絲布滿洲輸出組合設立の件につき鐵道院當局と交渉中のところ本日許可となり、三井物産、日本綿花其他の組合員は今後の方針につき協議した

◇井原笠岡間輕便鐵道敷設免許

岡山縣の井原笠岡輕便鐵道會社は岡山縣小田郡北村より同郡矢掛町に至る三哩四十三鎖五十節の敷設を免許された。建設資金十萬八千五百圓である

◇墨國叛將の夢明と米國の要狙

墨國の叛將カランサは、墨國民はウエルタ政府を承認しないが、米國の侵入は墨國の獨立を犯すものである、とウイルソン大統領に通告したゝめ米國政府は狼狽し、形勢は一變するものと見られるに至つた

二十三日（金）

◇大山元帥・内大臣に親任

本日宮中に於て、元帥陸軍大將大山巖の内大臣親任式が行はれた

◇奉天支那紙幣兌換問題紛糾解決

奉天支那紙幣發行額は二千萬圓であるが正貨準備は僅かに二百七十萬圓なるため紙幣の信用はなく、古銀貨に對し百分の四下落して經濟界は恐慌を來してゐた折柄、交通銀行奉天支店が支那官憲の辯明にも係はらず兌換を拒絶したため在奉天日本商人との間に紛擾を釀し、本月十七日、三十名の日本人は黑龍江官銀號に押寄せ、同銀號代表者と嚴談の結果兌換を承諾せしめた。更に十八日、一同は奉天官銀號票二十萬圓の兌換を迫り辛うじて承諾せしめ、以後興業銀行、交通銀行支店の取付については商務總會が調停をすることゝなり、此問題は一應落着したかの如く思はれたが、其後支那側の態度は急變し、奉天官銀號は十九日に至り兌換を拒絶したので日本側商人は激昂し、一同打揃つて官銀號に三十萬圓の兌換を强要した。而して同紛擾は本日漸く解決を告げ、二十三日迄の要求五十萬圓は五日間に兌換し、二十四日以後の分は、この兌換終了後に行はれることに無事落着した

二十四日（金）

◇阿波電氣軌道會社の敷設認可

阿波電氣軌道會社は德島縣板野郡板西町より同郡松島村に至る四哩十二節、軌道幅員三呎六吋の輕便鐵道敷設を認可された。建設資金十八萬圓である

◇博濟生命保險會社創立

かねて創立準備中の博濟生命保險會社（資本金五十萬圓）は本日創立總會を開き、取締役に中澤彦吉（社長）西村四郎（常務）中村清藏、喜谷市郎右衛門の四名、監査役に中鉢美明、松本孫右衛門の二名を選任した

◇京都撚糸會社操短決定

京都撚糸會社は操業短縮問題に付協議中のところ毎月二回の定期休日の外、更に二日間の休業をなし整理の便を圖ることに決定した

二十五日（土）

◇東上鐵道・池袋川越線開通

東上鐵道第一期線としてかねて工事中の池袋、田母澤（川越町より二十丁距る）間二十哩九分は本日開通した

◇北濱銀行へ日銀支店融資

大阪の北濱銀行に對し藤田平太郎男は個人並に同行大株主の關係を以て日本銀行大阪支店に向ひ保證の地位に立つことを申込んだので、日銀支店もこれを承諾し、同時に應分の貸出を行ふと共に今後も或限度の融通を與へることに決定した

◇内外石油會社の値上號令

内外石油會社は本日を以て一齊に値上を發表し各種石油は悉く三十錢以上昂騰するに至つた。これは四社協定の結果であるが、長く問題となつてゐた内外油並に英米油間の値鞘は五錢と決定し、從來協定價格を妨げた契約を絶對に廢止する方針をとることになり、運賃補助、或は割戻し等は當然協定統一をとる

ことゝなつた

◇中國興業會社、中日實業會社と改稱

中國興業會社は本日定時株主總會を開き、中國興業會社の商號を中日實業株式會社と改稱し北京骨業所を繼續とし、中華民國内に於ける各骨業所統轄の任に當ることゝなり、重役の補缺增員には日本側から中島久萬吉男、（取締役）支那側は楊士琦、孫多森、田金筱李士偉（以上取締役）胡宗瀛（監査役）を選任した。更に重役會に於て楊士琦を總裁に、孫多森を專務取締役に互選した

◇高田米穀取引所解散處分さる

農商務省は奈良縣北葛城郡高田町の高田米穀取引所（會員組織）に對し、違法行爲の故を以て解散處分をなした

二十七日（月）

◇國債一千萬圓償還

大藏省證券は去る二月二十四日以後消滅し年度初めなるに伴はゞ國庫に餘裕を見せたので政府は金融の調節を考慮し、公債一千萬圓を償還することゝし本日左の如く發表した

▽償還すべき公債　特別五分利公債▽抽籤五月五日▽償還期日五月三十日

二十九日（水）

◇北濱銀行閉鎖寄書

大阪北濱銀行の取付は日銀の救濟資金の融通によつて破綻を免かるゝことゝなつた。同行の預金額は先月中旬の現在に於て、表面二千萬圓であるが、その内八百萬圓はその實債入金で、差當り取付を受ける性質のものは一千二百萬圓、更にその中六百萬圓は既に本月二十四日引出され、殘り六百萬圓は日銀にて保證することになつた

◇中華民國約法修正案可決

中華民國約法會議は本日の會議に於て大總統提出の約法修正案を全部可決した、その内容は（一）國家（二）人民（三）大總統（四）立法（五）行政（六）司法（七）參政院（八）會計院（九）憲法制定の手續（十）附則、合計六十八條條より成るものである

三十日（木）

◇大阪奈良間の電車開通

大阪、奈良間を連絡する大阪軌道電車は八百萬圓の經費と四ケ年餘の日子を費して全長十九哩三十三鎖の建設工事竣成し、本日から全線の營業を開始した

◇墨國休戰承諾

墨國假大統領ウェルタは、アルゼンチン、ブラジル、チリー等、南米のA・B・C三強國の調停によつて、米國と休戰することに同意した。然し叛軍との休戰には不同意なる旨を表明した

【五月】

一日（金）

◇全國の輕便鐵道認可數

鐵道院監督局調査による四月中に輕便鐵道敷設免許狀を下附したものは左記九會社、總延長三十二哩八十三鎖、資本金合計百四十六萬六百二十五圓である

名稱	哩數	資本金
茂木鐵道	五、七二	二五〇、〇〇〇圓
池上電鐵	六、三二	四〇〇、〇〇〇
藤相鐵道	三、〇〇	五一、六〇〇
丹葉電鐵	五、五〇	二〇〇、〇〇〇
名古屋電鐵	二、七八	一七〇、〇〇〇
東上鐵道	一、三六	六五、〇〇〇
井原笠岡輕鐵	三、四三	一〇八、五〇〇
博多灣鐵道	〇、七二	三五、五二五
阿波電氣	四、〇〇	一八〇、〇〇〇
計	三二、八三	一、四六〇、六二五

◇大正興業株式會社成立

同社（資本金三百萬圓）は伊藤傳右衛門所有の炭坑荒手、中鶴・牟田、泉水の各炭坑合計二百六十餘萬坪の採掘及販賣を古河合名會社と共同經營するもので社長伊藤傳右衛門、專務取締役は古河西郷興業所長井上貞次と決定

◇不二興業株式會社創立

大阪市の藤本合名會社は日韓併合前から朝鮮の土地經營に着手してゐたが今回百萬圓の株式組織に改め株式は主としてその所有土地（六十萬圓）を提供し、その他現金約二十萬圓の拂込をなし、これを流通資本とし、從來藤本合名土地部の首腦者たりし藤本寛太郎が專務取締役として經營の任に當ることに本日の創立總會で決定した

一日（土）

◇逗遛團一の支那視察

男爵澁澤榮一は孔子廟孟子廟參拜並に日本と支那實業家間の意志疎通の目的を以て、馬越恭平同伴、嗣子武之助、明石第一銀行副支配人、大澤正道、增田明六、堀井醫師等を隨へ本日午前八時三十分新橋發の列車で支那視察の途に上るつた

三日（日）

◇東京電燈會社の定員淨汰

同社は經費節約事務刷新の目的を以て冗員の淘汰を行つたが、その淘汰人員は課長技師以下二百三十五人、日給雇員二百七十八人、合計五百十三人の多數に上り、その節約額は給料雜費その他の諸經費を合せ約二割に達し一ケ年の節約金額は二十萬圓に上る

四日（月）

◇臨時議會の御大喪費豫算可決

昨意皇太后陛下御大喪費爽協賛のため本日臨時帝國議會召集、會期は三日間、貴衆兩院は六日の議會に於て全員總起立、原案を可決した。御大喪費は百二十三萬三千八十四圓

◇シーメンス事件關井少將の敬語額證言

海軍省は、シーメンス事件に關する海軍少將關井光五郎に對する被告事件について同人は明治四十四年シーメンスシュッケルト會社より軍艦金剛に要するものに付五分、其他の物品に就き二分五厘の各コンミッションを約束した證疑があるので、高等軍法會議において取調べたところを次のやうに發表した

一、明治四十四年一月以降同四十五年一月頃までの間に於て軍艦金剛の契約に關し、英國ヴキッカース造船會社より二十三萬圓餘を貰ひ受けた

一、同じく四十五年末までに物品購買に關し數度に英國ウェーヤー會社より三萬九千餘圓及び自動車一臺を貰ひ受けた

一、同じく大正元年九月までの間に英國ヤロール會社より二萬六千圓餘を貰ひ受けた

一、同じく四十五年三月まで職務に關し英國ヤロール會社より九千七百圓餘を貰ひ受けた

一、明治四十五年七月軍艦比叡ダービンの購買に關し英國ヴキッカース造船會社より四萬八千圓餘を貰ひ受けた

◇岡山縣の二銀行休業

岡山縣赤磐郡瀬戸町にある赤坂銀行（資本金六萬圓）及び同銀行と親子の關係にある穂崎貯蓄銀行（資本金三萬圓）の二行は取付を受け本日より向ふ二十日間の休業を發表した

◇神戸市鳴寸職工の同盟罷業

同市の舞寸兎木地職工四百五十名及び同下取の職工四百五十名、合計九百名は賃銀値上を要求し同盟罷業を決行した

◇パナマ太平洋博事務局官制公布

政府はパナマ太平洋萬國博覽會參加に關する一切の事務を掌るため、臨時博覽會事務局官制を發表、同時に正副總裁及事務官長を左

の如く任命した
▽臨時博覽會事務局總裁、農商務大臣子爵大浦兼武▽同副總裁海軍大將男爵瓜生外吉▽同事務官長臺灣總督府專賣局長山脇春樹

◇英國、四川省の石油採掘權獲得
英國は支那四川省における石油採掘權を獲得した

七　日（木）

◇シーメンス事件第一回公判
シーメンス事件第一回東京軍法會議公判は海軍省構内公判廷に於て開廷。判士長は軍事參議官海軍大將男爵片桐七郎、被告は海軍大佐澤崎寛猛。翌八日は松本和中將の第一回公判が行はれた

◇國債、濱松兩銀行合併
遠州濱松なる西遠銀行（資本金百萬圓）資產銀行（資本金九十萬圓）濱松銀行（資本金五十萬圓）の三行は三四年前より合併の意あり、互に交渉を重ねてゐたが、そのうち、資產銀行は合併を念がないので西遠、濱松兩銀行のみ先づ合併することゝなり、本日相互事務の取扱を開始した。合併條件は兩行共資產狀態その概略同一なるを以て對等とし、西遠銀行の名義を踏襲することに決定した

八　日（金）

◇三井物產會社の職制改革
同社は重役會議を開き新營業方針を決定したが、それによると從來常務取締役たる飯田、山本、岩原、福井等は各方面を分擔して部長たるの觀があつたのを、今後は三常務（渡邊專次郎、福井菊三郎、藤瀨政次郎）連帶會議の上、全般の業務を總指揮するに決し、本店內には庶務、會計、出納、人事、調査の各課を撤廢して、業務、人事、文書、調査、會計の五課とし、本日左の如く各課長の任命發表を見た
業務課長兼人事課長藤村義朗、文書課長田中文藏、調査課長心得田中實、會計課長心得御木本德松

◇日本興業會社の新株拂込
日本興業株式會社は各方面に對する當面の債務百三十萬圓を有するが、右債務整理のため今回二百萬圓の優先株に對し一株十七圓五十錢即ち總額に於て七十萬圓の第二回拂込を徵收することゝなり本日その通牒を發した。同社現在の拂込株金は百五十萬圓、この第二回拂込により殘額は八十萬圓となる勘定である

十　日（日）

◇南豐鐵道伊作加世田間開通
鹿兒島縣下に敷設中の同鐵道工事中、伊作加世田間は本日より開通した

十一日（月）

◇東王電氣軌の重役改選
京王電氣軌道株式會社は社長川田鷹以下重役總辭職をなし臨時總會の結果取締役に川田鷹（社長重任）小田切忠四郎（新任專務）藤井諸照、井上平左衛門（重任）監査役に渡邊嘉市、伊藤幹一が就任することに決定した。總辭職の理由は營業成績不振と資金調達困難のためである

◇仕業中の安藝貯蓄銀行開店
廣島市塚本町の同行は前年十二月十日取付に遭ひ休業中のところ本日より開店、小額預金者より支拂を開始し、缺損三十萬圓は資本金五萬圓と、積立金七萬五千圓と重役の財產十二萬圓を以て補塡し、尙不足分は監査役が分擔し、漸次支拂ふことに決定した

十二日（火）

◇火災保險會社協議會の決臨
火災保險會社協議會を大阪ホテルに開催、協定協議の豫備行爲として、倉庫保險に對し

外國火災保險と協定の必要なる以上、日步特約の廢止を爲すこと及び組合特約のものは本日限り解約を爲すことの決議をした。參加會社は日本、明治、東京、共同、横濱、神戸、豐國、浪速、日濟等の代表會社である

十三日（水）

◇日本貯蓄銀行支拂開始
前年十一月二十八日支拂停止をなした東京市神田區表神保町の同行は內部の整理成り、本日より五圓以下の小口預金に對し支拂を開始した

十四日（木）

◇朝鮮運輸社々債成立
備後朝港より福山に至る朝鮮道會社は、かねて帝國生命との間に社債借入れ交渉中であつたが本日十五萬圓の社債成立した。條件は利率年八分、償還期限七ヶ年である

十五日（金）

◇大藏內閣の非募債政策表明
首相官邸に開かれた地方長官會議席上、大隈首相は「政府は公債又は借入金に資源を求むる歲出を成るべく減少すると共に內外市場に向つて公債の募集を爲さゞるべく且つ大正四年財政計劃と相俟ち公債整理の方法を改むべし。政府は地方債の濫發を防ぎ、その他地方財政の整理を爲すべし」と、非募債主義を表明した

◇南滿洲鐵道會社の組織變更
南滿洲鐵道株式會社は重役業務分掌主義により幹部組織を變更し、各課の上に部局を置き、重役を部局長とし、總裁これを統率するに決し新職制を發表した。部局別は總務部、事務局、交渉局、技術局、滿鐵部、工業部、經理部、地方部の五部三局である

◇眞宗信徒生命保險會社の改稱增資
本派本願寺の經營する眞宗信徒生命保險株式會社は本山の威信失墜のため少なからざる打擊を受け、そのため本山との關係を絕ち、社名を共保生命保險株式會社と改稱、資本金五十萬圓を百萬圓に增資した

十六日（土）

◇シーメンス事件の變態調書發表
同事件の被告、海軍中將松本和、同大佐澤崎寛猛、海軍造兵中監鈴木周二に對する豫審調書が發表された

二十日（水）

◇日比谷平左衛門銅像
日比谷平左衛門は多年本邦紡績業に貢獻せる功勞により特旨を以て正六位に叙せられた

二十一日（木）

◇震濟火災保險會社々長更迭
同社々長土子金四郎病氣のため辭職し、小野光景社長に就任した

二十二日（金）

◇大隈內閣財政方針の聲明書發表
大隈內閣が本月十五日、財政方針を發表し所謂非募債主義その他で消極方針を發表したので我が經濟界に何等か急激なる變動を與へるやに思はれ、兩三日來株式の暴落を示し、市場の動搖を來たしたので、政府は更めて聲明書を發表した

◇朝鮮地方金融組合令公布
朝鮮の地方金融組合令（九月一日施行）及び農工銀行令（七月一日施行）は本日制定公布された

◇モスリン其他生產制限論起る
モスリン、綿紡績、製紙、燐寸等は何れも事業不振のため、生產制限等につき各業者間に協議が行はれた

二十四日（日）

◇岡富皇太后御大喪儀
日比谷平左衛門は多年本邦紡績業に貢獻せ

二十四日より二十六日まで三日間昭憲皇太

居御大喪儀行はせられ同時に廢朝仰出さる

◇臺灣救濟資金六十萬圓下賜

長き渉りにては、臺灣救濟資金として御內帑金六十萬圓下賜の御沙汰あらせられた

二十七日（水）

◇日本石油の秋田油田自噴、採掘罫讃

日本石油株式會社所有の秋田油田に於けるロータリー掘井成功し、一日一萬二千石に上る大噴出をなし、日石株は暴騰した。八十餘圓の日石株が本日は二十圓高、更に連日三十圓五十圓と急騰し、三十日の前場には東株・郵船、鐘紡等まで三、四圓の奔騰を示し、日石は百五十圓、百七十圓と暴進し、遂に二百圓を突破し、市場全く混亂を來し、立會を停止した

二十九日（金）

◇シーメンス事件鳥賣側判決

東京軍法會議に於ける海軍收賄事件は左の如く言渡があつた

海軍中將松本和は懲役三年、金四十萬九千八百圓の追徵。同大佐澤崎寛猛は懲役一年金一萬一千五百圓の追徵。海軍造兵中監鈴木周二は免訴

三十日（土）

◇紡績聯合會は操短協議會を大阪ホテルに開催。八月一日より向ふ六ケ月間一ケ月四晝夜休業する案を討議したが、遂に右案は不成立に終つた

【六月】

一日（月）

◇郵便貯金利上決定

逓信省と大藏省との間に懸案となつてゐた郵便貯金利上は四分八厘と決定した

◇佐土原、妻間の輕便鐵道開始

宮崎縣佐土原妻間の輕便鐵道は運輸營業を開始した。其哩程佐土原黒生野間二哩六分、黒生野妻間二哩一分

◇鐵道電度事務方針決定

鐵道院に於ける大正三年度の建設費は一千五百四十萬圓だが新規事業には着手せず現在着工中のものゝみに對しその完成を圖ることに決定。三年度開業の分二百四十一哩三十三鎖。四年度開業の分三十二哩四鎖

◇村上、川內間線の開通

村上線は既設新發田驛より新潟縣村上に達する線のうち同縣下中條町に至る八哩一分、川內線は既設串木野より終點鹿兒島縣川內町に至る七哩五分が開通した

◇モスリン會社總會開始

各モスリン會社は、本日より五割の操業短縮を實行することゝなり、早朝各社互に委員を派して器機事務に封印を施した

◇東北・九州災害救濟義金の分配

大隈參謀內相は、東北の凶作、九州の災害救濟會第三回義捐金七十七萬七千圓を左の如く分配した

北海道十四萬六千圓、青森十二萬圓、宮城九萬圓、岩手八萬八千圓、福島六萬三千圓秋田六萬六千圓、山形四萬圓、鹿兒島十六萬四千圓

二一日（火）

◇全國メリヤス同業組合聯合會組織

全國メリヤス業者は、東京に於ける大正博覽會開催を機として大會を開催、出席者六百五十餘名、全國同業者組合聯合會組織を決議した

◇愛知貯蓄銀行重役召喚さる

名古屋市の愛知貯蓄銀行は內部の窮狀暴露して牧野監査役等召喚された

三日（水）

◇三井家の合議制決定

三井家は、從來銀行、物產、鑛山の三部が各自獨立制を以て事に當つて來たが、海軍贈賄事件等の發生に鑑み、三井物產會社が重役會議を實行してゐると同樣、今後はその各自の獨自性を解消して一切合議制に改め、不祥事件の發生を未前に防ぐと同時に、平素養成せる人材を活用する方針に決定した

◇松方神戸商業會議所會頭辭任

神戸商業會議所は、營業稅全廢問題に對し全國會議所と行動を共にし廢稅運動に盡力したに拘らず、會頭松方幸次郎は議會に於て廢稅案に反對を表明したので、會議所側との間に衝突を來し遂に會頭を辭任した

四日（木）

◇治水特別會計廢止に決定

治水特別會計の財源は府縣分擔金と、その一部は借入金によりこれを支辨して來たが、大正四年度よりは從來の借入財源を廢し、一般會計の支辨と府縣分擔金とによつて事業を遂行することゝなり、その結果現在の治水特別會計の存置は不必要となつたので明年度より治水特別會計を全廢と決定した

◇北濱銀行の後任別取決定

北濱銀行は大株主會の決議に基き藤田男、杉村、谷口等の推薦に依り新重役を選任したが、その結果岩下清周の後任として杉村政太郎が新頭取に決定した

五日（金）

◇日本興業銀行定款變更可決

興銀の臨時株主總會は、東京の時事新報社に開會、內外國各地方便宜の地に支店、代理店を設置し、又は他の銀行とコルレスポンデンスを締結する件及び理事「四人」を「三人」に改める件等の定款改正を可決した

◇東東瓦斯會社の改革

同會社は經費を節約するため總務、營業、工務の三部を廢し、人員三百餘人を淘汰することに決定、その結果節約せらる可き經費は三十餘萬圓である

◇吉長鐵道借款中止

滿鐵に對し支那政府より交涉中の吉長鐵道百萬元の借款は擔保不充分の爲中止となつた

六日（土）

◇全國保險業者大會の決議

第三回全國保險業者大會は東京麴町區生命保險會社協會に開催、全國より出席者約三百名、左の三件を可決した

一、吾人全國保險業者は帝國領土內に於ける保險業に關する現行の法制は統一を缺き甚しく斯業の發達を阻害するを認め其の速に統一せられんことを希望す

二、類似保險の取締に關し政府當局に建議すること

三、次回の全國保險業者大會を五ケ年以內に適當の時期に於て開催すること

八日（月）

◇前大藏次官熊田主計遺歌

露、獨、英、米、佛の政治經濟視察のため新橋驛より出發した

十日（水）

◇絹業試驗場設立陳情

横濱輸出絹物同業組合は横濱に絹業試驗場設立の必要ありとし農商務省に設立の陳情書を提出した

十一日（木）

◇全國實業家代表に令旨

大隈重信首相、大浦兼武農相は、今日の狀態に於ては特に我國は產業振興の急務なるを感じ、其實効を見るは政府のみの努力では達し得ず、官民一致して事に當りたいとの見地から、全國約三百名の實業家を招致し激勵す

る所があつた。これら實業家に新宿御苑の拜觀が差許され、台臨の伏見宮貞愛親王殿下より左の令旨を賜つた

字内經濟の狀勢を察するに產業の擴興殊に緊切なるを惟ふ、朝夕夙に職に盡し業を勵むこと多年其勞洵に鮮からず、自今益々精勵事に當り朝野力を戮せ以て國運の伸暢に資せむことを望む

十二日（金）

◇生絲の露國直輸出開始

露都モスコー行生絲二十九俵（內横濱原商店十俵シーバヘクナイコムパニー十九俵、價格二萬九千七百二十六圓）は、本日鳳山丸で輸送されたが、歐露行生絲の直輸出はこれを嚆矢とする

十三日（土）

◇農業家の米價調節請願

首相、農相の招致に應じて上京中の實業家のうち農業家は、首相、藏相、農相に對し左の陳情をなした

一、中小農を愛護し以て農村の健全を圖ること

一、米價の激變は農家經濟を動搖すること大なり宜しくこれが調節を圖ること

一、農家は負擔の過重に堪へず宜しくこれが輕減を爲すこと

一、農耕地となるべき土地少からざるも水利其他の施設完備せざる處多し宜しく適當の策を講ずること

一、既設農業機關を活動せしむること

一、農村教育の充實を圖ること

一、道市縣の特殊なる狀況は當該府縣より陳述することあるべし

十四日（日）

◇古口、清川間の鐵道開通

山形縣酒田線の古口、清川間（八哩七分）の鐵道は本日より開通、一般鐵道運輸營業を開始した

十五日（月）

◇遞信業一男の歸朝

五月二日東京出發支那各地漫遊の途に上り歸途大連、旅順を視察し別府、大分、廣島、大阪、京都に立寄つてゐた遞信業一男、馬越恭平の一行は本日歸京した

十七日（水）

◇全國商工大會の營業稅全廢決議

全國商工協會は營業稅全廢問題討議のため東京商業會議所內に大會開催、地方支部十三、遠路ある商工團體二十七、人員約二百名出席、營業稅全廢の決議をした

十八日（木）

◇原敬政友會總會となる

政友會は各團體會議、協議員會、相談役會に引續き大會を開き、原敬を總裁に推薦、當制改革及宣言を發表した。宣言の內容は、東洋平和の維持を强調し、更に大隈內閣の消極主義に對して積極政策を主張したものである

十九日（金）

◇小坂鑛山の煙害豁害期滿大會

秋田縣鹿角郡毛馬內町有志は同郡所在小坂鑛山の煙毒が年々增大して來たので、除害期滿同盟會を組織したところ被害地各町村より入會者二千餘名に達し、本日同町內に大會を開催、氣勢をあげ結束して本問題の解決に邁進することゝなつた

二十日（土）

◇第三十三臨時議會の召集

政府は本日より七日間の會期をもつて海軍軍備補充計劃に關する追加豫算案附議のため臨時議會を召集した

◇日支間に電線敷設豫約成立

上海陸上設備に就き支那政府の苦情のあつ

た上海長崎間海底電線敷設契約の件は大總統の批准により日本の要求通り成立した

◇內國生命保險會社解散

內國生命保險株式會社は一時一千五百萬圓（被保險者約五萬人）の保險契約を有してゐたが、命令違反の事實が發覺し、農商務省から保險法第百五條に依り事業を禁止せられ解散した

二十一日（日）

◇東京毛織會社の罰金罷業

東京モスリン（明治二十九年創業資本金二百萬圓）は一般市況不振のため操業三割減となし、更に五割減を斷行、男女工合せて千名を解雇した。その上更に殘存職工約二千五百名に對して、一割五分乃至二割の賃銀値下を宣告したので不滿一時に爆發し、同盟罷業となり一時暗雲を孕んだが、小松川署の注意により押上倶樂部に立籠中の職工より十七名の役員を擧げて交渉の結果、同日午後十時に至り、二ケ月間景氣の如何を見るまで暫定的に値下げを實行し、回復すれば賃銀を從前通り給與し、若し値上げを爲す能はざる場合は相當の解雇手當を給與することとなり直ちに就業し一先づ解決した

二十三日（火）

◇東華銀行頭取・中島彌太郎死去

東京京橋區南傳馬町東華銀行頭取中島彌太郎は腦溢血のため本日死去、長野縣松本市在の出身、九州に炭礦を經營、北海道に中島農場を起した、享年五十四

二十六日（金）

◇內國生命保險會社々長等起訴

內部に不正行爲があつて解散の已むなきに至つた內國生命保險株式會社々長川村寬裕並に取締役西尾雲美は豫て東京地方裁判所竹內檢事の手で取調中のところ、農商務省の命令に違反してゐるので起訴收監された

二十七日（土）

◇代用米上場撤廢勅令實施

東京米穀商品取引所は臺灣米代用撤廢認可の指令に接したので九月限以降代用を廢止する旨本日揭示した

◇東津生命保險會社の借額增資

東洋生命保險株式會社は資本金五十萬を一百萬圓に倍額增資し主務省の認可を得た

二十八日（日）

◇墺國皇儲同妃暗殺

墺地太利皇儲フランツ・フエルジナンド殿下及同妃殿下は本日ボスニヤ州の首府サラエヴオ市に於いてセルビヤ人兇漢の狙撃を受け兩殿下とも絕命遊ばさる。因に未曾有の歐洲大戰亂の勃發は、實に此の事件が端緒となつたものである。

二十九日（月）

◇取引所令及び施行規則公布

全文二十ケ條より成る取引所令は勅令第百三十七號及び全文三十ケ條より成る取引所法施行規則は農商務省令第十六號を以て何れも本日の官報で公布された

◇大阪株式取引所の手數料問題解決

委員と評議員の間に意見の一致を缺き紛擾を重ねてゐた大阪株式取引所の手數料問題は本日中間總會開催の結果兩者の意見一致し、新法令實施後に於ける市場の賣買は倍加するものと見て之より生ずる收入を三分し、其一分は仲買に割賦し、三分の二を取引所の所得となるべき標準を以て打算し、又輸入手數料と之に取引所稅を加算したものから一割五分を差引いたものとすることに一決した

三十日（火）

◇全國私設鐵道運賃哩程

全國各地の私設鐵道哩程は逐年增加の一方

であるが、鐵道院の調査によれば、全國各私設鐵道會社の總數は大小七十一社に上り其總運轉哩程は千四百三十七哩六分で其内譯は左の通り。因に臺灣の輕鐵は主として製糖會社の經營に屬する

▽本州私設鐵道總哩數百三十哩七分▽輕便鐵道六十五社總哩數九百二十二哩五分▽輕便を混じたもの總哩數百三十二哩五分▽朝鮮輕便一社總哩數五哩八分▽臺灣輕便五社總哩數二百四十六哩一分

◇横濱船渠會社の重役改選

横濱船渠會社では定時株主總會の後、臨時總會に入り重役の改選を行ひ、取締役會長原六郎（重任）專務取締役山田眞吉（新）取締役來栖壯兵衛（前專務取締役）茂木惣兵衛（新）須田利信（新）近藤滋彌（新）臨査役石川穆右衛門、中村房次郎、相談役は近藤廉平に決定した

【七　月】

一　日（水）

◇軍隊出發の盛況引揚延期

墨國居留民保護のため派遣中の帝國軍艦出雲は七月末日に同地を引揚げ歸航する豫定のところ同國の狀態は尙不穩なので警戒を要するため外務、海軍兩省打合せの結果引揚を延期することになり、その旨本日同艦長森山大佐に打電した

◇本年度追加豫算公布

第二次臨時議會の本年度追加豫算は本日官報で公布された。追加額六百五十二萬六千圓は全額軍艦建造費に充當される

◇地方債中の外債未償還額

地方債中外債の總額は一億七千八百十五萬六千二百九十七圓、この内四十二萬二千三百五十圓の償還を見たが七月一日現在の未償還額は一億七千七百七十三萬三千九百四十七圓でその内譯左の如し

▽東京市事業公債一四、五八〇、〇〇〇圓▽京都市氣事業公債九〇、〇九八、九五〇圓▽京都市事業公債一七、五五〇、〇〇〇圓▽大阪市築港公債三、〇五〇、五〇〇圓、電氣軌道及水道公債三〇、二二〇、〇〇〇圓▽横濱市水道公債六八九、三〇〇圓、事業公債三、一〇八、八〇〇圓、瓦期事業公債四七〇、四〇〇圓、水道第二公債七、〇〇〇、〇〇〇圓、瓦期第二公債一、一九九、九九七圓▽名古屋市公債七、八一六〇〇〇圓

◇東京市内の瓦斯燈使用高

東京市内の瓦斯燈使用は電燈と競爭以來減少したが、本年四月以來競爭が衰へたので前年に比べ非常の增加を見、六月末現在は使用戸數三十二萬六千九百四十一戸、八十三萬四百九十六燈である

◇大丸呉服店の破綻と善後策

京都の同店は財界不況のため振出手形不渡りから破綻を來し整理中のところ債權者側は百圓以上の債權者九十名の會合を求め、西村治兵衛、柴田源右衛門、市田文次郎の三名を整理參加委員にあげ、三代表が大丸側と會合した上整理案を協議することになつた

一一　日（木）

◇使官保、軍艦に應急貯油所增設

海軍は從來燃料重油に對し混淆主義を採つてゐたゝめ自然貯油槽の設置が少く僅か横須賀だけであつたが新に佐世保、舞鶴の兩軍港に貯油所を設置することゝなり日本、寶田の兩石油會社と重油納入契約をした

四　日（土）

◇四國國有鐵道の環狀線建設

愛媛縣前代議士今西幹一郎は四國國有鐵道の尖成線に對し四國四縣の代議士十五名の連署を得て私設を以て速成されたいとの建議案を總理大臣及鐵道院に提出した

六　日（月）

◇全國輕便鐵道の營業許可狀況

本年六月末迄に鐵道院より營業を免許された會社は總數十六（縣立一、株式十五）哩數は百二十七哩八十六鎖總建設費五百九十七萬五千四百六十圓である、其の内譯

▽池上電鐵（延長六哩三十二鎖建設費四十萬圓）▽信貴山ケーブル鐵道（延長一哩二十九鎖建設費二十萬圓）▽丹後電鐵（延長五哩五十鎖建設費二十萬圓）▽名古屋電鐵（延長二哩七十八鎖建設費十七萬圓）▽北海道鐵道（延長二十七哩七十鎖建設費百三十萬圓）▽東上鐵道（延長一哩三十六鎖建設費六萬五千圓）▽井原笠岡輕便（延長三哩四十三鎖建設費十萬八千五百圓）▽博多灣鐵道（延長七十二鎖建設費三萬五千五百圓）▽阿波電鐵（延長四哩十二鎖建設費十八萬圓）▽茂木鐵道（延長五哩七十二鎖建設費二十五萬圓）▽鳥取鐵道（延長七哩三十鎖建設費二十三萬圓）▽北總鐵道（延長二十哩建設費百萬圓）▽東備輕便（延長十一哩建設費三十八萬圓）▽牛窓輕便（延長八哩六十鎖建設費三十七萬圓）▽尾三電鐵（延長二十一哩建設費百萬圓）▽宮城縣縣設（延長一哩十二鎖建設費三萬六千四百六十圓）

◇日銀割引歩合引上げ

日本銀行は割引歩合一錢八厘を二錢に引上げた

八　日（水）

◇浪速銀行、天王寺銀行を合併

大阪の天王寺銀行は浪速銀行に賣却合併することになつた。天王寺銀行は資本金五萬圓の株式組織で積立金二萬五千圓、預金七十萬圓、貸出金五十萬圓、有價證券十萬圓を有し浪速銀行を親銀行としてゐたもので、浪速は八月一日から天王寺銀行本支店に支店を設け一ヶ月内に預金貸出を繼承

九　日（木）

◇大阪書夜銀行營業休業

株式會社大阪書夜銀行（資本金十五萬圓、頭取海軍中將梨羽時起）は本日より二日間臨時休業を發表したが、整理未了のため更に十一日より向ふ一週間休業を發表した

◇秀英社職工の團體罷業

東京牛込加賀町の秀英社第二工場は監督者に偏頗の處置があると一部の職工が憤慨して三百餘名の職工の團印を取り同盟罷業をした

十三日（月）

◇全國織物組合の織物稅廢止請願

全國織物同業組合聯合會の織物稅廢止期成同盟會は委員會を開いて全國織物業者連署の請願書を貴衆兩院に提出する決議をした

十四日（火）

◇シーメンス收賄事件の判決

シーメンス會社元重役ヘルマンの海軍々人に對する賄賂提供、贈賄證據湮滅、ロイテル通信員ブーレー、ブランデルの贓物故買恐喝、藤井海軍少將の收賄金四十萬圓を寄藏した同少將の姻戚加賀鶴藏の贓物寄藏事件は本日東京地方裁判所で左の判決言渡があつた

▽懲役一年ヴイクトル・ヘルマン▽懲役二年罰金二百圓アンドリウ・メルベル・ブーレー▽懲役十月ジョーヂ・ブランデル▽懲役四月加賀鶴藏。（但ブーレーを除く三名は何れも三年間刑の執行猶豫）

十六日（木）

◇害島清次郎、日清紡專務に決定

日清紡績會社顧問宮嶋清次郎は株主總會で

取締役に選任、更に重役互選の結果專務取締役に決定した

十八日（土）

◇偽造贈賄事件の三井側判決

軍艦金剛に關し贈賄した三井物産側重役飯田、岩原、山本其他に對する文書偽造行使、有價證券偽造行使、詐欺、贈賄、松野、加納の文書偽造行使、長谷川の證據湮滅各被告事件は東京地方裁判所で次の判決言渡があつた

▽懲役一年六月（三年間執行猶豫）飯田義一▽懲役二年岩原謙三▽懲役一年六月山本条太郎▽懲役二年松尾鶴太郎▽懲役三月（三年間執行猶豫）松野德哉▽懲役三月（三年間執行猶豫）加納宗三郎▽懲役四月（三年間執行猶豫）長谷川直藏

二十日（月）

◇北海道拓殖費百萬圓增額決定

本日の大藏省議で西久保北海道長官の計劃案に基いて從來の確定補助額二百五十萬圓に對し百萬圓を增額することに決定した

◇東京市第二圓電氣事業市債成立

同市債五百萬圓は次の條件で成立した。利率年六分、額面百圓發行價格九十六圓、償還期限五ケ年、引受銀行第一、三井、十五、三菱合資銀行部、興銀

二十一日（火）

◇三井物産會社々長更迭

同社々長三井八郎次郎は株主總會で辭任し後任に三井源右衛門が當選した

二十二日（水）

◇八十萬圓横領事件の控訴判決

七十萬五千九百圓を費消した元起業銀行專務代議士平井熊三郎及び十萬圓を横領した元眞宗信徒生命保險社長代議士木村省吾の兩名に係る背任横領、文書偽造、商法違反、印形不正使用、有價證券裏書行使、詐偽事件は第一審で平井は懲役六年、木村は同二年の言渡を受けて控訴の結果、大阪控訴院で背任罪として平井は懲役二年、木村は同一年に處せられ何れも執行猶豫となつた

◇奉天省借款借替を滿鐵拒絶

奉天省が往年滿鐵から借入れた六十萬圓の借款は期限が來たが償還出來ず、滿鐵に對し新たに借替借款を申込んだが拒絶された

二十三日（水）

◇長崎電氣瓦斯會社創立

長崎電氣瓦斯株式會社（資本金二百十六萬圓拂込濟）は本日創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役古賀泰一（社長）太田清藏、古賀祐一、橋本辰二郎、横山寅一郎、高見松太郎、馬場貞一、脇山啓次郎、藤瀨宗一郎、岡部忠太郎▽監査役則元由庸、村岡壽藏、德田平次郎、額草潤之助

二十五日（土）

◇王子製紙會社の借額增資決定

同社は株主總會を開き資本金六百萬圓を一千二百萬圓に倍額增資の件を決定した

◇支那涉外興業借款成立

支那政府は英國と一千萬磅の沙興鐵道借款を締結した

◇墨國公使セルビア引揚げ

セルビア國駐剳墨國公使は本國政府の訓令でベルグラードを引揚げた

二十八日（火）

◇淺野セメント會社の增資決定

同社は本日の重役會で川崎工場及び臺灣工場建設のため、二百萬圓增資の件を決定したが、臺灣工場は打絢に新設し、約四十五萬樣を製出する

◇北濱銀行の總欠損額發表

同行は六月廿八日の株主總會で二百八十九萬圓の欠損補塡をしたが、本日の總會で又四十四萬六千圓の繰越欠損金を承認し、同時に四百五十萬七千圓の新損失金を發表した

◇世界大戰發端・墨國に宣戰布告

墨太利は塞耳比亞に對し宣戰を布告した。これが世界大戰亂の最初の宣戰布告である

三十日（木）

◇博多株式取引所設立認可

福岡縣博多に株式取引所設立の認可申請中であつたが、農商務省は博多米穀取引所の取引物件を株式に換置して現在の資本金十萬圓を三十萬圓とする條件付で認可した

【八　月】

一　日（土）

◇横濱生絲市場立會停止

横濱生糸取引所は獨露佛の開戰の飛電に脅かされ前場大暴落八十九圓台（前日引は九十五圓臺）を見たので、後場は新築取引所移轉を名として立會を休止した。尙三日は日曜明けにも拘らず休場、四日午前も整理のため休會した。その結果も增證據金の納入思はしからず、十五日午後一時迄納入といふことにしたので結局同日迄立會中止された

◇獨逸の對露佛宣戰布告

獨逸は露、佛兩國に宣戰を布告し、獨、佛露各國は動員令を發し、歐洲大動亂の兆を呈した

◇英國銀行割引歩合引上

イングランド銀行は七月三十日割引歩合を三パーセントから四パーセントに引上げたが同三十一日には八パーセントに、更に本日十パーセントに引上げた

二　日（日）

◇獨逸軍佛領へ侵入開始

宣戰を布告した獨逸は佛領シレー・レー・フォルジュに侵入した

◇露國の對獨宣戰布告

露國も亦獨逸に對し宣戰を布告した

◇伊太利中立宣言

伊太利は正式に中立を宣言し關係各國に通牒を發した

三　日（月）

◇東西株式市場大崩落

歐洲大動亂の兆に我が東京、大阪の株式市場は大混亂を來し、本日午前の立會では、公債中五分利二、三圓方の大崩落に次いで滿鐵株現物は十圓方瓦落、定期市場は東株親十二圓安、同新八圓安を筆頭に、花形株東電、富士紡、日石、大日本麥酒等四、五圓方暴落した、公債が二三圓方崩落したことは日露大戰後稀有のことである。本日午後の立會は整理のため臨時中止された

◇東國定期綿糸市場立會中止

東京定期綿糸市場は歐洲戰亂突發の影響で本日朝の立會に當限四圓安の百十圓台を割り百八九圓を唱へて買物皆無、現物商談杜絶のため取引所理事者は急遽重役會を招集、定款第九十一條によつて整理のため立會を二日間中止した。尙ほ大阪市場も同樣立會中止となつた

四　日（火）

◇歐洲戰亂と日本の態度聲明

帝國政府は歐洲政局の慌しき狀態に對し、日本の執るべき態度を次の如く聲明した

「日本は一日も早く紛爭解決し平和の招來を望むものだが、萬一英國が戰爭の渦中に投ずることになり、日英同盟の目的が危殆に瀕する場合、日本は協約上の義務として必要なる措置を執らねばならぬが、斯かる

場合の發生しないことを極力望む」

◇獨逸地中海艦隊全滅

獨逸地中海艦隊ゲーベン（二二、六四〇噸）ブレスラウ（四、五〇〇噸）バンター（九六二噸）の三艦はアフリカ沿岸アルゼリアを砲撃したが引揚に際し英國艦隊の航路遮斷に遭ひ退路を佛國艦隊に襲撃され悲壯なる戰鬪の結果バンターは沈沒し、他の二艦は降伏した

◇米國中立を宣言す

北米合衆國政府は、墺塞間、獨露間、獨佛間の戰爭に對し嚴正中立を布告した

◇英・獨議會の臨時可決

歐洲戰局の急展開に伴ひ英國下院は一億磅を、獨逸議會は五十億馬克を夫々戰費として可決した

五　日（水）

◇大阪定期證券取引所再開

大阪三品取引所は停止明の本日立會を開始しようとしたが、露獨開戰を傳へる報に市場人氣は極度に萎縮し、堅準は無相場に等しく勞々主務省よりの注意もあり形勢益々不穩なので定款第七十條により八日迄立會休止を發表した

◇名古屋米穀取引所再開

名古屋米穀取引所は株主總會を開會、同會計主任が實業銀行に越權を以て三萬五千圓を融通した問題について調査委員の報告を審議重役の不當支出と認め、重役の連袂辭職が强調され遂に吉田理事長の卒倒騒ぎまで演じ、重役一同辭表を提出、混亂裡に散會した

◇獨逸の對英宣戰布告

獨逸は英國に對し本日午後七時宣戰を布告した

◇英國對獨國交斷絶を布告

英國は獨逸の白耳義中立侵害に關し最後通牒を發したが、四日午後十二時の回答期限が經過したので遂に開戰を布告した

六　日（木）

◇英國諸銀行の休業延長

戰亂のため三日の銀行祭日を四、五日に延長した英蘭銀行始め英國倫敦組合銀行は更に一日休業を延長、英蘭銀行は更に八月三日までに引受けた手形は、一覽拂小切手以外のものは定期日より一ケ月延長支拂と決した

◇墺國の對露宣戰布告

墺國は露國に對し正式に宣戰を布告した

◇伊太利、三國同盟問題

伊太利は獨逸皇帝より對墺援助か開戰か二途のうち一を選ぶべきことを慫慂されたが、外相ヴェネゼロスは嚴正中立を聲明し、獨、墺、伊三國同盟を脱退した

◇英國陸軍五十萬增員案可決

英國議會は、陸相キッチナー元帥の要求により、五十萬の陸軍增員案を可決し、また英國自治領土中、印度は二箇師團を本國に提供した

◇倫敦の銀行割引歩合引下

英蘭銀行は倫敦の銀行割引歩合を六歩に引下げ、戰時非常のため一磅紙幣、一志紙幣の發行を決定した

七　日（金）

◇日本公債、紐育市場で暴落

紐育市場に於ける日本公債は歐洲動亂に動かされ第一回四分半利付は八十四弗八分の一第二回四分半利付は八十四弗十六分の十五に暴落し、前回の七月二十日の相場に比べて第一回は二弗八分の七、第二回は五弗二分の一の下値である

◇露國の支拂停止命令

露國は勒令を以てピータースブルグ、ワルソー州二十九縣（モスコーを除く）に對し二ケ月の期限附で銀行の支拂停止を實施した

◇支那海軍艦隊工事中止

支那海軍艦隊道敷設に招聘された佛國技師五十二名は戰爭のため引揚げたので徐州より開封間の工事は全く停止された

八　日（土）

◇元老大臣會議、歐洲戰亂對策協議

帝國政府は四日中外に宣明せる我が態度に就て七日深更早稻田の首相大隈重信私邸に臨時閣議を開催、祕密裡に凝議、外相加藤高明は八日午前五時半上野驛發日光田母澤御用邸に伺候、同盟國政府の提言並閣議の結果を上奏歸京、直ちに元老大臣會議を召集、本日夕刻永田町首相官邸に、山縣有朋、大山巖、松方正義の三元老、大隈首相、加藤外相以下各閣僚參集、帝國の公明なる態度を中外に宣言すべく凝議した。尙ほ避暑地より上京の各元老は病中の井上馨侯を除き緊急に備へて滯京することになつた

◇臨時議會二億五千萬御支出

露國臨時議會は、滿場一致を以て、本年度費算中事業費二億五千萬留を戰費に支出すること及び戰時中必要なる短期公債は露國帝國銀行にて引受けること等を可決した

十　日（月）

◇帝國政府、歐洲戰亂に對し經費百五十萬圓支出決定

帝國政府は本日閣議を開いて、歐洲戰亂に關聯して事變費として必要なる經費を支辨するため憲法第七十條の規程により百五十萬圓を支出することに決定した

◇郵船の膠州灣航路中止

海軍省は獨逸艦艇の游戈中なる膠州灣航路の中止と同地附近の廻航船は嚴重な注意を要する旨關係船主に通達した

◇上毛モスの新宣戰決定

上毛モス臨時株主總會は重役總辭職善後策を協議、重役銓衡委員によつて決した左記七名を指名更に互選の結果社長は中島伊平と決定した

▽社長中島伊平▽常務加賀美理一郎▽取締役小林庄太郎、尾關寅市、若旅喜一郎▽監査役田村正寛、鄭沼丈吉▽相談役根津嘉一郎、柿沼谷藏

◇獨逸、國民兵を召集す

獨逸は國民兵として十七歲以上四十五歲迄の男子を全部召集する命令を發した

十一日（火）

◇大藏當局、露絲救濟會明

有志露系救濟會は實行委員協議會の決議に基き若槻藏相及天浦農相と會見（一）金融上の窮狀救濟（二）荷爲替の善後策（三）禁止に等しい海上保險の救濟及一般海運の不安を除く事等について決議の趣旨を陳情、若槻藏相は正金銀行をして米國との荷爲替を引受けさせ露系の輸出取引を可能ならしむること及び、將來生系の在荷が堆積した場合は、日銀をして生系手形の再割引を引受けさせ、他の銀行をして安心して生系手形の取引を爲さしむることを言明した

◇淺野セメント、獨逸の註文拒絶

トルツベル膠洲總督は歐洲戰局進展に伴ひ、籠城準備に忙殺されてゐるが、淺野セメント門司支店に對しセメント五千樽の大量註文を寄せた、但し同社は品拂底を理由として拒絶した

◇露・墨兩國對獨宣戰布告

セルビアは獨逸に對し、墨人王國モンテネグロは墺國に對し、それ〴〵宣戰を布告した

十三日（水）

◇機織綿物組合、先約解除を拒絶

横濱輸出絹綿物同業組合の歐洲戰局に對する善後協議會は、戰亂の輕減と輸出對策について凝議、二十五名の救濟調査委員を設置す

ると同時に、外人組合よりの先約解除は一切これを拒否することを決定した

十五日（土）

◇對獨最後通牒の御前會議

天皇陛下には午前十一時二十分上野驛御着日光田母澤行在所から還幸あらせられたので御前會議が召集された。山縣、大山、松方各元老、大隈首相、加藤外相以下閣僚宮中に參集日英共同動作交渉成立による對獨最後通牒に關して慎重に審議された

◇日本の對獨最後通牒

帝國政府は本日左の對獨通牒を發した

帝國政府は現下の狀勢に於いて極東の和平を紊亂すべき禍根を除去し、日英同盟協約の意義せる全般の利益を防護するの措置を講ずるは該協約の目的とする東洋の平和を永遠に確保するが爲めに極めて緊要の事たるを思ひ玆に誠意を以て獨逸帝國政府に勧告するに同政府に於て左記二項實行せられん事を以てす

▽第一、日本及支那海方面より獨逸國艦艇の即時に退去すること、退去すること能はざるものは直ちに武裝を解除すること

▽第二、獨逸帝國政府は、膠州灣租借地全部を支那國に還附するの目的を以て一千九百十四年九月十五日を限り無償無條件にて日本帝國官憲に交附すること

日本帝國政府に於て叙上の勧告に對し一千九百十四年八月二十三日正午迄に無條件に應諾の旨獨逸帝國政府よりの回答を受領せざるに於ては、帝國政府は必要と認むる行動を執るべきことを聲明す

◇定期生絲立會開始暴騰す

一日以來休會又休會中の横濱定期生糸は午後場第一節より立合を開始したが、整理並に對策處置宜しきを得、米國向註文、内地向氣構好況を呈し、上一は休會前に比し八百圓丁度と二十圓方暴騰した

十六日（日）

◇曾禰・貴族院議代表其他獨逸

大隈首相は本日正午貴衆兩院各派代表を午後四時より都下新聞通信記者を、午後六時より京濱實業家代表者をそれ〴〵永田町首相官邸に招待「十五日に至り日英同盟の精神に基き兩國間に條約を締結し協同動作を執ることに決した」旨を說明、朝野の協力を望むところあつた。この席上國民黨の犬養毅は對獨最後通牒のうち、膠洲灣を支那に還附するの條件は軟弱外交も甚しいと詰め寄つた。尙ほ首相は十八日、地方實業家八十餘名を招待同條說明した

◇ブラジル事務支拂停止

我が移民の相手國である南米ブラジルは大正二年來の不景氣に加ふるに、歐洲動亂に刺戟され、貨幣下落を來し、本日より三十日間手形支拂停止の法律を公布した。我が移民の收入換算に不利を來し、且つ日本雜貨の賣行も杜絶した

十七日（月）

◇正金銀行出張所の青島引揚

横濱正金銀行青島出張所は我が對獨最後通牒の結果、青島を引揚げ上海に避難した

十九日（水）

◇北濱銀行の破綻で大株・堂島兩市場休會

機關銀行たる北濱銀行の破綻によつて、大阪株式取引所は決濟不能となつたので本日後場を立合ふに至らず直ちに休會した。堂島米穀取引所も亦決算不可能を理由として前場三節以後を臨時休會した

◇北濱銀行支拂停止

北濱銀行は、本日早朝重役會を開き二十九日まで臨時休業を發表、支拂を停止した。同時に東京支店も之に倣つた。こゝに至つた原因は北銀は本年四月末取付騒動の折藤田平太郎男其他有力者の斡旋で、日本銀行から七百萬圓の救濟資金の融通を受けたが、此の外に普通借入金限度二百萬圓のうち百三十五萬圓の融通を受け、殘り六十五萬圓を不時の借入れに餘裕を殘しておいた。然るに北銀の整理遲捗せず、六月二十八日の臨時總會、七月二十八日の定時總會において續々と缺損を發表第一次、第二次缺損四百九十五萬三千四百七十八圓五十錢に及び一千萬圓の資本金の半額に達する內容不純を暴露した爲め日銀當事者は普通借入金の餘裕たる六十五萬圓を削除した。此の矢先十日に日本綿花會社の大口取付三十萬圓の預金引出しに逢着し玆に合計百萬圓の逆算を來して了つた。加ふるに、交換尻は漸次增進、十七日には百三十萬圓に達し俄然形勢惡化、十八日午後には本店支店にランニング取付を見るに至つた。獨狐した重役は再度日銀に救濟方を懇願、日銀は本日早朝重役會を開いた結果拒絕に決したので、萬事休し直ちに臨時休業の發表となつたが、十月三十日迄休業又休業を續けた

◇名古屋市の三銀行取付

名古屋市の明治、愛知、名古屋三銀行の本支店は、さきに尾張銀行の休業、北濱銀行の休業等に脅やかされてゐた預金者の取付殺到し、一部支拂を停止したが、日銀の救濟資金貸出に依り鎭靜に歸した。尙二十日も取付が引續いたので、當日の日銀貸出は八百萬圓に上り貸出帳尻は一躍一千五百萬圓となつた

二十日（木）

◇青島の日本人立退命令

青島總督は二十二日迄に總ての日本人の青島立退を命じた。その結果青島に於ける日本人男子六十四名、女子五十四名、小兒二十五名合計百四十三名は二十一日青島を引揚げ芝罘に向つた

◇佛・和・蘭諸銀行利下

佛蘭西銀行及和蘭銀行は利率を六分より五分に、諸威銀行も亦六分より五分半にそれぞれ引下げた

二十二日（土）

◇英領魂征軍、獨領サモアを占領

英國植民大臣はニュージランド總督派遣の遠征軍が、獨領サモアのアピア港を占領した旨發表した

◇英佛貴族會社創立

東京の英城炭礦會社（資本金百萬圓）は本日創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役社長古賀春一▽專務取締役細亨温之助▽取締役桑田知明、千澤平三郎、村岡潛藏、三嶋舜太郎▽監査役狩田侃、矢島浦太郎

二十三日（日）

◇帝國の對獨宣戰詔書渙發

帝國政府は十五日獨逸政府に對し最後通牒を送つたが、二十三日正午の期限に至つても回答に接しないので、玆に兩國の國交は斷絕して交戰狀態に入り、本日午後對獨宣戰の詔勅渙發せられた

◇臨時議會召集詔書公布

帝國政府は日獨開戰のため、臨時議會を召集することとなつたので、左の詔書が發せられた

既軍國ノ急務ニ鑑シ帝國議會ノ協賛ヲ望ムモノアリ　玆ニ帝國憲法第七條及第四十三條ニ依リ九月三日ヲ以テ臨時帝國議會ヲ東京ニ召集シ　三日ヲ以テ會期ト爲スヘキコトヲ命ス

◇山東鐵道運轉中止

日獨交戰によつて山東鐵道の列車運轉は中

止された

◇獨逸山東鐵道の中立侵犯

青島の獨逸軍は、支那の中立地帶を侵犯して濟南より濰縣に至る山東鐵道を占領、軍器食糧の輸送を開始した

◇英國艦隊青島夜襲不成功

威海衛にある英國驅逐艦隊は膠州灣内の獨艦に對して夜襲を試みたが、青島砲臺の猛烈なる砲撃を受けて基地に引揚げた

◇墨國皇帝の國民皆兵勅命

墨國皇帝は十九歳より六十歳迄の男子は組國のため銃を採るべしとの勅命を發した

二十四日（月）

◇海軍出征艦隊司令長官任命

對獨宣戰に伴つて、我が海軍出征艦隊司令長官の任命を見た

▽第一艦隊司令長官海軍中將加藤友三郎、同司令官海軍少將山屋他人、同土山哲三、同藤本秀四郎▽第二艦隊司令長官加藤定吉同司令官海軍少將栃内曾次郎、同上村彦之丞同岡田哲介▽第三艦隊司令官海軍少將土屋光金

◇大阪綿絲紡績延長可決

大阪三品取引所は總會を開き定款第四十六條による綿絲當限六ケ月延長の件を附議し可決した

◇獨飛行船、白耳義都市夜襲投彈

獨逸飛行船ツェッペリン式第八號船はアントワープ市を夜襲し爆彈を投下したが後墜落十五名の乘組員はベルギイ軍に捕縛された

二十五日（火）

◇聯合國軍、獨墨艦隊退却

英佛聯合軍は小局部において勝利を收めてゐるが、ベルギイのミュール陥落によつて獨軍大迂回の脅威を受け、獨佛國境を遙に退却した

二十七日（木）

◇我艦隊膠州灣封鎖宣言

出征第二艦隊司令長官加藤定吉中將は、膠州灣全沿岸の封鎖を宣言した

◇日墨國交斷絶

政府は本日官報號外を以て墨國と國交斷絶した旨發表した

◇獨逸艦隊瓜哇に出沒

獨逸艦隊はマヅラ海峽に出沒、瓜哇方面を脅威し、我が北海丸、鵜鳥丸は出帆を見合せバタビヤに碇船中

◇英艦隊北海の獨艦を撃沈す

英國艦隊は大膽務中冒險的戰法を以て北海（リゴランド沖遊戈中の獨艦隊を襲ひマインツ（四、二三二噸）ケルン（四、二八〇噸）の二巡洋艦外驅逐艦三隻を撃沈し、北海航海權を掌握した

二十九日（土）

◇同胞生命の整理更生と新重役

同胞生命保險株式會社は臨時株主總會で定款改正、重役補缺選擧を行ひ主務省に申請中のところ本日認可された。即ち社名を禰德生命保險株式會社と改稱・取締役社長に川崎芳太郎・專務取締役に有村丈次郎、取締役に松方正雄・岩倉道俱・田中常德・監査役に吉田鐵太郎・關口高次就任、六月整理決算の結果缺損金十五萬五千三百圓は川崎社長、松方取締役の無條件寄附により現金補塡、なほ第二同株式拂込金十萬圓の拂込を完了した

【九月】

一日（火）

◇戰時海上補償法並に關稅事法案發表

政府は臨時議會に提出する戰時海上補償法案並に輸入稅特別法案を發表したが、補償法案は一定の戰時率を指定し、これを超えない

契約については、補塡責任發生の場合は其八割を政府が補償するものであり、料率は危險を三種に區別し省令を以て指定する。又輸入稅特別法案は、日獨・日墨の國交斷絶と共に協定稅率は消滅し、國定稅率の適用を受ける輸入品については國交斷絶前に本國を積出したものは本年末迄、又保稅倉庫に在るものは一ケ年間何れも從來通り協定稅率の適用を受けるものである。尙戰時海上補償法は臨時議會通過、十二日公布、即日施行され、朝鮮、臺灣、樺太にも同時に實施された

◇輕便鐵道補助法改正公布

政府は鐵道補助法改正を公布した、輕便鐵道に於て每營業年度の益金が建設費に對し一年五分の割合に達しない時は、政府から營業開始の日より十年を限つてその不足額の補給を得ると改正したものである

二日（水）

◇全國製絲業者協議會場延を決議

日本全國製糸家協議會は横濱市役所にて開かれ、戰爭による當業者自衛策を協議したが操業短縮に決定し、夜業を廢止して十一月三十日限り休業に決定。而して信州地方は大正四年三月一日、他府縣では同二月一日以前に春挽製糸の開業をせぬとの協定をした

三日（木）

◇罐詰業救濟運動起る

大日本罐詰會では戰時海上保險補償案の救果少なきを非難し、歐洲戰爭による輸出杜絶から價格暴落で市場は殆んど休止し、操業短縮計劃等悲慘な狀態にある所から、國庫又は制限免換券によつて一時罐詰救濟資金とし、低利で融通する樣要請した

◇郵船の印度航路運賃五割値上

戰亂の影響を受けて外國船舶は殆んど本國に引揚げられ、印度航路の如きは日本郵船獨占の形となり、その結果船腹に不足を來したので、郵船は印度航路五割方の値上げをすることになつた

◇朝鮮郵船の臨時清津線開始

朝鮮郵船會社は臨時下關浦鹽線を開始し、本日忠清丸が初航に就いた。これは、往航は釜山を經て浦鹽に直行、復航は清津以南の主要港を經て元山、釜山、下關に至る

四日（金）

◇產業奬勵貸金融通方法決定

政府の緊縮財政政策のために產業の發達が阻害されて來たので、農商務當局は、勸業銀行より各地農工銀行に貸付けてある百六十萬圓を直接耕地整理資金として貸付けることに決定した

◇紡績聯合會の操業敍濟運動

大日本紡績聯合會は、棉花輸入中絶のためこれが救濟策として棉花爲替資金の補給を當局に懇願した。尙ほ該問題に關し議會に請願の手續を取り、商業會議所の時局調査會に對しても救濟運動の交渉をした

五日（土）

◇和紙一割五分値上

原料及び藥品の輸入杜絶の爲め打擊甚だしく遂に土佐、同結、鳥取及び岡山の四製紙會社は一割五分値上げを協定した

◇九州炭礦の產出制限續行

九州炭礦組合は農に產出制限規約を設けて停滯品を一掃し、現在は二百萬噸を剩すのみとなり、而かも戰爭勃發の好材料があり、商況漸漸たるものあるが、尙ほ前途を警戒し、本日組合委員會に於て出炭制限を依然續行することに決定した

六日（日）

◇臨時議會々期延長

會期は三日より三日間であつたが、八日まで

で三日間延長となつた

七　日（月）

◇衆議院で追加豫算と軍事費可決

衆議院は、三年度總豫算追加五千三百萬圓並に、臨時軍事費豫算五千百萬圓を滿場一致即決可決した

九　日（水）

◇輸出生絲業者の新安値を出現

本月七日、五圓安を出現し明治二十三年以來の新安値を呼んだ横濱輸出生糸は、その後も益々不味を加へ、本日再度の五圓安を示して上一番七百六十五圓となつた

十　日（木）

◇大眞の職時海上保險料暴騰

最近獨逸軍艦二隻南洋セレベス附近に游戈中の報告が入つて、大阪に於ける戰時保險料は五、六十錢だつた印度航路は二圓に、二圓見當の濠洲航路は突如七圓となつた

十一日（金）

◇日華生命保險會社創立

日華生命保險會社（資本金五十萬圓、四分の一拂込）は本日創立總會を開き、役員に社長川崎肇、取締役藤山雷太、小林作五郎、安藤浩を選任した

十二日（土）

◇ロシア特使ゲ將軍陸軍側と折衝

武器彈藥及び軍需品購入の使命を帶びて來朝したロシアのゲルマニウス將軍は本日陸相を訪ひ、其要望を開陳した。帝國政府は、友邦の國難に際し能ふ限りの便宜を與へてその目的を達せしめる方針から、陸軍省は翌十三日各關係諸官を集めて協議した

十七日（木）

◇露蒙鐵道條約締結

露國外務大臣は、目下蒙露國外交代表と庫倫政府全權代表が哈克圖に於て左記露蒙鐵道條約を締結した旨發表した

一、露國は蒙古政府が其領土内に於いて永遠に鐵道建設權を有するを承認す

二、露國政府は蒙古政府と共同して蒙古鐵道鐵路及び將來の鐵道計劃を議定し露蒙双方に利益あらしむ可く力む可し

三、蒙古鐵道建設に當り其費用の露國政府より出づると蒙古政府又は個人資本に出づるとを問はず露國政府は蒙古政府に對し適當の補助を與ふ

四、露國境界線と連絡鐵道を建設する時は露國政府及び蒙古政府は露蒙鐵道聯合條件の權利及び地方習慣に照らし交渉を行ふこと

五、蒙古政府自ら建設する利益を認むる場合は露國政府は之に干渉するを得ず。只蒙古政府が此權利を他國に讓らんとする場合は露國の軍事經濟に影響あるを以て一應露國に之を諮り其承認を經ざる可からず

六、本契約文は二通を作り一は駐蒙露國領事館に一は蒙古外交部に之を保管す

尙ほ露國は此鐵道條約以外蒙古電信線敷設條約をも締結した

十八日（金）

◇工業原料品の輸出制限令さる

歐洲戰亂浸發のため、工業原料の輸入が不如意となつたゝめ、農商務省にては本日省令を以て左の原料品の輸出を制限することゝなつた

黃燐、赤燐、苛性曹達、曹達灰、硼酸曹達、鹽酸加里、外國製阿膠、人造乾漆、アリザリン染料、アニリン染料

◇政府の中小工業救濟貸金斷行

政府は勸銀、農銀、興銀三行を通じて地方産業組合及び都市小工業者に資金を融通することを發表、特定重要輸出品の生産者を救濟するため、總額八百萬圓を融通する事に決定し、其内勸農兩行に五百萬圓を、興業銀行に三百萬圓を分配した、この勸農兩行の五百萬圓の中百五十萬圓は勸業銀行の直接貸付に、殘りの三百五十萬圓は各農工銀行の代理貸付に分配するものである

十九日（土）

◇一等炭の輸出禁止さる

政府は時局に鑑み、本日一等炭（石炭）に限り輸出禁止の内命を下した

二十一日（月）

◇國產奬勵の下協議行はる

農商務當局は渋澤榮一、中野武營、武井守正の諸氏を招き、上山次官、岡商工局長、鶴見商事課長列席の上、戰亂の影響による輸入杜絶の對策として國產奬勵に關する下協議會を開いた

◇岩谷銀行東京支店取付

廣島に本店を有する岩谷銀行東京支店は、二重擔保の件が暴露したゝめ本日取付騷ぎ起り支拂停止となつた。預金者側は善後策に就き交渉したが、銀行重役側に誠意なく大紛擾を起した

◇蒙領の全要食料輸出禁止

シンガポール政廳は官報を以て、本日より向ふ三ケ月間、濠洲産の麥粉及び肉類を海峽植民地、マレー聯邦州、ボルネオ及びサラワク以外の地へ輸出することを禁止した

二十二日（火）

◇米國戰時海上保險料高率決定

米國政府戰時海上保險率は最高一パーセント二分の一と決定した

二十五日（金）

◇長野縣製絲業者の過剩縮減

長野縣生糸同業組合の製糸期間短縮に關する問題は、代議員會に於て、夜業廢止について己むを得ざる者は此限りに非ずとし、製糸期間短縮違反者からの過怠金は組合より取らず當業者より取る事を決定した

◇松井愛知縣知事電車賃値下問題停

名古屋電氣鐵道株式會社の電車賃値下問題に關し、本月六日、新聞記者團が急先鋒となり數回に亘つて市民大會を開き同會社を攻撃した結果、激昂した市民は電車を燒打、破壞する等、未曾有の混亂を重ねて來たが、本日松井愛知縣知事は會社重役、坂本市長其他關係者を招致し、敎拾策として料金四錢均一と最高七錢の區間制の二案を出したが、遂に解決に至らなかつた

二十六日（土）

◇佛蘭、農商省の鐵道、採鑛權獲得

佛國は支那廣西省における鐵道及採鑛に關する優先權を獲得した

二十七日（日）

◇郵船東廻線臺灣まで延長

日本郵船は豫て本土東廻り沿岸航路線を延長し臺灣まで回航すべく計劃中の所、愈々本日その第一回船として東京丸を延長回航せしむることゝなつた。尙第二回船は十月就航と決した

二十八日（月）

◇佛國支拂猶豫更に延期

佛國の支拂猶豫は尙一ケ月間延期する事となつた。なほ英國の支拂猶豫の一部は解除され他は一ケ月間延期となつた

二十九日（火）

◇北濃銀行の重役總辭職

北濃銀行では、本日重役會を開き、銀行閉鎖の責任を負ひ總辭職に決定、翌三十日これを發表した

三十日（水）

◇航海奬勵法廢止
航海奬勵法は航路補助法の規定に基き本日限りで廢止、本年度の航海奬勵費は二十九萬二千五百十一圓、尙ほ航路補助契約は本年終了する

【十月】

一日（木）

◇南洋郵船の新組織
明治四十五年四月以來、政府の命令航路として蘭領東印度瓜哇へ毎月一回の定期航路を開いてゐた南洋郵船組は、南洋郵船株式會社と改組し本日より營業を開始した。資本金百五十萬圓 四分の一拂込 代表取締役緒明圭造、取締役佐伯俊太郎、松本良太郎、監査役原田十太郎、板谷宮吉

◇鼎張銀行の休業繼續
名古屋の尾張銀行は休業中であつたが、更に本日より十一月二十日迄休業を延長することゝなつた

二日（金）

◇東京府農工債券五十萬圓發行
東京府農工銀行は歐洲大戰の反映せる時局下において農工商其他一般生産業者の需要に應ずる資金充實のため左記條件にて債券募集を發表した
▽總額五十萬圓（五十圓、百圓、五百圓、千圓）▽利率年七分▽價格百圓に付九十七圓▽二箇年半据置、以降二十年以内償還△利廻初回償還八分二厘弱、七年目七分八厘弱、十年目七分六厘弱、十五年目七分六厘弱、十五年目七分五厘弱▽拂込十一月十三日より十五日

三日（土）

◇◇張炭坑爆發す
北海道夕張炭坑第一斜坑東一番坑は、午後四時半爆發し、引續き二回、三回の大爆發を見たが、死傷者は第一回爆發の折、即死十七名、重輕傷十二名に止まつた。作業は直ちに中止したが、五日より再び作業した。原因は自然ガスの發火である

五日（月）

◇東京電鐵五十萬圓借入
京津電鐵會社は京都商業會議所に株主總會を開き、日本生命よりの借入金三十萬圓其他債務整理のため、法律による軌道財團を抵當として日本興業銀行より五十萬圓の借入金をなすことに決定した

◇圓鐵鋼走線新線開通
鐵道院は北海道網走線中、湧別輕便線を留邊蘂輕便線と改稱、留邊蘂、既設下生田原間十八哩四分の運輸營業を開始した

◇廣島縣下の五銀行大合同成立
廣島縣下の加茂、豐田、竹原、西條、大崎の五銀行は各重役會合、大合同の協議が成立した。新資本金百五十萬圓、名稱を藝備銀行とし定款其他決定の上開業することゝなつた

六日（火）

◇北濱銀行の休業繼續
北濱銀行の休業は十二日を以て期限滿了となるので、本日重役會を開き更に十月三十日まで休業延長を決定した

◇山東鐵道を日本管理
山東鐵道は、日本軍の青島攻略進攻と共に特殊條約（支那地方軍閥との）の下に、日本軍がこれを管理することゝなり、接收を開始した

七日（水）

◇朝鮮の戰時禁輸品石炭積出
寺内朝鮮總督は本日の官報を以て戰時中工業原料品及石炭の輸出取締に關する府令を施行したが禁制品は黃燐、赤燐、苛性曹達、曹達

灰、硼酸曹達、鹽酸加里、外國製阿膠、人造乾蕊、アリザリン、アニリン染料等である
石炭を香港以南の諸港、南洋方面へ輸出するときは價格の二倍の保證金を提供すること又敵艦船が在泊し、近く來泊すると認められる地方へは禁止された

◇六大都市貿易業者大會
農商務省主催の六大都市貿易業者大會は、本日より三日間農商務省に開催、各地の代表二十四名出席、大浦農相の「大戰により歐洲市場は逼迫したが、戰て大戰終了の曉は、需要を喚起するであらうし、東洋、南洋は我が優良廉價な商品を待つものが大にある、この際大いに販路擴張すると同時に、粗製濫造品を嚴に慎むことを望む」旨の訓示あり諮問並意見の開陳があつた。主なる出席者は左の通りである
▽東京池田謙三、服部金太郎、大倉喜八郎 森村開作、堀越善重郎▽大阪伊藤忠兵衛、岩井勝次郎、寺多又藏、山本發次郎▽京都飯田新七▽横濱大谷嘉兵衛▽神戸金子直吉▽名古屋鈴木摠兵衛

◇露國より汽車千百五十臺注文
我が鐵道院に對して露國より機關車五十臺貨車千五百臺を註文して來た

十日（土）

◇勸銀に連合國債資金交付
政府が勸業銀行を通じて融通すべき産業救濟資金五百萬圓は本日交附された。よつて勸銀は年利七朱、据置二年、据置後八年償還の條件で勸業債券五百萬圓を發行、預金部がこれを引受けた

◇北濱銀行、日銀貸付金返濟不能
日本銀行より北濱銀行に對する貸付金六百三十五萬圓のうち百三十萬圓は既に前月返濟期限到來したので此の分は藤田平太郎男より擔保物を提供して解決したが、殘り五百五萬圓は本日が期限で督促されたが現金支拂不能となつた。日銀は改めて償還請求の手續を取つたが、同行はその擔保公債の處分方を申し出たので、日銀は十一月十日談實に附することゝなつた

◇ルーマニア國王崩御
戰亂の嵐中にあるルーマニア國王カロル一世陛下は扇御あらせられた。齢算七十五

十一日（日）

◇アントワープ陥落 白帝軍壓迫
ドイツ軍は白耳義首都アントワープを攻略し、本日陥落、白耳義皇帝はオスタンドに避難せられた

十二日（月）

◇大軌・軌道財團認可申請
大阪軌道會社は借入金の準備として法律による軌道財團設定（同社營業線路及社屋敷地）の認可を申請した

十三日（火）

◇青島の陣歿關員竟勅勅告
大元帥陛下には我が攻圍下にある青島市の非交戰者をして戰火から免れさせやうといふ御仁慈ある聖旨から我が青島攻城軍並封鎖艦隊司令官に調令を下されたので、神尾、加藤兩陸海軍司令官は直ちに軍使及無電を以てワルデツク青島總督に對し非交戰者及中立國人の救出について勸告した

◇大阪商船、米國航路增配船
歐洲戰亂の結果、加奈陀太平洋汽船會社のバンクーバー、香港間の就航船は徵發されたので、大阪商船は同航路に就航中の六隻では東洋向貨物の消化不能のため、本日よりルソン丸、ジャワ丸二隻を同航路に就航させることに決した

十五日（木）

◇國産奬勵會の創立大會開催

國産奬勵會は大會を農商務省に開催、澁澤武井、中野の三創立委員を始め全國より參集の發起人百五十三名、政府側より、大隈首相大浦農相、武富遞相、尾崎法相、八代海相、波多野宮相等列席、先づ澁澤男は創立委員代表として設立の趣旨を述べ、大隈首相、大浦農相の激勵演說があつた。同會は十九日政府に對し本年度三千圓、明年度以降五千圓宛の國庫補助金交附の願書を提出。尙ほ伏見宮殿下には、二十三日總裁御聽許の御沙汰あらせられた。同會の要領は次の通りである

▽目的　內國品の生産を奬勵し、其使用を普及せしむ▽事業　國産に關する調査、國産品評會展覽會、講話會の開催、國産品に關する質疑應答、商品見本、商品目錄の蒐集、會報の發行

◇臺灣銀行信託支店開業

臺灣銀行は上海、厦門、汕頭、香港、廣東新嘉坡、瓜哇等の支店代理店に對する爲替決濟の關係上、倫敦支店設置を準備中であつたが、本日開業した

◇周陽銀行休業

周陽銀行（山口縣德山町）は同縣柳井町の周防銀行取付の餘波を蒙り、預金を引出すものが續出したので本日より二十五日迄臨時休業に決した。同行は明治三十三年の創立にして資本金二十萬圓、拂込金五萬圓、預金四十萬圓である

◇支那ベルギーと四十萬磅借款成立

支那政府はベルギー政府と四十萬磅の秋思銀行借款を成立した

十六日（金）

◇北濱銀行整理の大株主會決議

北濱銀行三百株以上の大株主會は本日の左の決議をした

（一）資本金一千萬圓を四百萬圓に減資（二）優先株六萬株を募集（三）優先株六萬株の中四萬株を減資後における舊株二、新株一に割當ること（四）株主の引受不能の分に對しては藤田家を始め銀行關係者、有力者に引受方を交渉して滿株とする

十七日（土）

◇宇和島鐵道開通

愛媛縣宇和島町より近永に至る十哩七十二鎖の宇和島鐵道は本日開通式を擧行、十八日より營業を開始した。但鐵道は明治四十三年今西幹一郎の發起にて創立、大正元年八月起工、本年九月竣工を見たものである

十九日（月）

◇下松銀行取付と周陽銀行休業餘波

下松銀行（山口縣德山町）は周陽銀行（山口縣德山町）破綻の餘波を受け十六日二萬圓、本日また一萬五千圓の取付を見たが十五萬圓の準備金があつたので漸時平常に歸した。尙ほ河口山口縣勸業課長等の斡旋で周陽銀行破綻の善後策が協議されたが、同行休業中、一般預金は下松銀行になすことを勸奬し、一方周陽銀行の復活に努力することゝなつた

◇東京市會、市電燈料輕減案可決

東京市會は市電燈料金案について電燈料金調査委員會の原案と、市政倶樂部修正案をめぐつて兩派譲らず討論三時間に亘つたが、採決の結果十四票の差を以て修正案敗れ原案を可決した。即ち定額燈十燭五十錢（舊七十二錢）五燭四十三錢（舊四十五錢）從量燈二キロワットを單位とし三十錢（舊一キロワット十八錢）一キロワットを加へる毎に八錢となつた。（從量は少量使用者に不利、但し、この結果市の收入減少を來し、財政難を加重し、且つ東電、日電の追隨値下げ競爭を見ることは必至なので、市會はこの點市長に對し善處を要望した

二十日（火）

◇我が艦隊南洋諸島占領

海軍省は南洋ヤルート島方面の獨艦出沒に備えて游弋中の我が艦隊の行動について、マリアナ、マーシャル、東西カロリン群島中作戰要地の諸島を軍事占領せる旨を發表した

二十一日（水）

◇米棉明治三十六年來の安値

米棉九十圓臺を割り明治三十六年以來の安値を示した

二十三日（金）

◇宇治電鐵社債百萬圓成立

宇治川電氣會社は株主總會の決議による百萬圓の社債發行は取扱銀行たる三十四、浪速鴻池、山口、近江、加島の六銀行より募集することに契約調印を終つたが、その條件は次の通りである

▽額面百圓▽價格九十八圓以上プレミアム付▽申込十一月五日—七日▽拂込十二月五日▽利率年八朱△據置二ケ年償還八年

◇奉天借款五十萬圓成立す

歐洲大戰の影響を受け支那政府の財政は益益逼迫し、奉天官憲は政費支辨にも事缺くに至つたので、大倉組に五十萬圓の借款を懇請中であつたが、本溪湖煤鐵公司の支那側持株及同鎭區稅を擔保とし、年八分、償還期限一ケ年の條件で調印を完了した

二十四日（土）

◇北海道拓殖債券二百五十萬圓發行

北海道拓殖銀行は拓殖債券二百五十萬圓を左の條件によつて發行することを發表した

▽總額二百五十萬圓▽利率年七分五厘▽申込期間十一月六日より十六日▽拂込十二月一日迄▽償還方法二ケ年据置、以後五ケ年內に每年二回抽籤償還▽利子仕拂五月、十一月

二十五日（日）

◇露國、富士瓦斯紡へ醫藥品註文

露國政府は富士瓦斯紡績會社に對し野戰病院用醫藥品總二十三萬貫及び軍事用天幕三十四箇を註文して來たので、同社は小山工場（神奈川縣）にて急遽作業開始することゝなつた

二十六日（月）

◇國三十銀行償還繰延

大阪の百三十銀行（資本金五百萬圓）は明治三十七年中に起つた支拂停止の際、安田善次郎が整理を引受け、政府より六百萬圓、日銀より二百萬圓、合計八百萬圓を借入れて整理の結果、着々債務を辨濟し、右の八百萬圓も每年百六十萬圓の割合で年賦償還を行つて來たので、政府に對する分は本月十四日返納の百二十萬圓を以て完濟し、日銀に對する殘額四十萬圓も本日完濟した

二十九日（木）

◇伊藤忠合名會社創立

大阪の伊藤忠合名會社（資本金二百萬圓、代表社員伊藤忠兵衛）は本日創立した

◇トルコ、同盟軍に參戰

土耳古は同盟軍獨墺に呼應して參戰、遙洋艦ゲーベン（前身はダーダネルスに遁入の獨艦）は露國のクリミヤ半島のセオドシアを砲擊バルカンは再び動亂の巷と化した

三十日（金）

◇北濱銀行の新重役決定と續休

北濱銀行の臨時株主總會は、杉村頭取以下出席、頭取は支拂停止不始末を陳謝し、新重役は投票の結果、取締役に今西林三郎、岩本榮之助、高倉藤平、稻畑勝太郎、島德藏、鑑査役に谷口房藏、高木與太郎、三谷軌秀當選相談役に藤田平太郎男を推薦し、尙ほ三十日までの休業を十一月二十一日迄延長した

◇佛國對米公債一千萬弗成立

佛蘭西政府は大戰々費として米國ナショナル・シチー・バンクと公債一千萬ドルの契約成立、同銀行は六分利付大藏證券を受取るものであるが、これは一般に公募する。尙ほ一千萬ドルの金額は、米國において軍需品及び物資の購入に消費する取極めである

三十一日（土）

◇青島攻圍軍第夜襲開始

青島攻圍の我が陸海軍の精鋭は、天長の佳節を期して、本日早朝より全戰線に總攻擊を開始した

【十一月】

一日（日）

◇巷謠論令廢す

東北本線郡山驛より會津を經て越後に出で新津驛にて信越線に連絡する同線は本日全通した。郡山新津間は百八哩、起工明治四十年十二月、工費は一千三十八萬六千餘圓、その間橋梁は九十九ヶ所（一の戸川橋梁千四百五十八呎）隧道二十二ヶ所（平瀨隧道一哩十九鎖）あつた

◇村上線開通

本線は新發田線の延長で新發田、村上間二十一哩餘、起工大正元年九月、工費は百七十二萬四千餘圓である

◇諏訪製絲組合、市場取引復否の決議

信州諏訪製絲同業組合は時局救濟會議に於て左の決議をなし、實行委員を上京させた

一、諏訪製絲同業組合は目下の時局に鑑みて定期市場に提供すべき現物は一致團結を以て賣渡を爲さゞる事を決議す。右決議は近く開かるべき六日本製糸會及び横濱貿易組合の同意を求めその目的貫徹に努むること

二、本組合は前記の趣旨を以て農商務大臣に向つて定期取引市場の休止を請願すること

◇昌榮貯蓄銀行設立

同行は元石井貯蓄銀行と稱し（資本金十萬圓拂込濟）神奈川縣下に營業してゐたものを松島藥が引受け、昌榮貯蓄銀行と改稱し、資本金を五十萬圓に增額して本店を東京に移し松島自ら專務取締役に、子爵倉橋泰昌が監査役に就任、本日より營業を開始した

◇鹿村興行新舞臺落成

東京市日本橋區通一丁目に新築中の森村銀行落成、地下室とも五階、ルネツサンス式建築で總工費は二十五萬圓である

◇獨逸政府經營の海上保險會社設立

獨逸政府の戰時海上保險經營による獨逸海上保險會社が設立された

二日（月）

◇東京府農工債券追加發行

東京府農工銀行は十月三十日迄を限り第十七回農工債券五十萬圓を募集中の處、その應募額八十七萬圓に達したので、五十萬圓の外新に二十萬圓を追加發行に決定した

三日（火）

◇紡績操短一割增率と決定

紡績聯合委員會を大阪ホテルに開會、福島紡績を除き委員全部出席・左の如く決定した

一、操短增率を一割休錘とす

二、期限は大正四年一月一日より七月末日まで七ヶ月間にして、現行の一割休錘は同期間內繼續す

三、生產額八割以上の綿出會社は右の操短より除外す

◇大阪工業會の發會式

同會は大阪高等工業學校長安永義章、宇治川電氣會社村木正鑑等主唱の下に工業の奬勵

輸入の防遏・相互救濟等の目的を以て成立、「時局の工業界に及ぼす影響」を調査し、その報告を會員に頒布する。本日の發會式には大浦農相を初め多數實業家が參列した

四日（水）

◇熊本縣下製絲業者の休業決議

熊本縣下製糸業者會合の結果、熊本市の四製糸場を除く外、他工場は横濱問屋の主張を尊重して休業し、生絲取引を中止する旨決議した。休業したものは全製糸工場十六、窯數千五百二十五の中工場十一、窯數九百五十五

六日（金）

◇山東鐵道の經營を鴻業に委託

我軍の押收せる山東鐵道の經營は、軍部より滿鐵へ委託した

◇大阪市下水道公債成立

大阪市の下水道公債は市公金取扱銀行との間に次の條件で契約成立した。總額四十九萬五千九百圓、利率年七分、期限翌四年八月まで据置以降三年間に償還、

◇獨逸の誘導に印度津航路停止

古倫母、孟買間の航路停止となり、郵船諏訪丸は歐洲への處女航海中彼南港に停船、また古倫母港には歐洲へ往航の途にある三島丸と、歐洲より歸航の北野丸の兩船避難し、アデンには歐洲より歸航の伊豫丸が避難した

七日（土）

◇青島陷落す

青島は日本軍の總攻擊により本日陷落した

株式市場の影響は東株漸舊の一圓一二十錢高を最高としてその他は二三十錢高で伸惱み、取引も閑散

◇三井物產名古屋支店手形事件和解

愛知銀行は本日銀行集會所に於いて臨時株主總會を開き三井物產名古屋支店行員の僞造手形により蒙れる十七萬圓の損害に對し、十二萬八千圓の賠償金を得て和解すべき志村勸業銀行副總裁の仲裁案を承認した

九日（月）

◇北濱銀行の日銀擔保品競賣

同行の日本銀行に對する擔保附債務二百四十萬圓の增保品たる特別五分利公債、第一回四分利公債、第二回四分利公債、總額面二百九十萬圓の競賣を執行した

◇獨逸軍艦エムデン號の最後

海の魔王として恐れられた獨艦エムデン號（三千六百五十噸）は英國濠洲艦隊シドニー號（五千四百九十噸）と、英領ココス島スマトラの西南七百浬附近）に於て遭遇し、互に砲火を交へ、エムデン號はココス島に擱坐した

十日（火）

◇化學工業調査會設置

農商務省は東京商業會議所の建議を容れて化學工業調査會を設置し、化學工業の發達に關する大方針を調査研究し、その誘導啓發に努むることゝなつた。委員は左の如し

工學博士高松豐吉▽東京帝國大學理科大學教授理學博士櫻井錠二▽同工科大學教授工學博士渡邊渡▽京都高等工藝學校長工學博士中澤岩太▽衞生試驗所技師藥學博士田原良純▽東京帝國大學工科大學教授工學博士江守襄吉郎▽同農科大學教授農學博士古在由直▽同工科大學教授工學博士井上仁吉▽同農科大學教授農學博士鈴木梅太郎▽九州帝國大學工科大學教授工學博士西川虎吉▽東京高等工業學校教授鈴木達治▽工學博士平賀義美

十一日（水）

◇東京共立銀行休業

東京市淺草區馬道五丁目東京共立銀行（資本金三十五萬圓內拂込十五萬七千五百圓）は輕薄整理の名の下に本日より向ふ一週間休業

を發表した

十二日（木）

◇**電濱商業會議所の建議**

横濱商業會議所は本日總會を開き次の建議案を附議決定した

▽歐洲航路擴張に關する建議案▽南米亞爾然丁共和國に帝國公使館設置に關する建議案▽露國輸入稅輕減に關する建議案

◇**東洋火災保險の新興約停止**

東洋火災保險株式會社（資本金百萬圓內拂込二十五萬圓）は新契約の停止命令を受けた。十月末の契約高は五千八百萬圓

十四日（土）

◇**共同運輸會社の創立**

同社は資本金二百萬圓を以て創立、左の役員を選任した

▽取締役星野錫、山城鉦一、田中省三・泉仁三郎・板倉千次郎、高津英馬、岡崎藤吉

▽監査役岩崎彌彦・山口力

◇**高島事右衛門死去**

呑象、高島嘉右衛門は中風症のため本日死去した、享年八十三。氏は常陸の產、青年の頃、材木及建築業の傍ら横濱にて外人相手の商賣を爲し、幕府法度の金銀賣買の廉により投獄されたが、出獄後も外人筋と洋銀及金札の賣買により巨利を博した。更に外人相手のホテルを經營、明治三年京濱鐵道敷設に當り工事を請負、或は海面を埋立、東京、横濱の瓦斯事業を起し、行くとして可ならざるはない商才を發揮した。更に高島學校を創立し文明知識を普及した。又東京青森間を自ら實測し日本鐵道株式會社を興し、横濱築港にも着手した。明治九年實業界を引退し、獄中に究めた易學に親しみ高島易斷書の編著に從事した。後明治二十五年北海道炭礦會社の社運危殆に瀕し再起を勸說され財界に歸り同社の整理を完成した。其他財界への貢獻尠からず計報天聽に達するや正五位に敍せられた

◇**新潟水電會社の社債成立**

新潟水電株式會社（資本金二百萬圓）は事業擴張のため六十萬圓の起債をなし、利率年八分二厘、三ヶ年期限にて全部紅葉屋銀行が引受けた

十五日（日）

◇**農業銀行本支店の取付**

石川縣羽咋郡羽咋町の廣業銀行（資本金十五萬圓內拂込六萬八千圓）は高濱支店に取付起り、次で本店に及び、殆ど支拂停止同樣の狀態に陷つた

◇**大阪上海間航路復活**

日本郵船會社は青島陷落による時局一段落と共に大阪上海線航路を再興し、二週一回の定期航行を開始した。就航船は松山丸

十六日（月）

◇**農商務省の戰時保險率改正**

農商務省は本日の官報を以て戰時保險率の改正を發表した。海上の危險減退と共に減率をしたもので、歐洲航路は從來七十五錢を五十錢に、北米航路は直航十五錢を十錢に、同布哇經由三十錢を十五錢に低下した

十七日（火）

◇**金圓手形交換所聯合會成立**

從來函館、小樽二交換所は、手形交換所聯合會に加入してゐなかつたが、新に二交換所が加入、之によつて全國手形交換所聯合會は成立した

十八日（水）

◇**大正貯蓄銀行の休業**

東京市日本橋區室町の大正貯蓄銀行は營業不振のため破綻、支拂を停止し休業した。同行は資本金五十萬圓內拂込濟十六萬二千五百圓。頭取は元旭貯金銀行麻布支店長長野重助

◇**瀧陽商船會社創立**

大阪商船株式會社は由良線高松線の如き航海幾數の頻繁の割合に使用船舶の小型な他航路と趣きを異にする航路は、小規模の獨立會社として經營することが有利なので、前記二航路を割譲、新たに瀧陽商船株式會社（資本金二十萬圓、拂込十萬圓、社長阿部克太郎）を創立した

十九日（木）

◇**青島に軍政施行**

占領地青島に本日より軍政施行の告示が發表された。青島內に財產關係を有する者及び特殊の關係を有する外國官吏に限り二十日より入市を許可したが、獨墺兩國人は入市を許可しない

二十日（金）

◇**兵庫農工債券五十萬圓募集**

兵庫農工銀行は第十九回農工債券五十萬圓を發行。利率は年七分五厘、二ヶ年据置、以降十八ヶ年以內償還

◇**銀行團貸倉資會社の休業繼續**

廣島縣沼隈郡松永町にある銀行業、穀物倉資會社（資本金二萬八千圓）は十月二十六日以來本日まで休業し未だに整理つかず更に翌年三月三十一日まで休業繼續に決定した

◇**大倉組奉天省と借款契約**

大倉組と南滿洲奉天省との間に總額百五十萬圓、利率年八分、償還期一ヶ年、用途は舊債元利百萬圓の償還に當て、支拂殘額は同省行政費に充當、抵當は同省內の炭坑、材木諸會社の株券を充當する借款契約が中央政府の承認を經て成立した

二十一日（土）

◇**鳴尾金銀行の休業**

東京市赤坂區青山南町二丁目に本店を有する同行は支拂停止を發表休業した。同行は明治三十二年創立、資本金二十萬圓、內拂込八萬七千五百圓、頭取は同町の資產家高橋藤兵衛・專務取締役高橋英一、預金總額百二十萬圓、重役の私財三十萬圓である

二十三日（月）

◇**ポルトガル、聯合國側に參加**

獨國議會は政府が英國側に加擔し且つ英佛同盟に基き、歐洲又は植民地に於て適當と認むる總ての軍事行動を爲し得ることを、本日全會一致可決した

二十四日（火）

◇**米價十二圓臺に暴落**

米價は前年末より多少の變化はあつたが、大勢常に下落の一途を辿り、最近十二圓臺に落ち明治四十三年以降の記錄を破つた。これを高値當時の二十三圓六十五錢に對比する時は實に十一圓餘の下落である

◇**大阪商船正副社長更迭**

大阪商船株式會社々長中橋德五郎は政界へ乘り出すのと後進に途を開くため辭任し、副社長堀啓次郎がその後を襲ひ、同時に山岡順太郎が副社長に昇進した

二十五日（水）

◇**二千圓割增金付勸業債券發行**

日本勸業銀行は第五十五回勸業債券四百萬圓を發行した。利率は年五分。從來の一等割增金一千圓を二千圓に增額したのがこの債券の特色である

◇**江戸銀行の取付**

東京市麻布區材木町江戸銀行（資本金十萬圓內拂込二萬五千圓）はその所在に接近せる旭貯金、東海商業兩銀行の影響を受け本日より取付に遭ひたが、東京府農工銀行より預金全部に對する支拂保證を得、本月二十九日の日曜日にも特に臨時營業をなし着々支拂に應じ、間もなく鎭靜に歸し休業を免れた

二十六日（木）

◇紡織操短一割増率に決定

紡績聯合會は本日までの操短率は一割即ち四割夜の休業であるが、十二月一日より更に一割の増率を決定した

◇東海商業銀行休業

東京市芝區新堀町東海商業銀行　資本金六十萬圓内拂込十七萬八千百二十五圓）は取付に遭ひ、本日より十二月二日まで休業を發表した

二十八日（土）

◇雑鶴炭坑崩壊、四百三十名惨死

石狩石炭株式會社所有の北海道夕張郡登川村雑鶴炭坑の瓦斯爆發、入坑者六百三十五名の内、死亡四百三十名の犠牲者を出した

二十九日（日）

◇陸軍御用船五十隻十五萬噸

凱旋兵輸送のため陸軍省の傭船は五十隻、十五萬六千七百九十八噸に達したが、一時的傭船のため郵船、商船等は參加を躊躇したので、社外船が大部分であつた

【十二月】

一日（火）

◇名古屋綿色同業組合の同盟休業

歐洲大戰のため染料騰貴し戰前に比し二三倍乃至六倍になつたので、同組合では過般來機織業者に向つて染代の値上を要求したが、十分の目的を達する能はず、一方原料は益々騰貴し營業不能に陷つたので協議の結果本日から同盟休業を行つた。なほ當時我國に於て使用せられた染料は獨逸から約六七割、佛、白、英、瑞から約三四割の比例にて輸入され大正元年度は三百九十二萬七千圓、同二年度は四百二十一萬三千圓に達した

◇佛國政府大藏省證券を外國に賣却

佛國政府は大藏省證券四億法を外國に向け賣却を開始した

◇ロイド保險會社の空襲保險

英國ロイド保險會社のパリ支店は空襲保險を開始した

二日（水）

◇八十五銀行の取付

埼玉縣川越町の株式會社八十五銀行は明治三十年九月舊八十五國立銀行を繼承し、資本金百萬圓（内拂込八十萬圓）で支店五ケ所を有し、別に資本金二十萬圓（内拂込十四萬圓）の株式會社川越貯蓄銀行を經營し、預金約三百萬圓に達し埼玉縣一流の大銀行であるが、本日貯蓄銀行に取付起り、これが八十五銀行にも波及したので、兩銀行は十五銀行及び日本銀行から資金を調達して支拂に應じた。取付の原因は、附近村落の或る機業組合が貯蓄銀行に共同貯金をしてゐたが、年末に際し一般不景氣のため多數の組合員が預金を引出したことから同行に對する疑惑を深めたゝめである

◇漢冶萍公司の對日借款成立

支那政府は日本と九百萬圓の漢冶萍公司借款を締結した

◇前鶴蓬生命社長・鶴原定吉死去

前大日本人造肥料會社々長蓬萊生命保險會社々長鶴原定吉は本日死去した、享年五十九。氏は元福岡藩士、東京帝大を出で明治十六年外務省に入り、倫敦領事館書記生を振出しに天津領事、上海領事を經た。後同二十五年日本銀行に入り大阪支店長、本店營業局長を經て理事となつたが、總裁岩崎彌之助辭任し、山本達雄總裁となるや有名なる日銀ストライキの急先鋒となり辭職し、關西鐵道會社々長に就任、三十四年には大阪市長に轉じ、同四十年に伊藤博文が韓國統監となるや三轉してその下に總務長官となつた。後挂冠して衆議院議員選擧に出馬、當選して政友會に入り中央新聞社長となつた。更にまた大倉本人造肥料會社、蓬萊生命保險社長等となり外交官、銀行家、政治家、實業家として往くところ可ならざるはなかつた

五日（土）

◇日本電燈會社の大淘汰

同社は第一期工事が豫定の如く竣工したが第二期工事は着手の時機に達しないため經費節減の目的を以て社員百名、技師及技手工夫百五十名計二百五十名を淘汰すること決し、本日夫々辭令を交付した。この淘汰によつて經費年額七萬五千餘圓を節約する

九日（水）

◇大正貯金銀行の取付

大阪の同行（資本金五十萬圓、内拂込十五萬三千圓）は土居通夫を頭取とし大阪市内十一ケ所に支店を有し、預金總額百三十四萬餘圓に上るが、本日から京町堀支店に取付起り本支店を通じて十七日迄に總計約七十二萬圓を拂出して漸く鎮靜に歸した。取付の原因は同行監査役高倉藤平が北濱銀行の頭取となつたので、大正銀行の預金を北濱銀行に融通するとの說が流布されたゝめである

◇獨逸巡洋艦三隻撃沈さる

獨逸裝甲巡洋艦シャルンホルスト、グナイゼナウ及び三等巡洋艦ライプチッヒはフォークランド島沖に於いて、海軍中將サー・フレデリック・スタデー麾下の英國艦隊の爲め撃沈された、戰鬪後遁走した獨艦ドレスデンとニユールンベルヒは追撃された

十日（木）

◇朝鮮銀行一圓券發行

朝鮮銀行法に依り大正四年一月四日から朝鮮銀行に於て一圓券を發行する旨本日官報を以て公示された。寸法は竪二寸三分、横四寸三分

◇休業中の北濱銀行開業

本年八月十九日以來休業を續けた北濱銀行は開店の運用資金として五六十萬圓を要するため鬼怒川、阪堺、箕面等の社債類を擔保として市中組合銀行に融通方を交渉したが、銀行委員會はこれを拒絶したので、八日以來重役片岡直輝は頭取高倉藤平と共と大阪に本店を有する住友、三十四、浪速、鴻池、近江、山口、加島の七銀行に再考慮を申込んだが右銀行代表者は九日銀行集會所に於て協議するも成案を得るに至らなかつた。一方北濱行銀は銀行側との交渉如何に係らず開店を急ぐことなり、本日から營業を開始したが、預金引出も以外に僅少であつた

十一日（金）

◇三重縣製絲同業組合の救濟陳情

三重縣製絲同業組合は蠶絲業救濟建議書を本日大隈首相宛に提出した。なほ歐洲戰亂が同地の製絲業に與へた損害は機械製糸六十六萬餘圓、座繰十一萬餘圓に上り、破産又は休業中の製絲家六十六戸にして養蠶家の損害は六十五萬圓である

◇日本勧業銀行の整理改革

同行は冗員淘汰の必要を認め、代理住附課長水野勝與を監査役に拔擢したのを動機として行内の大改革を行ひ、經費の節約を圖るため部課の改廢と冗員の淘汰を行ひ本日これを發表した。その主なる點は經理部を廢しこれに屬した主計敢支の二課を總務部に屬せしめ課に於ては文書用度兩課を併合して庶務課、債券發行兩課を併合し債券課と改めた、なほ副總裁管掌の調査課並に檢査課を秘書課と同じく總裁の直屬とした、これと同時に比較的

老齢の主計課長川鯖嶌及び用度課長宇田良温以下二十名に休職を命じそれ〴〵新進の人材を拔擢任命した

◇東京共立銀行の臨時休業

同行は東京淺草區馬道町五丁目にあり、明治三十三年四月の設立に係り、資本金三十五萬圓（內拂込十五萬七千五百圓）にして大貫平七、加藤金藏、岩田爲藏等に依つて經營せられ預金總額四十四萬圓を有するが本日帳簿整理の理由で一週間の臨時休業を發表した。原因は先月以來旭貯金、東海商業等の市內小銀行の取付騷ぎの餘波を受けて十日取付に遭つたので、重役協議の結果本日に至り支拂停止をなしたもので、同日受入の手形四千圓は代理交換銀行の東海商業銀行に於て擔保公債を處分してこれを支拂ひ、同時に代理交換を取消された

十二日（土）

◇英國パーナーデストン少將入京す

青島攻圍軍に參加し神尾司令官麾下にあつて、我が軍と共に戰勝の光榮を擔つた英國軍司令官パーナーデストン少將以下ブリンゲル少佐、ムーア大尉等の一行は本日午前九時四十分入京した

十三日（日）

◇高松銀行と讃岐貯蓄銀行の合併

兩行は同一系統に屬し重役及び株主等も共通する者が多いので合併案成立、本日高松市淀川橋に臨時株主總會を開き、合併の方法及び條件並に合併と同時に高松市田町及び本田郡平井村の二ケ所に支店設置の件其他定款變更の件等を可決した。なほ合併前に於ける兩行の資力は高松銀行資本金四十萬圓（內拂込三十六萬圓）積立金二十一萬圓、讃岐貯蓄銀行資本金十二萬圓（內拂込五萬二千五百圓）

十五日（火）

◇方城炭坑爆發・死者六百五十名

福岡縣田川郡方城村の三菱合資會社所有方城炭坑は本日午前九時坑內で瓦斯爆發し、入坑者六百七十餘名中生存者二十二名（內二名は救容後死亡）の外は全部慘死した。同坑は明治三十五年三月第一、第二竪坑の開鑿に着手し第一は三十八年八月、第二は四十一年一月採炭したもので、一ケ月の採炭量は二萬三千噸に達し、坑夫は總數二千名であつた

十七日（木）

◇增師反對聯合會氣勢を揚ぐ

東京築地精養軒に於て開催、出席者は國民黨幹事長關直彥、政友會院內總務岡崎邦輔、同床次竹二郎を始め政國兩黨代議士、新聞記者等約四百名、國民黨代議士濱田國松、政友會代議士長島鶯太郎、同小久保喜七その他の演說があつた

◇廣島縣下の各銀行取付

廣島縣深安郡福山町にある株式會社尾道貯蓄銀行（資本金五萬圓、內半額拂込濟）株式會社第六十六銀行（資本金百萬圓、內五十萬八千圓拂込濟）の兩銀行支店は本日取付に遭ひ、翌十八日に至り鎭靜したが、更に同縣佐伯郡二十日市町の合名會社村上銀行（資本金十七萬圓、積立金十萬六千圓、諸預金八十二萬八千六百餘圓）も二十三日取付に遭つた

◇英國援及を保護國とす

英國は埃及を保護國とする旨を公式に發表した。かくて土耳古の埃及に對する宗主權は消滅した

十八日（金）

◇青島攻圍軍の死傷者數

青島攻圍戰に於ける死傷者數は當局の調査に依れば次の如し

▽日軍　戰死者將校十二名、準士官二名、下士四十名（內十名は傷死）兵卒三百八十四名（內六十名は傷死）計四百三十八名、負傷者千四百六十九名

▽獨軍　戰死者百八十名、負傷者二百九十餘名

なほ旅順攻圍戰に於ける死傷者は一萬三千九百十一名である

◇神尾青島攻圍軍司令官の凱旋

青島攻圍軍司令官神尾中將は磯村大佐以下の葬儀を從へて本日午前十時半開通式を擧げつゝあつた中央停車場東京驛に到着、直ちに宮內省差廻しの馬車にて參內した

◇東京驛の開通式

工費三百八十餘萬圓を費した中央停車場東京驛の工事竣成し本日午前九時同驛構內に於て開通式を擧行、仙石鐵道院總裁・古川副總裁を始め、大隈總理大臣以下各國務大臣、同次官、貴衆兩院議員、陸海軍各元帥、實業家等多數列席、式終了後午前十一時から同驛中央三階に於て盛大な開通祝賀會を催した。同驛の初代驛長は高橋善一である。なほ東京、橫濱間の院線電車も開通した

十九日（土）

◇北濱銀行四百萬圓に減資決定

同行は臨時株主總會を開き、左の議案を討議した

一、定款改正案　二、資本金減少方法　三、優先株發行の件　四、其募集方法

三谷鑒査役は減資理由として現在資本金は一千萬圓であるが、四百七十三萬圓の缺損ある外、當期に於て有價證券三十五萬圓の値下り其他を合する時は、缺損額五百九十六萬圓となるのでその整理方法として之を切捨て、資本金を四百萬圓とする所以を說明したところ、株主から質問續出し重役との論戰が行はれたが、結局各案とも原案通り決定した

二十日（日）

◇伊勢崎町の織物問屋破産

群馬縣伊勢崎町の下條仲織商店は、數ケ月來機業界不況の影響を受けて頗る苦境に陷り本日遂に同町市場の分六萬六千圓、館林市場の分三萬三千圓、群馬商業銀行の分二萬圓の不渡手形を出したゝめ二十一日一時閉店の止むなきに至つた。下條一家は何れも同地の資產家で同地織物組合の組長は下條氏の伯父に當り、有名な製糸家德江八郎の相續者彌三郎はその實兄である

二十一日（火）

◇五典銀行の臨時休業

新潟縣中蒲原郡五泉町の同銀行（資本金三十萬圓內拂込二十六萬圓）は經營不振のため本日から向ふ三週間の臨時休業を發表した

二十二日（水）

◇村上銀行の取付

廣島縣佐伯郡二十日町の同行は本日取付に遭ひ、約五萬圓を支拂つたが、翌二十四日に廣島から十萬圓の資金を調達して支拂に應じたゝめ鎭靜に歸した。取付の原因は同行に對する無根の流言による、同行は資本金十七萬圓、積立金十萬二千圓にして、同郡內主要地に支店又は代理店を置き、預金總額八十二萬圓、貸出六十萬圓あり、小銀行としては比較的確實な營業狀態であつた

二十四日（木）

◇昌平銀行の支拂停止

東京市神田區柳町の株式會社昌平銀行は明治三十三年三月の設立に係り、重役は頭取酒井長五郎、取締役村田任太郎、野畑曉、島田嘉藏、北島吉兵衞、鑒査役吉田粂次郎、大橋留吉にて、四十一銀行東京支店に手形の代理交換を托してゐたが、經營困難のため、本日